

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	地震 00-02 R16
提出年月日	令和 4 年 7 月 21 日

設工認に係る補足説明資料

本文、添付書類、補足説明項目への展開（地震）

（MO X 燃料加工施設）

1. 概要

- 本資料は、加工施設の技術基準に関する規則「第6条 地震による損傷の防止」及び「第27条 地震による損傷の防止」に関して、基本設計方針に記載する事項、添付書類に記載すべき事項、補足説明すべき事項について整理した結果を示すものである。
- 整理にあたっては、「共通06：本文（基本設計方針、仕様表等）、添付書類（計算書、説明書）、添付図面で記載すべき事項」及び「共通07：添付書類等を踏まえた補足説明すべき項目の明確化」を踏まえて実施した。整理結果については、別紙に示す。

2. 本資料の構成

- 「共通06：本文（基本設計方針、仕様表等）、添付書類（計算書、説明書）、添付図面で記載すべき事項」及び「共通07：添付書類等を踏まえた補足説明すべき項目の明確化」を踏まえて本資料において整理結果を別紙として示し、別紙を以下のとおり構成する。
 - 別紙1：基本設計方針の許可整合性、発電炉との比較
事業変更許可 本文、添付書類の記載をもとに設定した基本設計方針と発電炉の基本設計方針を比較し、記載程度の適正化等を図る。
 - 別紙2：基本設計方針を踏まえた添付書類の記載及び申請回次の展開
基本設計方針の項目ごとに要求種別、対象設備、添付書類等への展開事項の分類、第1回申請の対象、第2回以降の申請書ごとの対象設備を展開する。
 - 別紙3：基本設計方針の添付書類への展開
別紙2で示した基本設計方針の展開事項の分類ごとに添付書類の項目、記載事項を並べ替えることで添付書類の全体構成と項目ごとの記載事項を整理する。
 - 別紙4：添付書類の発電炉との比較
添付書類の記載内容に対して項目単位でその記載程度を発電炉と比較し、記載すべき事項の抜けや論点として扱うべき差がないかを確認する。なお、規則の名称、添付書類の名称など差があることが明らかな項目は比較対象としない（概要などは比較対象外）。
 - 別紙5：補足説明すべき項目の抽出
基本設計方針を起点として、添付書類での記載事項に対して補足が必要な事項を展開する。発電炉の補足説明資料の実績との比較を行い、添付書類等から展開した補足説明資料の項目に追加すべきものを抽出する。
 - 別紙6：変更前記載事項の既工認等との紐づけ
基本設計方針の変更前の記載事項に対し、既認可等との紐づけを示す。

別紙

耐震00-02 【本文、添付書類、補足説明項目への展開(地震)】

別紙				備考
資料No.	名称	提出日	Rev	
別紙1	基本設計方針の許可整合性、発電炉との比較	7/12	8	
別紙2	基本設計方針を踏まえた添付書類の記載及び申請回次の展開	7/12	6	※本別紙は地盤00-02、地震00-02統合した形式とする。
別紙3	基本設計方針の添付書類への展開	7/12	7	※本別紙は地盤00-02、地震00-02統合した形式とする。
別紙4	添付書類の発電炉との比較	<u>7/21</u>	<u>12</u>	
別紙5	補足すべき項目の抽出	7/12	5	
別紙6	変更前記載事項の既設工認等との紐づけ	7/12	4	

別紙 4

添付書類の発電炉との比較

資料No.	別紙		備考	
	名称	提出日		Rev
別紙4-1	耐震設計の基本方針	7/12	8	
別紙4-2	地盤の支持性能に係る基本方針	7/12	4	
別紙4-3	重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針	7/12	7	
別紙4-4	波及的影響に係る基本方針	7/12	7	
別紙4-5	地震応答解析の基本方針	7/12	7	
別紙4-6	設計用床応答曲線の作成方針	7/12	7	
別紙4-7	水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針	7/12	7	
別紙4-8	機能維持の基本方針	7/12	7	
別紙4-9	構造計画, 材料選択上の留意点	7/12	7	
別紙4-10	燃料加工建屋の地震応答計算書	7/12	5	
別紙4-11	燃料加工建屋の耐震計算書	7/12	5	
別紙4-12	建物及び屋外機械基礎の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果	7/12	5	
別紙4-13	建物及び屋外機械基礎の一関東評価用地震動(鉛直)に関する影響評価結果	6/10	4	
別紙4-14	燃料加工建屋の隣接建屋に関する影響評価結果	6/10	4	
別紙4-15	基準地震動 S_s を1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針	<u>7/21</u>	<u>5</u>	
別紙4-16	燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書	<u>7/21</u>	<u>5</u>	
別紙4-17	燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する耐震計算書	<u>7/21</u>	<u>2</u>	

別紙4－15

基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力 による重大事故等対処施設に関する 耐震計算の基本方針

本添付書類は、発電炉に対応する添付書類がないことから、発電炉との比較を行わない。

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の算定方法	1
2.1 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力	1
2.2 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の地震応答解析	1
2.3 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の床応答曲線の作成	1
3. 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対する評価方針	2
3.1 燃料加工建屋に求められる要件	2
3.2 各要件に対する評価方針の整理	2
4. 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対する耐震計算の基本方針	3
4.1 建物・構築物	3
4.2 機器・配管系	5

別紙 1 加工施設の基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の床応答曲線

1. 概要

本資料は、「V-1-1-4 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書」において、基準地震動 S_s を上回る地震を要因とする重大事故等が発生した場合であっても、重大事故等に対処することができるよう設計されていることを示していることを受け、その具体的な対応として、「V-1-1-4-4 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に示す重大事故等対処設備について、基準地震動の1.2倍の地震動に対する耐震計算の詳細を説明するものである。

なお、本資料における「4. 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力に対する耐震計算の基本方針」で示す設備ごとの設計方針については、当該設備を申請する申請書において示す。

2. 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の算定方法

2.1 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力

基準地震動 S_s を1.2倍した地震力については、「V-1-1-4-4 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」の「4. 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の設定」に示す地震力を用いる。

2.2 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の地震応答解析

基準地震動 S_s を1.2倍した地震力による地震応答解析は、「V-1-1-4-4 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」の「4. 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の設定」に基づき、実施する。

2.3 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の床応答曲線の作成

基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の床応答曲線は、「V-1-1-4-4 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」の「4. 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の設定」に基づき、作成する。

3. 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対する評価方針

3.1 燃料加工建屋に求められる要件

「V-1-1-4-4 地震を起因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」の「5.1 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力を考慮する設備に要求される機能」の「(2) 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力を考慮する設備が設置される重大事故等対処施設」の「a. 燃料加工建屋」において整理した、重大事故等対処の成立性確認に当たって燃料加工建屋に求められる要求事項は、以下の①及び②に示すとおりである。

要件①：建屋が一定程度変形したとしても、支持部のコンクリートが完全に失われて重大事故等対処に係る設備が脱落しないようにする。

要件②：建屋が一定程度変形したとしても、床の崩落や壁の倒壊、大規模なコンクリートの剥離に至らず、安全なアクセスルート及び操作場所が確保できるようにする。

3.2 各要件に対する評価方針の整理

「V-1-1-4-4 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」の「5. 地震を要因とした重大事故等対処に必要な重大事故等対処設備及びそれを設置等する重大事故等対処施設に対する要求機能」に示したとおり、建物・構築物については、MOX 燃料加工施設における重大事故等への対処方法及び重大事故等により外部への放出に至るおそれのある MOX 粉末の特徴を踏まえ、建屋が一定程度変形したとしても、必要な支持力が維持されて各設備が脱落しない設計とすること、及び、建屋が一定程度変形したとしても、床の崩落や壁の倒壊、大規模なコンクリートの剥離に至らない状態に留まり、安全なアクセスルート及び操作場所が確保できる設計とすることにより、重大事故等対処の実施に対して妨げにならないことを確認する。

上記を踏まえ、「3.1 燃料加工建屋に求められる要件」に示す要件①に対しては、構造強度として建屋の変形に対して重大事故等対処に係る設備が脱落しないよう、基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対して、重大事故等対処に係る設備を支持する部位が、原則として安全機能を有する施設の基準地震動 S_s に対する評価における支持機能に係る許容限界を超えないことを確認する。

また、「3.1 燃料加工建屋に求められる要件」に示す要件②に対しては、構造強度としてアクセスルート及び操作場所を構成する床の崩落や壁の倒壊、大規模なコンクリートの剥離に至らないよう、基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対して建屋全体が崩壊系に至らないことの確認及び支持地盤が建屋を十分に支持できることを確認する。

一方、機器・配管系についての評価方針については、当該設備に対する要件を踏まえて確認事項を整理する。このため、設備に対する要件とその確認事項については、当該設備を申請する申請書において示す。

4. 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対する耐震計算の基本方針

基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力による重大事故等対処の成立性確認を行うにあたり、既設工認で実績があり、かつ、最新の知見に照らしても妥当な手法及び条件を用いることを基本とする。また、最新の知見を適用する場合は、その妥当性と適用可能性を確認した上で適用する。

評価対象施設のうち、形状、構造特性に応じたモデルに置換して定式化された計算式等を用いる設備の計算方針については、次回以降で申請する「Ⅲ-6-2 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対する耐震計算結果」の「Ⅲ-6-2-2 機器・配管系」に示す。

評価に用いる環境温度については、次回以降で申請する「V-1-1-4-3 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート」に従う。

4.1 建物・構築物

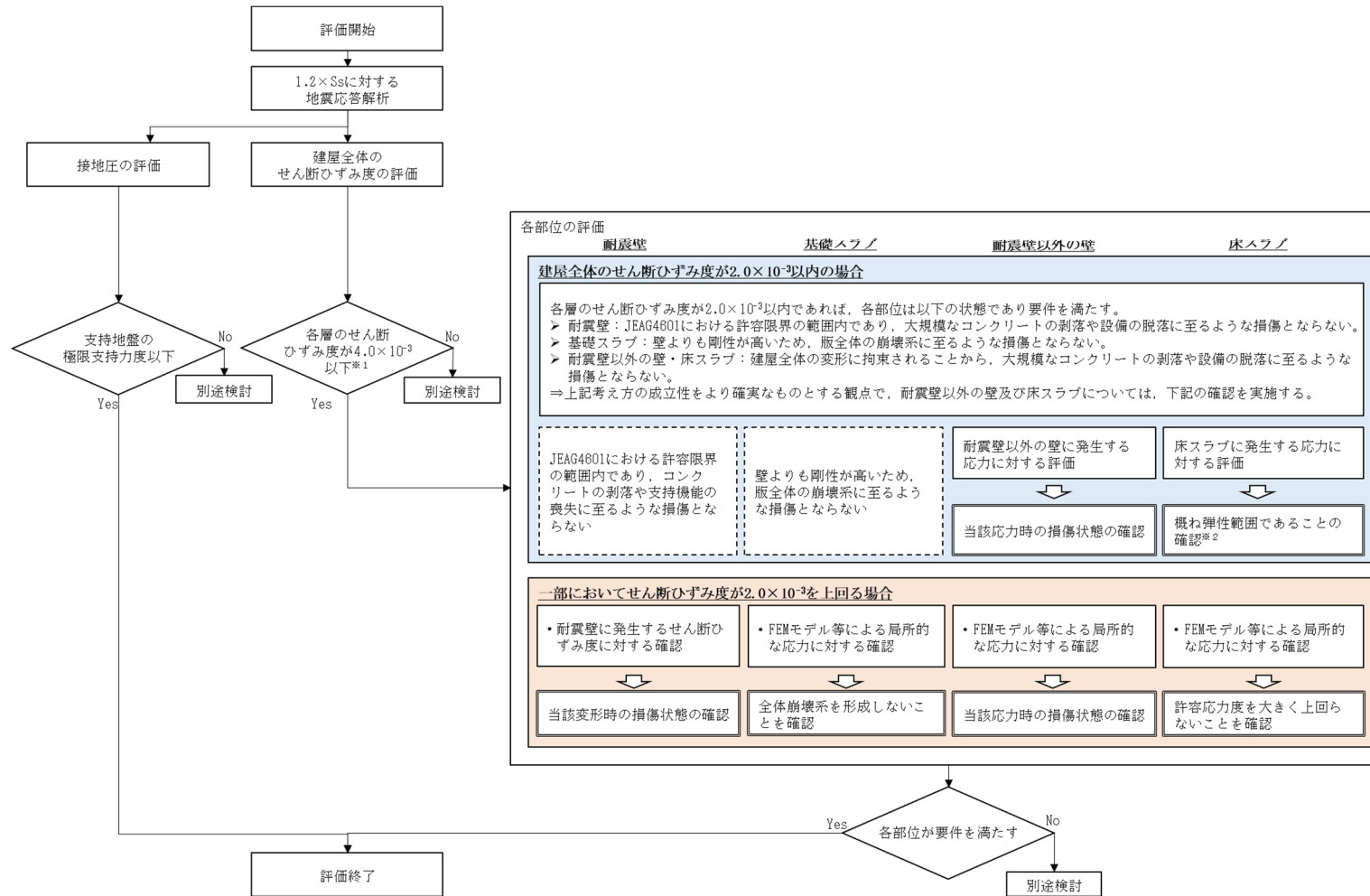
建物・構築物の設計は、「3.2 各要件に対する評価方針の整理」を踏まえ、「2.1 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力」で示す地震力に対し、「基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の地震応答解析」に基づき算定した建物の地震応答解析結果を用い、第 4.1-1 図に示す評価フローに基づき、各部位の耐震計算を実施する。地震応答解析は、時刻歴応答解析法により JEAG4601 に基づき実施することを基本とする。

耐震計算に当たっては、各層のせん断ひずみ度が終局耐力時のひずみ (4.0×10^{-3}) 以下に留まることを確認するとともに、支持地盤が建物を十分に支持できることを確認する。

また、構成する部位（耐震壁、基礎スラブ、重大事故等対処に係る設備又はアクセスルート及び操作場所を構成する床スラブ・壁）について、各部位が基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対して「3.1 燃料加工建屋に求められる要件」に示す要件を満たすことを確認する。

ここで、基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対して建物全体のせん断ひずみ度が 2.0×10^{-3} 以内に留まっていることを確認した場合は、第 4.1-1 図に示すとおり、各部位について「3.1 燃料加工建屋に求められる要件」に示す要件を満たす。この際、耐震壁以外の壁及び床スラブについては、この考え方の成立性をより確実なものとする観点から、基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力により発生する応力に基づく確認もあわせて実施する。

また、基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対して一部の層においてせん断ひずみ度が 2.0×10^{-3} を上回る場合は、FEMモデル等を用いた詳細評価により算定した基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力により発生する各部位の応力またはひずみに対して「3.1 燃料加工建屋に求められる要件」を満足することを確認する。



※1：原則として、建屋全体のせん断ひずみ度が 2.0×10^{-3} 以下に留まっていることを確認する。

※2：地震応答解析にあたり、床スラブを剛床仮定として扱っているため、1.2×Ssによる地震力に対して十分に剛と扱うことが可能であることを確認する。

第 4.1-1 図 建物・構築物の評価フロー

4.2 機器・配管系

機器・配管系の設計は、「2.1 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力」で示す地震動による適切な応力解析に基づいた地震応力と、組み合わせべき他の荷重による応力との組合せ応力が「3.2 各要件に対する評価方針の整理」で示す許容限界内にあることを確認すること(解析による設計)により行う。

評価手法は、以下に示す解析法により JEAG4601 に基づき実施することを基本とし、その他の手法を適用する場合は適用性を確認の上適用することとする。なお、材料物性の不確かさを適切に考慮する。

- ・スペクトルモーダル解析法
- ・時刻歴応答解析法
- ・定式化された評価式を用いた解析法
- ・FEM 等を用いた応力解析法

これらを踏まえた具体的な評価手法は、「Ⅲ－6－2 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対する耐震計算結果」において、当該設備を申請する申請書において示す。

なお、水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せ等に関する影響評価については、「Ⅲ－6－2 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に対する耐震計算結果」に示すこととし、その示し方として、「Ⅲ－2 加工施設の耐震性に関する計算書」の結果を用い、代表設備に対する結果を示す場合には、その代表性、網羅性を示した上で代表設備に対する結果を示す。

Ⅲ－６－１ 別紙 1－1
燃料加工建屋の基準地震動 S_s を
1.2 倍した地震力の床応答曲線

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 床応答曲線の作成	1
3. 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の床応答曲線	1

1. 概要

本資料は、燃料加工建屋の機器・配管系のうち、地震を要因とする重大事故等に
対処する重大事故等対処設備の耐震設計に用いる床応答曲線について示したもので
ある。

2. 床応答曲線の作成

床応答曲線は、「Ⅲ-1-1-6 設計用床応答曲線の作成方針」に示す内容を踏
襲して作成する。

なお、燃料加工建屋の地震応答解析モデルは、「Ⅲ-1-1-6 別紙1-1 燃
料加工建屋の設計用床応答曲線」の第3.1-1図(1)及び第3.1-1図(2)に示すとおりで
ある。

3. 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の床応答曲線

基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の床応答曲線の図番を第3-1表に示す。

また、基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力に基づく最大床応答加速度の 1.2 倍の加速
度を第3-2表に示す。

第3-1表 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力の床応答曲線の図番(その1)
 (床応答曲線の図はサンプルとして第3-1図、第3-9図、第3-17図のみを記載する。)

建物・ 構築物	質点番号	T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番		
				NS	EW	UD
燃 料 加 工 建 屋	1	77.50	0.5	第3-1図	第3-9図	第3-17図
			1.0	第3-2図	第3-10図	第3-18図
			1.5	第3-3図	第3-11図	第3-19図
			2.0	第3-4図	第3-12図	第3-20図
			2.5	第3-5図	第3-13図	第3-21図
			3.0	第3-6図	第3-14図	第3-22図
			4.0	第3-7図	第3-15図	第3-23図
			5.0	第3-8図	第3-16図	第3-24図
	2	70.20	0.5	第3-25図	第3-33図	第3-41図
			1.0	第3-26図	第3-34図	第3-42図
			1.5	第3-27図	第3-35図	第3-43図
			2.0	第3-28図	第3-36図	第3-44図
			2.5	第3-29図	第3-37図	第3-45図
			3.0	第3-30図	第3-38図	第3-46図
			4.0	第3-31図	第3-39図	第3-47図
			5.0	第3-32図	第3-40図	第3-48図
	3	62.80	0.5	第3-49図	第3-57図	第3-65図
			1.0	第3-50図	第3-58図	第3-66図
			1.5	第3-51図	第3-59図	第3-67図
			2.0	第3-52図	第3-60図	第3-68図
			2.5	第3-53図	第3-61図	第3-69図
			3.0	第3-54図	第3-62図	第3-70図
			4.0	第3-55図	第3-63図	第3-71図
			5.0	第3-56図	第3-64図	第3-72図
	4	56.80	0.5	第3-73図	第3-81図	第3-89図
			1.0	第3-74図	第3-82図	第3-90図
			1.5	第3-75図	第3-83図	第3-91図
			2.0	第3-76図	第3-84図	第3-92図
			2.5	第3-77図	第3-85図	第3-93図
			3.0	第3-78図	第3-86図	第3-94図
			4.0	第3-79図	第3-87図	第3-95図
			5.0	第3-80図	第3-88図	第3-96図

第 3-1 表 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力の床応答曲線の図番(その 2)

建物・ 構築物	質点番号	T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番		
				NS	EW	UD
燃 料 加 工 建 屋	5	50.30	0.5	第 3-97 図	第 3-105 図	第 3-113 図
			1.0	第 3-98 図	第 3-106 図	第 3-114 図
			1.5	第 3-99 図	第 3-107 図	第 3-115 図
			2.0	第 3-100 図	第 3-108 図	第 3-116 図
			2.5	第 3-101 図	第 3-109 図	第 3-117 図
			3.0	第 3-102 図	第 3-110 図	第 3-118 図
			4.0	第 3-103 図	第 3-111 図	第 3-119 図
			5.0	第 3-104 図	第 3-112 図	第 3-120 図
	6	43.20	0.5	第 3-121 図	第 3-129 図	第 3-137 図
			1.0	第 3-122 図	第 3-130 図	第 3-138 図
			1.5	第 3-123 図	第 3-131 図	第 3-139 図
			2.0	第 3-124 図	第 3-132 図	第 3-140 図
			2.5	第 3-125 図	第 3-133 図	第 3-141 図
			3.0	第 3-126 図	第 3-134 図	第 3-142 図
			4.0	第 3-127 図	第 3-135 図	第 3-143 図
			5.0	第 3-128 図	第 3-136 図	第 3-144 図
	7	35.00	0.5	第 3-145 図	第 3-153 図	第 3-161 図
			1.0	第 3-146 図	第 3-154 図	第 3-162 図
			1.5	第 3-147 図	第 3-155 図	第 3-163 図
			2.0	第 3-148 図	第 3-156 図	第 3-164 図
			2.5	第 3-149 図	第 3-157 図	第 3-165 図
			3.0	第 3-150 図	第 3-158 図	第 3-166 図
			4.0	第 3-151 図	第 3-159 図	第 3-167 図
			5.0	第 3-152 図	第 3-160 図	第 3-168 図

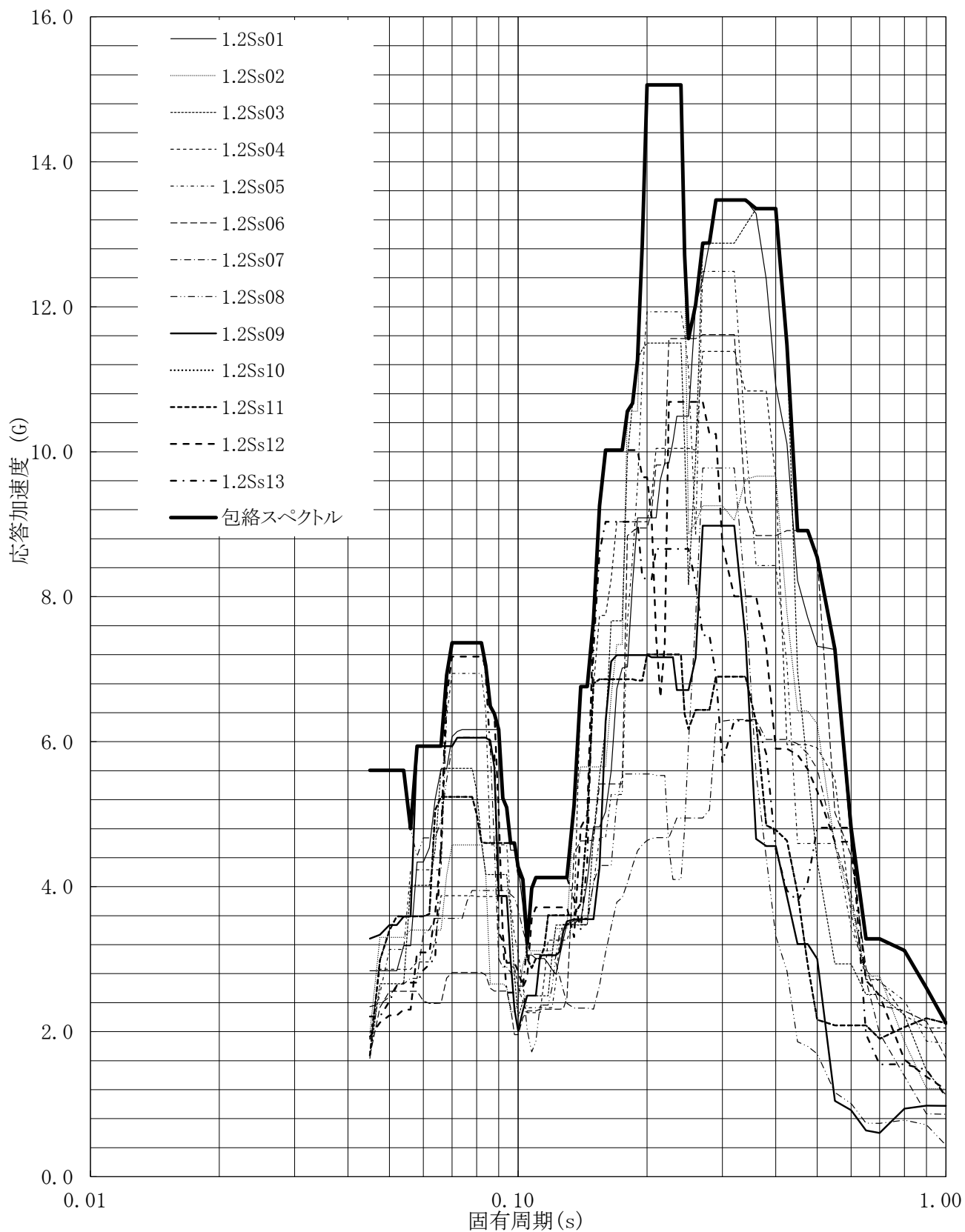
第3-2表 最大床応答加速度の1.2倍

建物・構築物	質点番号	T. M. S. L. (m)	最大床応答加速度の 1.2 倍 (G) *		
			1.2 S s		
			NS 方向	EW 方向	UD 方向
燃料加工建屋	1	77.50	1.84	1.80	0.90
	2	70.20	1.70	1.67	0.84
	3	62.80	1.51	1.52	0.78
	4	56.80	1.56	1.42	0.73
	5	50.30	1.60	1.53	0.71
	6	43.20	1.33	1.31	0.68
	7	35.00	1.19	1.24	0.65

注記 * : Gは重力加速度(1G=9.80665m/s²)

床応答曲線

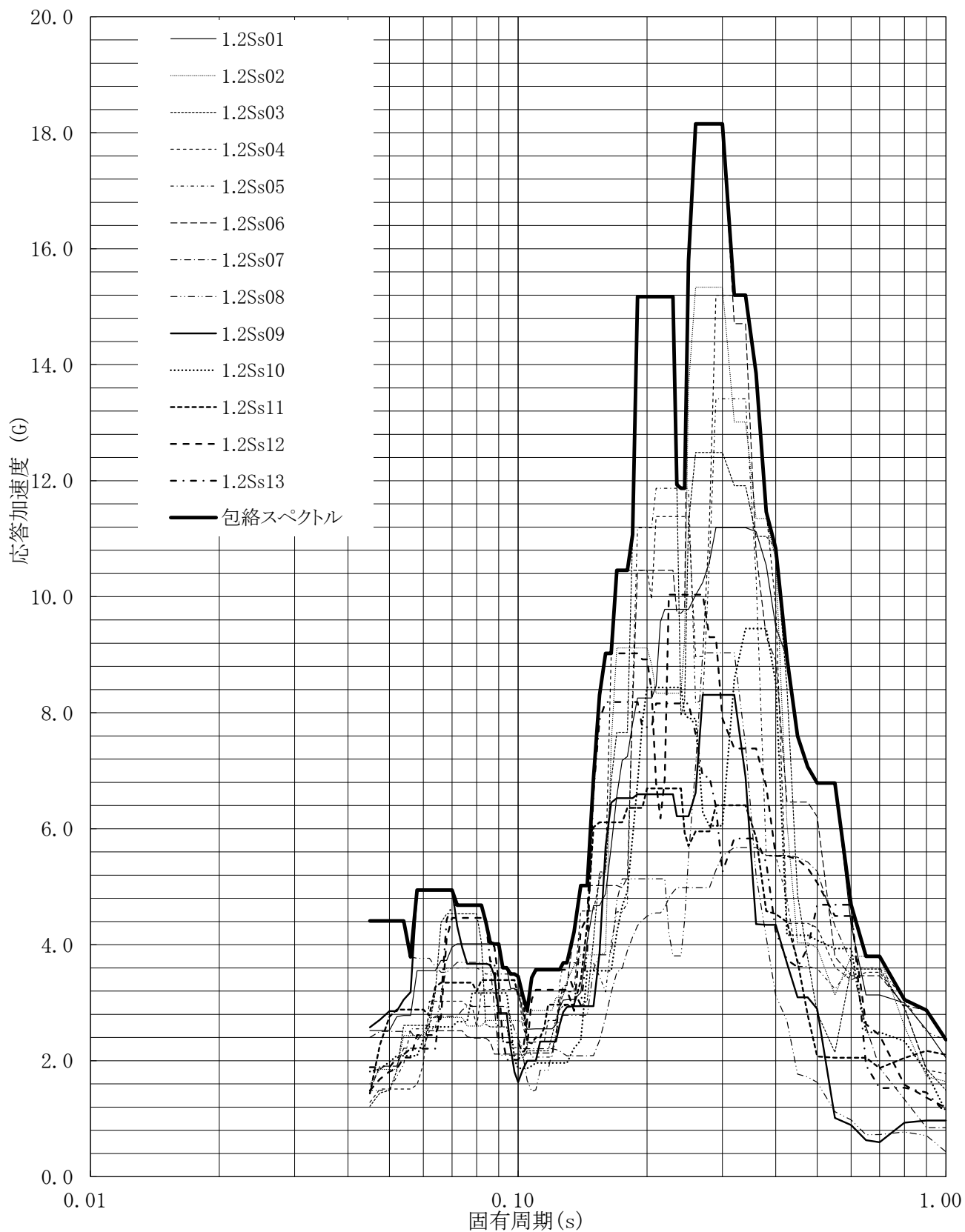
建屋名: 燃料加工建屋
地震波名: 包絡スペクトル
方向: NS
床レベル: 77.50 (m)
減衰定数: 0.5 (%)



第3-1図 床応答曲線

床応答曲線

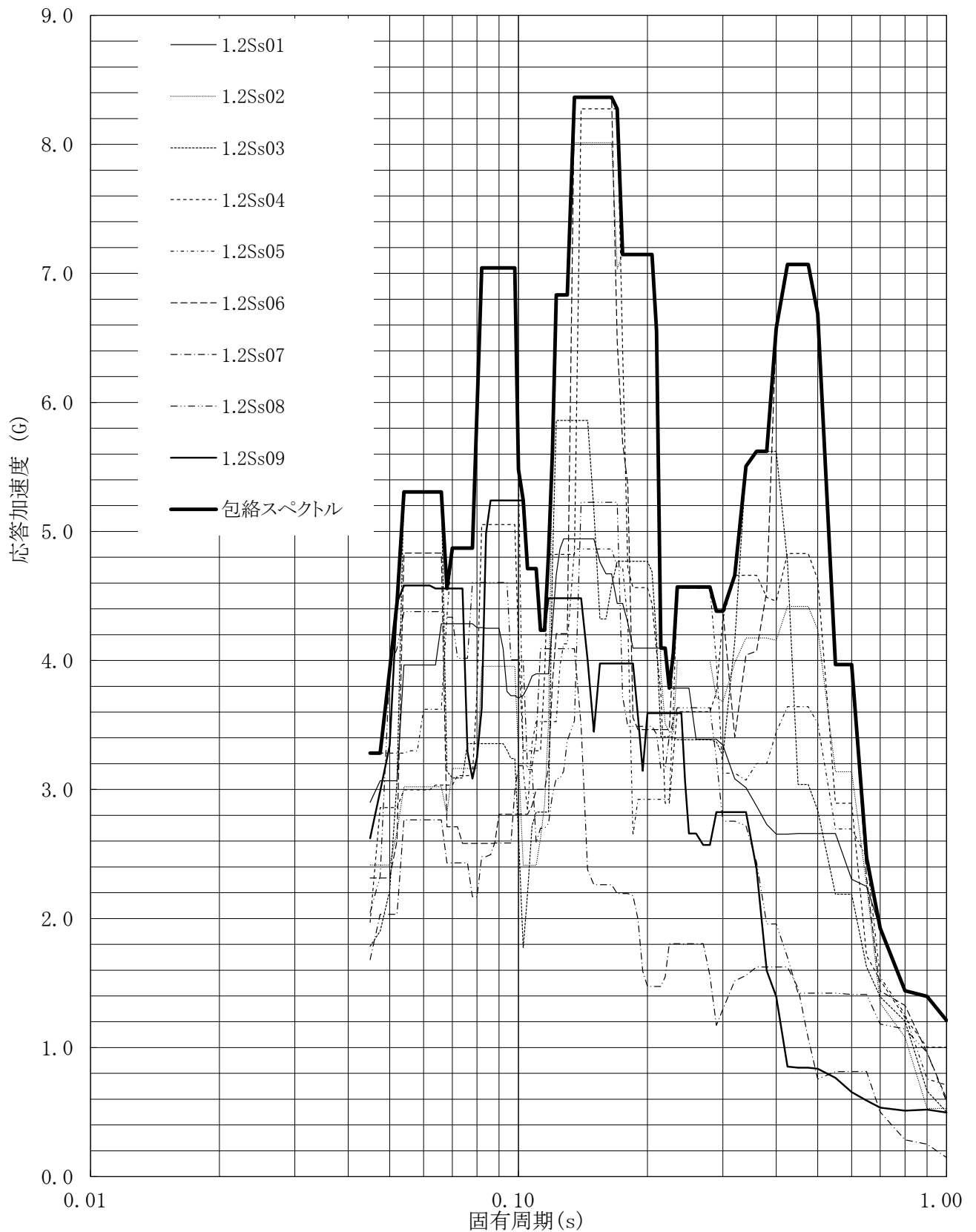
建屋名: 燃料加工建屋
 地震波名: 包絡スペクトル
 方向: EW
 床レベル: 77.50 (m)
 減衰定数: 0.5 (%)



第3-9図 床応答曲線

床応答曲線

建屋名: 燃料加工建屋
地震波名: 包絡スペクトル
方向: UD
床レベル: 77.50 (m)
減衰定数: 0.5 (%)



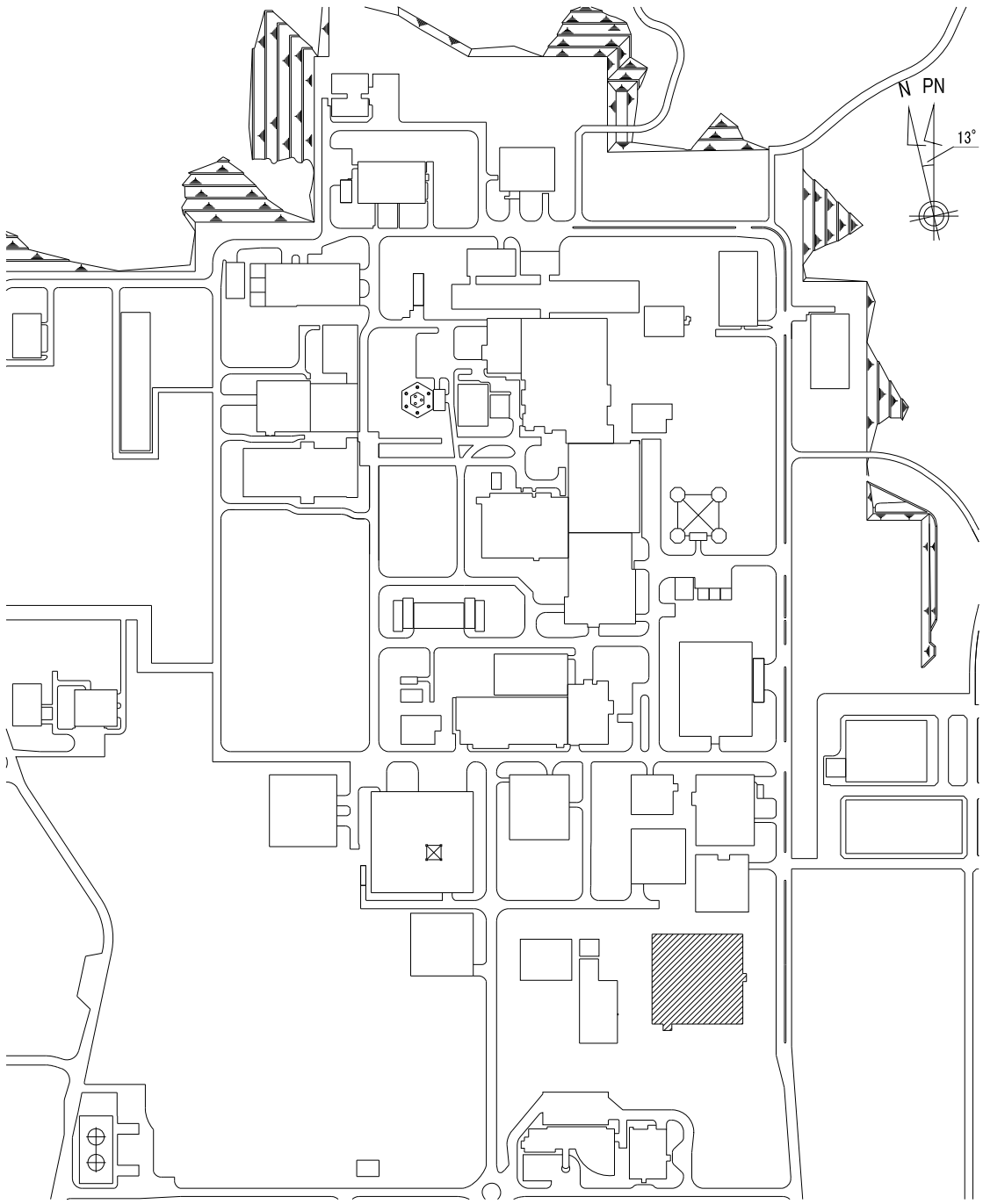
第3-17図 床応答曲線

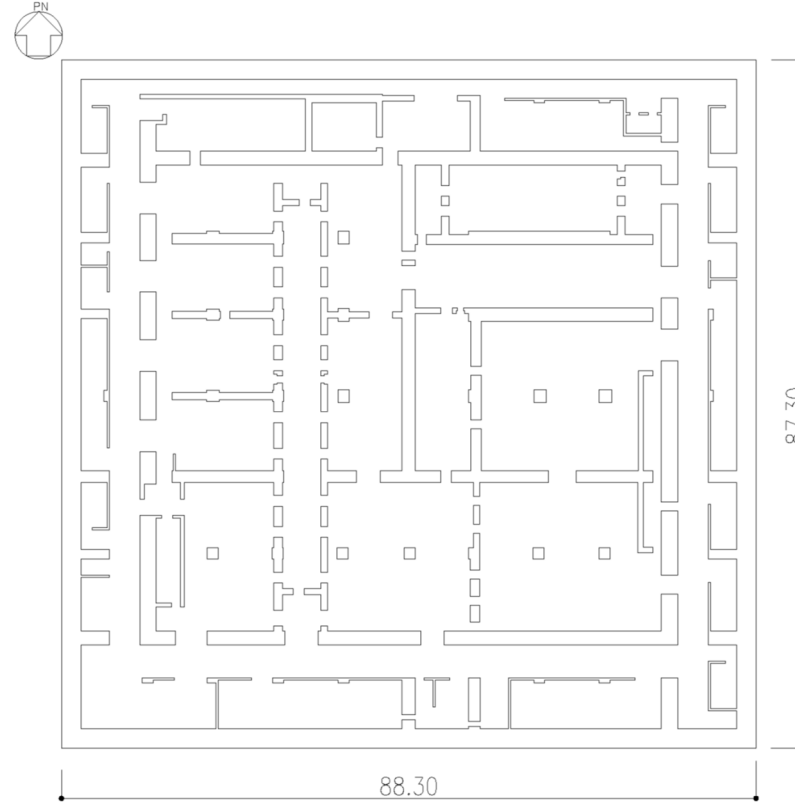
別紙4－16

燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書

本添付書類は、別で定める方針に沿った評価・計算を示す書類であり、結果を示すものであることから、発電炉との比較は行わない。

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>1. 概要</p> <p>本資料は、「Ⅴ-1-1-4-4 地震を起因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」及び「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」に基づく燃料加工建屋の重大事故等対処の成立性確認における地震応答解析について説明するものである。</p> <p>燃料加工建屋の重大事故等対処の成立性確認にあたっては、基準地震動S_sを1.2倍した地震力を用いた地震応答解析を実施する。地震応答解析により算出した応答値は重大事故等対処施設に関する評価用地震力として用いる。</p>	<p>1. 概要</p> <p>本資料は、「Ⅲ-1-1 耐震設計の基本方針」、「Ⅲ-1-1-2 地盤の支持性能に係る基本方針」及び「Ⅲ-1-1-5 地震応答解析の基本方針」に基づく燃料加工建屋の地震応答解析について説明するものである。</p> <p>地震応答解析により算出した各種応答値及び静的地震力は、「Ⅲ-1-1-8 機能維持の基本方針」に示す建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力として用いる。また、必要保有水平耐力については建物・構築物の構造強度の確認に用いる。</p>	<p>【備考における計算書呼び名の定義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ-6-2-1-1-1-1 : 「1.2×S_s 計算書」 ・Ⅲ-2-1-1-1-1-1 : 「1.0×S_s 計算書」 <p>計算書内容に即した概要の記載の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>2. 基本方針</p> <p>2.1 位置及び構造概要</p> <p>燃料加工建屋の設置位置、構造概要については、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」に示すとおりである。</p>	<p>2. 基本方針</p> <p>2.1 位置</p> <p>燃料加工建屋の設置位置を第2.1-1図に示す。</p>  <p style="text-align: center;">第2.1-1図 燃料加工建屋の設置位置</p>	<p>燃料加工建屋の設置位置及び構造概要については両計算書で共通であるため、1.2×Ss計算書では省略。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>2.2 構造概要 本建屋は、地下3階、地上2階建てで、主体構造は鉄筋コンクリート造である。平面規模は主要部分で87.30m(NS)×88.30m(EW)であり、建屋の高さは基礎スラブ下端から45.97mである。 本建屋の主要耐震要素は、鉄筋コンクリート造の外壁及び一部の内壁である。また、基礎スラブはマンメイドロックを介して岩盤に設置されている。 燃料加工建屋の概略平面図を第2.2-1図～第2.2-7図に、概略断面図を第2.2-8図に示す。</p>  <p style="text-align: right;">(単位：m)</p> <p style="text-align: center;">注記：建屋寸法は、壁外面押えとする。</p> <p>第2.2-1図 概略平面図 (T.M.S.L. 35.00m) 第2.2-2図 概略平面図 (T.M.S.L. 43.20m) 第2.2-3図 概略平面図 (T.M.S.L. 50.30m) 第2.2-4図 概略平面図 (T.M.S.L. 56.80m) 第2.2-5図 概略平面図 (T.M.S.L. 62.80m) 第2.2-6図 概略平面図 (T.M.S.L. 70.20m) 第2.2-8図 概略断面図</p>	<p>前頁に同じ</p> <p>1.0×Ss 計算書において、第2.2-1図と同様に他フロアの平面図及び断面図が添付されるものであるため、本比較表上は省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>2.2 解析方針</p> <p>「V-1-1-4-4 地震を起因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に示す重大事故等対処に係る設備及び建物・構築物の設計用地震力を設定するにあたり、燃料加工建屋の地震応答解析を実施する。</p> <p>燃料加工建屋の地震応答解析は、「V-1-1-4-4 地震を起因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づき、「Ⅲ-1-1-5 地震応答解析の基本方針」に示す内容を踏襲して実施することから、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」に示した方法と同じ方法に基づいて行う。設計用地震力算定のため実施する地震応答解析については、「3. 解析方法」に示す解析モデル、入力地震動及び解析方法により実施し、その結果を「4. 解析結果」に示す。</p> <p>第2.2-1図に設計用地震力算定の評価フローを示す。</p>	<p>2.3 解析方針</p> <p>「Ⅲ-1-1-8 機能維持の基本方針」に示す建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力を設定するにあたり、「Ⅲ-1-1 耐震設計の基本方針」に基づき、燃料加工建屋における動的地震力、静的地震力及び必要保有水平耐力を算定する。</p> <p>動的地震力は地震応答解析により算定することとし、解析モデル、入力地震動及び解析方法については「Ⅲ-1-1-5 地震応答解析の基本方針」に基づき設定する。動的地震力算定のため実施する地震応答解析については、「3. 解析方法」に示す解析モデル、入力地震動及び解析方法により実施し、その結果を「4. 解析結果」に示す。</p> <p>静的地震力及び必要保有水平耐力については、「3. 解析方法」に示す解析方法により実施し、その結果を「4. 解析結果」に示す。</p> <p>第2.3-1図に設計用地震力算定フローを示す。</p>	<p>引用する添付書類及び評価項目の違い</p> <p>引用する添付書類及び評価項目の違い</p> <p>静的地震力及び保有水平耐力に係る評価は、1.2×Ss 計算書では評価項目とならない。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>第2.2-1図 設計用地震力算定の評価フロー</p> <p>注記 : []内は本資料における章番号を示す。</p>	<p>第2.3-1図 設計用地震力算定フロー</p> <p>注記 * : 材料物性のばらつきを考慮する。 注記 : []内は本資料における章番号を示す。</p>	<p>設計用地震力の位置付け及びそれに伴う地震応答解析結果の種類の違い</p> <p>1.2×Ss 計算書では静的解析に係る評価はない</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>2.3 準拠規格・基準等 地震応答解析において準拠する規格・基準等を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法・同施行令 ・鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説－許容応力度設計法－ ((社)日本建築学会, 1999) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1987 ((社)日本電気協会) (以下, 「JEAG 4601-1987」という。) ・原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG 4601・補-1984 ((社)日本電気協会) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1991 追補版 ((社)日本電気協会) (以下, 「JEAG 4601-1991 追補版」という。) 	<p>2.4 準拠規格・基準等 地震応答解析において準拠する規格・基準等を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法・同施行令 ・鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説－許容応力度設計法－ ((社)日本建築学会, 1999) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1987 ((社)日本電気協会) (以下, 「JEAG 4601-1987」という。) ・原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG 4601・補-1984 ((社)日本電気協会) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1991 追補版 ((社)日本電気協会) (以下, 「JEAG 4601-1991 追補版」という。) 	<p>相違点無し</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>3. 解析方法</p> <p>3.1 地震応答解析に用いる地震動</p> <p>地震応答解析に用いる地震動については、「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」に基づく解放基盤表面レベルで定義された基準地震動S_sの加速度時刻歴波形の振幅を1.2倍した地震動(以下、「$1.2 \times S_s$」という。)とする。</p> <p>なお、基準地震動$1.2 \times S_s - B1 \sim B5$については、建物・構築物への入力地震動を評価する際に、プラントノース(真北に対し、時計回りに13°の方向)に変換を行う。</p>	<p>3. 解析方法</p> <p>3.1 地震応答解析に用いる地震動</p> <p>地震応答解析に用いる地震動は、「Ⅲ-1-1-1 基準地震動S_s及び弾性設計用地震動S_dの概要」に基づく解放基盤表面レベルで定義された基準地震動S_s及び弾性設計用地震動S_dとする。</p> <p>なお、基準地震動$S_s - B1 \sim B5$及び弾性設計用地震動$S_d - B1 \sim B5$については、建物・構築物への入力地震動を評価する際に、プラントノース(真北に対し、時計回りに13°の方向)に変換を行う。</p>	<p>考慮する地震動、引用する添付書類の違い</p>

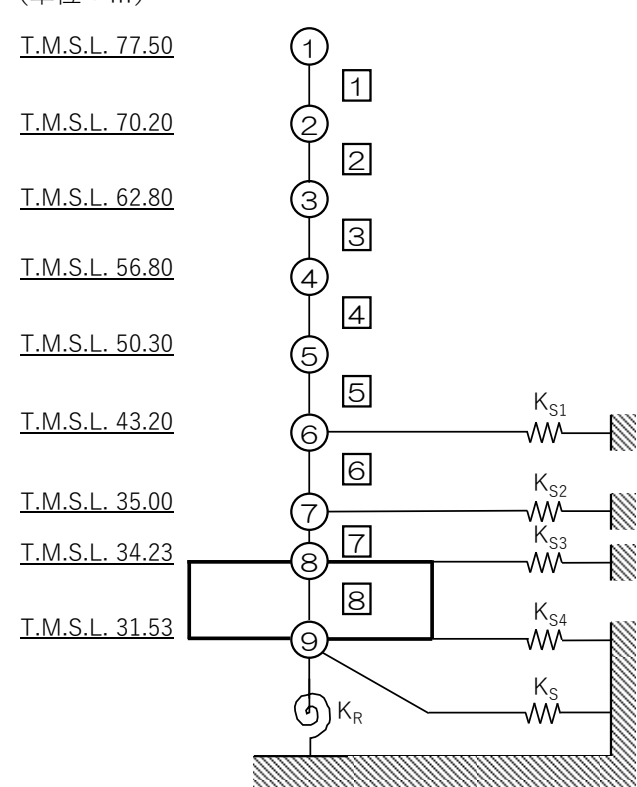
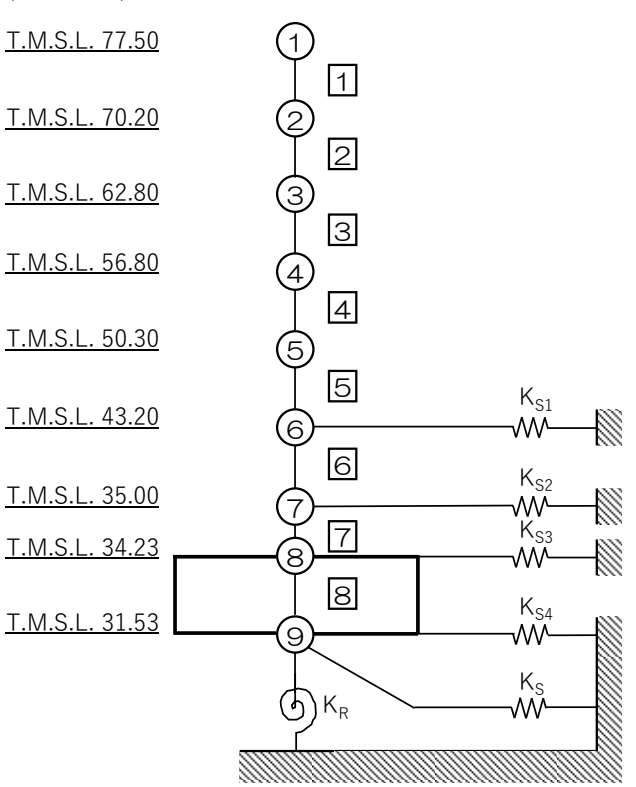
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考										
<p>3.2 地震応答解析モデル 地震応答解析モデルは、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」と同じく、水平方向及び鉛直方向それぞれについて設定する。また、地震応答解析モデルの設定に用いた使用材料の物性値は「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」に示す値を用いる。</p>	<p>3.2 地震応答解析モデル 地震応答解析モデルは、「Ⅲ-1-1-5 地震応答解析の基本方針」に基づき、水平方向及び鉛直方向それぞれについて設定する。地震応答解析モデルの設定に用いた使用材料の物性値を第3.2-1表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第3.2-1表 使用材料の物性値</p> <table border="1" data-bbox="1359 493 2510 768"> <thead> <tr> <th>使用材料</th> <th>ヤング係数 E (N/mm²)</th> <th>せん断 弾性係数 G (N/mm²)</th> <th>減衰定数 h (%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート コンクリート： F_c=30(N/mm²) 鉄筋：SD345, SD390</td> <td>2.44×10⁴</td> <td>1.02×10⁴</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	使用材料	ヤング係数 E (N/mm ²)	せん断 弾性係数 G (N/mm ²)	減衰定数 h (%)	備考	鉄筋コンクリート コンクリート： F _c =30(N/mm ²) 鉄筋：SD345, SD390	2.44×10 ⁴	1.02×10 ⁴	3	—	<p>引用する添付書類の違い</p> <p>使用材料の物性値は両計算書で共通であるため1.2×S_s計算書では省略。</p>
使用材料	ヤング係数 E (N/mm ²)	せん断 弾性係数 G (N/mm ²)	減衰定数 h (%)	備考								
鉄筋コンクリート コンクリート： F _c =30(N/mm ²) 鉄筋：SD345, SD390	2.44×10 ⁴	1.02×10 ⁴	3	—								

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>3.2.1 水平方向モデル</p> <p>水平方向の地震応答解析モデルは、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」に示す質点系モデル及び地盤物性を用いる。水平方向の地震応答解析モデルを第3.2.1-1図、解析モデルの諸元を第3.2.1-1表及び第3.2.1-2表に示す。</p> <p>また、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」と同様に、「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC 4601-2008 (社)日本電気協会」の基礎浮上りの評価法を参考に、応答のレベルに応じて異なる地震応答解析モデルを用いることとする。1.2×S_s-C1については、水平加振により励起される鉛直応答を評価するために、第3.2.1-2図に示す鉛直方向モデルの諸元及び接地率に応じて変化する回転・鉛直連成ばねK_{VR}を設定した誘発上下動を考慮するモデルを用いる。</p> <p>入力地震動の算定に用いる地盤物性は、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」と同様に、ひずみ依存特性を考慮した等価線形解析に基づく等価物性値を用いる。</p> <p>ひずみ依存特性を考慮した地盤の等価線形解析による有効せん断ひずみ分布を第3.2.1-3図に示す。また、地盤の等価線形解析で得られる等価物性値に基づき設定した地盤定数を第3.2.1-3表～第3.2.1-12表に示す。地盤ばね定数及び減衰係数を第3.2.1-13表～第3.2.1-22表に示す。</p> <p>燃料加工建屋の地盤の等価線形解析にあたっては、地盤のひずみの大きさに応じた解析手法の適用性に留意し、「別紙1 燃料加工建屋における地盤の非線形性に関する確認」に示すとおり、表層地盤のうち、造成盛土の一部の層において、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ1%を大きく上回る場合があることを踏まえて、地盤の非線形特性を時々刻々と評価可能な逐次非線形解析を実施し、解析手法の相違が入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認した。</p> <p>また、地盤の有効せん断ひずみが1%を大きく上回り、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果の外挿範囲となっていることを踏まえて、当該範囲における非線形特性のパラメータスタディを実施しても、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認した。</p>	<p>3.2.1 水平方向モデル</p> <p>水平方向の地震応答解析モデルは、建屋と地盤の相互作用を考慮した建屋-地盤連成モデルとし、曲げ及びせん断剛性を考慮した質点系モデルを用いる。地震応答解析は弾塑性時刻歴応答解析により行う。また、第3.2.1-1図に示すとおり、「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC 4601-2008 (社)日本電気協会」の基礎浮上りの評価法を参考に、応答のレベルに応じて異なる地震応答解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを第3.2.1-2図、解析モデルの諸元を第3.2.1-1表及び第3.2.1-2表に示す。</p> <p>建屋の鉄筋コンクリート部については、せん断剛性として地震方向耐震壁のウェブ部分のせん断剛性を考慮し、曲げ剛性として地震方向耐震壁のウェブ部分に加えて、フランジ部分の曲げ剛性を考慮する。また、復元力特性は、建屋の方向別に、層を単位とした水平断面形状より「JEAG 4601-1991 追補版」に基づき設定する。</p> <p>地盤は、地盤調査に基づき水平成層地盤とし、第3.2.1-2図に示すモデルに用いる基礎底面地盤ばねについては、「JEAG 4601-1991 追補版」により、成層補正を行ったのち、振動アドミタンス理論に基づき求めたスウェイ及びロッキングの地盤ばねを、近似法により定数化して用いる。このうち、基礎底面のロッキング地盤ばねには、基礎浮上りによる幾何学的非線形性を考慮する。基礎底面地盤ばねの評価には解析コード「ST-CROSS Ver.1.0」を用いる。また、埋込み部分の建屋側面地盤ばねについては、建屋側面位置の地盤定数を用いて、「JEAG 4601-1991 追補版」により、Novakの手法*に基づき求めた水平ばねを、基礎底面地盤ばねと同様に、近似法により定数化して用いる。なお、地盤表層部のうち造成盛土については、基準地震動S_sによる地盤応答レベルを踏まえ、表層部では建屋-地盤相互作用が見込めないと判断し、基準地震動S_s及び弾性設計用地震動S_dの地震応答解析においては、この部分の側面地盤ばねは考慮しない。建屋側面地盤ばねの評価には、解析コード「NOVAK Ver.1.0」を用いる。なお、地盤定数については、ひずみ依存特性を考慮して求めた等価物性値を用いる。</p> <p>燃料加工建屋の地盤条件の設定にあたっては、敷地全体の地下構造との関係や建屋近傍位置での地質・速度構造を踏まえ、建屋近傍の地盤調査結果を重視して燃料加工建屋の直下又は近傍のボーリング調査結果に基づき設定した地盤の物性値を用いる。「Ⅲ-1-1-2 地盤の支持性能に係る基本方針」に基づく地盤の初期物性値を第3.2.1-3表に、ひずみ依存特性を第3.2.1-3図～第3.2.1-7図に示す。基準地震動S_s及び弾性設計用地震動S_dに対して、ひずみ依存特性を考慮した地盤の等価線形解析による有効せん断ひずみ分布を第3.2.1-8図及び第3.2.1-9図に、地盤の等価線形解析で得られる等価物性値に基づき設定した地盤定数を第3.2.1-4表～第3.2.1-23表に示す。また、地盤ばねの定数化の概要を第3.2.1-10図に、地盤ばね定数及び減衰係数を第3.2.1-24表～第3.2.1-43表に示す。</p> <p>燃料加工建屋の地盤の等価線形解析にあたっては、地盤のひずみの大きさに応じた解析手法の適用性に留意し、「別紙1 燃料加工建屋の地盤の非線形性に関する確認」に示すとおり、表層地盤のうち、造成盛土の一部の層において、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ1%を大きく上回る場合があることを踏まえて、地盤の非線形特性を時々刻々と評価可能な逐次非線形解析を実施し、解析手法の相違が入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認した。</p> <p>また、地盤の有効せん断ひずみが1%を大きく上回り、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果の外挿範囲となっていることを踏まえて、当該範囲における非線形特性のパラメータスタディを実施しても、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認した。</p> <p>なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、「Ⅲ-3 計算機プログラム</p>	<p>地震応答解析モデル及び地盤ばねの設定は両計算書で共通であるため1.2×S_s計算書では1.0×S_s計算書を引用し、以下の詳細な説明については省略。</p> <p>入力地震動の算定に用いる地盤物性は両計算書で共通であるため1.2×S_s計算書では1.0×S_s計算書を引用。地盤の有効せん断ひずみ及び等価物性値に基づく地盤定数は地震波に応じて変わるため1.2×S_s計算書にも記載。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>ラム（解析コード）の概要」に示す。 注記 * : Novak, M. et al. : Dynamic Soil Reactions for Plane Strain Case, The Journal of the Engineering Mechanics Division, ASCE, 1978.</p>	

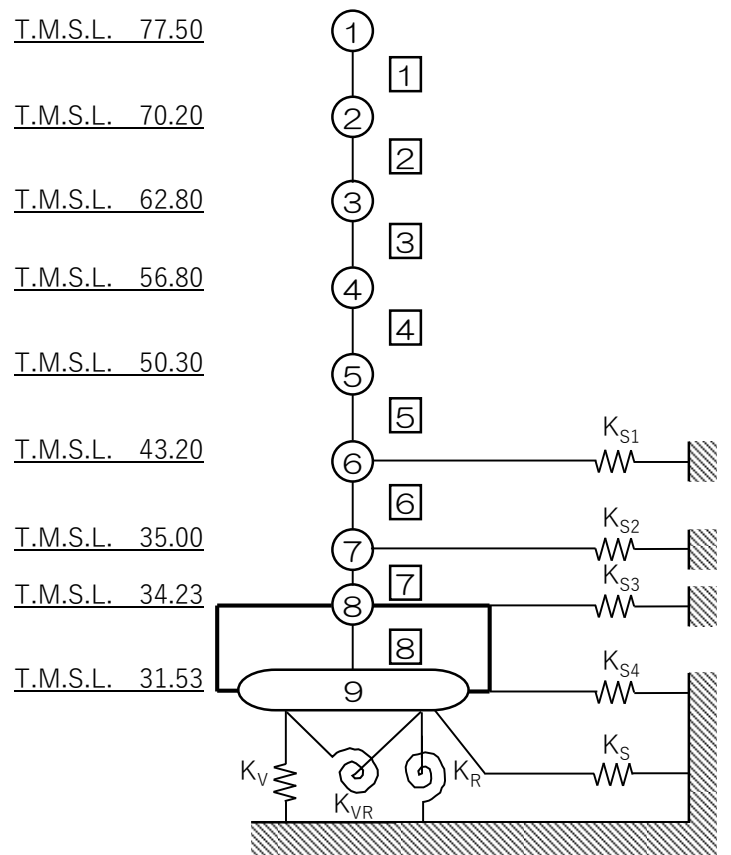
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<pre> graph TD Start([START]) --> Select{解析法の選択} Select --> Nonlinear{地盤の回転ばねに 浮上り非線形を考慮 した非線形地震応答解析} Nonlinear -- Yes --> SRModel[地盤の回転ばねに 浮上り非線形を考慮した SR (スウェイ・ロッキング) モデル] Nonlinear -- No --> Uplift{誘発上下動を考慮できる 浮上り非線形地震応答解析} Uplift --> Contact{接地率 ≥ 50%} Contact -- Yes --> SRUplift[誘発上下動考慮のSRモデル] Contact -- No --> FEM[ジョイント要素を考慮した 地盤3次元FEMモデル] Select --> FEM </pre> <p>(以下、「基礎浮上り非線形モデル」という。)</p> <p>(以下、「誘発上下動を考慮するモデル」という。)</p> <p>(以下、「地盤3次元FEMモデル」という。)</p>	<p>1.0×Ss 計算書と同様のフローであるため、1.2×Ss 計算書では省略。</p>

第3.2.1-1 図 解析モデル選定フロー

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>(単位：m)</p> <p>T.M.S.L. 77.50</p> <p>T.M.S.L. 70.20</p> <p>T.M.S.L. 62.80</p> <p>T.M.S.L. 56.80</p> <p>T.M.S.L. 50.30</p> <p>T.M.S.L. 43.20</p> <p>T.M.S.L. 35.00</p> <p>T.M.S.L. 34.23</p> <p>T.M.S.L. 31.53</p>  <p>注記 1：○数字は質点番号を示す。 2：□数字は要素番号を示す。 3：K_{S1}～K_{S4}は側面スウェイばねを示す。 4：K_Sは底面スウェイばねを示す。 5：K_Rは底面ロックングばねを示す。</p> <p>第3.2.1-1 図 地震応答解析モデル (水平方向)</p>	<p>(単位：m)</p> <p>T.M.S.L. 77.50</p> <p>T.M.S.L. 70.20</p> <p>T.M.S.L. 62.80</p> <p>T.M.S.L. 56.80</p> <p>T.M.S.L. 50.30</p> <p>T.M.S.L. 43.20</p> <p>T.M.S.L. 35.00</p> <p>T.M.S.L. 34.23</p> <p>T.M.S.L. 31.53</p>  <p>注記 1：○数字は質点番号を示す。 2：□数字は要素番号を示す。 3：K_{S1}～K_{S4}は側面スウェイばねを示す。 4：K_Sは底面スウェイばねを示す。 5：K_Rは底面ロックングばねを示す。</p> <p>第3.2.1-2 図 地震応答解析モデル (水平方向)</p>	<p>地震応答解析モデルは両計算書で共通であるが、解析における基本的な情報であり、解析結果において参照する質点番号及び要素番号の定義が記載される図のため1.2×S_s計算書と1.0×S_s計算書で同じ図を記載。</p>

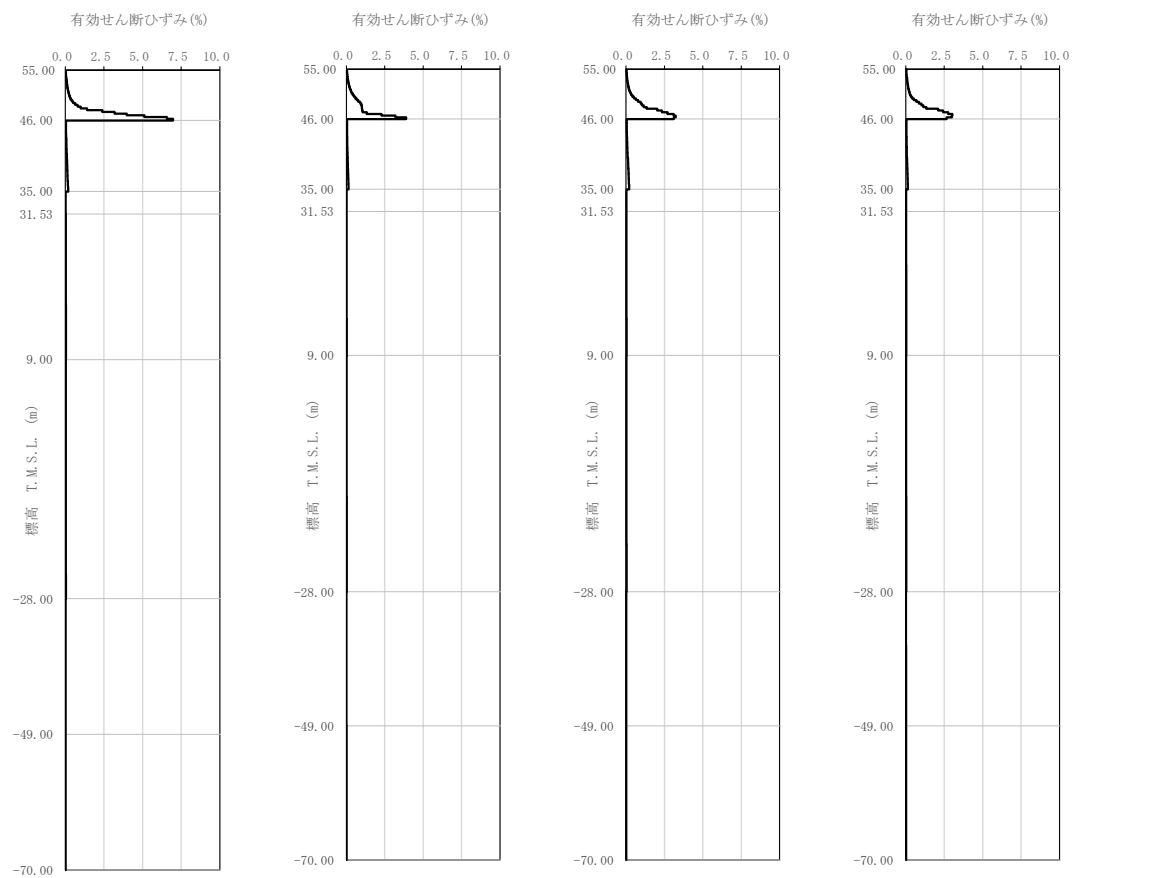
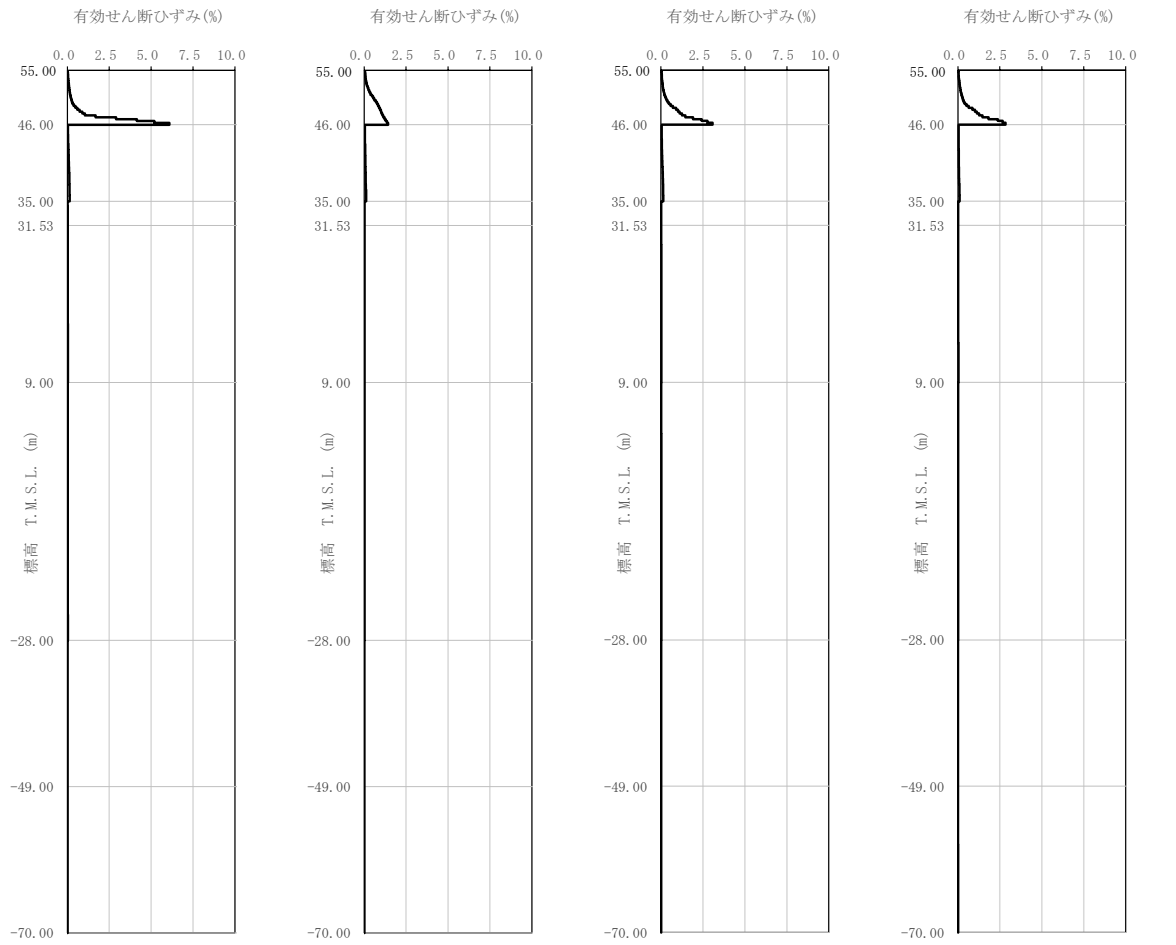
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」								添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」								備考
第3.2.1-1表 地震応答解析モデル諸元 (NS方向)								第3.2.1-1表 地震応答解析モデル諸元 (NS方向)								前頁に同じ
質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	回転慣性 重量 I _g (×10 ⁶ kN・m ²)	要素 番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	断面二次 モーメント I (×10 ⁴ m ⁴)	せん断 断面積 A _s (m ²)	質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	回転慣性 重量 I _g (×10 ⁶ kN・m ²)	要素 番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	断面二次 モーメント I (×10 ⁴ m ⁴)	せん断 断面積 A _s (m ²)	
①	77.50	174000	17.9	①	77.50~70.20	2.06	133.3	①	77.50	174000	17.9	①	77.50~70.20	2.06	133.3	
②	70.20	329000	209.0	②	70.20~62.80	29.12	362.5	②	70.20	329000	209.0	②	70.20~62.80	29.12	362.5	
③	62.80	385000	244.7	③	62.80~56.80	30.27	474.4	③	62.80	385000	244.7	③	62.80~56.80	30.27	474.4	
④	56.80	429000	272.7	④	56.80~50.30	37.63	640.5	④	56.80	429000	272.7	④	56.80~50.30	37.63	640.5	
⑤	50.30	492000	312.8	⑤	50.30~43.20	45.79	749.8	⑤	50.30	492000	312.8	⑤	50.30~43.20	45.79	749.8	
⑥	43.20	530000	337.0	⑥	43.20~35.00	49.22	876.1	⑥	43.20	530000	337.0	⑥	43.20~35.00	49.22	876.1	
⑦	35.00	386000	245.3	⑦	35.00~34.23	230.69	2956.9	⑦	35.00	386000	245.3	⑦	35.00~34.23	230.69	2956.9	
⑧	34.23	277000	176.0	⑧	34.23~31.53	489.58	7708.6	⑧	34.23	277000	176.0	⑧	34.23~31.53	489.58	7708.6	
⑨	31.53	280000	177.9	—	—	—	—	⑨	31.53	280000	177.9	—	—	—	—	
建屋総重量		3282000	—	—	—	—	—	建屋総重量		3282000	—	—	—	—	—	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」								添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」								備考
第3.2.1-2表 地震応答解析モデル諸元 (EW方向)								第3.2.1-2表 地震応答解析モデル諸元 (EW方向)								前頁に同じ
質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	回転慣性 重量 I _g (×10 ⁶ kN・m ²)	要素 番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	断面二次 モーメント I (×10 ⁴ m ⁴)	せん断 断面積 A _s (m ²)	質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	回転慣性 重量 I _g (×10 ⁶ kN・m ²)	要素 番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	断面二次 モーメント I (×10 ⁴ m ⁴)	せん断 断面積 A _s (m ²)	
①	77.50	174000	113.1	①	77.50~70.20	20.63	300.1	①	77.50	174000	113.1	①	77.50~70.20	20.63	300.1	
②	70.20	329000	213.9	②	70.20~62.80	40.32	415.6	②	70.20	329000	213.9	②	70.20~62.80	40.32	415.6	
③	62.80	385000	250.3	③	62.80~56.80	39.93	522.9	③	62.80	385000	250.3	③	62.80~56.80	39.93	522.9	
④	56.80	429000	278.9	④	56.80~50.30	46.57	633.2	④	56.80	429000	278.9	④	56.80~50.30	46.57	633.2	
⑤	50.30	492000	320.0	⑤	50.30~43.20	50.51	791.3	⑤	50.30	492000	320.0	⑤	50.30~43.20	50.51	791.3	
⑥	43.20	530000	344.7	⑥	43.20~35.00	57.14	975.9	⑥	43.20	530000	344.7	⑥	43.20~35.00	57.14	975.9	
⑦	35.00	386000	250.9	⑦	35.00~34.23	354.92	3852.8	⑦	35.00	386000	250.9	⑦	35.00~34.23	354.92	3852.8	
⑧	34.23	277000	180.0	⑧	34.23~31.53	500.86	7708.6	⑧	34.23	277000	180.0	⑧	34.23~31.53	500.86	7708.6	
⑨	31.53	280000	182.0	—	—	—	—	⑨	31.53	280000	182.0	—	—	—	—	
建屋総重量		3282000	—	—	—	—	—	建屋総重量		3282000	—	—	—	—	—	

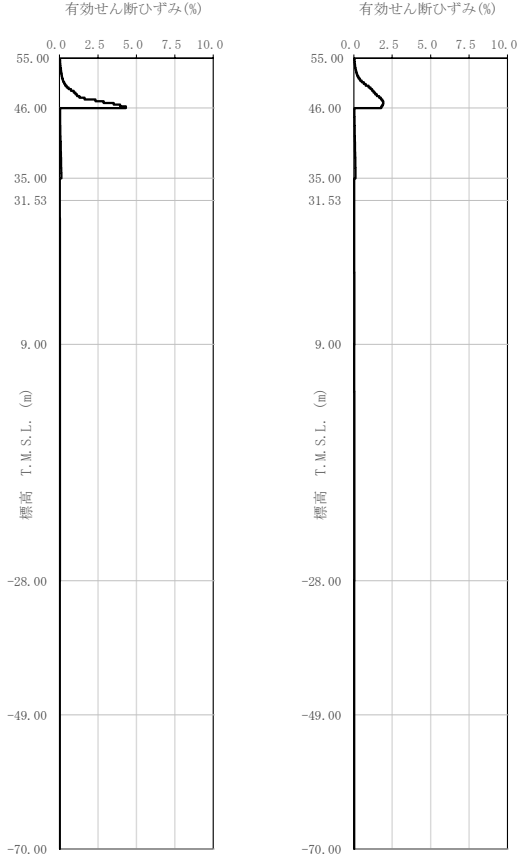
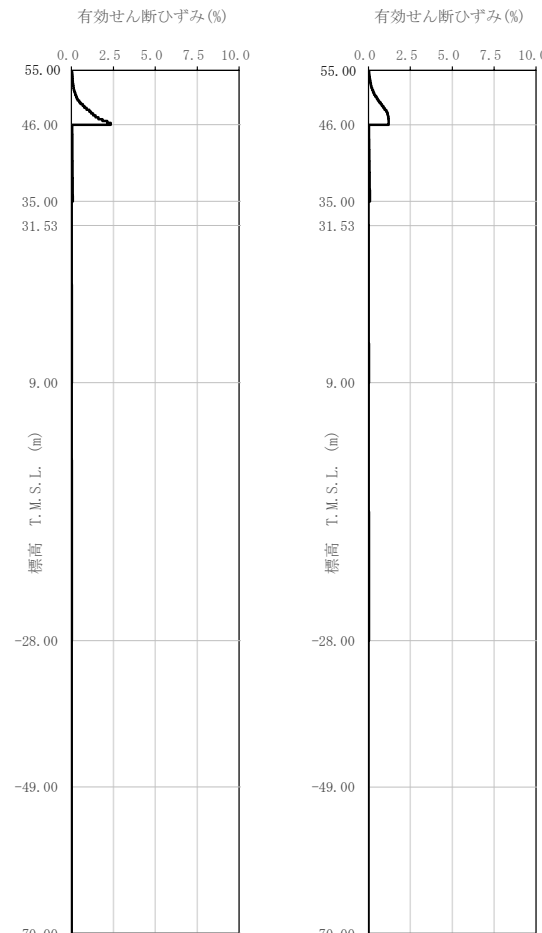
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>(単位：m)</p> <p>T.M.S.L. 77.50</p> <p>T.M.S.L. 70.20</p> <p>T.M.S.L. 62.80</p> <p>T.M.S.L. 56.80</p> <p>T.M.S.L. 50.30</p> <p>T.M.S.L. 43.20</p> <p>T.M.S.L. 35.00</p> <p>T.M.S.L. 34.23</p> <p>T.M.S.L. 31.53</p>  <p>注記 1：○数字は質点番号を示す。 2：□数字は要素番号を示す。 3：$K_{S1} \sim K_{S4}$ は側面スウェイばねを示す。 4：K_S は底面スウェイばねを示す。 5：K_R は底面ロッキングばねを示す。 6：K_V は底面鉛直ばねを示す。 7：K_{VR} は回転・鉛直連成ばねを示す。</p> <p>第3.2.1-2図 水平方向モデル (誘発上下動を考慮するモデル)</p>		<p>誘発上下動を考慮するモデルは、$1.2 \times S_s$ 計算書のみで用いる。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																															
	<p style="text-align: center;">第3.2.1-3表 地盤の初期物性値</p> <table border="1" data-bbox="1359 321 2410 772"> <thead> <tr> <th>標高 T.M.S.L. (m)</th> <th>岩種</th> <th>単位体積重量 γ_t (kN/m³)</th> <th>S波速度 V_s (m/s)</th> <th>P波速度 V_p (m/s)</th> <th>剛性低下率 $G/G_0-\gamma$</th> <th>減衰定数 $h-\gamma$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽地表面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>55.0</td> <td>造成盛土</td> <td>15.7</td> <td>160</td> <td>580</td> <td></td> <td>*1</td> </tr> <tr> <td>46.0</td> <td>六ヶ所層</td> <td>16.5</td> <td>320</td> <td>980</td> <td></td> <td>*2</td> </tr> <tr> <td>35.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>▽基礎スラブ底面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td rowspan="2">軽石凝灰岩</td> <td>15.3</td> <td>660</td> <td>1860</td> <td></td> <td rowspan="2">*3</td> </tr> <tr> <td>9.0</td> <td>15.6</td> <td>810</td> <td>1920</td> <td></td> </tr> <tr> <td>-28.0</td> <td>軽石質砂岩</td> <td rowspan="2">18.2</td> <td rowspan="2">1090</td> <td rowspan="2">2260</td> <td></td> <td>*4</td> </tr> <tr> <td>-49.0</td> <td>細粒砂岩</td> <td></td> <td>*5</td> </tr> <tr> <td>▽解放基盤表面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-70.0</td> <td>細粒砂岩</td> <td>18.2</td> <td>1090</td> <td>2260</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第3.2.1-3 図に示す造成盛土のひずみ依存特性を設定する。 *2: 第3.2.1-4 図に示す六ヶ所層のひずみ依存特性を設定する。 *3: 第3.2.1-5 図に示す軽石凝灰岩のひずみ依存特性を設定する。 *4: 第3.2.1-6 図に示す軽石質砂岩のひずみ依存特性を設定する。 *5: 第3.2.1-7 図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。</p>	標高 T.M.S.L. (m)	岩種	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	S波速度 V_s (m/s)	P波速度 V_p (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$	▽地表面							55.0	造成盛土	15.7	160	580		*1	46.0	六ヶ所層	16.5	320	980		*2	35.0							▽基礎スラブ底面							31.53	軽石凝灰岩	15.3	660	1860		*3	9.0	15.6	810	1920		-28.0	軽石質砂岩	18.2	1090	2260		*4	-49.0	細粒砂岩		*5	▽解放基盤表面							-70.0	細粒砂岩	18.2	1090	2260		-	<p>両計算書で共通であるため1.2×Ss 計算書では省略。</p>
標高 T.M.S.L. (m)	岩種	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	S波速度 V_s (m/s)	P波速度 V_p (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$																																																																											
▽地表面																																																																																	
55.0	造成盛土	15.7	160	580		*1																																																																											
46.0	六ヶ所層	16.5	320	980		*2																																																																											
35.0																																																																																	
▽基礎スラブ底面																																																																																	
31.53	軽石凝灰岩	15.3	660	1860		*3																																																																											
9.0		15.6	810	1920																																																																													
-28.0	軽石質砂岩	18.2	1090	2260		*4																																																																											
-49.0	細粒砂岩					*5																																																																											
▽解放基盤表面																																																																																	
-70.0	細粒砂岩	18.2	1090	2260		-																																																																											

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<div data-bbox="1528 325 2285 808" data-label="Figure"> <p>正規化せん断弾性係数 G/G_0</p> <p>せん断ひずみ γ (%)</p> <p>(a) 剛性低下率</p> </div> <div data-bbox="1528 850 2285 1354" data-label="Figure"> <p>減衰定数 h (%)</p> <p>せん断ひずみ γ (%)</p> <p>(b) 減衰定数</p> </div> <p>第3.2.1-3図 ひずみ依存特性 (造成盛土)</p> <p>第3.2.1-4図 ひずみ依存特性 (六ヶ所層)</p> <p>第3.2.1-5図 ひずみ依存特性 (軽石凝灰岩)</p> <p>第3.2.1-6図 ひずみ依存特性 (軽石質砂岩)</p> <p>第3.2.1-7図 ひずみ依存特性 (細粒砂岩)</p>	<p>両計算書で共通であるため1.2×Ss計算書では省略。</p> <p>1.0×Ss計算書において、岩種ごとに第3.2.1-3図と同様の図が添付されるものであるため、本比較表上は省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
 <p>(a) $1.2 \times S_s - A$ (b) $1.2 \times S_s - B1$ (c) $1.2 \times S_s - B2$ (d) $1.2 \times S_s - B3$</p> <p>第3.2.1-3図 有効せん断ひずみ分布 ($1.2 \times S_s$) (1/3)</p>	 <p>(a) $S_s - A$ (b) $S_s - B1$ (c) $S_s - B2$ (d) $S_s - B3$</p> <p>第3.2.1-8図 有効せん断ひずみ分布 (S_s) (1/3)</p>	<p>地盤の有効せん断ひずみは地震波に応じて変わるため $1.2 \times S_s$ 計算書にも記載。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>(e) $1.2 \times S_s - B4$ (f) $1.2 \times S_s - B5$ (g) $1.2 \times S_s - C1$ (h) $1.2 \times S_s - C2$</p> <p>第3.2.1-3図 有効せん断ひずみ分布 ($1.2 \times S_s$) (2/3)</p>	<p>(e) $S_s - B4$ (f) $S_s - B5$ (g) $S_s - C1$ (h) $S_s - C2$</p> <p>第3.2.1-8図 有効せん断ひずみ分布 (S_s) (2/3)</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div style="text-align: center;">  <p>(i) $1.2 \times S_s - C3$ (j) $1.2 \times S_s - C4$</p> </div> <p>第3.2.1-3図 有効せん断ひずみ分布 ($1.2 \times S_s$) (3/3)</p>	<div style="text-align: center;">  <p>(i) $S_s - C3$ (j) $S_s - C4$</p> </div> <p>第3.2.1-8図 有効せん断ひずみ分布 (S_s) (3/3)</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>(a) S d - A (b) S d - B 1 (c) S d - B 2 (d) S d - B 3</p> <p>第3.2.1-9図 有効せん断ひずみ分布 (S d) (1/3) 第3.2.1-9図 有効せん断ひずみ分布 (S d) (2/3) 第3.2.1-9図 有効せん断ひずみ分布 (S d) (3/3)</p>	<p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であることから 1.2×Ss 計算書に記載無し</p> <p>1.0×Ss 計算書において、Sd 地震波ごとに同図(1/3)と同様の図が添付されるものであるため、本比較表上は省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」								添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」								備考			
第3.2.1-3表 地盤定数 (1.2×S _s -A)								第3.2.1-4表 地盤定数 (S _s -A)								地盤の等価物性値に基づく地盤定数は地震波に応じて変わるため1.2×S _s 計算書にも記載			
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)		等価 減衰定数 h	ポアソン比	
55.00 53.55 50.30 46.00	造成盛土	1.45	15.7	3.64	151	548	0.03	0.46	55.00 53.55 50.30	造成盛土	1.45	15.7	3.68	152	551		0.02	0.46	
43.20 39.10		六ヶ所層	3.25	15.7	2.26	119	432		0.07		43.20 39.10	六ヶ所層	3.25	15.7	2.39		122		444
35.00 34.23 32.88 31.53			鷹架層	4.30	15.7	0.527	57.4		209		0.14		35.00 34.23 32.88 31.53	鷹架層	4.30	15.7	0.657		64.1
9.00 -28.00 -49.00 -70.00	六ヶ所層	2.80		16.5	11.3	259	791	0.05	9.00 -28.00 -49.00 -70.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.3		259	791	0.05		
		軽石凝灰岩		4.10	16.5	9.13	233	711	0.06			軽石凝灰岩	4.10		16.5	9.06	232	708	0.07
				鷹架層	4.10	16.5	6.97	203	621		0.08				鷹架層	4.10	16.5	7.52	211
		鷹架層	0.77		15.3	62.1	631	1780	0.02			鷹架層	0.77	15.3		62.5	633	1780	0.02
			鷹架層		1.35	15.3	61.9	630	1780		0.02			鷹架層		1.35	15.3	62.4	632
	鷹架層			1.35	15.3	61.6	628	1770	0.02		鷹架層		1.35		15.3	62.2	631	1780	0.02
				鷹架層	22.53	15.3	59.5	618	1740	0.03					鷹架層	22.53	15.3	60.6	623
	鷹架層	37.00	15.6		91.6	759	1800	0.03		鷹架層	37.00	15.6	93.1	765		1820	0.02		
		鷹架層	21.00		18.2	203	1040	2160	0.02			鷹架層	21.00	18.2		206	1050	2180	0.02
			鷹架層	21.00	18.2	207	1050	2180	0.02				鷹架層	21.00	18.2	208	1060	2190	0.02
		鷹架層		—	18.2	221	1090	2260	0.01			鷹架層		—	18.2	221	1090	2260	0.01

第3.2.1-4表 地盤定数 (1.2×S _s -B1)								第3.2.1-5表 地盤定数 (S _s -B1)											
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比		
55.00 53.55 50.30 46.00	造成盛土	1.45	15.7	3.58	150	544	0.03	0.46	55.00 53.55 50.30	造成盛土	1.45	15.7	3.54	149	540	0.03	0.46		
43.20 39.10		六ヶ所層	3.25	15.7	2.00	112	406		0.08		43.20 39.10	六ヶ所層	3.25	15.7	1.81	106		386	0.09
35.00 34.23 32.88 31.53			鷹架層	4.30	15.7	0.458	53.5		194		0.14		35.00 34.23 32.88 31.53	鷹架層	4.30	15.7		0.458	53.5
9.00 -28.00 -49.00 -70.00	六ヶ所層	2.80		16.5	11.5	261	798	0.05	9.00 -28.00 -49.00 -70.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.4		260	795	0.05		
		鷹架層		4.10	16.5	9.75	241	735	0.06			鷹架層	4.10		16.5	10.1	245	748	0.06
				鷹架層	4.10	16.5	7.58	212	648		0.07				鷹架層	4.10	16.5	8.28	222
		鷹架層	0.77		15.3	62.6	633	1790	0.02			鷹架層	0.77	15.3		62.9	635	1790	0.02
			鷹架層		1.35	15.3	62.5	633	1780		0.02			鷹架層		1.35	15.3	62.8	634
	鷹架層			1.35	15.3	62.5	633	1780	0.02		鷹架層		1.35		15.3	62.7	634	1790	0.02
				鷹架層	22.53	15.3	61.6	628	1770	0.02					鷹架層	22.53	15.3	62.0	630
	鷹架層	37.00	15.6		94.5	771	1830	0.02		鷹架層	37.00	15.6	95.6	775		1840	0.02		
		鷹架層	21.00		18.2	209	1060	2200	0.02			鷹架層	21.00	18.2		211	1070	2210	0.01
			鷹架層	21.00	18.2	209	1060	2200	0.02				鷹架層	21.00	18.2	211	1070	2210	0.02
		鷹架層		—	18.2	221	1090	2260	0.01			鷹架層		—	18.2	221	1090	2260	0.01

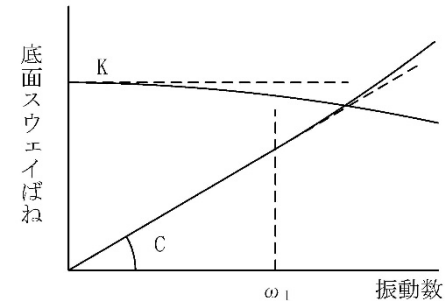
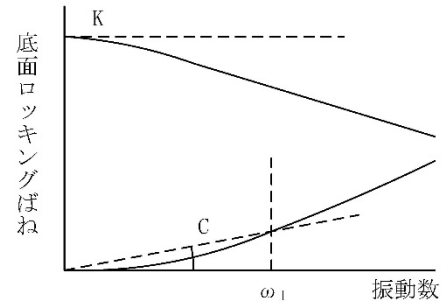
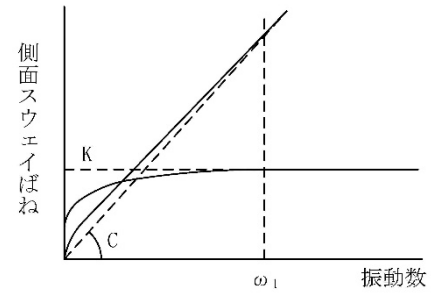
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」					添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」					備考										
第3.2.1-5表 地盤定数 (1.2×S _s -B2)					第3.2.1-6表 地盤定数 (S _s -B2)					前頁に同じ										
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)		地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比		
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.66	151	550	0.03	0.46	55.00		造成盛土	1.45	15.7	3.68	152	551	0.02	0.46		
53.55		3.25	15.7	2.22	118	428	0.08		53.55			3.25	15.7	2.33	121	439	0.07			
50.30		4.30	15.7	0.441	52.5	191	0.14		50.30	4.30		15.7	0.543	58.3	212	0.14				
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.2	258	788	0.05	0.44	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.4	260	795	0.05	0.44			
43.20		4.10	16.5	8.60	226	690	0.07		43.20		4.10	16.5	9.78	241	736	0.06				
39.10		4.10	16.5	6.41	195	596	0.08		39.10		4.10	16.5	7.64	213	651	0.07				
35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.0	630	1780	0.02	0.43	35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.6	633	1790	0.02	0.43			
34.23		1.35	15.3	61.9	630	1780	0.02		34.23		1.35	15.3	62.5	633	1780	0.02				
32.88		1.35	15.3	61.9	630	1780	0.02		32.88		1.35	15.3	62.4	632	1780	0.02				
31.53		22.53	15.3	60.8	624	1760	0.02		31.53		22.53	15.3	61.8	629	1770	0.02				
9.00		37.00	15.6	93.0	765	1810	0.02		9.00		37.00	15.6	94.8	772	1830	0.02				
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	205	1050	2170		0.02		-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	208	1060		2190	0.02	0.35
-49.00		細粒砂岩	21.00	18.2	208	1060	2190		0.02		-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	210	1060		2200	0.02	0.35
-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35				
第3.2.1-6表 地盤定数 (1.2×S _s -B3)					第3.2.1-7表 地盤定数 (S _s -B3)															
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比			
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.64	151	548	0.03	0.46	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.63	151	547	0.03	0.46			
53.55		3.25	15.7	2.23	118	429	0.08		53.55		3.25	15.7	2.22	118	428	0.08				
50.30		4.30	15.7	0.499	55.9	203	0.14		50.30		4.30	15.7	0.563	59.3	216	0.14				
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.5	261	798	0.05	0.44	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.6	262	802	0.05	0.44			
43.20		4.10	16.5	10.0	244	744	0.06		43.20		4.10	16.5	10.6	251	766	0.06				
39.10		4.10	16.5	8.09	219	669	0.07		39.10		4.10	16.5	8.97	231	705	0.07				
35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.7	634	1790	0.02	0.43	35.00	鷹架層	0.77	15.3	63.2	636	1790	0.02	0.43			
34.23		1.35	15.3	62.5	633	1780	0.02		34.23		1.35	15.3	63.1	636	1790	0.02				
32.88		1.35	15.3	62.4	632	1780	0.02		32.88		1.35	15.3	62.9	635	1790	0.02				
31.53		22.53	15.3	60.8	624	1760	0.02		31.53		22.53	15.3	61.6	628	1770	0.02				
9.00		37.00	15.6	93.7	768	1820	0.02		9.00		37.00	15.6	94.9	773	1830	0.02				
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	207	1050	2180		0.02		-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	210	1060		2200	0.02	0.35
-49.00		細粒砂岩	21.00	18.2	208	1060	2190		0.02		-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	210	1060		2200	0.02	0.35
-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35				

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」								添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」								備考					
第3.2.1-7表 地盤定数 (1.2×S _s -B4)								第3.2.1-8表 地盤定数 (S _s -B4)								前頁に同じ					
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)		等価 減衰定数 h	ポアソン比			
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.67	152	550	0.02	0.46	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.67	152	550		0.02	0.46			
53.55		3.25	15.7	2.36	121	441	0.07		53.55		3.25	15.7	2.28	119	434		0.07				
50.30		4.30	15.7	0.564	59.4	216	0.15		50.30		4.30	15.7	0.499	55.9	203	0.14					
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.2	258	788	0.05	0.44	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.2	258	788	0.05	0.44				
43.20		4.10	16.5	9.54	238	727	0.06		43.20		4.10	16.5	10.1	245	748	0.06					
39.10		4.10	16.5	7.82	215	658	0.07		39.10		4.10	16.5	8.71	227	695	0.07					
35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.7	634	1790	0.02	0.43	35.00	鷹架層	0.77	15.3	63.2	636	1790	0.02	0.43				
34.23		1.35	15.3	62.5	633	1780	0.02		34.23		1.35	15.3	63.1	636	1790	0.02					
32.88		1.35	15.3	62.2	631	1780	0.02		32.88		1.35	15.3	63.0	635	1790	0.02					
31.53		22.53	15.3	59.5	618	1740	0.03		31.53		22.53	15.3	60.8	624	1760	0.02					
9.00		37.00	15.6	90.6	755	1790	0.03		9.00		37.00	15.6	92.6	763	1810	0.03					
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	200	1040	2150		0.02		0.35	-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	203		1040	2160	0.02	0.35
-49.00		細粒砂岩	21.00	18.2	203	1040	2160		0.02		0.35	-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	206		1050	2180	0.02	0.35
-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35	-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35				
第3.2.1-8表 地盤定数 (1.2×S _s -B5)								第3.2.1-9表 地盤定数 (S _s -B5)													
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比				
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.65	151	549	0.03	0.46	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.63	151	547	0.03	0.46				
53.55		3.25	15.7	2.26	119	432	0.08		53.55		3.25	15.7	2.17	116	423	0.08					
50.30		4.30	15.7	0.498	55.8	203	0.14		50.30		4.30	15.7	0.427	51.7	188	0.15					
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.4	260	795	0.05	0.44	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.6	262	802	0.05	0.44				
43.20		4.10	16.5	9.95	243	742	0.06		43.20		4.10	16.5	10.8	253	774	0.05					
39.10		4.10	16.5	7.57	212	648	0.07		39.10		4.10	16.5	8.85	229	700	0.07					
35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.3	632	1780	0.02	0.43	35.00	鷹架層	0.77	15.3	63.1	636	1790	0.02	0.43				
34.23		1.35	15.3	62.0	630	1780	0.02		34.23		1.35	15.3	62.9	635	1790	0.02					
32.88		1.35	15.3	61.8	629	1770	0.02		32.88		1.35	15.3	62.6	633	1790	0.02					
31.53		22.53	15.3	59.4	617	1740	0.03		31.53		22.53	15.3	60.6	623	1760	0.03					
9.00		37.00	15.6	91.0	757	1800	0.03		0.39		9.00	37.00	15.6	92.9	764	1810		0.03	0.39		
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	202	1040	2160		0.02		0.35	-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	205		1050	2170	0.02	0.35
-49.00		細粒砂岩	21.00	18.2	205	1050	2170		0.02		0.35	-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	207		1050	2180	0.02	0.35
-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35	-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35				

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」									添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」									備考	
第3.2.1-9表 地盤定数 (1.2×S _s -C1)									第3.2.1-10表 地盤定数 (S _s -C1)									考慮する地震動の違い	
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比		
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.73	153	555	0.02	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.73	153	555	0.02	0.46			
53.55		3.25	15.7	2.57	127	461	0.07	53.55		3.25	15.7	2.57	127	461	0.07				
50.30		4.30	15.7	0.658	64.2	233	0.14	50.30		4.30	15.7	0.697	66.0	240	0.14				
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.6	262	802	0.05	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.6	262	802	0.05	0.44			
43.20		4.10	16.5	8.84	229	700	0.07	43.20		4.10	16.5	10.5	250	763	0.06				
39.10		4.10	16.5	5.17	175	535	0.09	39.10		4.10	16.5	7.17	206	630	0.08				
35.00	鷹架層	0.77	15.3	60.5	623	1760	0.03	35.00	鷹架層	0.77	15.3	61.8	629	1770	0.02	0.43			
34.23		軽石凝灰岩	1.35	15.3	60.3	622	1750	0.03		34.23	軽石凝灰岩	1.35	15.3	61.5	628		1770	0.02	
32.88			1.35	15.3	60.0	620	1750	0.03		32.88		1.35	15.3	61.1	626		1760	0.02	
31.53			22.53	15.3	57.5	607	1710	0.03		31.53		22.53	15.3	58.8	614		1730	0.03	
9.00			37.00	15.6	87.8	743	1760	0.03		9.00		37.00	15.6	89.3	749		1780	0.03	
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	196	1030	2130	0.02		-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	199	1030		2140	0.02	0.39
-49.00			細粒砂岩	21.00	18.2	202	1040	2160		0.02		-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2		204	1050	2170
-70.00	細粒砂岩		—	18.2	221	1090	2260	0.01	-70.00	細粒砂岩		—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35	
第3.2.1-10表 地盤定数 (1.2×S _s -C2)									第3.2.1-11表 地盤定数 (S _s -C2)										
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比		
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.70	152	553	0.02	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.73	153	555	0.02	0.46			
53.55		3.25	15.7	2.43	123	448	0.07	53.55		3.25	15.7	2.60	128	463	0.06				
50.30		4.30	15.7	0.680	65.2	237	0.13	50.30		4.30	15.7	1.08	82.2	299	0.11				
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	10.7	252	770	0.06	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.6	262	802	0.05	0.44			
43.20		4.10	16.5	8.85	229	700	0.07	43.20		4.10	16.5	10.1	245	748	0.06				
39.10		4.10	16.5	7.45	210	642	0.07	39.10		4.10	16.5	8.52	225	687	0.07				
35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.5	633	1780	0.02	35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.9	635	1790	0.02	0.43			
34.23		軽石凝灰岩	1.35	15.3	62.3	632	1780	0.02		34.23	軽石凝灰岩	1.35	15.3	62.7	634		1790	0.02	
32.88			1.35	15.3	62.1	631	1780	0.02		32.88		1.35	15.3	62.5	633		1780	0.02	
31.53			22.53	15.3	61.0	625	1760	0.02		31.53		22.53	15.3	61.4	627		1770	0.02	
9.00			37.00	15.6	93.8	768	1820	0.02		9.00		37.00	15.6	95.0	773		1830	0.02	
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	206	1050	2180	0.02		-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	208	1060		2190	0.02	0.39
-49.00			細粒砂岩	21.00	18.2	208	1060	2190		0.02		-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2		210	1060	2200
-70.00	細粒砂岩		—	18.2	221	1090	2260	0.01	-70.00	細粒砂岩		—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」									添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」									備考		
第3.2.1-11表 地盤定数 (1.2×S _s -C3)									第3.2.1-12表 地盤定数 (S _s -C3)									前頁に同じ		
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比			
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.67	152	550	0.02	0.46	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.65	151	549	0.03	0.46			
53.55		3.25	15.7	2.29	120	435	0.07		53.55		3.25	15.7	2.22	118	428	0.08				
50.30		4.30	15.7	0.467	54.0	196	0.15		50.30		4.30	15.7	0.516	56.8	206	0.14				
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.5	261	798	0.05	0.44	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.1	257	784	0.05	0.44			
43.20		4.10	16.5	10.2	246	752	0.06		43.20		4.10	16.5	10.4	248	759	0.06				
39.10		4.10	16.5	8.40	223	682	0.07		39.10		4.10	16.5	9.35	236	720	0.06				
35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.9	635	1790	0.02	0.43	35.00	鷹架層	0.77	15.3	63.7	639	1800	0.02	0.43			
34.23		1.35	15.3	62.7	634	1790	0.02		34.23		1.35	15.3	63.5	638	1800	0.02				
32.88		1.35	15.3	62.5	633	1780	0.02		32.88		1.35	15.3	63.3	637	1800	0.02				
31.53		22.53	15.3	61.0	625	1760	0.02		31.53		22.53	15.3	61.8	629	1770	0.02				
9.00		37.00	15.6	93.0	765	1810	0.02		9.00		37.00	15.6	94.1	769	1830	0.02				
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	205	1050	2170		0.02		-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	207	1050		2180	0.02	0.35
-49.00		細粒砂岩	21.00	18.2	207	1050	2180		0.02		-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	209	1060		2200	0.02	0.35
-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35				
第3.2.1-12表 地盤定数 (1.2×S _s -C4)									第3.2.1-13表 地盤定数 (S _s -C4)											
標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	標高 T. M. S. L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ _t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G (×10 ⁴ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比			
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.55	149	541	0.03	0.46	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.55	149	541	0.03	0.46			
53.55		3.25	15.7	1.84	107	390	0.09		53.55		3.25	15.7	1.84	107	390	0.09				
50.30		4.30	15.7	0.343	46.3	168	0.15		50.30		4.30	15.7	0.481	54.8	199	0.14				
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.4	260	795	0.05	0.44	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.7	264	805	0.05	0.44			
43.20		4.10	16.5	9.71	240	733	0.06		43.20		4.10	16.5	10.2	246	752	0.06				
39.10		4.10	16.5	8.19	220	674	0.07		39.10		4.10	16.5	8.98	231	705	0.07				
35.00	鷹架層	0.77	15.3	62.9	635	1790	0.02	0.43	35.00	鷹架層	0.77	15.3	63.7	639	1800	0.02	0.43			
34.23		1.35	15.3	62.7	634	1790	0.02		34.23		1.35	15.3	63.6	638	1800	0.02				
32.88		1.35	15.3	62.5	633	1780	0.02		32.88		1.35	15.3	63.4	637	1800	0.02				
31.53		22.53	15.3	60.5	623	1760	0.03		31.53		22.53	15.3	61.5	628	1770	0.02				
9.00		37.00	15.6	91.8	760	1800	0.03		9.00		37.00	15.6	93.3	766	1820	0.02				
-28.00		軽石質砂岩	21.00	18.2	204	1050	2170		0.02		-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	207	1050		2180	0.02	0.35
-49.00		細粒砂岩	21.00	18.2	208	1060	2190		0.02		-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	210	1060		2200	0.02	0.35
-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35				

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																								
	<p style="text-align: center;">第3.2.1-14表 地盤定数 (Sd-A)</p> <table border="1" data-bbox="1427 321 2445 831"> <thead> <tr> <th>標高 T.M.S.L. (m)</th> <th>地層区分</th> <th>層厚 (m)</th> <th>単位 体積重量 γ_t (kN/m³)</th> <th>せん断 弾性係数 G ($\times 10^4$kN/m²)</th> <th>等価 S波速度 (m/s)</th> <th>等価 P波速度 (m/s)</th> <th>等価 減衰定数 h</th> <th>ポアソン比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55.00</td> <td rowspan="3">造成盛土</td> <td>1.45</td> <td>15.7</td> <td>3.65</td> <td>151</td> <td>549</td> <td>0.03</td> <td rowspan="3">0.46</td> </tr> <tr> <td>53.55</td> <td>3.25</td> <td>15.7</td> <td>2.29</td> <td>120</td> <td>435</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>4.30</td> <td>15.7</td> <td>0.916</td> <td>75.7</td> <td>275</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>46.00</td> <td rowspan="3">六ヶ所層</td> <td>2.80</td> <td>16.5</td> <td>11.8</td> <td>265</td> <td>809</td> <td>0.05</td> <td rowspan="3">0.44</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>4.10</td> <td>16.5</td> <td>11.1</td> <td>257</td> <td>784</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>39.10</td> <td>4.10</td> <td>16.5</td> <td>10.7</td> <td>252</td> <td>770</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td rowspan="5">鷹架層</td> <td>0.77</td> <td>15.3</td> <td>64.6</td> <td>643</td> <td>1810</td> <td>0.02</td> <td rowspan="5">0.43</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td rowspan="4">軽石凝灰岩</td> <td>1.35</td> <td>15.3</td> <td>64.6</td> <td>643</td> <td>1810</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>32.88</td> <td>1.35</td> <td>15.3</td> <td>64.5</td> <td>643</td> <td>1810</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td>22.53</td> <td>15.3</td> <td>63.7</td> <td>639</td> <td>1800</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>9.00</td> <td>37.00</td> <td>15.6</td> <td>97.7</td> <td>784</td> <td>1860</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>-28.00</td> <td>軽石質砂岩</td> <td>21.00</td> <td>18.2</td> <td>214</td> <td>1070</td> <td>2220</td> <td>0.01</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>-49.00</td> <td>細粒砂岩</td> <td>21.00</td> <td>18.2</td> <td>213</td> <td>1070</td> <td>2220</td> <td>0.02</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>-70.00</td> <td>細粒砂岩</td> <td>—</td> <td>18.2</td> <td>221</td> <td>1090</td> <td>2260</td> <td>0.01</td> <td>0.35</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第3.2.1-15表 地盤定数 (Sd-B1) 第3.2.1-16表 地盤定数 (Sd-B2) 第3.2.1-17表 地盤定数 (Sd-B3) 第3.2.1-18表 地盤定数 (Sd-B4) 第3.2.1-19表 地盤定数 (Sd-B5) 第3.2.1-20表 地盤定数 (Sd-C1) 第3.2.1-21表 地盤定数 (Sd-C2) 第3.2.1-22表 地盤定数 (Sd-C3) 第3.2.1-23表 地盤定数 (Sd-C4)</p>	標高 T.M.S.L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ_t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G ($\times 10^4$ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比	55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.65	151	549	0.03	0.46	53.55	3.25	15.7	2.29	120	435	0.07	50.30	4.30	15.7	0.916	75.7	275	0.11	46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.8	265	809	0.05	0.44	43.20	4.10	16.5	11.1	257	784	0.05	39.10	4.10	16.5	10.7	252	770	0.06	35.00	鷹架層	0.77	15.3	64.6	643	1810	0.02	0.43	34.23	軽石凝灰岩	1.35	15.3	64.6	643	1810	0.02	32.88	1.35	15.3	64.5	643	1810	0.02	31.53	22.53	15.3	63.7	639	1800	0.02	9.00	37.00	15.6	97.7	784	1860	0.02	-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	214	1070	2220	0.01	0.35	-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	213	1070	2220	0.02	0.35	-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35	<p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であること から 1.2×Ss 計算書 に記載無し</p> <p>1.0×Ss 計算書にお いて、第3.2.1-14 図と同様に他地震に よる地盤定数が記載 されるものであるた め、本比較表上は省 略</p>
標高 T.M.S.L. (m)	地層区分	層厚 (m)	単位 体積重量 γ_t (kN/m ³)	せん断 弾性係数 G ($\times 10^4$ kN/m ²)	等価 S波速度 (m/s)	等価 P波速度 (m/s)	等価 減衰定数 h	ポアソン比																																																																																																																		
55.00	造成盛土	1.45	15.7	3.65	151	549	0.03	0.46																																																																																																																		
53.55		3.25	15.7	2.29	120	435	0.07																																																																																																																			
50.30		4.30	15.7	0.916	75.7	275	0.11																																																																																																																			
46.00	六ヶ所層	2.80	16.5	11.8	265	809	0.05	0.44																																																																																																																		
43.20		4.10	16.5	11.1	257	784	0.05																																																																																																																			
39.10		4.10	16.5	10.7	252	770	0.06																																																																																																																			
35.00	鷹架層	0.77	15.3	64.6	643	1810	0.02	0.43																																																																																																																		
34.23		軽石凝灰岩	1.35	15.3	64.6	643	1810		0.02																																																																																																																	
32.88			1.35	15.3	64.5	643	1810		0.02																																																																																																																	
31.53			22.53	15.3	63.7	639	1800		0.02																																																																																																																	
9.00			37.00	15.6	97.7	784	1860		0.02																																																																																																																	
-28.00	軽石質砂岩	21.00	18.2	214	1070	2220	0.01	0.35																																																																																																																		
-49.00	細粒砂岩	21.00	18.2	213	1070	2220	0.02	0.35																																																																																																																		
-70.00	細粒砂岩	—	18.2	221	1090	2260	0.01	0.35																																																																																																																		

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ばね定数：0Hz のばね定数 K で定数化 減衰係数：振動系全体のうち地盤の影響が卓越する最初の固有振動数 ω_1 に対応する虚部の値と原点を結ぶ直線の傾き C で定数化</p> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">  </div> <p>ばね定数：ばね定数 K の極大値で定数化 減衰係数：振動系全体のうち地盤の影響が卓越する最初の固有振動数 ω_1 に対応する虚部の値と原点を結ぶ直線の傾き C で定数化</p> <p style="text-align: center;">第 3.2.1-10 図 地盤ばねの定数化の概要</p>	<p>両計算書で共通であるため 1.2×Ss 計算書では省略。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-13表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-A, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.96 × 10⁶</td> <td>1.78 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.12 × 10⁶</td> <td>1.10 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.57 × 10⁶</td> <td>9.47 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.53 × 10⁶</td> <td>7.35 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.98 × 10⁸</td> <td>7.38 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.58 × 10¹¹</td> <td>4.93 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね : ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね : ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.96 × 10⁶</td> <td>1.78 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.12 × 10⁶</td> <td>1.10 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.57 × 10⁶</td> <td>9.48 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.53 × 10⁶</td> <td>7.35 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.97 × 10⁸</td> <td>7.36 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.66 × 10¹¹</td> <td>5.11 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね : ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね : ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.96 × 10 ⁶	1.78 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.12 × 10 ⁶	1.10 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.47 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.53 × 10 ⁶	7.35 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.98 × 10 ⁸	7.38 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.58 × 10 ¹¹	4.93 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.96 × 10 ⁶	1.78 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.12 × 10 ⁶	1.10 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.53 × 10 ⁶	7.35 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.36 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.66 × 10 ¹¹	5.11 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-24表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-A) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.94 × 10⁶</td> <td>1.77 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.23 × 10⁶</td> <td>1.13 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.60 × 10⁶</td> <td>9.50 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.56 × 10⁶</td> <td>7.38 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.44 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.66 × 10¹¹</td> <td>4.96 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1 : スウェイばね : ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2 : ロッキングばね : ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.94 × 10⁶</td> <td>1.77 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.23 × 10⁶</td> <td>1.13 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.60 × 10⁶</td> <td>9.51 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.56 × 10⁶</td> <td>7.39 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.42 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.73 × 10¹¹</td> <td>5.16 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1 : スウェイばね : ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2 : ロッキングばね : ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.94 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.23 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.50 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.66 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.94 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.23 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.51 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.39 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹	<p>地盤ばね定数と減衰定数は地震波に応じて変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.96 × 10 ⁶	1.78 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.12 × 10 ⁶	1.10 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.47 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.53 × 10 ⁶	7.35 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.98 × 10 ⁸	7.38 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.58 × 10 ¹¹	4.93 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.96 × 10 ⁶	1.78 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.12 × 10 ⁶	1.10 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.53 × 10 ⁶	7.35 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.36 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.66 × 10 ¹¹	5.11 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.94 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.23 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.50 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.66 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.94 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.23 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.51 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.39 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹																																																																																																																										

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-14表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B1, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.09 × 10⁶</td> <td>1.82 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.24 × 10⁶</td> <td>1.14 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.52 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.04 × 10⁸</td> <td>7.49 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.72 × 10¹¹</td> <td>4.99 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.09 × 10⁶</td> <td>1.82 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.24 × 10⁶</td> <td>1.14 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.52 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.03 × 10⁸</td> <td>7.47 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.80 × 10¹¹</td> <td>5.17 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.09 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.49 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.09 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.47 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.80 × 10 ¹¹	5.17 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-25表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B1) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.14 × 10⁶</td> <td>1.83 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.38 × 10⁶</td> <td>1.18 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.60 × 10⁶</td> <td>7.42 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.05 × 10⁸</td> <td>7.52 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.77 × 10¹¹</td> <td>5.01 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.14 × 10⁶</td> <td>1.83 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.38 × 10⁶</td> <td>1.18 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.60 × 10⁶</td> <td>7.42 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.05 × 10⁸</td> <td>7.50 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.85 × 10¹¹</td> <td>5.19 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.14 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.38 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.60 × 10 ⁶	7.42 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.05 × 10 ⁸	7.52 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.77 × 10 ¹¹	5.01 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.14 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.38 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.60 × 10 ⁶	7.42 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.05 × 10 ⁸	7.50 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.85 × 10 ¹¹	5.19 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.09 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.49 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.09 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.47 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.80 × 10 ¹¹	5.17 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.14 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.38 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.60 × 10 ⁶	7.42 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.05 × 10 ⁸	7.52 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.77 × 10 ¹¹	5.01 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.14 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.38 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.60 × 10 ⁶	7.42 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.05 × 10 ⁸	7.50 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.85 × 10 ¹¹	5.19 × 10 ⁹																																																																																																																										

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																				
<p>第3.2.1-15表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B2, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>2.85 × 10⁶</td> <td>1.74 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>2.02 × 10⁶</td> <td>1.06 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>4.57 × 10⁶</td> <td>9.47 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>3.55 × 10⁶</td> <td>7.37 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.44 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>4.66 × 10¹¹</td> <td>4.96 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>2.85 × 10⁶</td> <td>1.75 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>2.02 × 10⁶</td> <td>1.06 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>4.57 × 10⁶</td> <td>9.48 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>3.55 × 10⁶</td> <td>7.37 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.42 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>4.73 × 10¹¹</td> <td>5.16 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	2.85 × 10 ⁶	1.74 × 10 ⁶	K _{S2}	2.02 × 10 ⁶	1.06 × 10 ⁶	K _{S3}	4.57 × 10 ⁶	9.47 × 10 ⁵	K _{S4}	3.55 × 10 ⁶	7.37 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	2.01 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	4.66 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	2.85 × 10 ⁶	1.75 × 10 ⁶	K _{S2}	2.02 × 10 ⁶	1.06 × 10 ⁶	K _{S3}	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵	K _{S4}	3.55 × 10 ⁶	7.37 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	2.01 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	4.73 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-26表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B2) (a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>3.08 × 10⁶</td> <td>1.81 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>2.25 × 10⁶</td> <td>1.14 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.52 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>3.58 × 10⁶</td> <td>7.40 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>2.04 × 10⁸</td> <td>7.50 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>4.73 × 10¹¹</td> <td>4.99 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>3.08 × 10⁶</td> <td>1.81 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>2.25 × 10⁶</td> <td>1.14 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.53 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>3.58 × 10⁶</td> <td>7.40 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>2.04 × 10⁸</td> <td>7.48 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>4.81 × 10¹¹</td> <td>5.19 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	3.08 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶	K _{S2}	2.25 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶	K _{S3}	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵	K _{S4}	3.58 × 10 ⁶	7.40 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	2.04 × 10 ⁸	7.50 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	4.73 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	3.08 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶	K _{S2}	2.25 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶	K _{S3}	4.61 × 10 ⁶	9.53 × 10 ⁵	K _{S4}	3.58 × 10 ⁶	7.40 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	2.04 × 10 ⁸	7.48 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	4.81 × 10 ¹¹	5.19 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																			
側面スウェイばね	K _{S1}	2.85 × 10 ⁶	1.74 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S2}	2.02 × 10 ⁶	1.06 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S3}	4.57 × 10 ⁶	9.47 × 10 ⁵																																																																																																			
	K _{S4}	3.55 × 10 ⁶	7.37 × 10 ⁵																																																																																																			
底面スウェイばね	K _S	2.01 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶																																																																																																			
底面ロッキングばね	K _R	4.66 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹																																																																																																			
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																			
側面スウェイばね	K _{S1}	2.85 × 10 ⁶	1.75 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S2}	2.02 × 10 ⁶	1.06 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S3}	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵																																																																																																			
	K _{S4}	3.55 × 10 ⁶	7.37 × 10 ⁵																																																																																																			
底面スウェイばね	K _S	2.01 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶																																																																																																			
底面ロッキングばね	K _R	4.73 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹																																																																																																			
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																			
側面スウェイばね	K _{S1}	3.08 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S2}	2.25 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S3}	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵																																																																																																			
	K _{S4}	3.58 × 10 ⁶	7.40 × 10 ⁵																																																																																																			
底面スウェイばね	K _S	2.04 × 10 ⁸	7.50 × 10 ⁶																																																																																																			
底面ロッキングばね	K _R	4.73 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹																																																																																																			
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																			
側面スウェイばね	K _{S1}	3.08 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S2}	2.25 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶																																																																																																			
	K _{S3}	4.61 × 10 ⁶	9.53 × 10 ⁵																																																																																																			
	K _{S4}	3.58 × 10 ⁶	7.40 × 10 ⁵																																																																																																			
底面スウェイばね	K _S	2.04 × 10 ⁸	7.48 × 10 ⁶																																																																																																			
底面ロッキングばね	K _R	4.81 × 10 ¹¹	5.19 × 10 ⁹																																																																																																			

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-16表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B3, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.13 × 10⁶</td> <td>1.83 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.34 × 10⁶</td> <td>1.17 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.52 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.58 × 10⁶</td> <td>7.39 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.45 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.67 × 10¹¹</td> <td>4.97 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.13 × 10⁶</td> <td>1.83 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.34 × 10⁶</td> <td>1.17 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.52 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.58 × 10⁶</td> <td>7.40 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.43 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.75 × 10¹¹</td> <td>5.16 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.13 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.34 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.58 × 10 ⁶	7.39 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.45 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.67 × 10 ¹¹	4.97 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.13 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.34 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.58 × 10 ⁶	7.40 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.43 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.75 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-27表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B3) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.25 × 10⁶</td> <td>1.86 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.51 × 10⁶</td> <td>1.22 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.66 × 10⁶</td> <td>9.56 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.61 × 10⁶</td> <td>7.43 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.04 × 10⁸</td> <td>7.50 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.73 × 10¹¹</td> <td>4.99 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.25 × 10⁶</td> <td>1.86 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.51 × 10⁶</td> <td>1.22 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.66 × 10⁶</td> <td>9.57 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.61 × 10⁶</td> <td>7.43 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.04 × 10⁸</td> <td>7.48 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.81 × 10¹¹</td> <td>5.19 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.25 × 10 ⁶	1.86 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.51 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.50 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.25 × 10 ⁶	1.86 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.51 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.57 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.48 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.81 × 10 ¹¹	5.19 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.13 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.34 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.58 × 10 ⁶	7.39 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.45 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.67 × 10 ¹¹	4.97 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.13 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.34 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.58 × 10 ⁶	7.40 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.43 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.75 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.25 × 10 ⁶	1.86 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.51 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.50 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.25 × 10 ⁶	1.86 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.51 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.57 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.48 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.81 × 10 ¹¹	5.19 × 10 ⁹																																																																																																																										

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-17表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B4, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.02 × 10⁶</td> <td>1.79 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.28 × 10⁶</td> <td>1.15 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.52 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.56 × 10⁶</td> <td>7.38 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.97 × 10⁸</td> <td>7.37 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.56 × 10¹¹</td> <td>4.93 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.02 × 10⁶</td> <td>1.79 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.28 × 10⁶</td> <td>1.15 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.61 × 10⁶</td> <td>9.52 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.56 × 10⁶</td> <td>7.38 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.97 × 10⁸</td> <td>7.35 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.63 × 10¹¹</td> <td>5.10 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.02 × 10 ⁶	1.79 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.28 × 10 ⁶	1.15 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.37 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.56 × 10 ¹¹	4.93 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.02 × 10 ⁶	1.79 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.28 × 10 ⁶	1.15 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.35 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.63 × 10 ¹¹	5.10 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-28表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B4) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.12 × 10⁶</td> <td>1.82 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.45 × 10⁶</td> <td>1.20 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.66 × 10⁶</td> <td>9.56 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.61 × 10⁶</td> <td>7.43 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.44 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.65 × 10¹¹</td> <td>4.96 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.12 × 10⁶</td> <td>1.82 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.45 × 10⁶</td> <td>1.20 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.66 × 10⁶</td> <td>9.56 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.61 × 10⁶</td> <td>7.43 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.42 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.72 × 10¹¹</td> <td>5.15 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.12 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.45 × 10 ⁶	1.20 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.65 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.12 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.45 × 10 ⁶	1.20 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	5.15 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.02 × 10 ⁶	1.79 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.28 × 10 ⁶	1.15 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.37 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.56 × 10 ¹¹	4.93 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.02 × 10 ⁶	1.79 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.28 × 10 ⁶	1.15 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.61 × 10 ⁶	9.52 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.35 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.63 × 10 ¹¹	5.10 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.12 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.45 × 10 ⁶	1.20 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.65 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.12 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.45 × 10 ⁶	1.20 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.66 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.61 × 10 ⁶	7.43 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	5.15 × 10 ⁹																																																																																																																										

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-18表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B5, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.11 × 10⁶</td> <td>1.82 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.24 × 10⁶</td> <td>1.14 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.57 × 10⁶</td> <td>9.48 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.54 × 10⁶</td> <td>7.36 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.97 × 10⁸</td> <td>7.37 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.56 × 10¹¹</td> <td>4.93 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね: ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね: ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.11 × 10⁶</td> <td>1.82 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.24 × 10⁶</td> <td>1.14 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.57 × 10⁶</td> <td>9.48 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.54 × 10⁶</td> <td>7.36 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.97 × 10⁸</td> <td>7.35 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.63 × 10¹¹</td> <td>5.10 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね: ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね: ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.11 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.54 × 10 ⁶	7.36 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.37 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.56 × 10 ¹¹	4.93 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.11 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.54 × 10 ⁶	7.36 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.35 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.63 × 10 ¹¹	5.10 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-29表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B5) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.28 × 10⁶</td> <td>1.87 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.48 × 10⁶</td> <td>1.21 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.64 × 10⁶</td> <td>9.55 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.00 × 10⁸</td> <td>7.43 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.65 × 10¹¹</td> <td>4.96 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね: ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね: ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.28 × 10⁶</td> <td>1.87 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.48 × 10⁶</td> <td>1.21 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.64 × 10⁶</td> <td>9.56 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.00 × 10⁸</td> <td>7.41 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.72 × 10¹¹</td> <td>5.15 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね: ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね: ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.28 × 10 ⁶	1.87 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.48 × 10 ⁶	1.21 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.64 × 10 ⁶	9.55 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.43 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.65 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.28 × 10 ⁶	1.87 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.48 × 10 ⁶	1.21 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.64 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.41 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	5.15 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.11 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.54 × 10 ⁶	7.36 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.37 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.56 × 10 ¹¹	4.93 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.11 × 10 ⁶	1.82 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.24 × 10 ⁶	1.14 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.57 × 10 ⁶	9.48 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.54 × 10 ⁶	7.36 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.97 × 10 ⁸	7.35 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.63 × 10 ¹¹	5.10 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.28 × 10 ⁶	1.87 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.48 × 10 ⁶	1.21 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.64 × 10 ⁶	9.55 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.43 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.65 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.28 × 10 ⁶	1.87 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.48 × 10 ⁶	1.21 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.64 × 10 ⁶	9.56 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.41 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	5.15 × 10 ⁹																																																																																																																										

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-19表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-C1, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.93 × 10⁶</td> <td>1.77 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>1.77 × 10⁶</td> <td>9.75 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.46 × 10⁶</td> <td>9.36 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.44 × 10⁶</td> <td>7.25 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.91 × 10⁸</td> <td>7.26 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.41 × 10¹¹</td> <td>4.87 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.93 × 10⁶</td> <td>1.77 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>1.77 × 10⁶</td> <td>9.75 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.46 × 10⁶</td> <td>9.36 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.44 × 10⁶</td> <td>7.26 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.91 × 10⁸</td> <td>7.24 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.49 × 10¹¹</td> <td>5.04 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.93 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶	K _{S2}	7	1.77 × 10 ⁶	9.75 × 10 ⁵	K _{S3}	8	4.46 × 10 ⁶	9.36 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.44 × 10 ⁶	7.25 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.91 × 10 ⁸	7.26 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.41 × 10 ¹¹	4.87 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.93 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶	K _{S2}	7	1.77 × 10 ⁶	9.75 × 10 ⁵	K _{S3}	8	4.46 × 10 ⁶	9.36 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.44 × 10 ⁶	7.26 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.91 × 10 ⁸	7.24 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.49 × 10 ¹¹	5.04 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-30表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-C1) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.23 × 10⁶</td> <td>1.85 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.15 × 10⁶</td> <td>1.11 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.54 × 10⁶</td> <td>9.44 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.51 × 10⁶</td> <td>7.32 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.94 × 10⁸</td> <td>7.32 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.50 × 10¹¹</td> <td>4.90 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.23 × 10⁶</td> <td>1.85 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.15 × 10⁶</td> <td>1.11 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.54 × 10⁶</td> <td>9.45 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.51 × 10⁶</td> <td>7.32 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>1.94 × 10⁸</td> <td>7.30 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.57 × 10¹¹</td> <td>5.09 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.23 × 10 ⁶	1.85 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.15 × 10 ⁶	1.11 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.54 × 10 ⁶	9.44 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.51 × 10 ⁶	7.32 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.94 × 10 ⁸	7.32 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.50 × 10 ¹¹	4.90 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.23 × 10 ⁶	1.85 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.15 × 10 ⁶	1.11 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.54 × 10 ⁶	9.45 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.51 × 10 ⁶	7.32 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	1.94 × 10 ⁸	7.30 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.57 × 10 ¹¹	5.09 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.93 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	1.77 × 10 ⁶	9.75 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.46 × 10 ⁶	9.36 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.44 × 10 ⁶	7.25 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.91 × 10 ⁸	7.26 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.41 × 10 ¹¹	4.87 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.93 × 10 ⁶	1.77 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	1.77 × 10 ⁶	9.75 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.46 × 10 ⁶	9.36 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.44 × 10 ⁶	7.26 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.91 × 10 ⁸	7.24 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.49 × 10 ¹¹	5.04 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.23 × 10 ⁶	1.85 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.15 × 10 ⁶	1.11 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.54 × 10 ⁶	9.44 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.51 × 10 ⁶	7.32 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.94 × 10 ⁸	7.32 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.50 × 10 ¹¹	4.90 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.23 × 10 ⁶	1.85 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.15 × 10 ⁶	1.11 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.54 × 10 ⁶	9.45 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.51 × 10 ⁶	7.32 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	1.94 × 10 ⁸	7.30 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.57 × 10 ¹¹	5.09 × 10 ⁹																																																																																																																										

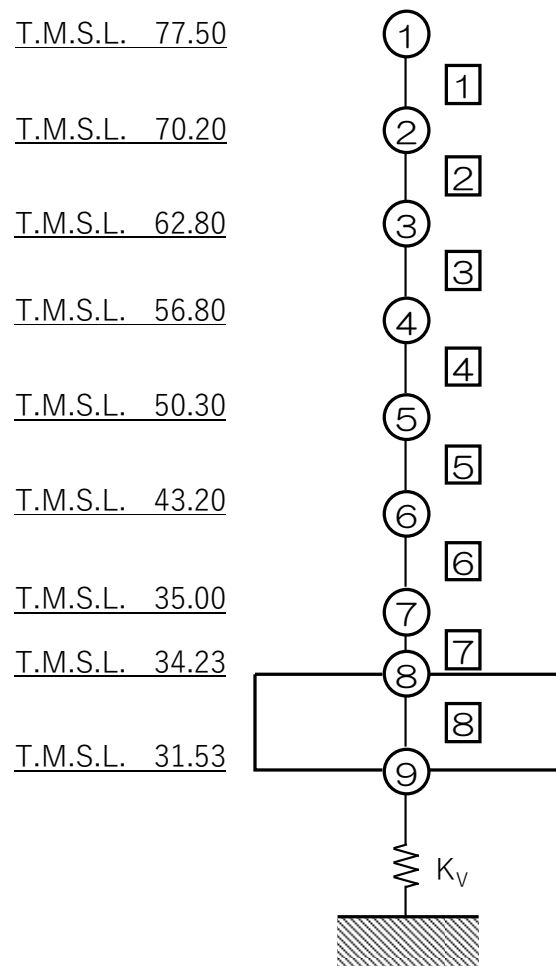
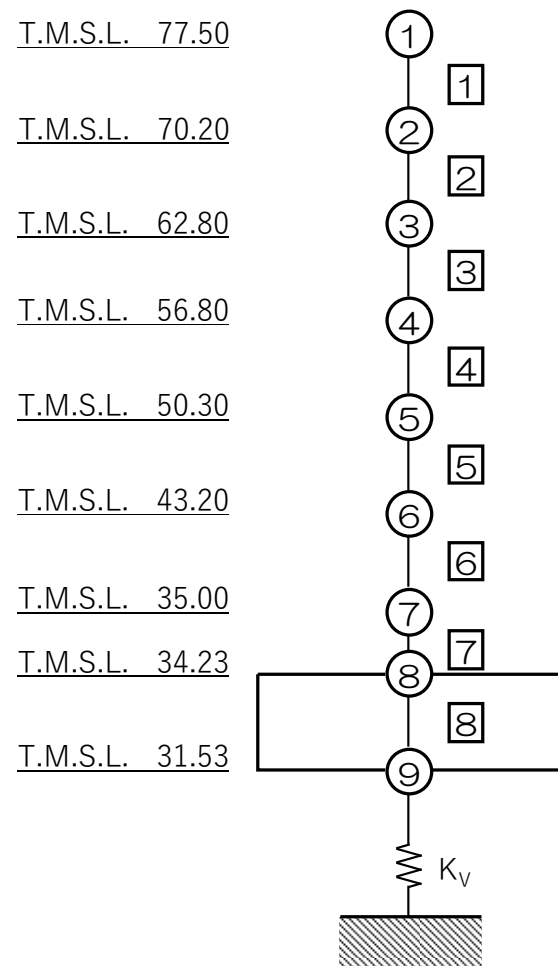
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-20表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-C2, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.83 × 10⁶</td> <td>1.74 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.22 × 10⁶</td> <td>1.13 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.60 × 10⁶</td> <td>9.51 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.56 × 10⁶</td> <td>7.38 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.02 × 10⁸</td> <td>7.46 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.68 × 10¹¹</td> <td>4.98 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>2.83 × 10⁶</td> <td>1.74 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.22 × 10⁶</td> <td>1.13 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.60 × 10⁶</td> <td>9.51 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.56 × 10⁶</td> <td>7.39 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.02 × 10⁸</td> <td>7.44 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.76 × 10¹¹</td> <td>5.16 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.83 × 10 ⁶	1.74 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.22 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.51 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.02 × 10 ⁸	7.46 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.68 × 10 ¹¹	4.98 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.83 × 10 ⁶	1.74 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.22 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.51 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.39 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.02 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.76 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-31表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-C2) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2457 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.16 × 10⁶</td> <td>1.83 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.42 × 10⁶</td> <td>1.19 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.04 × 10⁸</td> <td>7.49 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.73 × 10¹¹</td> <td>4.99 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2457 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.16 × 10⁶</td> <td>1.84 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.42 × 10⁶</td> <td>1.19 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.03 × 10⁸</td> <td>7.47 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.81 × 10¹¹</td> <td>5.18 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.42 × 10 ⁶	1.19 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.49 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.42 × 10 ⁶	1.19 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.47 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.81 × 10 ¹¹	5.18 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.83 × 10 ⁶	1.74 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.22 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.51 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.38 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.02 × 10 ⁸	7.46 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.68 × 10 ¹¹	4.98 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	2.83 × 10 ⁶	1.74 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.22 × 10 ⁶	1.13 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.60 × 10 ⁶	9.51 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.56 × 10 ⁶	7.39 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.02 × 10 ⁸	7.44 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.76 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.42 × 10 ⁶	1.19 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.49 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.42 × 10 ⁶	1.19 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.47 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.81 × 10 ¹¹	5.18 × 10 ⁹																																																																																																																										

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-21表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-C3, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="246 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.16 × 10⁶</td> <td>1.84 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.39 × 10⁶</td> <td>1.18 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.45 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.66 × 10¹¹</td> <td>4.96 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="246 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.16 × 10⁶</td> <td>1.84 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.39 × 10⁶</td> <td>1.18 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.01 × 10⁸</td> <td>7.43 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.73 × 10¹¹</td> <td>5.16 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.39 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.45 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.66 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.39 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.43 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-32表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-C3) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1418 359 2451 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.15 × 10⁶</td> <td>1.83 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.59 × 10⁶</td> <td>1.24 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.69 × 10⁶</td> <td>9.60 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.63 × 10⁶</td> <td>7.45 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.04 × 10⁸</td> <td>7.49 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.72 × 10¹¹</td> <td>4.99 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1418 846 2451 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.15 × 10⁶</td> <td>1.83 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.59 × 10⁶</td> <td>1.24 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.69 × 10⁶</td> <td>9.60 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.63 × 10⁶</td> <td>7.46 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.03 × 10⁸</td> <td>7.47 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.80 × 10¹¹</td> <td>5.17 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.15 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.59 × 10 ⁶	1.24 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.60 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.45 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.49 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.15 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.59 × 10 ⁶	1.24 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.60 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.46 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.47 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.80 × 10 ¹¹	5.17 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.39 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.45 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.66 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.16 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.39 × 10 ⁶	1.18 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.01 × 10 ⁸	7.43 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.73 × 10 ¹¹	5.16 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.15 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.59 × 10 ⁶	1.24 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.60 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.45 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.04 × 10 ⁸	7.49 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.72 × 10 ¹¹	4.99 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.15 × 10 ⁶	1.83 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.59 × 10 ⁶	1.24 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.60 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.46 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.47 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.80 × 10 ¹¹	5.17 × 10 ⁹																																																																																																																										

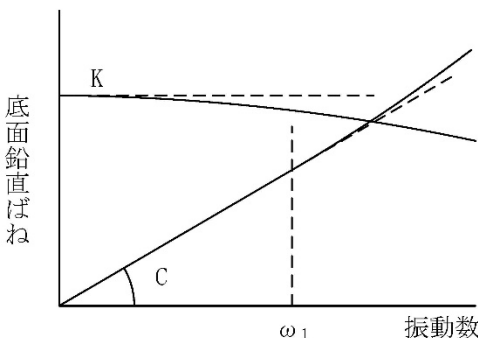
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
<p>第3.2.1-22表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-C4, 水平方向) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 359 1279 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.07 × 10⁶</td> <td>1.81 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.35 × 10⁶</td> <td>1.17 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.00 × 10⁸</td> <td>7.42 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.62 × 10¹¹</td> <td>4.96 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 846 1279 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.07 × 10⁶</td> <td>1.81 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.35 × 10⁶</td> <td>1.17 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.63 × 10⁶</td> <td>9.54 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.59 × 10⁶</td> <td>7.41 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.00 × 10⁸</td> <td>7.40 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.70 × 10¹¹</td> <td>5.14 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.07 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.35 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.62 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.07 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.35 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.40 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.70 × 10 ¹¹	5.14 × 10 ⁹	<p>第3.2.1-33表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-C4) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2448 709"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.20 × 10⁶</td> <td>1.84 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.52 × 10⁶</td> <td>1.22 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.69 × 10⁶</td> <td>9.59 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.63 × 10⁶</td> <td>7.45 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.03 × 10⁸</td> <td>7.48 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.69 × 10¹¹</td> <td>4.98 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 846 2448 1197"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.20 × 10⁶</td> <td>1.84 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.52 × 10⁶</td> <td>1.22 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.69 × 10⁶</td> <td>9.60 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.63 × 10⁶</td> <td>7.46 × 10⁵</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.03 × 10⁸</td> <td>7.46 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.77 × 10¹¹</td> <td>5.17 × 10⁹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね:ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね:ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.20 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.52 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.59 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.45 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.48 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.69 × 10 ¹¹	4.98 × 10 ⁹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.20 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.52 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.60 × 10 ⁵	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.46 × 10 ⁵	底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.46 × 10 ⁶	底面ロッキングばね	K _R	9	4.77 × 10 ¹¹	5.17 × 10 ⁹	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.07 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.35 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.42 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.62 × 10 ¹¹	4.96 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.07 × 10 ⁶	1.81 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.35 × 10 ⁶	1.17 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.63 × 10 ⁶	9.54 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.59 × 10 ⁶	7.41 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.00 × 10 ⁸	7.40 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.70 × 10 ¹¹	5.14 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.20 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.52 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.59 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.45 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.48 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.69 × 10 ¹¹	4.98 × 10 ⁹																																																																																																																										
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																																																																																											
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.20 × 10 ⁶	1.84 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S2}	7	2.52 × 10 ⁶	1.22 × 10 ⁶																																																																																																																										
	K _{S3}	8	4.69 × 10 ⁶	9.60 × 10 ⁵																																																																																																																										
	K _{S4}	9	3.63 × 10 ⁶	7.46 × 10 ⁵																																																																																																																										
底面スウェイばね	K _S	9	2.03 × 10 ⁸	7.46 × 10 ⁶																																																																																																																										
底面ロッキングばね	K _R	9	4.77 × 10 ¹¹	5.17 × 10 ⁹																																																																																																																										

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																		
	<p style="text-align: center;">第3.2.1-34表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - A)</p> <p style="text-align: center;">(a)NS 方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 390 2457 743"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.37 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.84 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.76 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.70 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.10 × 10⁸</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.87 × 10¹¹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね: ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね: ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p style="text-align: center;">(b)EW 方向</p> <table border="1" data-bbox="1412 882 2457 1234"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">側面スウェイばね</td> <td>K_{S1}</td> <td>6</td> <td>3.37 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S2}</td> <td>7</td> <td>2.84 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S3}</td> <td>8</td> <td>4.76 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>K_{S4}</td> <td>9</td> <td>3.70 × 10⁶</td> </tr> <tr> <td>底面スウェイばね</td> <td>K_S</td> <td>9</td> <td>2.10 × 10⁸</td> </tr> <tr> <td>底面ロッキングばね</td> <td>K_R</td> <td>9</td> <td>4.95 × 10¹¹</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: スウェイばね: ばね定数(kN/m), 減衰係数(kN・s/m) 2: ロッキングばね: ばね定数(kN・m/rad), 減衰係数(kN・m・s/rad)</p> <p style="text-align: center;">第3.2.1-35表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 1) 第3.2.1-36表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 2) 第3.2.1-37表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 3) 第3.2.1-38表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 4) 第3.2.1-39表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 5) 第3.2.1-40表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - C 1) 第3.2.1-41表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - C 2) 第3.2.1-42表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - C 3) 第3.2.1-43表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - C 4)</p>		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.37 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.84 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.76 × 10 ⁶	K _{S4}	9	3.70 × 10 ⁶	底面スウェイばね	K _S	9	2.10 × 10 ⁸	底面ロッキングばね	K _R	9	4.87 × 10 ¹¹		質点番号	ばね定数	減衰係数	側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.37 × 10 ⁶	K _{S2}	7	2.84 × 10 ⁶	K _{S3}	8	4.76 × 10 ⁶	K _{S4}	9	3.70 × 10 ⁶	底面スウェイばね	K _S	9	2.10 × 10 ⁸	底面ロッキングばね	K _R	9	4.95 × 10 ¹¹	<p>弾性設計用地震動 S_dに係る記載であることから1.2×S_s計算書に記載無し</p> <p>1.0×S_s計算書において、第3.2.1-34表と同様に他地震による地盤定数が記載されるものであるため、本比較表上は省略</p>
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																	
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.37 × 10 ⁶																																																	
	K _{S2}	7	2.84 × 10 ⁶																																																	
	K _{S3}	8	4.76 × 10 ⁶																																																	
	K _{S4}	9	3.70 × 10 ⁶																																																	
底面スウェイばね	K _S	9	2.10 × 10 ⁸																																																	
底面ロッキングばね	K _R	9	4.87 × 10 ¹¹																																																	
	質点番号	ばね定数	減衰係数																																																	
側面スウェイばね	K _{S1}	6	3.37 × 10 ⁶																																																	
	K _{S2}	7	2.84 × 10 ⁶																																																	
	K _{S3}	8	4.76 × 10 ⁶																																																	
	K _{S4}	9	3.70 × 10 ⁶																																																	
底面スウェイばね	K _S	9	2.10 × 10 ⁸																																																	
底面ロッキングばね	K _R	9	4.95 × 10 ¹¹																																																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>3.2.2 鉛直方向モデル</p> <p>鉛直方向の地震応答解析モデルは、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」に示す質点系モデル及び地盤物性を用いる。鉛直方向の地震応答解析モデルを第3.2.2-1図、解析モデルの諸元を第3.2.2-1表に示す。</p> <p>また、$1.2 \times S_s$に対する地盤定数を第3.2.1-3表～第3.2.1-11表に、地盤ばね定数及び減衰係数を第3.2.2-2表～第3.2.2-10表に示す。</p>	<p>3.2.2 鉛直方向モデル</p> <p>鉛直方向の地震応答解析モデルは、建屋と地盤の相互作用を考慮した建屋-地盤連成モデルとし、耐震壁等の軸剛性を評価した質点系モデルを用いる。地震応答解析は弾性時刻歴応答解析により行う。鉛直方向の地震応答解析モデルを第3.2.2-1図、解析モデルの諸元を第3.2.2-1表に示す。</p> <p>建屋の各部材の剛性は、軸断面積に基づいて評価する。</p> <p>地盤は、地盤調査に基づき水平成層地盤とし、基礎底面地盤ばねについては、「JEAG 4601-1991 追補版」により、成層補正を行ったのち、振動アドミッタンス理論に基づき求めた鉛直地盤ばねを近似法により定数化して用いる。基礎底面地盤ばねの評価には、解析コード「ST-CROSS Ver.1.0」を用いる。なお、地盤定数については、ひずみ依存特性を考慮して求めた等価物性値を用いる。</p> <p>「Ⅲ-1-1-2 地盤の支持性能に係る基本方針」に基づく地盤の初期物性値を第3.2.1-3表に、ひずみ依存特性を第3.2.1-3図に示す。地盤の等価線形解析で得られる等価物性値に基づき設定した地盤定数を第3.2.1-4表～第3.2.1-23表に示す。また、地盤ばねの定数化の概要を第3.2.2-2図に、地盤ばね定数及び減衰係数を第3.2.2-2表～第3.2.2-19表に示す。</p> <p>なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、「Ⅲ-3 計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。</p>	<p>地震応答解析モデル及び地盤ばねの設定は両計算書で共通であるため$1.2 \times S_s$計算書では$1.0 \times S_s$計算書を引用。</p> <p>入力地震動の算定に用いる地盤物性は両計算書で共通であるため$1.2 \times S_s$計算書では$1.0 \times S_s$計算書を引用。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>(単位：m)</p> <p>T.M.S.L. 77.50</p> <p>T.M.S.L. 70.20</p> <p>T.M.S.L. 62.80</p> <p>T.M.S.L. 56.80</p> <p>T.M.S.L. 50.30</p> <p>T.M.S.L. 43.20</p> <p>T.M.S.L. 35.00</p> <p>T.M.S.L. 34.23</p> <p>T.M.S.L. 31.53</p>  <p>注記 1：○数字は質点番号を示す。 2：□数字は要素番号を示す。 3：K_vは底面鉛直ばねを示す。</p> <p>第3.2.2-1図 地震応答解析モデル（鉛直方向）</p>	<p>(単位：m)</p> <p>T.M.S.L. 77.50</p> <p>T.M.S.L. 70.20</p> <p>T.M.S.L. 62.80</p> <p>T.M.S.L. 56.80</p> <p>T.M.S.L. 50.30</p> <p>T.M.S.L. 43.20</p> <p>T.M.S.L. 35.00</p> <p>T.M.S.L. 34.23</p> <p>T.M.S.L. 31.53</p>  <p>注記 1：○数字は質点番号を示す。 2：□数字は要素番号を示す。 3：K_vは底面鉛直ばねを示す。</p> <p>第3.2.2-1図 地震応答解析モデル（鉛直方向）</p>	<p>地震応答解析モデルは両計算書で共通であるが、解析における基本的な情報であり、解析結果において参照する質点番号及び要素番号の定義が記載される図のため1.2×S_s計算書と1.0×S_s計算書で同じ図を記載。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																				
<p>第3.2.2-1表 地震応答解析モデル諸元 (鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="388 457 1136 1056"> <thead> <tr> <th>質点番号</th> <th>質点位置 T. M. S. L. (m)</th> <th>重量 W (kN)</th> <th>要素番号</th> <th>要素位置 T. M. S. L. (m)</th> <th>軸断面積 A (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>77.50</td><td>174000</td><td>1</td><td>77.50~70.20</td><td>420.5</td></tr> <tr><td>②</td><td>70.20</td><td>329000</td><td>2</td><td>70.20~62.80</td><td>760.0</td></tr> <tr><td>③</td><td>62.80</td><td>385000</td><td>3</td><td>62.80~56.80</td><td>957.1</td></tr> <tr><td>④</td><td>56.80</td><td>429000</td><td>4</td><td>56.80~50.30</td><td>1208.1</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>50.30</td><td>492000</td><td>5</td><td>50.30~43.20</td><td>1468.1</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>43.20</td><td>530000</td><td>6</td><td>43.20~35.00</td><td>1718.0</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>35.00</td><td>386000</td><td>7</td><td>35.00~34.23</td><td>4064.6</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>34.23</td><td>277000</td><td>8</td><td>34.23~31.53</td><td>7708.6</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>31.53</td><td>280000</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td colspan="2">建屋総重量</td><td>3282000</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	要素番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	軸断面積 A (m ²)	①	77.50	174000	1	77.50~70.20	420.5	②	70.20	329000	2	70.20~62.80	760.0	③	62.80	385000	3	62.80~56.80	957.1	④	56.80	429000	4	56.80~50.30	1208.1	⑤	50.30	492000	5	50.30~43.20	1468.1	⑥	43.20	530000	6	43.20~35.00	1718.0	⑦	35.00	386000	7	35.00~34.23	4064.6	⑧	34.23	277000	8	34.23~31.53	7708.6	⑨	31.53	280000	—	—	—	建屋総重量		3282000	—	—	—	<p>第3.2.2-1表 地震応答解析モデル諸元 (鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1561 457 2309 1056"> <thead> <tr> <th>質点番号</th> <th>質点位置 T. M. S. L. (m)</th> <th>重量 W (kN)</th> <th>要素番号</th> <th>要素位置 T. M. S. L. (m)</th> <th>軸断面積 A (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>77.50</td><td>174000</td><td>1</td><td>77.50~70.20</td><td>420.5</td></tr> <tr><td>②</td><td>70.20</td><td>329000</td><td>2</td><td>70.20~62.80</td><td>760.0</td></tr> <tr><td>③</td><td>62.80</td><td>385000</td><td>3</td><td>62.80~56.80</td><td>957.1</td></tr> <tr><td>④</td><td>56.80</td><td>429000</td><td>4</td><td>56.80~50.30</td><td>1208.1</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>50.30</td><td>492000</td><td>5</td><td>50.30~43.20</td><td>1468.1</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>43.20</td><td>530000</td><td>6</td><td>43.20~35.00</td><td>1718.0</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>35.00</td><td>386000</td><td>7</td><td>35.00~34.23</td><td>4064.6</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>34.23</td><td>277000</td><td>8</td><td>34.23~31.53</td><td>7708.6</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>31.53</td><td>280000</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td colspan="2">建屋総重量</td><td>3282000</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	要素番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	軸断面積 A (m ²)	①	77.50	174000	1	77.50~70.20	420.5	②	70.20	329000	2	70.20~62.80	760.0	③	62.80	385000	3	62.80~56.80	957.1	④	56.80	429000	4	56.80~50.30	1208.1	⑤	50.30	492000	5	50.30~43.20	1468.1	⑥	43.20	530000	6	43.20~35.00	1718.0	⑦	35.00	386000	7	35.00~34.23	4064.6	⑧	34.23	277000	8	34.23~31.53	7708.6	⑨	31.53	280000	—	—	—	建屋総重量		3282000	—	—	—	<p>前頁に同じ</p>
質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	要素番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	軸断面積 A (m ²)																																																																																																																																	
①	77.50	174000	1	77.50~70.20	420.5																																																																																																																																	
②	70.20	329000	2	70.20~62.80	760.0																																																																																																																																	
③	62.80	385000	3	62.80~56.80	957.1																																																																																																																																	
④	56.80	429000	4	56.80~50.30	1208.1																																																																																																																																	
⑤	50.30	492000	5	50.30~43.20	1468.1																																																																																																																																	
⑥	43.20	530000	6	43.20~35.00	1718.0																																																																																																																																	
⑦	35.00	386000	7	35.00~34.23	4064.6																																																																																																																																	
⑧	34.23	277000	8	34.23~31.53	7708.6																																																																																																																																	
⑨	31.53	280000	—	—	—																																																																																																																																	
建屋総重量		3282000	—	—	—																																																																																																																																	
質点番号	質点位置 T. M. S. L. (m)	重量 W (kN)	要素番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	軸断面積 A (m ²)																																																																																																																																	
①	77.50	174000	1	77.50~70.20	420.5																																																																																																																																	
②	70.20	329000	2	70.20~62.80	760.0																																																																																																																																	
③	62.80	385000	3	62.80~56.80	957.1																																																																																																																																	
④	56.80	429000	4	56.80~50.30	1208.1																																																																																																																																	
⑤	50.30	492000	5	50.30~43.20	1468.1																																																																																																																																	
⑥	43.20	530000	6	43.20~35.00	1718.0																																																																																																																																	
⑦	35.00	386000	7	35.00~34.23	4064.6																																																																																																																																	
⑧	34.23	277000	8	34.23~31.53	7708.6																																																																																																																																	
⑨	31.53	280000	—	—	—																																																																																																																																	
建屋総重量		3282000	—	—	—																																																																																																																																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	 <p>ばね定数：0Hz のばね定数 K で定数化 減衰係数：振動系全体のうち地盤の影響が卓越する最初の固有振動数 ω_1 に対応する虚部の値と原点を結ぶ直線の傾き C で定数化</p> <p>第3.2.2-2 図 鉛直地盤ばねの定数化の概要</p>	<p>両計算書で共通であるため1.2×Ss 計算書では省略。</p>

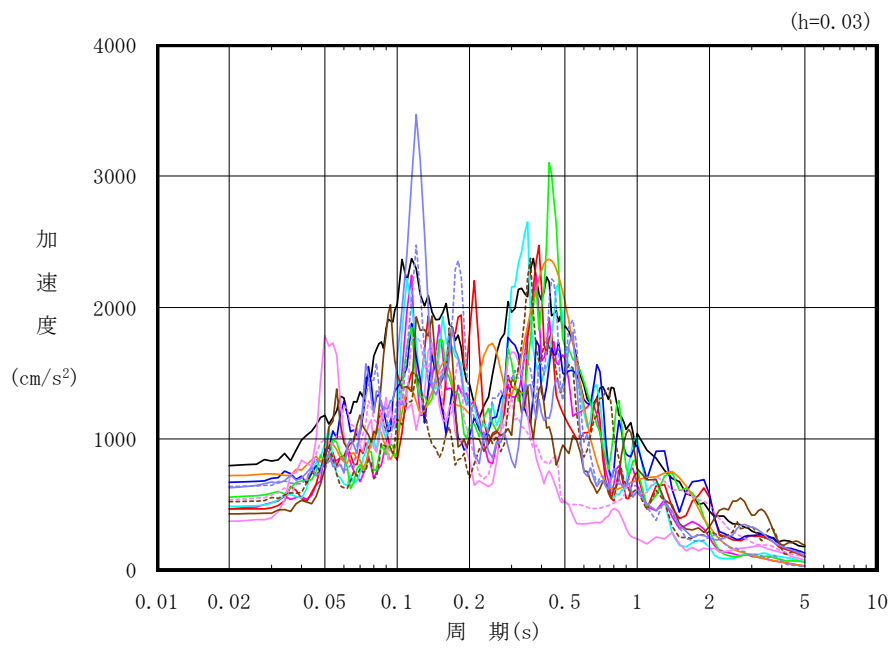
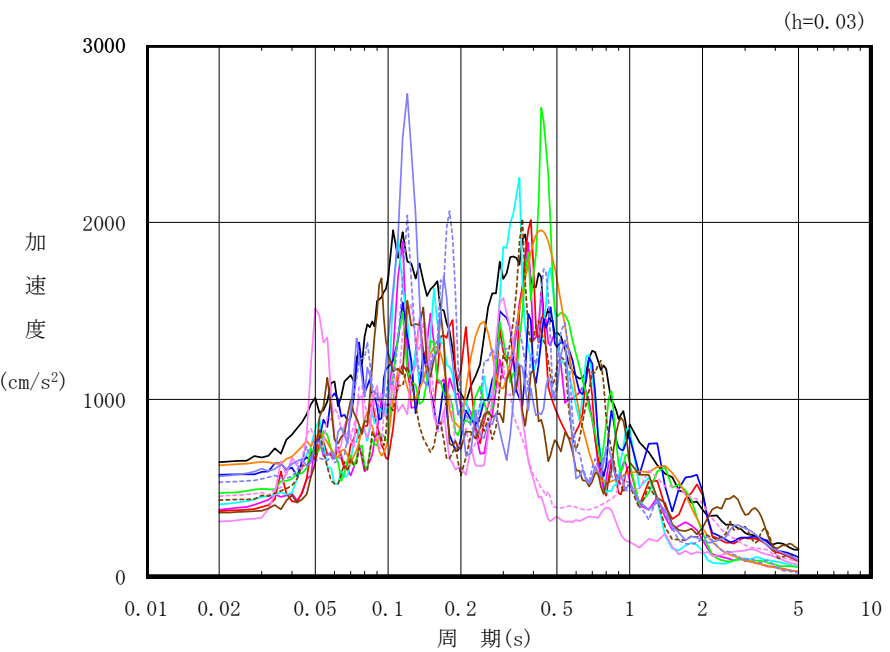
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																
<p>第3.2.2-2表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-A, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="243 323 1282 453"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.92 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.92 × 10 ⁸	<p>第3.2.2-2表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-A, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 323 2457 453"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.97 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.97 × 10 ⁸	<p>地盤ばね定数と減衰定数は地震波に応じて変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.92 × 10 ⁸															
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.97 × 10 ⁸															
<p>第3.2.2-3表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B1, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="243 525 1282 655"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>4.01 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	4.01 × 10 ⁸	<p>第3.2.2-3表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B1, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 525 2457 655"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>4.05 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	4.05 × 10 ⁸	
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	4.01 × 10 ⁸															
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	4.05 × 10 ⁸															
<p>第3.2.2-4表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B2, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="243 728 1282 858"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.97 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.97 × 10 ⁸	<p>第3.2.2-4表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B2, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 728 2457 858"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>4.02 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	4.02 × 10 ⁸	
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.97 × 10 ⁸															
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	4.02 × 10 ⁸															
<p>第3.2.2-5表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B3, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="243 932 1282 1062"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.98 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.98 × 10 ⁸	<p>第3.2.2-5表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B3, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 932 2457 1062"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>4.02 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	4.02 × 10 ⁸	
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.98 × 10 ⁸															
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	4.02 × 10 ⁸															
<p>第3.2.2-6表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B4, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="243 1136 1282 1266"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.90 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.90 × 10 ⁸	<p>第3.2.2-6表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B4, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 1136 2457 1266"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.95 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.95 × 10 ⁸	
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.90 × 10 ⁸															
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.95 × 10 ⁸															
<p>第3.2.2-7表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-B5, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="243 1339 1282 1470"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.90 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.90 × 10 ⁸	<p>第3.2.2-7表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-B5, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 1339 2457 1470"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.96 × 10⁸</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.96 × 10 ⁸	
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.90 × 10 ⁸															
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)															
底面鉛直ばね	K _v	9	3.96 × 10 ⁸															

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																						
<p>第3.2.2-8表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-C1, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="246 323 1279 457"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.81 × 10⁸</td> <td>1.75 × 10⁷</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3.2.2-9表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-C2, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="246 527 1279 661"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.98 × 10⁸</td> <td>1.79 × 10⁷</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3.2.2-10表 地盤ばね定数と減衰係数 (1.2×S_s-C3, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="246 730 1279 865"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.97 × 10⁸</td> <td>1.79 × 10⁷</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.81 × 10 ⁸	1.75 × 10 ⁷		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.98 × 10 ⁸	1.79 × 10 ⁷		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.97 × 10 ⁸	1.79 × 10 ⁷	<p>第3.2.2-8表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-C1, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 323 2451 457"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>3.86 × 10⁸</td> <td>1.76 × 10⁷</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3.2.2-9表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-C2, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 527 2451 661"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>4.02 × 10⁸</td> <td>1.80 × 10⁷</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3.2.2-10表 地盤ばね定数と減衰係数 (S_s-C3, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1418 730 2451 865"> <thead> <tr> <th></th> <th>質点番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>4.00 × 10⁸</td> <td>1.79 × 10⁷</td> </tr> </tbody> </table>		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	3.86 × 10 ⁸	1.76 × 10 ⁷		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	4.02 × 10 ⁸	1.80 × 10 ⁷		質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K _v	9	4.00 × 10 ⁸	1.79 × 10 ⁷	<p>前頁に同じ</p>
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)																																																					
底面鉛直ばね	K _v	9	3.81 × 10 ⁸	1.75 × 10 ⁷																																																				
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)																																																					
底面鉛直ばね	K _v	9	3.98 × 10 ⁸	1.79 × 10 ⁷																																																				
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)																																																					
底面鉛直ばね	K _v	9	3.97 × 10 ⁸	1.79 × 10 ⁷																																																				
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)																																																					
底面鉛直ばね	K _v	9	3.86 × 10 ⁸	1.76 × 10 ⁷																																																				
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)																																																					
底面鉛直ばね	K _v	9	4.02 × 10 ⁸	1.80 × 10 ⁷																																																				
	質点番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)																																																					
底面鉛直ばね	K _v	9	4.00 × 10 ⁸	1.79 × 10 ⁷																																																				

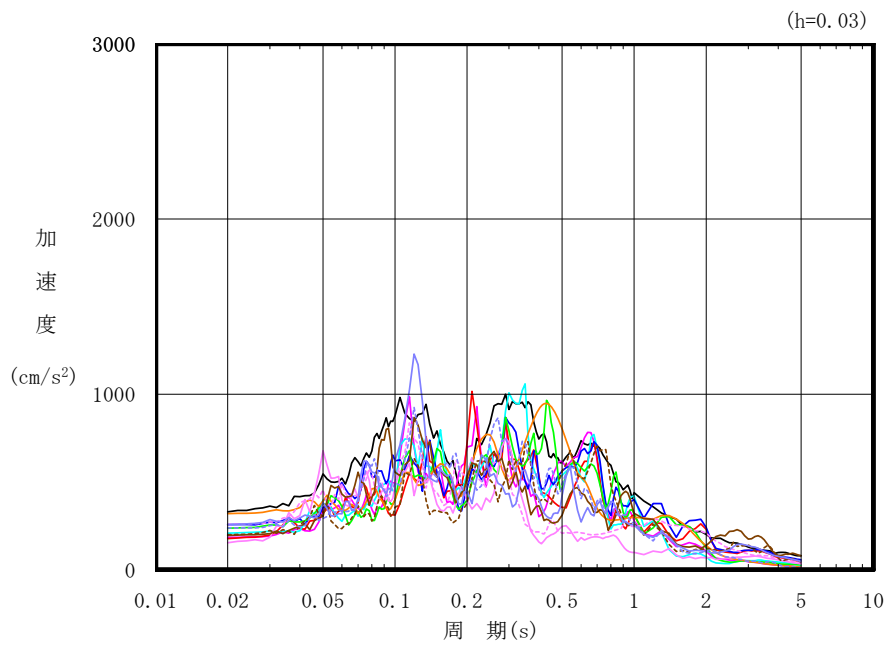
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考										
	<p style="text-align: center;">第3.2.2-11表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - A, 鉛直方向)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>質点 番号</th> <th>ばね定数 (kN/m)</th> <th>減衰係数 (kN・s/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>底面鉛直ばね</td> <td>K_v</td> <td>9</td> <td>4.11×10^8</td> <td>1.82×10^7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第3.2.2-12表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 1, 鉛直方向) 第3.2.2-13表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 2, 鉛直方向) 第3.2.2-14表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 3, 鉛直方向) 第3.2.2-15表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 4, 鉛直方向) 第3.2.2-16表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - B 5, 鉛直方向) 第3.2.2-17表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - C 1, 鉛直方向) 第3.2.2-18表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - C 2, 鉛直方向) 第3.2.2-19表 地盤ばね定数と減衰係数 (S d - C 3, 鉛直方向)</p>			質点 番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)	底面鉛直ばね	K_v	9	4.11×10^8	1.82×10^7	<p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であるこ とから 1.2×Ss 計算 書に記載無し</p> <p>1.0×Ss 計算書にお いて、第3.2.1-35 表と同様に他地震に よる地盤定数が記載 されるものであるた め、本比較表上は省 略</p>
		質点 番号	ばね定数 (kN/m)	減衰係数 (kN・s/m)								
底面鉛直ばね	K_v	9	4.11×10^8	1.82×10^7								

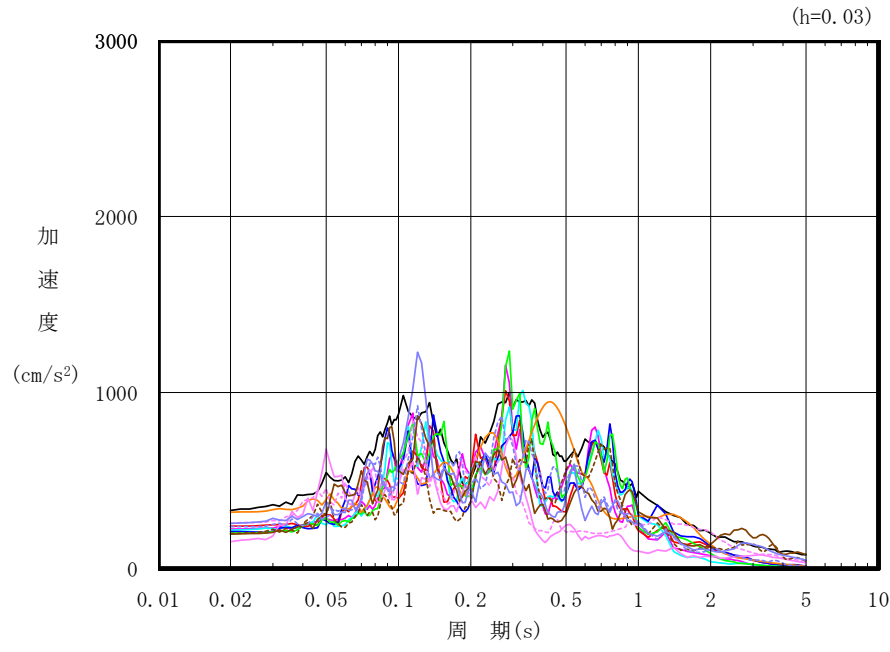
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>3.3 建物・構築物の入力地震動</p> <p>入力地震動は、水平方向、鉛直方向ともに、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」の「3.3 建物・構築物の入力地震動」と同じ方法により算定する。</p> <p>ひずみ依存特性を考慮して求めた等価物性値を用いて、1次元波動論により算定した基礎底面位置(T.M.S.L. 31.53m)における地盤応答の水平方向の加速度応答スペクトルを第3.3.-1図及び第3.3.-2図に、地盤応答の各深さの最大加速度分布を第3.3.-3図に示す。また、鉛直方向の加速度応答スペクトルを第3.3.-4図に、地盤応答の各深さの最大加速度分布を第3.3.-5図に示す。</p>	<p>3.3 建物・構築物の入力地震動</p> <p>3.3.1 水平方向</p> <p>水平方向モデルへの入力地震動は、1次元波動論に基づき、解放基盤表面レベルで定義される基準地震動S_s及び弾性設計用地震動S_dに対する建屋基礎底面及び側面地盤ばねレベルでの地盤の応答として評価する。また、建屋基礎底面レベルにおけるせん断力(以下、「切欠き力」という。)を付加することにより、地盤の切欠き効果を考慮する。第3.3.1-1図に地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図を示す。入力地震動の算定には、解析コード「TDAS Ver.20121030」を用いる。</p> <p>ひずみ依存特性を考慮して求めた等価物性値を用いて、1次元波動論により算定した基礎底面位置(T.M.S.L. 31.53m)における地盤応答の加速度応答スペクトルを第3.3.1-2図～第3.3.1-5図に示す。また、地盤応答の各深さの最大加速度分布を第3.3.1-6図及び第3.3.1-7図に示す。</p> <p>なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、「Ⅲ-3 計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。</p>	<p>入力地震動の算定の考え方は両計算書で共通であるため$1.2 \times S_s$計算書では$1.0 \times S_s$計算書を引用し、詳細な説明については省略。 $1.2 \times S_s$計算書では水平方向と鉛直方向の算定方法及び算定結果を示す。</p>

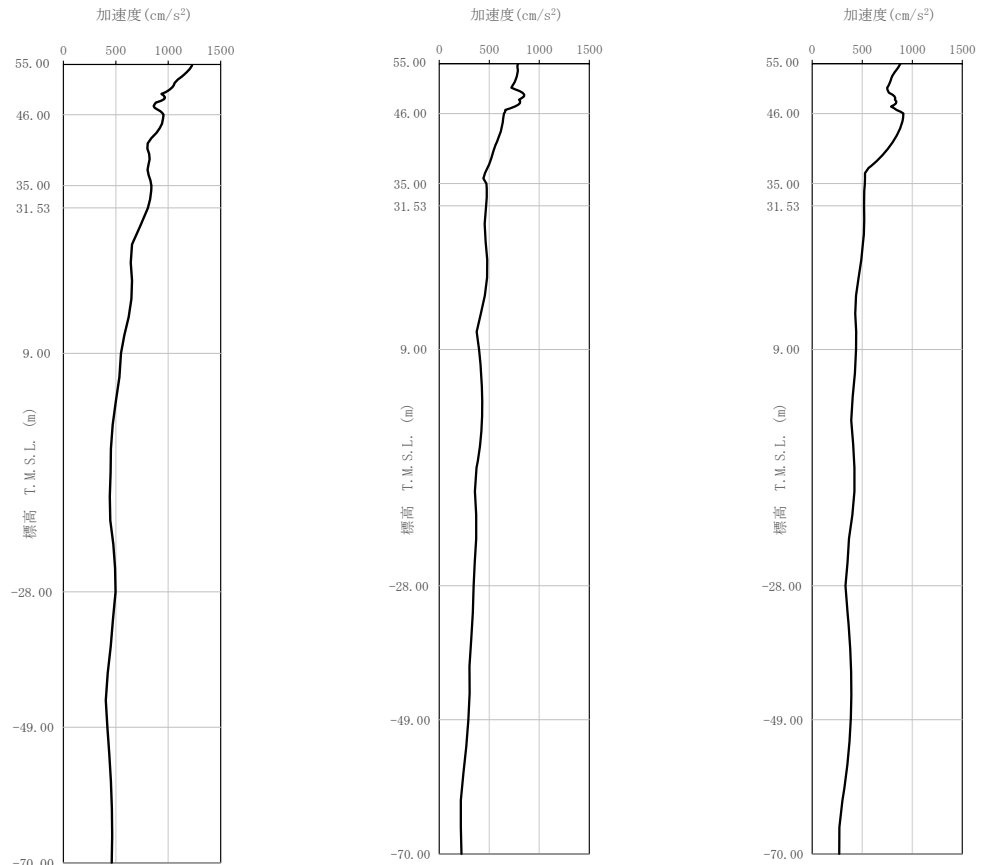
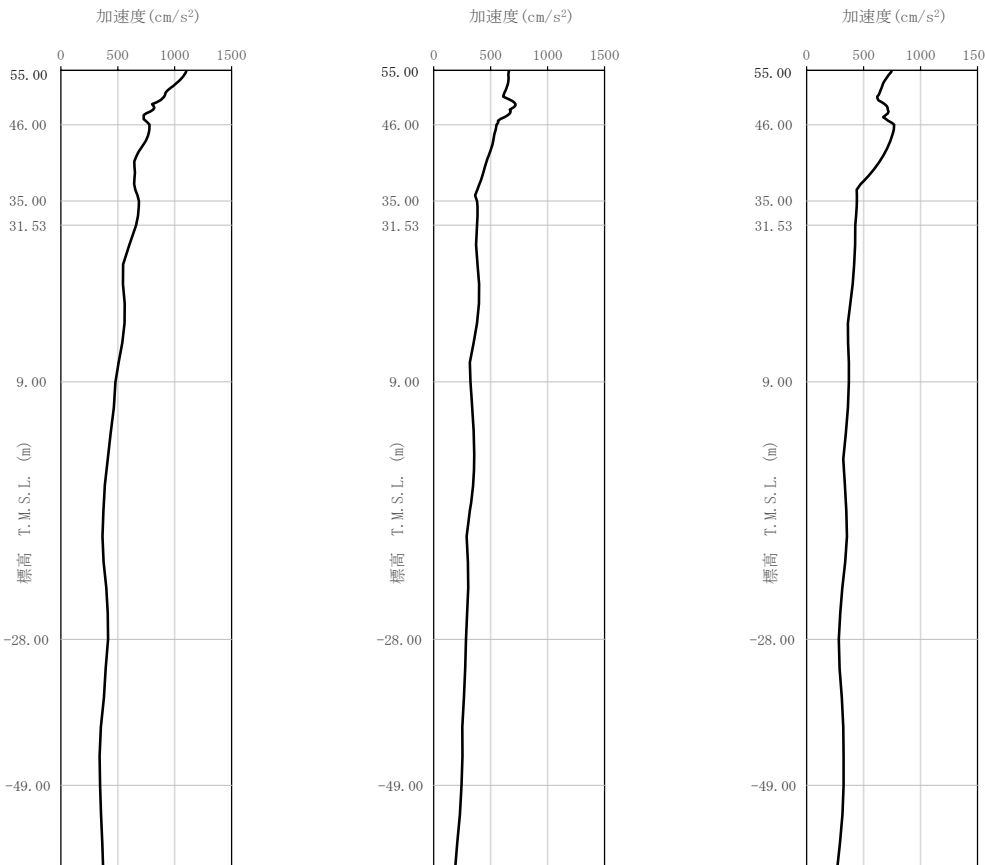
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>第3.3.1-1図 地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図(水平方向)</p>	<p>両計算書で共通であるため1.2×S_s計算書では省略。</p>

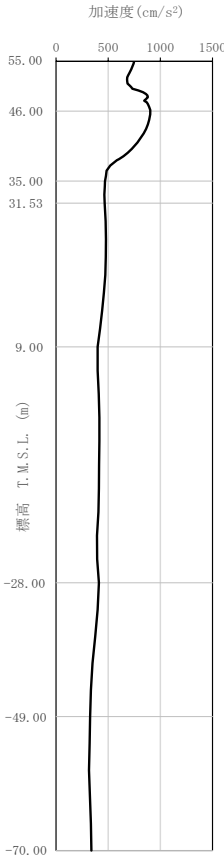
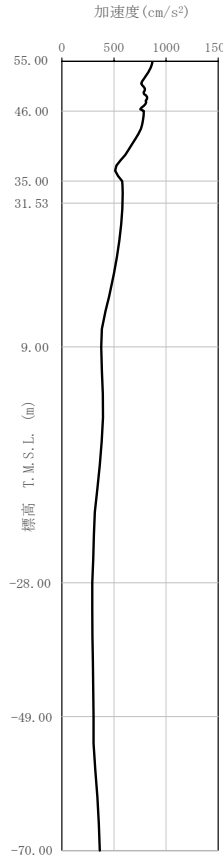
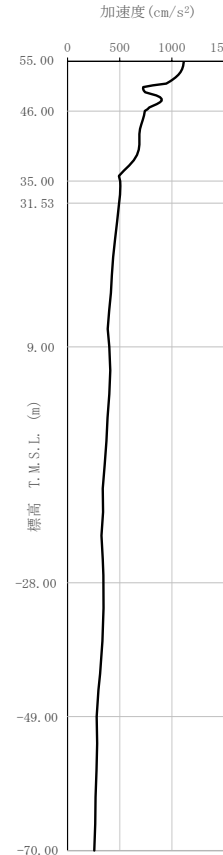
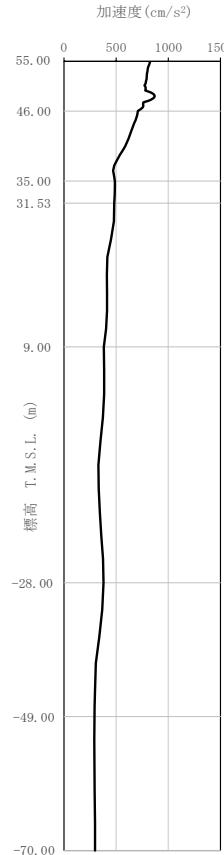
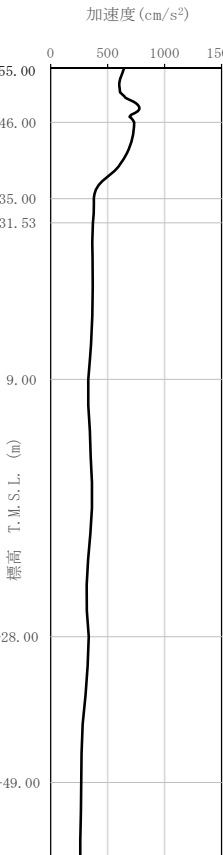
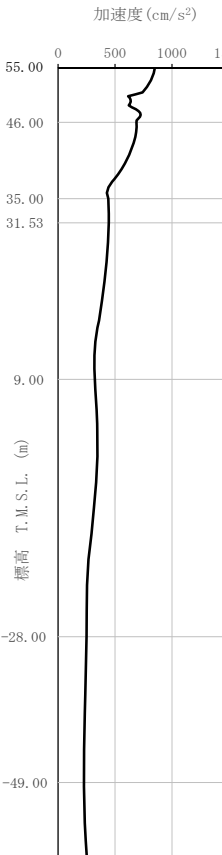
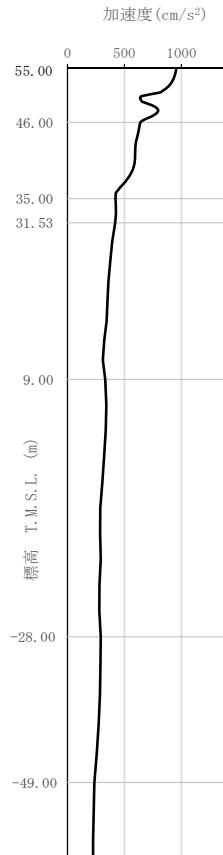
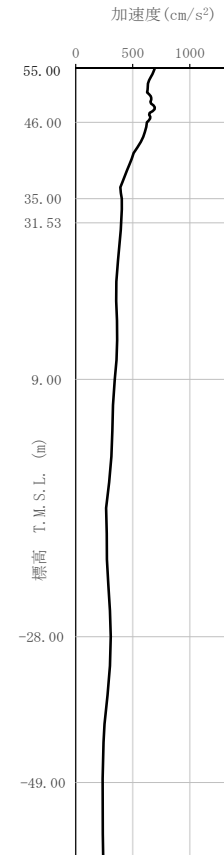
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
 <p>(h=0.03)</p> <p>加速度 (cm/s²)</p> <p>周期(s)</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : 1.2×S_s-A (H) — : 1.2×S_s-B1 (NS) — : 1.2×S_s-B2 (NS) — : 1.2×S_s-B3 (NS) — : 1.2×S_s-B4 (NS) — : 1.2×S_s-B5 (NS) — : 1.2×S_s-C1 (NSEW) — : 1.2×S_s-C2 (NS) - - : 1.2×S_s-C2 (EW) — : 1.2×S_s-C3 (NS) - - : 1.2×S_s-C3 (EW) — : 1.2×S_s-C4 (NS) - - : 1.2×S_s-C4 (EW) <p>第3.3.-1図 入力地震動の加速度応答スペクトル (1.2×S_s, NS方向, T.M.S.L. 31.53m)</p>	 <p>(h=0.03)</p> <p>加速度 (cm/s²)</p> <p>周期(s)</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : S_s-A (H) — : S_s-B1 (NS) — : S_s-B2 (NS) — : S_s-B3 (NS) — : S_s-B4 (NS) — : S_s-B5 (NS) — : S_s-C1 (NSEW) — : S_s-C2 (NS) - - : S_s-C2 (EW) — : S_s-C3 (NS) - - : S_s-C3 (EW) — : S_s-C4 (NS) - - : S_s-C4 (EW) <p>第3.3.1-2図 入力地震動の加速度応答スペクトル (S_s, NS方向, T.M.S.L. 31.53m)</p>	<p>備考</p> <p>入力地震動の算定結果は地震波に応じて変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>

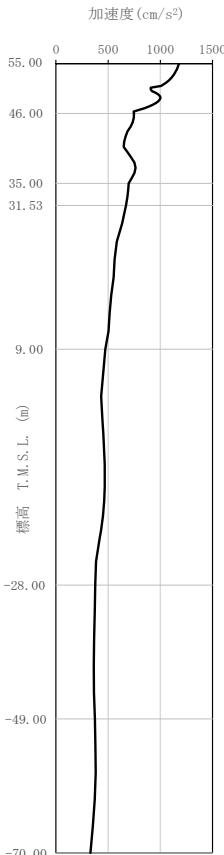
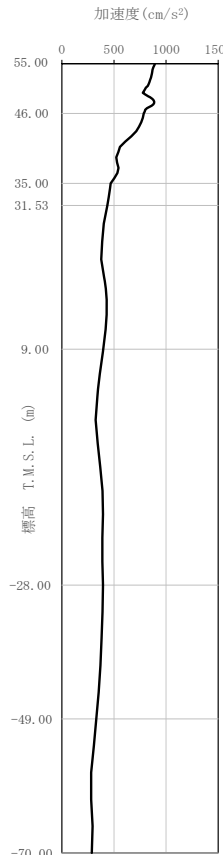
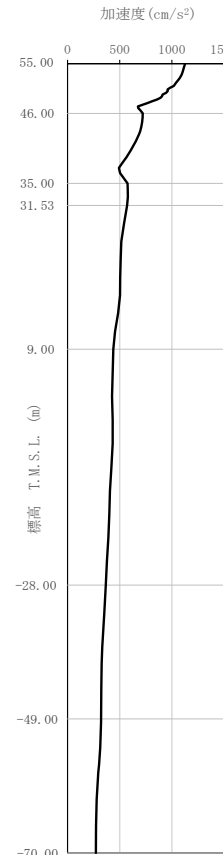
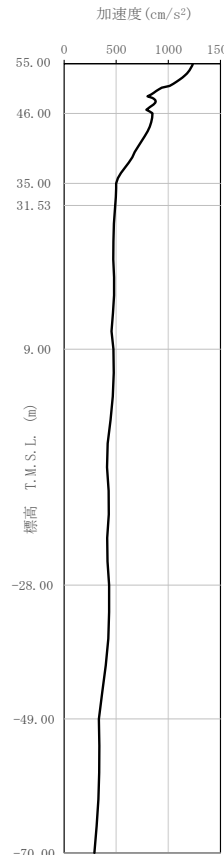
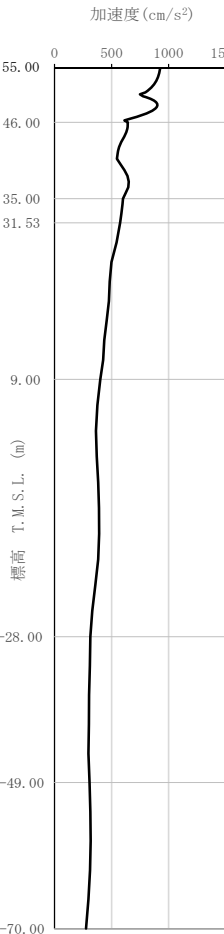
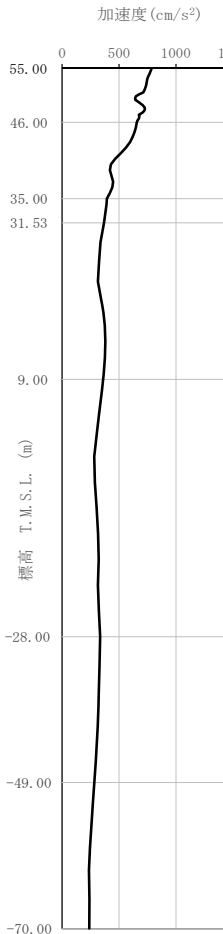
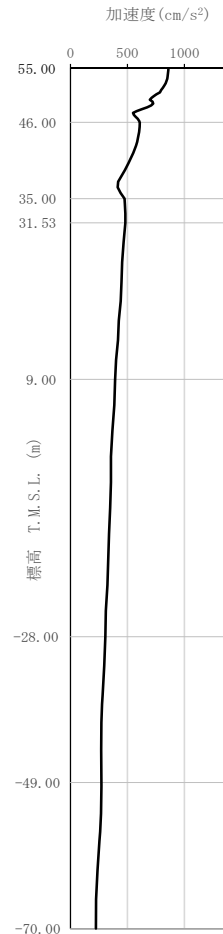
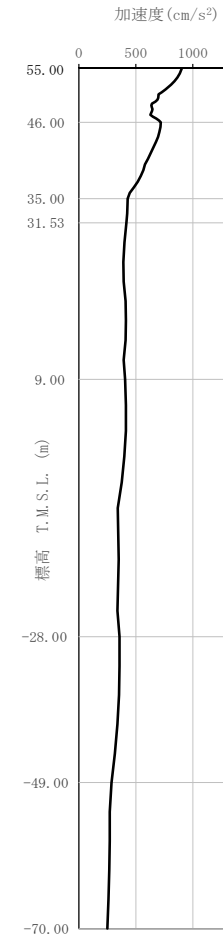
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div data-bbox="332 306 1166 909" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="385 949 869 1423" data-label="List-Group"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : 1.2×S_s-A (H) — : 1.2×S_s-B 1 (EW) — : 1.2×S_s-B 2 (EW) — : 1.2×S_s-B 3 (EW) — : 1.2×S_s-B 4 (EW) — : 1.2×S_s-B 5 (EW) — : 1.2×S_s-C 1 (NSEW) — : 1.2×S_s-C 2 (NS) - - : 1.2×S_s-C 2 (EW) — : 1.2×S_s-C 3 (NS) - - : 1.2×S_s-C 3 (EW) — : 1.2×S_s-C 4 (NS) - - : 1.2×S_s-C 4 (EW) </div> <div data-bbox="457 1455 1062 1526" data-label="Caption"> <p>第3.3.-2図 入力地震動の加速度応答スペクトル (1.2×S_s, EW方向, T.M.S.L. 31.53m)</p> </div>	<div data-bbox="1507 306 2341 909" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1558 949 1979 1423" data-label="List-Group"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : S_s-A (H) — : S_s-B 1 (EW) — : S_s-B 2 (EW) — : S_s-B 3 (EW) — : S_s-B 4 (EW) — : S_s-B 5 (EW) — : S_s-C 1 (NSEW) — : S_s-C 2 (NS) - - : S_s-C 2 (EW) — : S_s-C 3 (NS) - - : S_s-C 3 (EW) — : S_s-C 4 (NS) - - : S_s-C 4 (EW) </div> <div data-bbox="1620 1455 2243 1526" data-label="Caption"> <p>第3.3.1-3図 入力地震動の加速度応答スペクトル (S_s, EW方向, T.M.S.L. 31.53m)</p> </div>	<p>前頁に同じ</p>

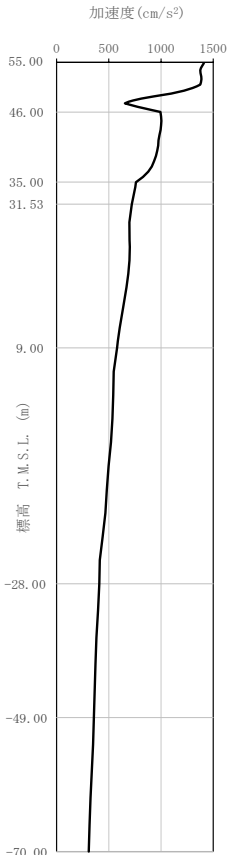
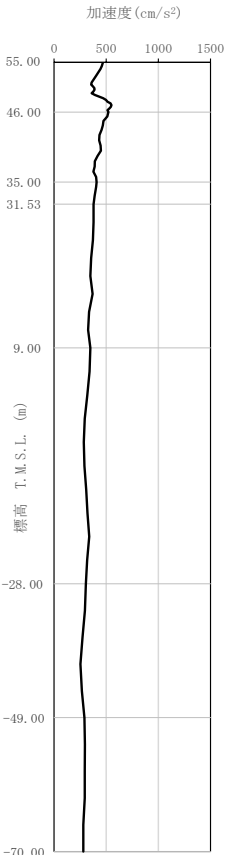
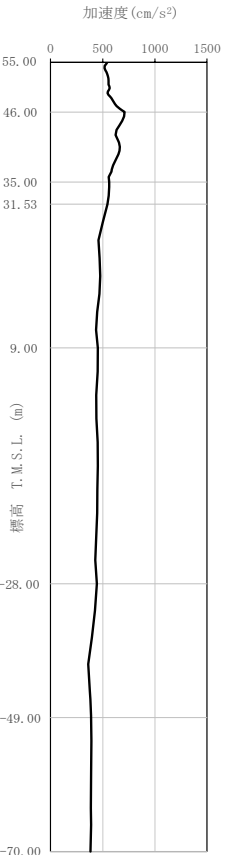
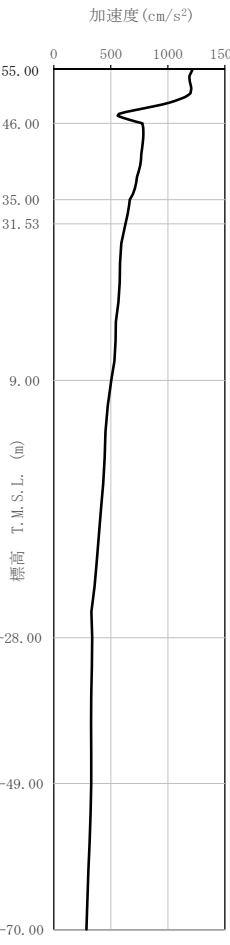
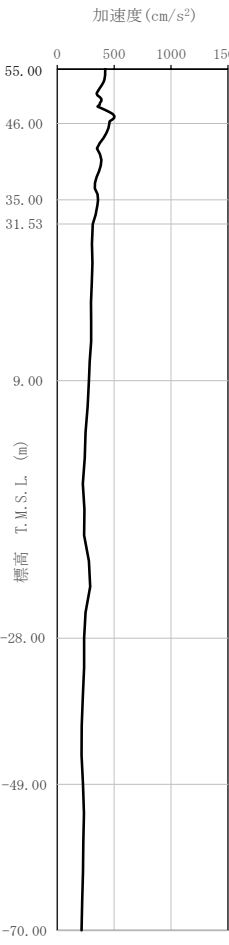

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	 <p>(h=0.03)</p> <p>加 速 度 (cm/s²)</p> <p>周 期 (s)</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : S d - A (H) — : S d - B 1 (NS) — : S d - B 2 (NS) — : S d - B 3 (NS) — : S d - B 4 (NS) — : S d - B 5 (NS) — : S d - C 1 (NS EW) — : S d - C 2 (NS) - - - : S d - C 2 (EW) — : S d - C 3 (NS) - - - : S d - C 3 (EW) — : S d - C 4 (NS) - - - : S d - C 4 (EW) <p>第3.3.1-4図 入力地震動の加速度応答スペクトル (S d, NS 方向, T.M.S.L. 31.53m)</p>	<p>備考</p> <p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であるこ とから 1.2×Ss 計算 書に記載無し</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : S d - A (H) — : S d - B 1 (EW) — : S d - B 2 (EW) — : S d - B 3 (EW) — : S d - B 4 (EW) — : S d - B 5 (EW) — : S d - C 1 (N S E W) — : S d - C 2 (N S) - - - : S d - C 2 (E W) — : S d - C 3 (N S) - - - : S d - C 3 (E W) — : S d - C 4 (N S) - - - : S d - C 4 (E W) <p>第3.3.1-5図 入力地震動の加速度応答スペクトル (S d, EW方向, T.M.S.L. 31.53m)</p>	<p>前頁に同じ</p>

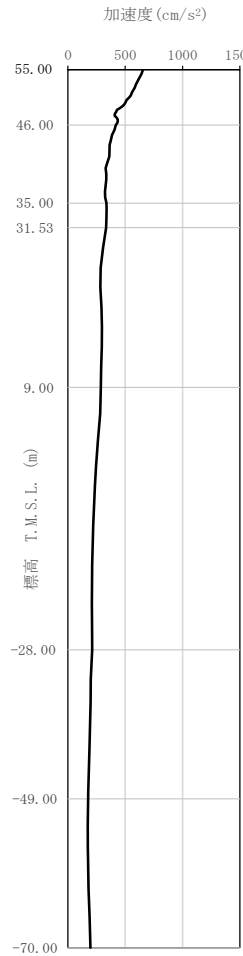
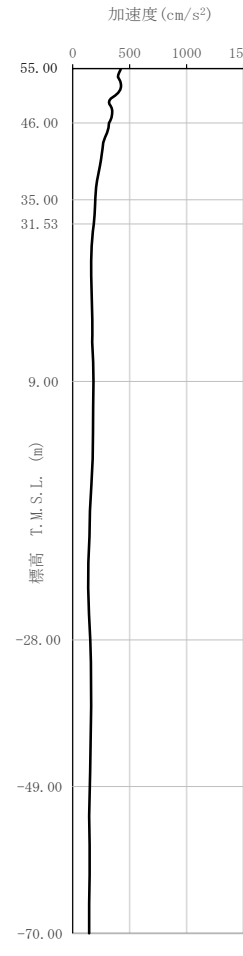
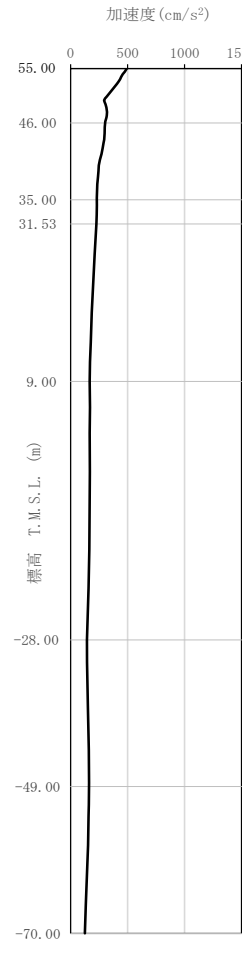
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
 <p>(a) $1.2 \times S_s - A$ (H)</p> <p>(b) $1.2 \times S_s - B1$ (NS)</p> <p>(c) $1.2 \times S_s - B1$ (EW)</p> <p>第3.3.-3図 最大加速度分布 (1/5) ($1.2 \times S_s$)</p>	 <p>(a) $S_s - A$ (H)</p> <p>(b) $S_s - B1$ (NS)</p> <p>(c) $S_s - B1$ (EW)</p> <p>第3.3.1-6図 最大加速度分布 (S_s) (1/5)</p>	<p>備考</p> <p>入力地震動の算定結果は地震波に応じて変わるため $1.2 \times S_s$ 計算書にも記載</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(d) 1.2×S_s-B2 (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(e) 1.2×S_s-B2 (EW)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(f) 1.2×S_s-B3 (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(g) 1.2×S_s-B3 (EW)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.-3図 最大加速度分布 (2/5) (1.2×S_s)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(d) S_s-B2 (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(e) S_s-B2 (EW)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(f) S_s-B3 (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(g) S_s-B3 (EW)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.1-6図 最大加速度分布 (S_s) (2/5)</p>	<p style="text-align: center;">備考</p> <p style="text-align: center;">前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(h) $1.2 \times S_s - B4$ (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(i) $1.2 \times S_s - B4$ (EW)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(j) $1.2 \times S_s - B5$ (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(k) $1.2 \times S_s - B5$ (EW)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.-3図 最大加速度分布 (3/5) ($1.2 \times S_s$)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(h) $S_s - B4$ (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(i) $S_s - B4$ (EW)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(j) $S_s - B5$ (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(k) $S_s - B5$ (EW)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.1-6図 最大加速度分布 (S_s) (3/5)</p>	<p style="text-align: center;">備考</p> <p style="text-align: center;">前頁に同じ</p>

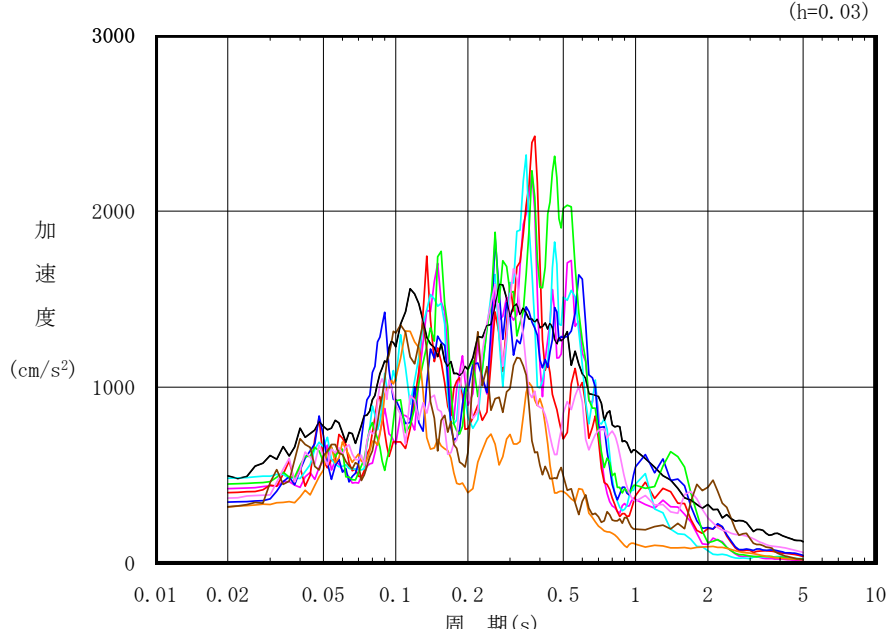
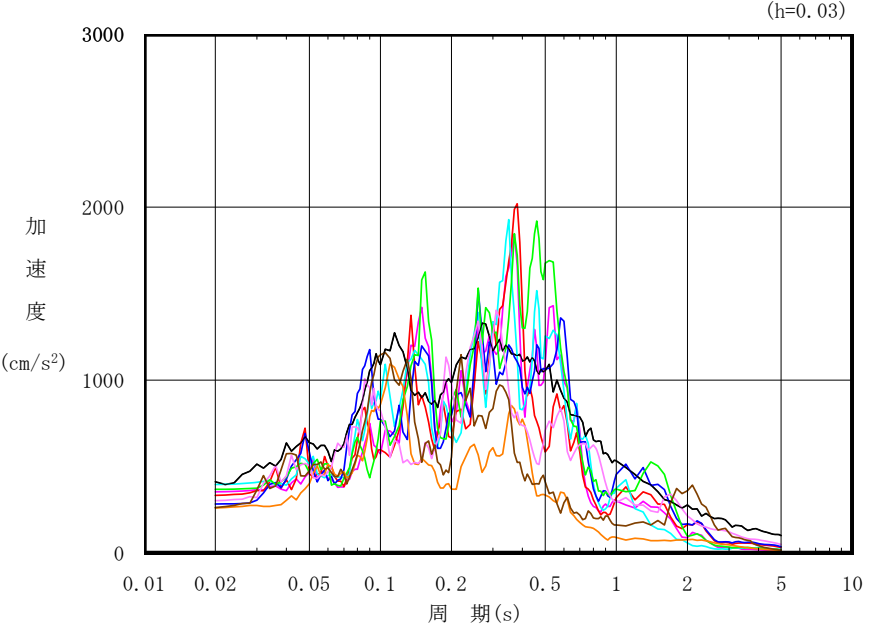
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(1) 1.2×S_s-C1 (NSEW)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(m) 1.2×S_s-C2 (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(n) 1.2×S_s-C2 (EW)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.-3図 最大加速度分布(4/5) (1.2×S_s)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(l) S_s-C1 (NSEW)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(m) S_s-C2 (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(n) S_s-C2 (EW)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.1-6図 最大加速度分布(S_s) (4/5)</p>	<p>前頁に同じ</p>

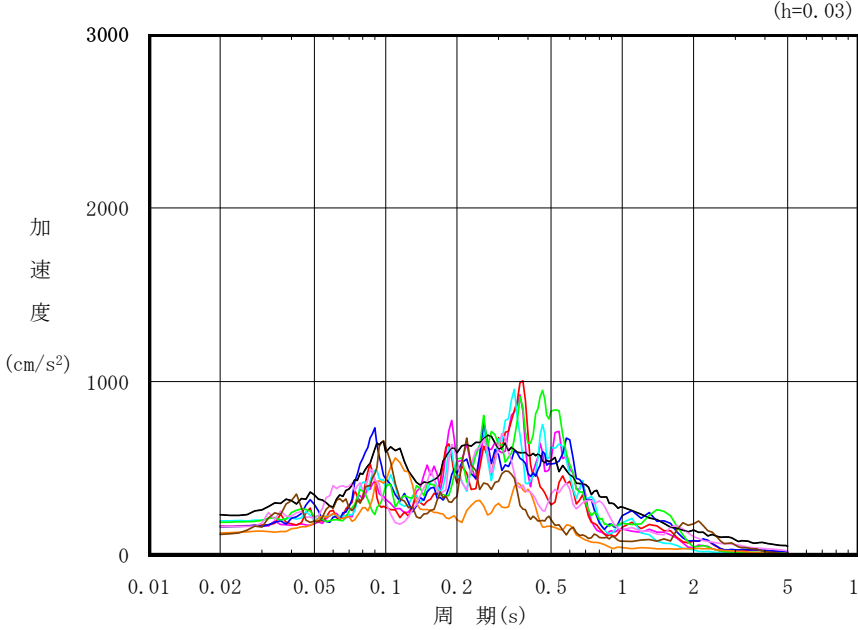
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>(o) $1.2 \times S_s - C3$ (NS) (p) $1.2 \times S_s - C3$ (EW) (q) $1.2 \times S_s - C4$ (NS) (r) $1.2 \times S_s - C4$ (EW)</p> <p>第3.3.-3図 最大加速度分布(5/5) ($1.2 \times S_s$)</p>	<p>(o) $S_s - C3$ (NS) (p) $S_s - C3$ (EW) (q) $S_s - C4$ (NS) (r) $S_s - C4$ (EW)</p> <p>第3.3.1-6図 最大加速度分布 (S_s) (5/5)</p>	<p>前頁に同じ</p>

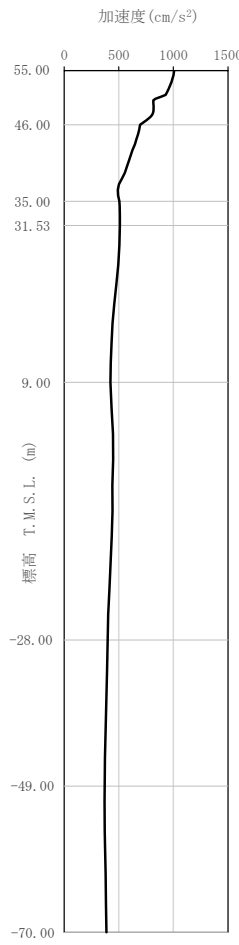
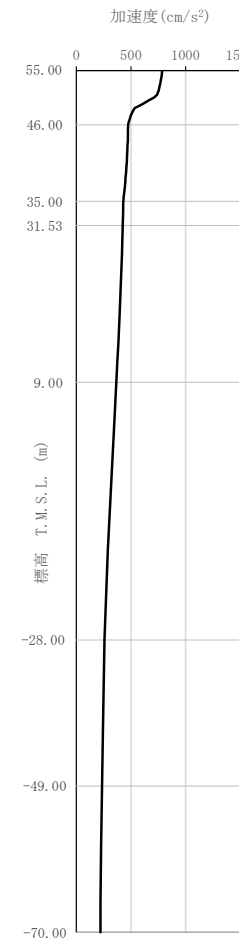
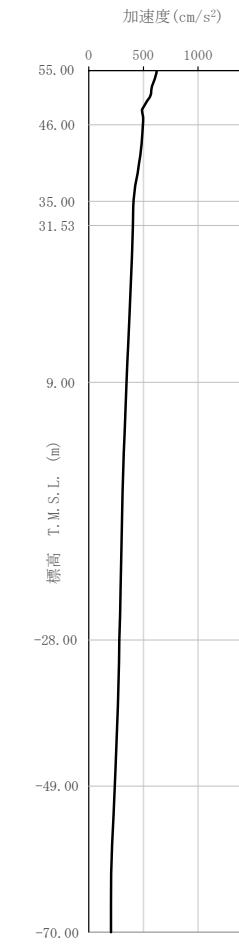
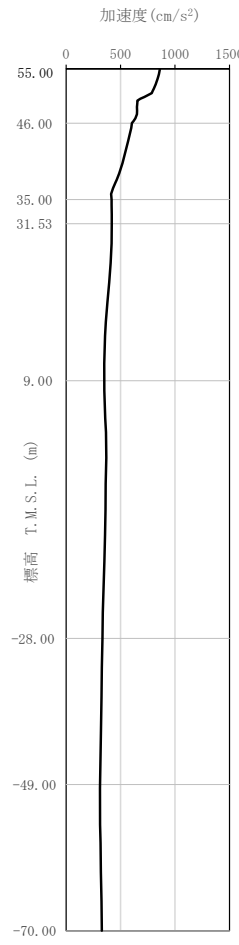
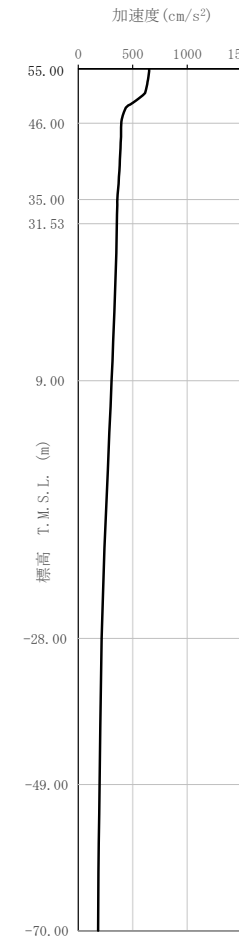
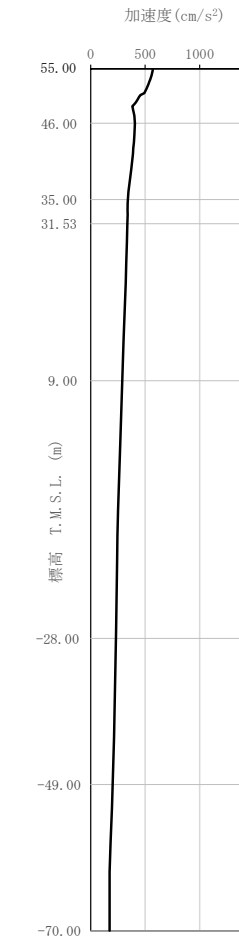
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a) S d - A (H)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b) S d - B 1 (NS)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(c) S d - B 1 (EW)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第 3.3.1-7 図 最大加速度分布 (S d) (1/5)</p> <p style="text-align: center;">第 3.3.1-7 図 最大加速度分布 (S d) (2/5) 第 3.3.1-7 図 最大加速度分布 (S d) (3/5) 第 3.3.1-7 図 最大加速度分布 (S d) (4/5) 第 3.3.1-7 図 最大加速度分布 (S d) (5/5)</p>	<p>備考</p> <p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であるこ とから 1.2×Ss 計算 書に記載無し</p> <p>1.0×Ss 計算書にお いて、同図 (1/5) と 同様に他地震による 加速度分布が記載さ れるものであるた め、本比較表上は省 略</p>

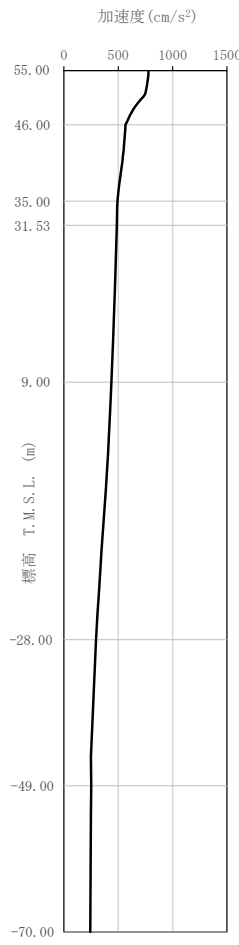
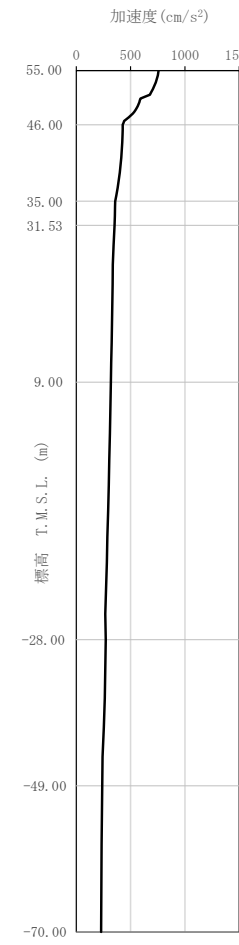
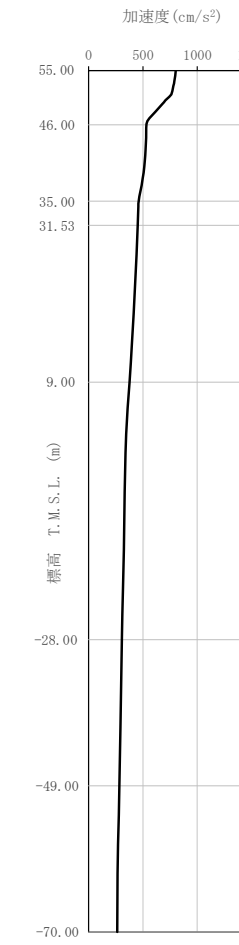
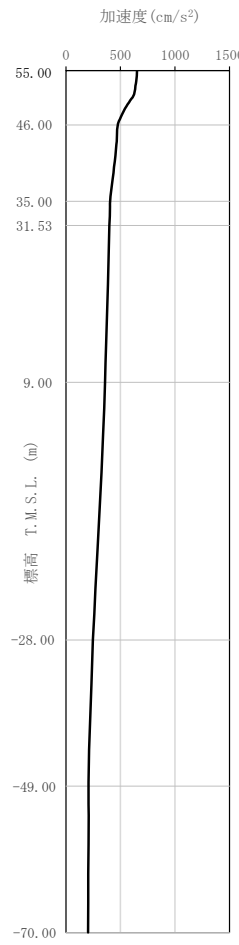
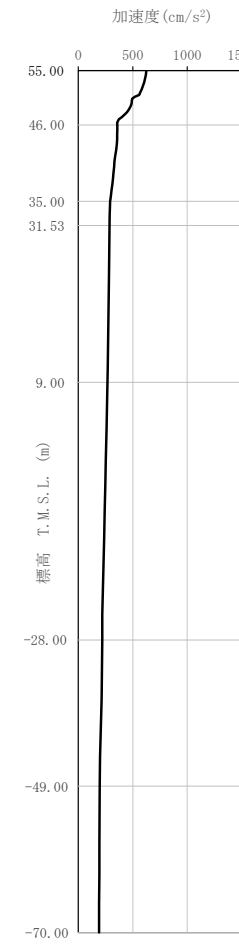
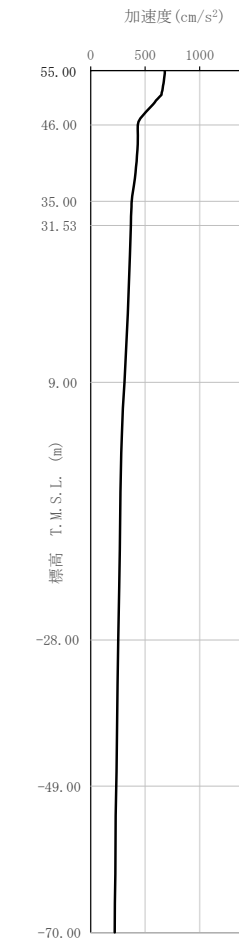
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>3.3.2 鉛直方向 鉛直方向モデルへの入力地震動は、1次元波動論に基づき、解放基盤表面レベルで定義される基準地震動S_s及び弾性設計用地震動S_dに対する建屋基礎底面レベルでの地盤の応答として評価する。また、建屋基礎底面レベルにおける切欠き力を付加することにより、地盤の切欠き効果を考慮する。第3.3.2-1図に地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図を示す。入力地震動の算定には、解析コード「TDAS Ver.20121030」を用いる。</p> <p>ひずみ依存特性を考慮して求めた等価物性値を用いて、1次元波動論により算定した基礎底面位置(T.M.S.L. 31.53m)における地盤応答の加速度応答スペクトルを第3.3.2-2図及び第3.3.2-3図に示す。また、地盤応答の各深さの最大加速度分布を第3.3.2-4図及び第3.3.2-5図に示す。</p> <p>なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、「Ⅲ-3 計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。</p>	<p>入力地震動の算定の考え方は両計算書で共通であるため$1.2 \times S_s$計算書では$1.0 \times S_s$計算書を引用し、詳細な説明については省略。 $1.2 \times S_s$計算書では水平方向と鉛直方向の算定方法及び算定結果を示す。(47/125参照)</p>

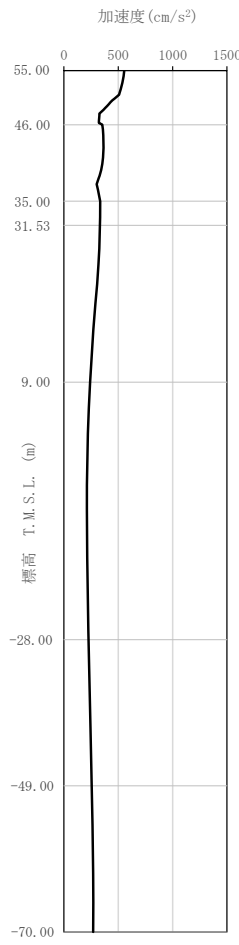
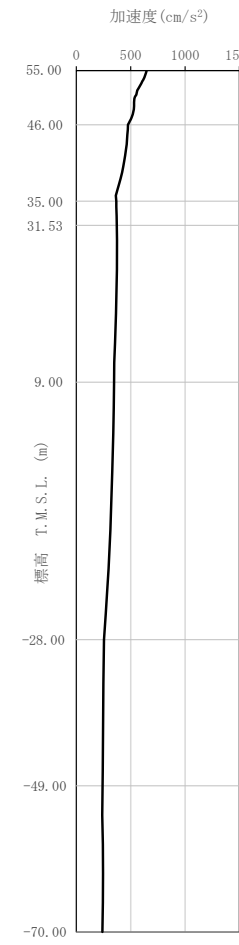
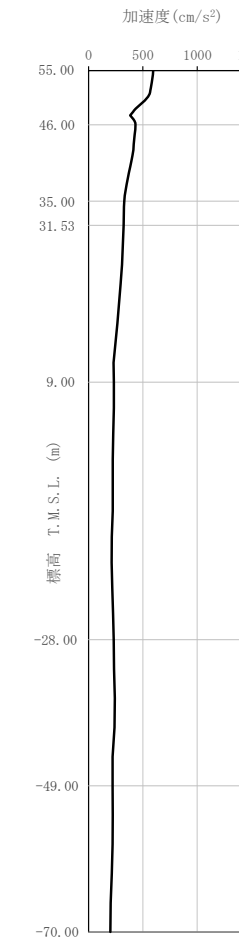
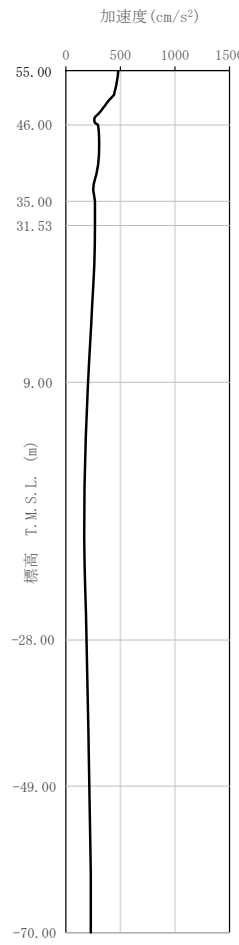
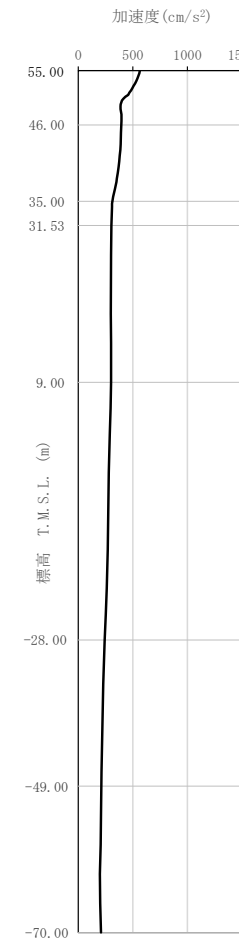
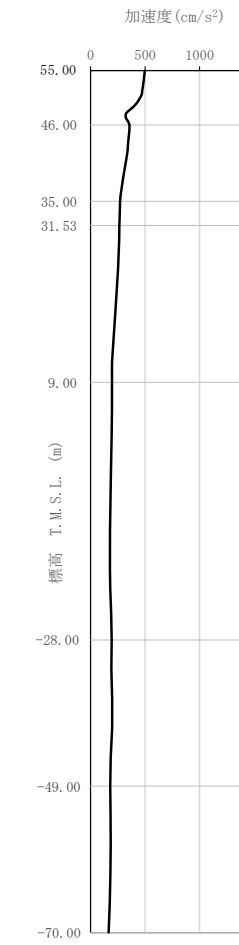
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>第3.3.2-1図 地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図(鉛直方向)</p>	前頁に同じ

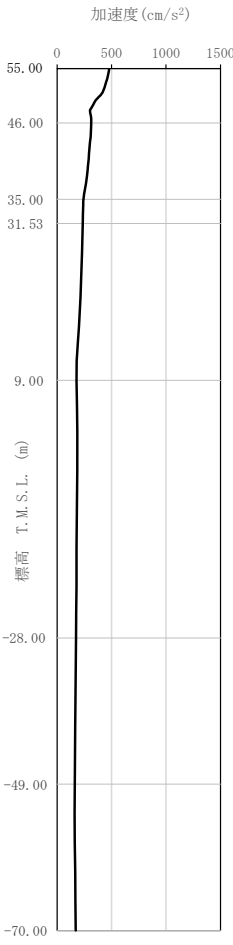
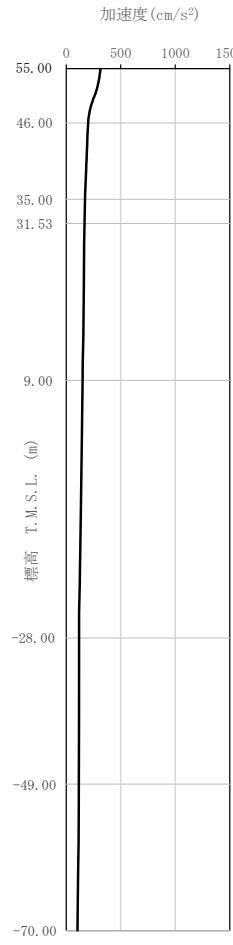
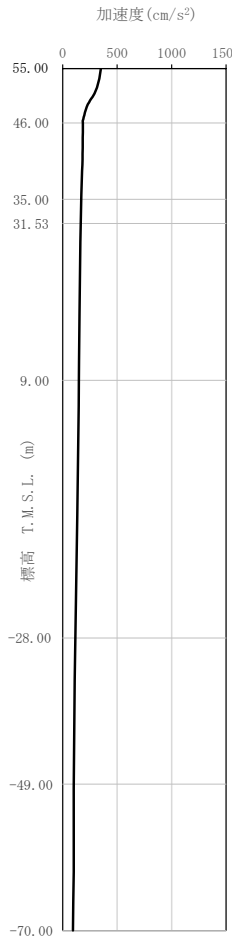
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
 <p>(h=0.03)</p> <p>加速度 (cm/s²)</p> <p>周期(s)</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : 1.2×S_s-A (V) — : 1.2×S_s-B1 (UD) — : 1.2×S_s-B2 (UD) — : 1.2×S_s-B3 (UD) — : 1.2×S_s-B4 (UD) — : 1.2×S_s-B5 (UD) — : 1.2×S_s-C1 (UD) — : 1.2×S_s-C2 (UD) — : 1.2×S_s-C3 (UD) <p>第3.3.-4図 入力地震動の加速度応答スペクトル (1.2×S_s, 鉛直方向, T.M.S.L. 31.53m)</p>	 <p>(h=0.03)</p> <p>加速度 (cm/s²)</p> <p>周期(s)</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : S_s-A (V) — : S_s-B1 (UD) — : S_s-B2 (UD) — : S_s-B3 (UD) — : S_s-B4 (UD) — : S_s-B5 (UD) — : S_s-C1 (UD) — : S_s-C2 (UD) — : S_s-C3 (UD) <p>第3.3.2-2図 入力地震動の加速度応答スペクトル (S_s, 鉛直方向, T.M.S.L. 31.53m)</p>	<p>備考</p> <p>入力地震動の算定結果は地震波に応じて変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	 <p>加 速 度 (cm/s²)</p> <p>周 期 (s)</p> <p>(h=0.03)</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : S d - A (V) — : S d - B 1 (UD) — : S d - B 2 (UD) — : S d - B 3 (UD) — : S d - B 4 (UD) — : S d - B 5 (UD) — : S d - C 1 (UD) — : S d - C 2 (UD) — : S d - C 3 (UD) <p>第3.3.2-3図 入力地震動の加速度応答スペクトル (S d, 鉛直方向, T.M.S.L. 31.53m)</p>	<p>備考</p> <p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であるこ とから 1.2×Ss 計算 書に記載無し</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a) $1.2 \times S_s - A$ (V)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b) $1.2 \times S_s - B1$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(c) $1.2 \times S_s - B2$ (UD)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.-5図 最大加速度分布(1/3) ($1.2 \times S_s$)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a) $S_s - A$ (V)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b) $S_s - B1$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(c) $S_s - B2$ (UD)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.2-4図 最大加速度分布 (S_s) (1/3)</p>	<p>備考</p> <p>入力地震動の算定結果は地震波に応じて変わるため $1.2 \times S_s$ 計算書にも記載</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(d) $1.2 \times S_s - B3$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(e) $1.2 \times S_s - B4$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(f) $1.2 \times S_s - B5$ (UD)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.-5図 最大加速度分布(2/3) ($1.2 \times S_s$)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(d) $S_s - B3$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(e) $S_s - B4$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(f) $S_s - B5$ (UD)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.2-4図 最大加速度分布 (S_s) (2/3)</p>	<p style="text-align: center;">前頁に同じ</p>

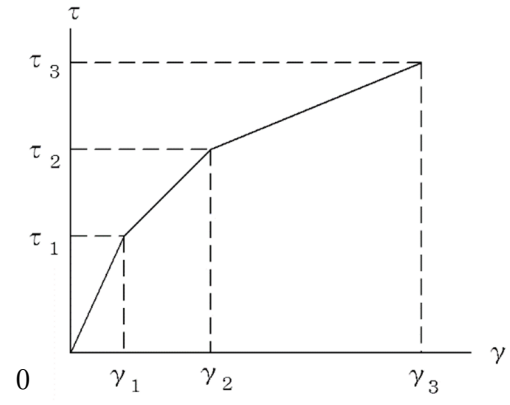
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(g) $1.2 \times S_s - C1$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(h) $1.2 \times S_s - C2$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(i) $1.2 \times S_s - C3$ (UD)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.-5図 最大加速度分布(3/3) ($1.2 \times S_s$)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(g) $S_s - C1$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(h) $S_s - C2$ (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(i) $S_s - C3$ (UD)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.2-4図 最大加速度分布 (S_s) (3/3)</p>	<p style="text-align: center;">前頁に同じ</p>

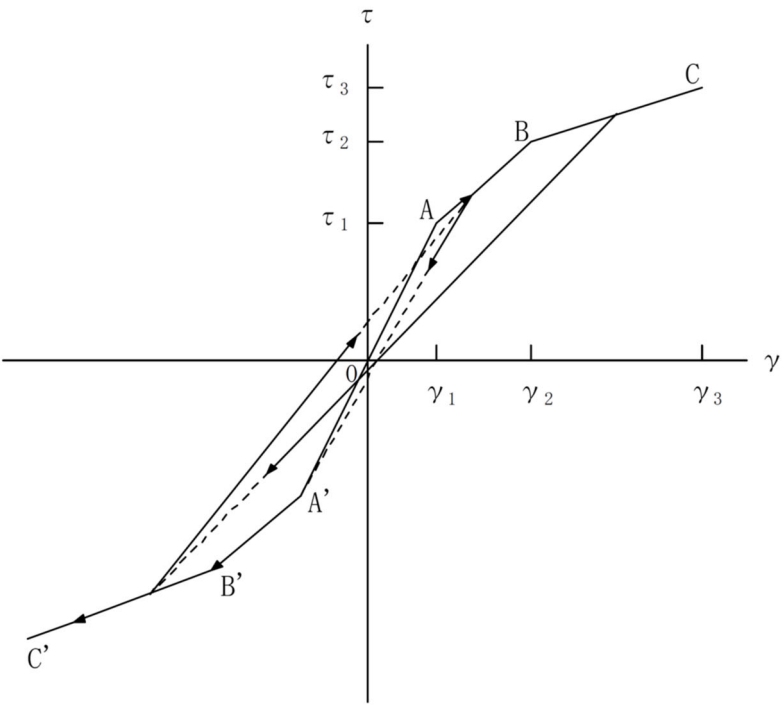
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a) S d - A (V)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b) S d - B 1 (UD)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(c) S d - B 2 (UD)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">第3.3.2-5図 最大加速度分布 (S d) (1/3)</p> <p style="text-align: center;">第3.3.2-5図 最大加速度分布 (S d) (2/3)</p> <p style="text-align: center;">第3.3.2-5図 最大加速度分布 (S d) (3/3)</p>	<p>備考</p> <p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であることから 1.2×Ss 計算書に記載無し</p> <p>1.0×Ss 計算書において、第3.2.1-35表と同様に他地震による地盤定数が記載されるものであるため、本比較表上は省略</p>

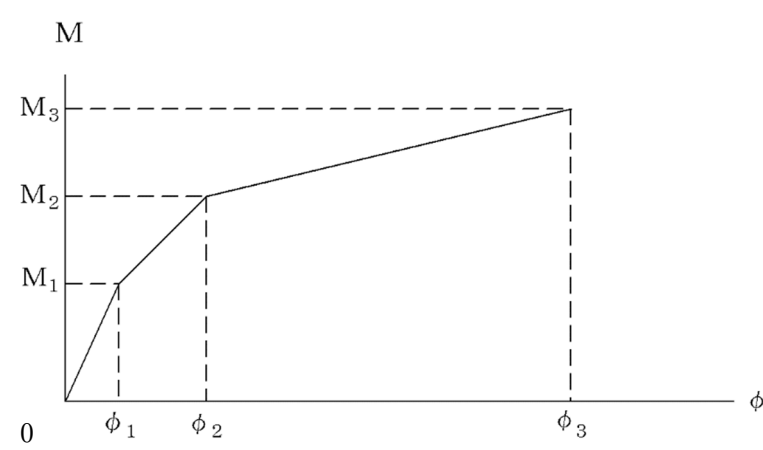
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>3.4 解析方法 燃料加工建屋の地震応答解析は、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」の「3.4.1 動的解析」と同じ方法により実施する。</p>	<p>3.4 解析方法 燃料加工建屋の地震応答解析は、解析コード「TDAS Ver.20121030」を用いる。 なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、「Ⅲ-3 計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。</p> <p>3.4.1 動的解析 建物・構築物の動的解析は、「Ⅲ-1-1-5 地震応答解析の基本方針」に記載の解析方法に基づき、時刻歴応答解析により実施する。 なお、最大接地圧は、「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC 4601-2008 ((社)日本電気協会)」を参考に、水平応答と鉛直応答から組合せ係数法(組合せ係数は1.0と0.4)を用いて算出する。</p>	<p>動的解析方法は両計算書で共通であるため1.2×Ss計算書では1.0×Ss計算書を引用し、詳細な説明については省略。</p>

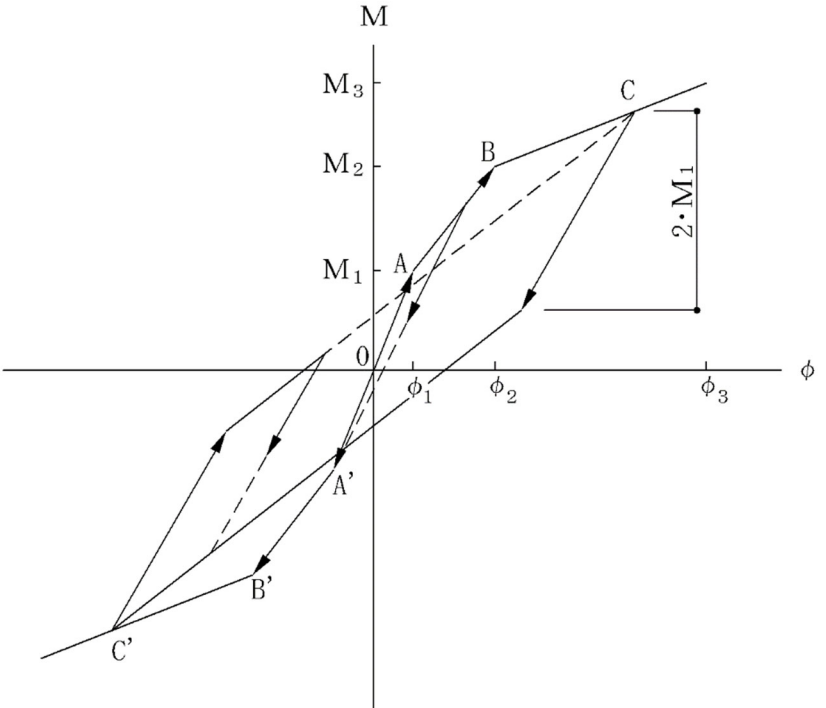
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>3.4.2 静的解析 (1) 水平地震力 水平地震力算定用の基準面は地表面相当 (T.M.S.L. 56.80m) とし、基準面より上の部分 (地上部分) の地震力は、地震層せん断力係数を用いて、次式により算出する。 $Q_i = n \cdot Z \cdot C_i \cdot W_i$ $C_i = R_t \cdot A_i \cdot C_0$ ここで、 Q_i : 第 i 層に生じる水平地震力 n : 施設の重要度分類に応じた係数 (3.0) C_i : 第 i 層の地震層せん断力係数 W_i : 第 i 層が支える重量 Z : 地震地域係数 (1.0) R_t : 振動特性係数 (0.88) A_i : 第 i 層の地震層せん断力係数の高さ方向の分布係数 C_0 : 標準せん断力係数 (0.2)</p> <p>基準面より下の部分 (地下部分) の地震力は、当該部分の重量に、次式によって算定する地下震度を乗じて定める。 $K = 0.1 \cdot n \cdot (1 - H/40) \cdot Z \cdot \alpha$ ここで、 K : 地下部分の水平震度 n : 施設の重要度分類に応じた係数 (3.0) H : 地下の各部分の基準面からの深さ α : 建物・構築物の側方地盤の影響を考慮した水平地下震度の補正係数 (1.3)</p> <p>また、A_i はモーダルアナリシスにより算出する。 $A_i = A_i' / A_1'$ ここで、 $A_i' = \sqrt{\sum_{j=1}^k \left(\sum_{m=1}^n W_m \cdot \beta_j \cdot U_{mj} \cdot R_t(T_j) \right)^2} / \sum_{m=1}^n W_m$ n : 建物・構築物の層数 W_m : 第 m 層の重量 $\beta_j \cdot U_{mj}$: 第 m 層の j 次刺激関数 T_j : 固有値解析により得られる建物・構築物の j 次固有周期 $R_t(T_j)$: 周期 T_j に対応する加速度応答スペクトルの値 k : 考慮すべき最高次数で通常 3 以上とする</p> <p>(2) 鉛直地震力 鉛直地震力は、鉛直震度 0.3 を基準とし、建物・構築物の振動特性、地盤の種類等を考慮して、次式によって算定する鉛直震度を用いて定める。 $C_v = R_v \cdot 0.3$ ここで、 C_v : 鉛直震度 R_v : 鉛直方向振動特性係数 (0.8)</p>	<p>1.2×Ss 計算書では静的地震力に係る評価はない</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>3.4.3 必要保有水平耐力 各層の必要保有水平耐力 Q_{un} は、次式により算出する。 $Q_{un} = D_s \cdot F_{es} \cdot Q_{ud}$ ここで、 D_s : 各層の構造特性係数 F_{es} : 各層の形状特性係数</p> <p>地震力によって各層に生じる水平力 Q_{ud} は、次式により算出する。 $Q_{ud} = n \cdot Z \cdot C_i \cdot W_i$ ここで、 n : 施設の重要度分類に応じた係数 (1.0) Z : 地震地域係数 (1.0) C_i : 第 i 層の地震層せん断力係数 W_i : 第 i 層が支える重量</p> <p>地震層せん断力係数は、次式により算出する。 $C_i = R_t \cdot A_i \cdot C_0$ ここで、 R_t : 振動特性係数 (0.88) A_i : 第 i 層の地震層せん断力係数の高さ方向の分布係数 C_0 : 標準せん断力係数 (1.0)</p> <p>また、A_i は水平方向の地震応答解析モデルを用いたモーダルアナリシスにより算出する。 $A_i = A_i' / A_1'$ ここで、 $A_i' = \sqrt{\frac{\sum_{j=1}^k \left(\sum_{m=1}^n W_m \cdot \beta_j \cdot U_{mj} \cdot R_t(T_j) \right)^2}{\sum_{m=1}^n W_m}}$ n : 建物・構築物の層数 W_m : 第 m 層の重量 $\beta_j \cdot U_{mj}$: 第 m 層の j 次刺激関数 T_j : 固有値解析により得られる建物・構築物の j 次固有周期 $R_t(T_j)$: 周期 T_j に対応する加速度応答スペクトルの値 k : 考慮すべき最高次数で通常3以上とする</p> <p>基準面より下の部分(地下部分)の水平地震力は、当該部分の重量に、次式にて算定する水平震度を乗じて算定する。なお、地上部分の考え方と整合させるために5倍とする。 $K' = 5 \times 0.1 \cdot n \cdot (1-H/40) \cdot Z \cdot \alpha$ ここで、 K' : 地下部分の水平震度 n : 施設の重要度分類に応じた係数 (1.0) H : 地下の各部分の基準面からの深さ α : 建物・構築物の側方地盤の影響を考慮した水平地下震度の補正係数 (1.3)</p>	<p>1.2×Ss に対しては保有水平耐力に対する評価はない</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>3.5 解析条件 燃料加工建屋の地震応答解析は、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」の「3.5.1 建物・構築物の復元力特性」に示す建物・構築物の復元力特性と同じ条件とする。</p>	<p>3.5 解析条件 3.5.1 建物・構築物の復元力特性 (1) 耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係 (τ-γ関係) 耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係 (τ-γ関係)は、「JEAG 4601-1991 追補版」に基づき、トリリニア型スケルトン曲線とする。耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係を第3.5.1-1図に示す。</p>  <p>τ_1 : 第1折点のせん断応力度 τ_2 : 第2折点のせん断応力度 τ_3 : 終局点のせん断応力度 γ_1 : 第1折点のせん断ひずみ度 γ_2 : 第2折点のせん断ひずみ度 γ_3 : 終局点のせん断ひずみ度 ($\gamma_3 = 4.0 \times 10^{-3}$)</p> <p>第3.5.1-1図 耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係</p>	<p>解析条件のうち、復元力特性の考え方及び設定は両計算書で共通であるため1.2×Ss計算書では1.0×Ss計算書を引用し、詳細な説明については省略。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>(2) 耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係の履歴特性 耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係の履歴特性は、「JEAG 4601-1991 追補版」に基づき、最大点指向型モデルとする。耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係の履歴特性を第3.5.1-2図に示す。</p>  <p>a. O-A 間：弾性範囲。 b. A-B 間：負側スケルトンが経験した最大点に向う。ただし、負側最大点が第1折点を超えていなければ、負側第1折点に向う。 c. B-C 間：負側最大点指向。 d. 各最大点は、スケルトン上を移動することにより更新される。 e. 安定ループは面積を持たない。</p> <p>第3.5.1-2図 耐震壁のせん断応力度-せん断ひずみ度関係の履歴特性</p>	<p>前頁に同じ</p>

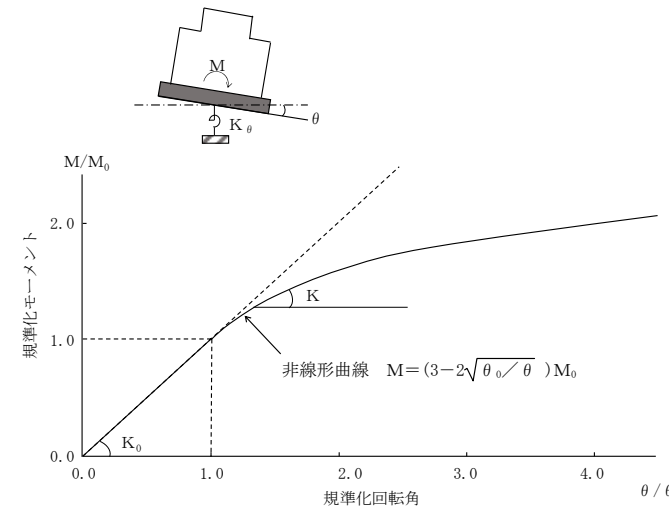
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>(3) 耐震壁の曲げモーメント-曲率関係 (M-ϕ関係) 耐震壁の曲げモーメント-曲率関係 (M-ϕ関係) は、「JEAG 4601-1991 追補版」に基づき、トリリニア型スケルトン曲線とする。耐震壁の曲げモーメント-曲率関係を第3.5.1-3図に示す。</p>  <p> M_1 : 第1折点の曲げモーメント M_2 : 第2折点の曲げモーメント M_3 : 終局点の曲げモーメント ϕ_1 : 第1折点の曲率 ϕ_2 : 第2折点の曲率 ϕ_3 : 終局点の曲率 </p> <p>第3.5.1-3図 耐震壁の曲げモーメント-曲率関係</p>	<p>前頁と同じ</p>

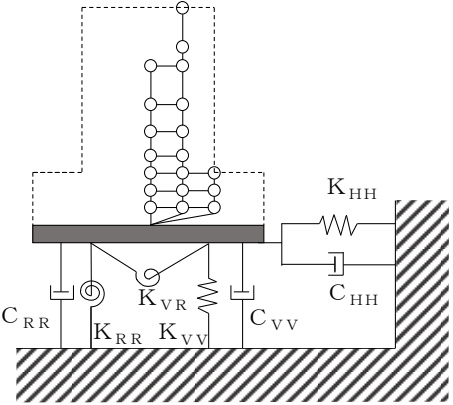
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>(4) 耐震壁の曲げモーメント-曲率関係の履歴特性 耐震壁の曲げモーメント-曲率関係の履歴特性は、「JEAG 4601-1991 追補版」に基づき、ディグレイディングトリリニア型モデルとする。耐震壁の曲げモーメント-曲率関係の履歴特性を第3.5.1-4図に示す。</p>  <p>a. 0-A 間：弾性範囲。 b. A-B 間：負側スケルトンの経験した最大点に向う。ただし、負側最大点が第1折点を越えていなければ、負側第1折点に向う。 c. B-C 間：負側最大点指向型で、安定ループは最大曲率に応じた等価粘性減衰を与える平行四辺形をしたディグレイディングトリリニア型とする。平行四辺形の折点は、最大値から $2 \cdot M_1$ を減じた点とする。ただし、負側最大点が第2折点を越えていなければ、負側第2折点を最大点とする安定ループを形成する。また、安定ループ内部での繰り返しに用いる剛性は安定ループの戻り剛性に同じとする。 d. 各最大点は、スケルトン上を移動することにより更新される。</p> <p>第3.5.1-4図 耐震壁の曲げモーメント-曲率関係の履歴特性</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																												
	<p>(5) スケルトンカーブの諸数値 燃料加工建屋の各耐震壁について算定したせん断及び曲げスケルトンカーブの諸数値を第3.5.1-1表～第3.5.1-4表に示す。</p> <p>第3.5.1-1表 せん断スケルトンカーブ (τ-γ関係, NS方向)</p> <table border="1" data-bbox="1359 457 2510 846"> <thead> <tr> <th rowspan="2">要素番号</th> <th rowspan="2">T. M. S. L. (m)</th> <th colspan="2">第1折点</th> <th colspan="2">第2折点</th> <th colspan="2">終局点</th> </tr> <tr> <th>τ_1 (N/mm²)</th> <th>γ_1 ($\times 10^{-3}$)</th> <th>τ_2 (N/mm²)</th> <th>γ_2 ($\times 10^{-3}$)</th> <th>τ_3 (N/mm²)</th> <th>γ_3 ($\times 10^{-3}$)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>77.50~70.20</td><td>1.89</td><td>0.186</td><td>2.56</td><td>0.559</td><td>5.61</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>2</td><td>70.20~62.80</td><td>2.00</td><td>0.197</td><td>2.70</td><td>0.591</td><td>4.88</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>3</td><td>62.80~56.80</td><td>2.11</td><td>0.208</td><td>2.85</td><td>0.623</td><td>4.43</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>4</td><td>56.80~50.30</td><td>2.18</td><td>0.214</td><td>2.94</td><td>0.642</td><td>4.09</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>5</td><td>50.30~43.20</td><td>2.23</td><td>0.219</td><td>3.01</td><td>0.658</td><td>3.99</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>6</td><td>43.20~35.00</td><td>2.28</td><td>0.224</td><td>3.08</td><td>0.673</td><td>4.04</td><td>4.00</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 : 二重床の束壁部分(要素番号7)は、他の層と比較してせん断断面積が非常に大きく、せん断ひずみ度が卓越しないことから、線形部材として扱う。</p> <p>第3.5.1-2表 せん断スケルトンカーブ (τ-γ関係, EW方向)</p> <table border="1" data-bbox="1359 982 2510 1371"> <thead> <tr> <th rowspan="2">要素番号</th> <th rowspan="2">T. M. S. L. (m)</th> <th colspan="2">第1折点</th> <th colspan="2">第2折点</th> <th colspan="2">終局点</th> </tr> <tr> <th>τ_1 (N/mm²)</th> <th>γ_1 ($\times 10^{-3}$)</th> <th>τ_2 (N/mm²)</th> <th>γ_2 ($\times 10^{-3}$)</th> <th>τ_3 (N/mm²)</th> <th>γ_3 ($\times 10^{-3}$)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>77.50~70.20</td><td>1.89</td><td>0.186</td><td>2.56</td><td>0.559</td><td>3.30</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>2</td><td>70.20~62.80</td><td>2.00</td><td>0.197</td><td>2.70</td><td>0.591</td><td>4.09</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>3</td><td>62.80~56.80</td><td>2.11</td><td>0.208</td><td>2.85</td><td>0.623</td><td>3.70</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>4</td><td>56.80~50.30</td><td>2.18</td><td>0.214</td><td>2.94</td><td>0.642</td><td>4.03</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>5</td><td>50.30~43.20</td><td>2.23</td><td>0.219</td><td>3.01</td><td>0.658</td><td>4.10</td><td>4.00</td></tr> <tr><td>6</td><td>43.20~35.00</td><td>2.28</td><td>0.224</td><td>3.08</td><td>0.673</td><td>4.02</td><td>4.00</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 : 二重床の束壁部分(要素番号7)は、他の層と比較してせん断断面積が非常に大きく、せん断ひずみ度が卓越しないことから、線形部材として扱う。</p>	要素番号	T. M. S. L. (m)	第1折点		第2折点		終局点		τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)	1	77.50~70.20	1.89	0.186	2.56	0.559	5.61	4.00	2	70.20~62.80	2.00	0.197	2.70	0.591	4.88	4.00	3	62.80~56.80	2.11	0.208	2.85	0.623	4.43	4.00	4	56.80~50.30	2.18	0.214	2.94	0.642	4.09	4.00	5	50.30~43.20	2.23	0.219	3.01	0.658	3.99	4.00	6	43.20~35.00	2.28	0.224	3.08	0.673	4.04	4.00	要素番号	T. M. S. L. (m)	第1折点		第2折点		終局点		τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)	1	77.50~70.20	1.89	0.186	2.56	0.559	3.30	4.00	2	70.20~62.80	2.00	0.197	2.70	0.591	4.09	4.00	3	62.80~56.80	2.11	0.208	2.85	0.623	3.70	4.00	4	56.80~50.30	2.18	0.214	2.94	0.642	4.03	4.00	5	50.30~43.20	2.23	0.219	3.01	0.658	4.10	4.00	6	43.20~35.00	2.28	0.224	3.08	0.673	4.02	4.00	<p>前頁に同じ</p>
要素番号	T. M. S. L. (m)			第1折点		第2折点		終局点																																																																																																																						
		τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)																																																																																																																							
1	77.50~70.20	1.89	0.186	2.56	0.559	5.61	4.00																																																																																																																							
2	70.20~62.80	2.00	0.197	2.70	0.591	4.88	4.00																																																																																																																							
3	62.80~56.80	2.11	0.208	2.85	0.623	4.43	4.00																																																																																																																							
4	56.80~50.30	2.18	0.214	2.94	0.642	4.09	4.00																																																																																																																							
5	50.30~43.20	2.23	0.219	3.01	0.658	3.99	4.00																																																																																																																							
6	43.20~35.00	2.28	0.224	3.08	0.673	4.04	4.00																																																																																																																							
要素番号	T. M. S. L. (m)	第1折点		第2折点		終局点																																																																																																																								
		τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)																																																																																																																							
1	77.50~70.20	1.89	0.186	2.56	0.559	3.30	4.00																																																																																																																							
2	70.20~62.80	2.00	0.197	2.70	0.591	4.09	4.00																																																																																																																							
3	62.80~56.80	2.11	0.208	2.85	0.623	3.70	4.00																																																																																																																							
4	56.80~50.30	2.18	0.214	2.94	0.642	4.03	4.00																																																																																																																							
5	50.30~43.20	2.23	0.219	3.01	0.658	4.10	4.00																																																																																																																							
6	43.20~35.00	2.28	0.224	3.08	0.673	4.02	4.00																																																																																																																							

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」		添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」						備考
第3.5.1-3表 曲げスケルトンカーブ (M-φ関係, NS方向)								
要素 番号	T. M. S. L. (m)	第1折点		第2折点		終局点		
		M ₁ (×10 ⁷ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁴ /m)	M ₂ (×10 ⁷ kN・m)	φ ₂ (×10 ⁻⁴ /m)	M ₃ (×10 ⁷ kN・m)	φ ₃ (×10 ⁻⁴ /m)	
1	77.50~70.20	0.254	0.0505	0.452	0.561	0.846	8.48	
2	70.20~62.80	1.77	0.0249	3.15	0.254	5.43	5.08	
3	62.80~56.80	2.10	0.0285	4.11	0.267	5.97	5.34	
4	56.80~50.30	2.89	0.0315	5.26	0.275	7.26	5.49	
5	50.30~43.20	3.72	0.0333	7.36	0.287	10.3	5.75	
6	43.20~35.00	4.10	0.0342	8.29	0.288	11.5	5.58	
第3.5.1-4表 曲げスケルトンカーブ (M-φ関係, EW方向)								
要素 番号	T. M. S. L. (m)	第1折点		第2折点		終局点		
		M ₁ (×10 ⁷ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁴ /m)	M ₂ (×10 ⁷ kN・m)	φ ₂ (×10 ⁻⁴ /m)	M ₃ (×10 ⁷ kN・m)	φ ₃ (×10 ⁻⁴ /m)	
1	77.50~70.20	1.15	0.0229	2.23	0.246	3.57	3.90	
2	70.20~62.80	2.52	0.0256	4.36	0.246	6.17	4.92	
3	62.80~56.80	2.79	0.0286	5.06	0.258	6.70	5.17	
4	56.80~50.30	3.51	0.0309	6.28	0.267	8.44	5.33	
5	50.30~43.20	4.00	0.0325	7.73	0.277	10.6	5.53	
6	43.20~35.00	4.74	0.0340	9.32	0.284	12.8	5.68	

前頁に同じ

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>地盤のロックンバねの復元力特性については、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」の「3.5.2 地盤のロックンバねの復元力特性」に示す考え方と同じ条件とする。</p>	<p>3.5.2 地盤のロックンバねの復元力特性 地盤のロックンバねに関する曲げモーメント-回転角の関係は、「JEAG 4601-1991 追補版」に基づき、浮上りによる幾何学的非線形性を考慮する。ロックンバねの曲げモーメント-回転角の関係を第3.5.2-1図に示す。 浮上り時の地盤のロックンバねの剛性は、第3.5.2-1図の曲線で表され、減衰係数は、ロックンバねの接線剛性に比例するものとして考慮する。</p>  <p> M : 転倒モーメント M_0 : 浮上り限界転倒モーメント θ : 回転角 θ_0 : 浮上り限界回転角 K_0 : 底面ロックンバねのばね定数 (浮上り前) K : 底面ロックンバねのばね定数 (浮上り後) </p> <p>第3.5.2-1図 ロックンバねの曲げモーメント-回転角の関係</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考												
<p>なお、「3.2 地震応答解析モデル」に示したとおり、一部の地震動に対して誘発上下動を考慮した地震応答解析モデルを用いている。誘発上下動を考慮した地震応答解析モデルについては、水平加振により励起される鉛直応答を評価するために、「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC 4601-2008 (社)日本電気協会」を参考に、水平・回転の2自由度からなるSR(スウェイ・ロッキング)モデルに、鉛直方向の自由度を考慮し、鉛直ばね及び回転・鉛直連成ばねを設定する。なお、鉛直ばね、回転・鉛直連成ばね及び回転ばねは、接地率η_tに応じて時々刻々と変化する。</p> <p>第3.5-1図に誘発上下動を考慮する場合の地震応答解析モデルの概念図を、第3.5-1表に基礎が浮上った場合の基礎底面につく地盤ばねの剛性と減衰の評価式を示す。</p> $\begin{Bmatrix} P \\ N \\ M \end{Bmatrix} = \begin{bmatrix} K_{HH} & 0 & 0 \\ 0 & K_{VV} & K_{VR} \\ 0 & K_{VR} & K_{RR} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} u_0 \\ w_0 \\ \theta \end{Bmatrix}$ <p>ここで、P：水平方向慣性力 N：鉛直方向慣性力 M：転倒モーメント K_{HH}、K_{VV}、K_{RR}：水平、鉛直、回転ばねの対角項 K_{VR}：回転・鉛直連成ばね u_0、w_0、θ：基礎底面中心の各変位及び回転角</p>  <p>第3.5-1図 誘発上下動を考慮する場合の地震応答解析モデルの概念図</p> <p>第3.5-1表 誘発上下動考慮モデルの基礎浮上り時の地盤ばねの剛性と減衰</p> <table border="1" data-bbox="243 1255 1288 1873"> <thead> <tr> <th></th> <th>剛性</th> <th>減衰係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉛直ばね</td> <td>$K_{VV} = \eta_t^\beta \cdot K_{V0}$</td> <td>$C_{VV} = C_{V0} \cdot \eta_t^{\frac{\alpha}{2}}$</td> </tr> <tr> <td>回転・鉛直連成ばね</td> <td>$K_{VR} = \frac{1 - \eta_t}{2} L \cdot K_{VV}$</td> <td>$C_{VR} = 0$</td> </tr> <tr> <td>回転ばね</td> <td>$K_{RR} = \frac{M - K_{VR} \cdot w_0}{\theta}$</td> <td>$C_{RR} = C_{R0} \cdot \eta_t^{\frac{\alpha}{2}}$</td> </tr> </tbody> </table> <p> M：転倒モーメント w_0：基礎スラブ中心の鉛直変位 θ_0：浮上り限界回転角 L：建屋基礎幅 K_{V0}：線形域の鉛直ばね剛性 β：0.46 α：地反力分布に応じた値(三角形分布6.0) C_{V0}：線形域の鉛直ばねの減衰係数 C_{R0}：線形域の回転ばねの減衰係数 </p> $\eta_t = \left(\frac{\theta_0}{\theta} \right)^{\frac{2}{\alpha-2}}$ <p>θ：回転角</p>		剛性	減衰係数	鉛直ばね	$K_{VV} = \eta_t^\beta \cdot K_{V0}$	$C_{VV} = C_{V0} \cdot \eta_t^{\frac{\alpha}{2}}$	回転・鉛直連成ばね	$K_{VR} = \frac{1 - \eta_t}{2} L \cdot K_{VV}$	$C_{VR} = 0$	回転ばね	$K_{RR} = \frac{M - K_{VR} \cdot w_0}{\theta}$	$C_{RR} = C_{R0} \cdot \eta_t^{\frac{\alpha}{2}}$		<p>1.0×Ss に対しては誘発上下動を考慮した地震応答解析モデルは用いないため、1.0×Ss 計算書には記載なし。</p>
	剛性	減衰係数												
鉛直ばね	$K_{VV} = \eta_t^\beta \cdot K_{V0}$	$C_{VV} = C_{V0} \cdot \eta_t^{\frac{\alpha}{2}}$												
回転・鉛直連成ばね	$K_{VR} = \frac{1 - \eta_t}{2} L \cdot K_{VV}$	$C_{VR} = 0$												
回転ばね	$K_{RR} = \frac{M - K_{VR} \cdot w_0}{\theta}$	$C_{RR} = C_{R0} \cdot \eta_t^{\frac{\alpha}{2}}$												

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>3.6 材料物性のばらつき 解析においては、「3.2 地震応答解析モデル」に示す物性値及び定数を基本ケースとし、材料物性のばらつきを考慮する。材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析は、建屋応答への影響の大きい地震動に対して実施することとし、基本ケースの地震応答解析において応答値(加速度、変位、せん断力[*]、曲げモーメント及び軸力)が、各層において最大となっている地震動に対して実施する。</p> <p>材料物性のばらつきのうち、地盤物性のばらつきについては、支持地盤及び埋戻し土ともに敷地内のボーリング調査結果等に基づき、第3.2.1-3表に示す地盤の物性値を基本とし、標準偏差±1σの変動幅を考慮する。第3.6-1表及び第3.6-2表に設定した地盤の初期物性値を示す。なお、建屋物性のばらつきについては、コンクリート強度の実強度は設計基準強度よりも大きくなること及び建屋剛性として考慮していない壁の建屋剛性への寄与については構造耐力の向上が見られることから保守的に考慮しない。</p> <p>材料物性のばらつきを考慮する解析ケースを、第3.6-3表に示す。</p> <p>注記 *：せん断力とせん断ひずみ度には相関性があり、それぞれが最大となる地震動は対応するため、代表してせん断力の最大応答値を確認する。</p>	<p>1.2×Ssの地震応答解析において材料物性のばらつきは考慮しないため、1.2×Ss計算書では記載なし。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																										
	<p style="text-align: center;">第3.6-1表 地盤の初期物性値 (地盤物性のばらつきを考慮したケース (+1σ))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>標高 T.M.S.L. (m)</th> <th>岩種</th> <th>単位体積重量 γ_t (kN/m³)</th> <th>S波速度 V_s (m/s)</th> <th>P波速度 V_p (m/s)</th> <th>剛性低下率 $G/G_0-\gamma$</th> <th>減衰定数 $h-\gamma$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽地表面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>55.0</td> <td>造成盛土</td> <td>15.7</td> <td>180</td> <td>770</td> <td></td> <td>*1</td> </tr> <tr> <td>46.0</td> <td>六ヶ所層</td> <td>16.5</td> <td>440</td> <td>1400</td> <td></td> <td>*2</td> </tr> <tr> <td>35.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>▽基礎スラブ底面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td rowspan="2">軽石凝灰岩</td> <td>15.3</td> <td>710</td> <td>1930</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">*3</td> </tr> <tr> <td>9.0</td> <td>15.6</td> <td>900</td> <td>2010</td> </tr> <tr> <td>-28.0</td> <td>軽石質砂岩</td> <td rowspan="2">18.2</td> <td rowspan="2">1180</td> <td rowspan="2">2340</td> <td rowspan="2"></td> <td>*4</td> </tr> <tr> <td>-49.0</td> <td>細粒砂岩</td> <td>*5</td> </tr> <tr> <td>▽解放基盤表面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-70.0</td> <td>細粒砂岩</td> <td>18.2</td> <td>1180</td> <td>2340</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第3.2.1-3図に示す造成盛土のひずみ依存特性を設定する。 *2: 第3.2.1-4図に示す六ヶ所層のひずみ依存特性を設定する。 *3: 第3.2.1-5図に示す軽石凝灰岩のひずみ依存特性を設定する。 *4: 第3.2.1-6図に示す軽石質砂岩のひずみ依存特性を設定する。 *5: 第3.2.1-7図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。</p> <p style="text-align: center;">第3.6-2表 地盤の初期物性値 (地盤物性のばらつきを考慮したケース (-1σ))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>標高 T.M.S.L. (m)</th> <th>岩種</th> <th>単位体積重量 γ_t (kN/m³)</th> <th>S波速度 V_s (m/s)</th> <th>P波速度 V_p (m/s)</th> <th>剛性低下率 $G/G_0-\gamma$</th> <th>減衰定数 $h-\gamma$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽地表面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>55.0</td> <td>造成盛土</td> <td>15.7</td> <td>140</td> <td>390</td> <td></td> <td>*1</td> </tr> <tr> <td>46.0</td> <td>六ヶ所層</td> <td>16.5</td> <td>200</td> <td>560</td> <td></td> <td>*2</td> </tr> <tr> <td>35.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>▽基礎スラブ底面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td rowspan="2">軽石凝灰岩</td> <td>15.3</td> <td>610</td> <td>1790</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">*3</td> </tr> <tr> <td>9.0</td> <td>15.6</td> <td>720</td> <td>1830</td> </tr> <tr> <td>-28.0</td> <td>軽石質砂岩</td> <td rowspan="2">18.2</td> <td rowspan="2">1000</td> <td rowspan="2">2180</td> <td rowspan="2"></td> <td>*4</td> </tr> <tr> <td>-49.0</td> <td>細粒砂岩</td> <td>*5</td> </tr> <tr> <td>▽解放基盤表面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-70.0</td> <td>細粒砂岩</td> <td>18.2</td> <td>1000</td> <td>2180</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第3.2.1-3図に示す造成盛土のひずみ依存特性を設定する。 *2: 第3.2.1-4図に示す六ヶ所層のひずみ依存特性を設定する。 *3: 第3.2.1-5図に示す軽石凝灰岩のひずみ依存特性を設定する。 *4: 第3.2.1-6図に示す軽石質砂岩のひずみ依存特性を設定する。 *5: 第3.2.1-7図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。</p>	標高 T.M.S.L. (m)	岩種	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	S波速度 V_s (m/s)	P波速度 V_p (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$	▽地表面							55.0	造成盛土	15.7	180	770		*1	46.0	六ヶ所層	16.5	440	1400		*2	35.0							▽基礎スラブ底面							31.53	軽石凝灰岩	15.3	710	1930		*3	9.0	15.6	900	2010	-28.0	軽石質砂岩	18.2	1180	2340		*4	-49.0	細粒砂岩	*5	▽解放基盤表面							-70.0	細粒砂岩	18.2	1180	2340		-	標高 T.M.S.L. (m)	岩種	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	S波速度 V_s (m/s)	P波速度 V_p (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$	▽地表面							55.0	造成盛土	15.7	140	390		*1	46.0	六ヶ所層	16.5	200	560		*2	35.0							▽基礎スラブ底面							31.53	軽石凝灰岩	15.3	610	1790		*3	9.0	15.6	720	1830	-28.0	軽石質砂岩	18.2	1000	2180		*4	-49.0	細粒砂岩	*5	▽解放基盤表面							-70.0	細粒砂岩	18.2	1000	2180		-	<p>前頁に同じ</p>
標高 T.M.S.L. (m)	岩種	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	S波速度 V_s (m/s)	P波速度 V_p (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$																																																																																																																																																						
▽地表面																																																																																																																																																												
55.0	造成盛土	15.7	180	770		*1																																																																																																																																																						
46.0	六ヶ所層	16.5	440	1400		*2																																																																																																																																																						
35.0																																																																																																																																																												
▽基礎スラブ底面																																																																																																																																																												
31.53	軽石凝灰岩	15.3	710	1930		*3																																																																																																																																																						
9.0		15.6	900	2010																																																																																																																																																								
-28.0	軽石質砂岩	18.2	1180	2340		*4																																																																																																																																																						
-49.0	細粒砂岩					*5																																																																																																																																																						
▽解放基盤表面																																																																																																																																																												
-70.0	細粒砂岩	18.2	1180	2340		-																																																																																																																																																						
標高 T.M.S.L. (m)	岩種	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	S波速度 V_s (m/s)	P波速度 V_p (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$																																																																																																																																																						
▽地表面																																																																																																																																																												
55.0	造成盛土	15.7	140	390		*1																																																																																																																																																						
46.0	六ヶ所層	16.5	200	560		*2																																																																																																																																																						
35.0																																																																																																																																																												
▽基礎スラブ底面																																																																																																																																																												
31.53	軽石凝灰岩	15.3	610	1790		*3																																																																																																																																																						
9.0		15.6	720	1830																																																																																																																																																								
-28.0	軽石質砂岩	18.2	1000	2180		*4																																																																																																																																																						
-49.0	細粒砂岩					*5																																																																																																																																																						
▽解放基盤表面																																																																																																																																																												
-70.0	細粒砂岩	18.2	1000	2180		-																																																																																																																																																						

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」				備考	
	第3.6-3表 材料物性のばらつきを考慮する解析ケース				前頁に同じ	
	ケース No.	地盤の物性値	解析ケース	基準地震動 S _s		弾性設計用地震動S _d
	0	第3.2.1-3表	基本ケース	全波		全波
	1	第3.6-1表	地盤物性の ばらつきを考慮した ケース (+1σ)	S _s -A S _s -B1 S _s -B3 S _s -C1		S _d -A S _d -B1 S _d -B3 S _d -C1
2	第3.6-2表	地盤物性の ばらつきを考慮した ケース (-1σ)	S _s -A S _s -B1 S _s -B3 S _s -C1	S _d -A S _d -B1 S _d -B3 S _d -C1		

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>4. 解析結果 地震応答解析に採用した解析モデルの一覧を第4.-1表に示す。</p> <p>4.1 固有値解析結果 基礎浮上り非線形モデルによる固有値解析結果(固有周期,固有振動数及び刺激係数)第4.1-1表～第4.1-10表に示す。刺激関数図を$1.2 \times S_s - A$の結果を代表として,第4.1-1図～第4.1-3図に示す。 なお,刺激係数は,各次の固有ベクトル{u}に対し,最大振幅が1.0となるように規準化した値を示す。</p> <p>4.2 地震応答解析結果 $1.2 \times S_s$による最大応答値を第4.2-1図～第4.2-5図及び第4.2-1表～第4.2-5表に示す。浮上り検討を第4.2-6表,最大接地圧を第4.2-7表に示す。</p>	<p>4. 解析結果 4.1 動的解析 地震応答解析に採用した解析モデルの一覧を第4.1-1表～第4.1-6表に示す。</p> <p>4.1.1 固有値解析結果 基本ケースの基礎浮上り非線形モデルによる固有値解析結果(固有周期,固有振動数及び刺激係数)を第4.1.1-1表～第4.1.1-20表に示す。刺激関数図を$S_s - A$, $S_d - A$の結果を代表として,第4.1.1-1図～第4.1.1-6図に示す。 なお,刺激係数は,各次の固有ベクトル{u}に対し,最大振幅が1.0となるように規準化した値を示す。</p> <p>4.1.2 基本ケースの地震応答解析結果 (1) 基準地震動S_s 基準地震動S_sによる最大応答値を第4.1.2-1図～第4.1.2-15図及び第4.1.2-1表～第4.1.2-13表に示す。 浮上り検討を第4.1.2-14表,最大接地圧を第4.1.2-15表に示す。</p> <p>(2) 弾性設計用地震動S_d 弾性設計用地震動S_dによる最大応答値を第4.1.2-16図～第4.1.2-30図及び第4.1.2-16表～第4.1.2-28表に示す。 浮上り検討を第4.1.2-29表,最大接地圧を第4.1.2-30表に示す。</p>	<p>考慮する地震動の違い</p> <p>考慮する地震動の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																												
<p>第4-1表 地震応答解析に採用した解析モデル (1.2×S_s)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="329 394 1127 499"> <tr> <td>1.2×S_s-A (H)</td> <td>1.2×S_s-B1 (NS)</td> <td>1.2×S_s-B2 (NS)</td> <td>1.2×S_s-B3 (NS)</td> <td>1.2×S_s-B4 (NS)</td> <td>1.2×S_s-B5 (NS)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="329 533 1255 638"> <tr> <td>1.2×S_s-C1 (NSEW)</td> <td>1.2×S_s-C2 (NS)</td> <td>1.2×S_s-C2 (EW)</td> <td>1.2×S_s-C3 (NS)</td> <td>1.2×S_s-C3 (EW)</td> <td>1.2×S_s-C4 (NS)</td> <td>1.2×S_s-C4 (EW)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="329 705 1127 810"> <tr> <td>1.2×S_s-A (H)</td> <td>1.2×S_s-B1 (EW)</td> <td>1.2×S_s-B2 (EW)</td> <td>1.2×S_s-B3 (EW)</td> <td>1.2×S_s-B4 (EW)</td> <td>1.2×S_s-B5 (EW)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="329 844 1255 949"> <tr> <td>1.2×S_s-C1 (NSEW)</td> <td>1.2×S_s-C2 (NS)</td> <td>1.2×S_s-C2 (EW)</td> <td>1.2×S_s-C3 (NS)</td> <td>1.2×S_s-C3 (EW)</td> <td>1.2×S_s-C4 (NS)</td> <td>1.2×S_s-C4 (EW)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <p>凡例</p> <p>①：基礎浮上り非線形モデル ②：誘発上下動を考慮するモデル ③：地盤3次元FEMモデル</p> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="329 1155 1127 1260"> <tr> <td>1.2×S_s-A (V)</td> <td>1.2×S_s-B1 (UD)</td> <td>1.2×S_s-B2 (UD)</td> <td>1.2×S_s-B3 (UD)</td> <td>1.2×S_s-B4 (UD)</td> <td>1.2×S_s-B5 (UD)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="329 1293 712 1398"> <tr> <td>1.2×S_s-C1 (UD)</td> <td>1.2×S_s-C2 (UD)</td> <td>1.2×S_s-C3 (UD)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <p>凡例</p> <p>①：鉛直ばねモデル ②：地盤3次元FEMモデル</p>	1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (NS)	1.2×S _s -B2 (NS)	1.2×S _s -B3 (NS)	1.2×S _s -B4 (NS)	1.2×S _s -B5 (NS)	①	①	①	①	①	①	1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C2 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)	1.2×S _s -C4 (EW)	②	①	①	①	①	①	①	1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (EW)	1.2×S _s -B2 (EW)	1.2×S _s -B3 (EW)	1.2×S _s -B4 (EW)	1.2×S _s -B5 (EW)	①	①	①	①	①	①	1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C2 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)	1.2×S _s -C4 (EW)	②	①	①	①	①	①	①	1.2×S _s -A (V)	1.2×S _s -B1 (UD)	1.2×S _s -B2 (UD)	1.2×S _s -B3 (UD)	1.2×S _s -B4 (UD)	1.2×S _s -B5 (UD)	①	①	①	①	①	①	1.2×S _s -C1 (UD)	1.2×S _s -C2 (UD)	1.2×S _s -C3 (UD)	①	①	①	<p>第4.1-1表 地震応答解析に採用した解析モデル (基準地震動S_s, ケースNo.0)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1522 394 2288 499"> <tr> <td>S_s-A (H)</td> <td>S_s-B1 (NS)</td> <td>S_s-B2 (NS)</td> <td>S_s-B3 (NS)</td> <td>S_s-B4 (NS)</td> <td>S_s-B5 (NS)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1522 533 2412 638"> <tr> <td>S_s-C1 (NSEW)</td> <td>S_s-C2 (NS)</td> <td>S_s-C2 (EW)</td> <td>S_s-C3 (NS)</td> <td>S_s-C3 (EW)</td> <td>S_s-C4 (NS)</td> <td>S_s-C4 (EW)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1522 705 2288 810"> <tr> <td>S_s-A (H)</td> <td>S_s-B1 (EW)</td> <td>S_s-B2 (EW)</td> <td>S_s-B3 (EW)</td> <td>S_s-B4 (EW)</td> <td>S_s-B5 (EW)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1522 844 2412 949"> <tr> <td>S_s-C1 (NSEW)</td> <td>S_s-C2 (NS)</td> <td>S_s-C2 (EW)</td> <td>S_s-C3 (NS)</td> <td>S_s-C3 (EW)</td> <td>S_s-C4 (NS)</td> <td>S_s-C4 (EW)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <p>凡例</p> <p>①：基礎浮上り非線形モデル ②：誘発上下動を考慮するモデル ③：地盤3次元FEMモデル</p> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1522 1155 2288 1260"> <tr> <td>S_s-A (V)</td> <td>S_s-B1 (UD)</td> <td>S_s-B2 (UD)</td> <td>S_s-B3 (UD)</td> <td>S_s-B4 (UD)</td> <td>S_s-B5 (UD)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1522 1293 1905 1398"> <tr> <td>S_s-C1 (UD)</td> <td>S_s-C2 (UD)</td> <td>S_s-C3 (UD)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>①</td> <td>①</td> </tr> </table> <p>凡例</p> <p>①：鉛直ばねモデル ②：地盤3次元FEMモデル</p>	S _s -A (H)	S _s -B1 (NS)	S _s -B2 (NS)	S _s -B3 (NS)	S _s -B4 (NS)	S _s -B5 (NS)	①	①	①	①	①	①	S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)	S _s -C4 (EW)	①	①	①	①	①	①	①	S _s -A (H)	S _s -B1 (EW)	S _s -B2 (EW)	S _s -B3 (EW)	S _s -B4 (EW)	S _s -B5 (EW)	①	①	①	①	①	①	S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)	S _s -C4 (EW)	①	①	①	①	①	①	①	S _s -A (V)	S _s -B1 (UD)	S _s -B2 (UD)	S _s -B3 (UD)	S _s -B4 (UD)	S _s -B5 (UD)	①	①	①	①	①	①	S _s -C1 (UD)	S _s -C2 (UD)	S _s -C3 (UD)	①	①	①	<p>地震応答解析に採用する解析モデルは地震波に応じて変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>
1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (NS)	1.2×S _s -B2 (NS)	1.2×S _s -B3 (NS)	1.2×S _s -B4 (NS)	1.2×S _s -B5 (NS)																																																																																																																																									
①	①	①	①	①	①																																																																																																																																									
1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C2 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)	1.2×S _s -C4 (EW)																																																																																																																																								
②	①	①	①	①	①	①																																																																																																																																								
1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (EW)	1.2×S _s -B2 (EW)	1.2×S _s -B3 (EW)	1.2×S _s -B4 (EW)	1.2×S _s -B5 (EW)																																																																																																																																									
①	①	①	①	①	①																																																																																																																																									
1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C2 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)	1.2×S _s -C4 (EW)																																																																																																																																								
②	①	①	①	①	①	①																																																																																																																																								
1.2×S _s -A (V)	1.2×S _s -B1 (UD)	1.2×S _s -B2 (UD)	1.2×S _s -B3 (UD)	1.2×S _s -B4 (UD)	1.2×S _s -B5 (UD)																																																																																																																																									
①	①	①	①	①	①																																																																																																																																									
1.2×S _s -C1 (UD)	1.2×S _s -C2 (UD)	1.2×S _s -C3 (UD)																																																																																																																																												
①	①	①																																																																																																																																												
S _s -A (H)	S _s -B1 (NS)	S _s -B2 (NS)	S _s -B3 (NS)	S _s -B4 (NS)	S _s -B5 (NS)																																																																																																																																									
①	①	①	①	①	①																																																																																																																																									
S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)	S _s -C4 (EW)																																																																																																																																								
①	①	①	①	①	①	①																																																																																																																																								
S _s -A (H)	S _s -B1 (EW)	S _s -B2 (EW)	S _s -B3 (EW)	S _s -B4 (EW)	S _s -B5 (EW)																																																																																																																																									
①	①	①	①	①	①																																																																																																																																									
S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)	S _s -C4 (EW)																																																																																																																																								
①	①	①	①	①	①	①																																																																																																																																								
S _s -A (V)	S _s -B1 (UD)	S _s -B2 (UD)	S _s -B3 (UD)	S _s -B4 (UD)	S _s -B5 (UD)																																																																																																																																									
①	①	①	①	①	①																																																																																																																																									
S _s -C1 (UD)	S _s -C2 (UD)	S _s -C3 (UD)																																																																																																																																												
①	①	①																																																																																																																																												

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>第4.1-2表 地震応答解析に採用した解析モデル (基準地震動 S_s, ケース No.1)</p> <p>第4.1-3表 地震応答解析に採用した解析モデル (基準地震動 S_s, ケース No.2)</p> <p>第4.1-4表 地震応答解析に採用した解析モデル (弾性設計用地震動 S_d, ケース No.0)</p> <p>第4.1-5表 地震応答解析に採用した解析モデル (弾性設計用地震動 S_d, ケース No.1)</p> <p>第4.1-6表 地震応答解析に採用した解析モデル (弾性設計用地震動 S_d, ケース No.2)</p>	<p>地盤物性のばらつき ケース及び弾性設計 用地震動 S_d に係る記 載であることから $1.2 \times S_s$ 計算書に記 載無し</p> <p>$1.0 \times S_s$ 計算書にお いて, 第4.1-1表と 同様に他ケース及び S_d 地震動における解 析モデルが記載され るものであるため, 本比較表上は省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-1表 固有値解析結果 (1.2×S_s-A)</p> <p>(a) NS 方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.316</td> <td>3.16</td> <td>1.376</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.28</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.85</td> <td>-0.158</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.31</td> <td>0.134</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW 方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.313</td> <td>3.19</td> <td>1.331</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.160</td> <td>6.25</td> <td>0.322</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.44</td> <td>-0.131</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.66</td> <td>0.069</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.193</td> <td>5.19</td> <td>1.103</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.01</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.316	3.16	1.376	地盤連成	2	0.159	6.28	0.335		3	0.084	11.85	-0.158		4	0.065	15.31	0.134		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.313	3.19	1.331	地盤連成	2	0.160	6.25	0.322		3	0.080	12.44	-0.131		4	0.060	16.66	0.069		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.193	5.19	1.103	地盤連成	2	0.045	22.01	-0.134		<p>第4.1.1-1表 固有値解析結果 (S_s-A)</p> <p>(a)NS 方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.314</td> <td>3.18</td> <td>1.378</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.86</td> <td>-0.159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.32</td> <td>0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW 方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.311</td> <td>3.22</td> <td>1.333</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.29</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.46</td> <td>-0.133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.68</td> <td>0.071</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.191</td> <td>5.22</td> <td>1.104</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.02</td> <td>-0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.314	3.18	1.378	地盤連成	2	0.158	6.32	0.335		3	0.084	11.86	-0.159		4	0.065	15.32	0.136		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.311	3.22	1.333	地盤連成	2	0.159	6.29	0.324		3	0.080	12.46	-0.133		4	0.060	16.68	0.071		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.191	5.22	1.104	地盤連成	2	0.045	22.02	-0.136		<p>固有値解析は地震波に応じて地盤ばね定数の影響により結果が変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.316	3.16	1.376	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.28	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.85	-0.158																																																																																																																																	
4	0.065	15.31	0.134																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.313	3.19	1.331	地盤連成																																																																																																																																
2	0.160	6.25	0.322																																																																																																																																	
3	0.080	12.44	-0.131																																																																																																																																	
4	0.060	16.66	0.069																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.193	5.19	1.103	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.01	-0.134																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.314	3.18	1.378	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.86	-0.159																																																																																																																																	
4	0.065	15.32	0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.311	3.22	1.333	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.29	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.46	-0.133																																																																																																																																	
4	0.060	16.68	0.071																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.191	5.22	1.104	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.02	-0.136																																																																																																																																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-2表 固有値解析結果(1.2×S_s-B1)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.313</td> <td>3.20</td> <td>1.380</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.157</td> <td>6.35</td> <td>0.336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.87</td> <td>-0.161</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.33</td> <td>0.138</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.309</td> <td>3.23</td> <td>1.334</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.323</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.47</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.70</td> <td>0.072</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.191</td> <td>5.25</td> <td>1.105</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.03</td> <td>-0.137</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.313	3.20	1.380	地盤連成	2	0.157	6.35	0.336		3	0.084	11.87	-0.161		4	0.065	15.33	0.138		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.309	3.23	1.334	地盤連成	2	0.158	6.32	0.323		3	0.080	12.47	-0.134		4	0.060	16.70	0.072		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.191	5.25	1.105	地盤連成	2	0.045	22.03	-0.137		<p>第4.1.1-2表 固有値解析結果(S_s-B1)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.312</td> <td>3.21</td> <td>1.380</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.157</td> <td>6.37</td> <td>0.336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.88</td> <td>-0.162</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.34</td> <td>0.139</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.308</td> <td>3.24</td> <td>1.336</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.34</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.48</td> <td>-0.135</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.71</td> <td>0.073</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.190</td> <td>5.27</td> <td>1.106</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.04</td> <td>-0.138</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.312	3.21	1.380	地盤連成	2	0.157	6.37	0.336		3	0.084	11.88	-0.162		4	0.065	15.34	0.139		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.308	3.24	1.336	地盤連成	2	0.158	6.34	0.324		3	0.080	12.48	-0.135		4	0.060	16.71	0.073		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.190	5.27	1.106	地盤連成	2	0.045	22.04	-0.138		<p>固有値解析は地震波に応じて地盤ばね定数の影響により結果が変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.313	3.20	1.380	地盤連成																																																																																																																																
2	0.157	6.35	0.336																																																																																																																																	
3	0.084	11.87	-0.161																																																																																																																																	
4	0.065	15.33	0.138																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.309	3.23	1.334	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.323																																																																																																																																	
3	0.080	12.47	-0.134																																																																																																																																	
4	0.060	16.70	0.072																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.191	5.25	1.105	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.03	-0.137																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.312	3.21	1.380	地盤連成																																																																																																																																
2	0.157	6.37	0.336																																																																																																																																	
3	0.084	11.88	-0.162																																																																																																																																	
4	0.065	15.34	0.139																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.308	3.24	1.336	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.34	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.48	-0.135																																																																																																																																	
4	0.060	16.71	0.073																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.190	5.27	1.106	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.04	-0.138																																																																																																																																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-3表 固有値解析結果(1.2×S_s-B2)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.315</td> <td>3.18</td> <td>1.377</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.86</td> <td>-0.159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.32</td> <td>0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.311</td> <td>3.22</td> <td>1.333</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.28</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.46</td> <td>-0.133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.68</td> <td>0.071</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.191</td> <td>5.22</td> <td>1.104</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.02</td> <td>-0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.315	3.18	1.377	地盤連成	2	0.158	6.32	0.335		3	0.084	11.86	-0.159		4	0.065	15.32	0.136		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.311	3.22	1.333	地盤連成	2	0.159	6.28	0.324		3	0.080	12.46	-0.133		4	0.060	16.68	0.071		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.191	5.22	1.104	地盤連成	2	0.045	22.02	-0.136		<p>第4.1.1-3表 固有値解析結果(S_s-B2)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.313</td> <td>3.20</td> <td>1.380</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.157</td> <td>6.36</td> <td>0.336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.87</td> <td>-0.161</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.33</td> <td>0.138</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.309</td> <td>3.24</td> <td>1.335</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.47</td> <td>-0.135</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.70</td> <td>0.072</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.190</td> <td>5.25</td> <td>1.106</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.03</td> <td>-0.137</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.313	3.20	1.380	地盤連成	2	0.157	6.36	0.336		3	0.084	11.87	-0.161		4	0.065	15.33	0.138		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.309	3.24	1.335	地盤連成	2	0.158	6.32	0.324		3	0.080	12.47	-0.135		4	0.060	16.70	0.072		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.190	5.25	1.106	地盤連成	2	0.045	22.03	-0.137		<p>固有値解析は地震波に応じて地盤ばね定数の影響により結果が変わるため1.2×S_s計算書にも記載</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.315	3.18	1.377	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.86	-0.159																																																																																																																																	
4	0.065	15.32	0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.311	3.22	1.333	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.28	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.46	-0.133																																																																																																																																	
4	0.060	16.68	0.071																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.191	5.22	1.104	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.02	-0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.313	3.20	1.380	地盤連成																																																																																																																																
2	0.157	6.36	0.336																																																																																																																																	
3	0.084	11.87	-0.161																																																																																																																																	
4	0.065	15.33	0.138																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.309	3.24	1.335	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.47	-0.135																																																																																																																																	
4	0.060	16.70	0.072																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.190	5.25	1.106	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.03	-0.137																																																																																																																																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-4表 固有値解析結果(1.2×S_s-B3)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.314</td> <td>3.18</td> <td>1.378</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.33</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.86</td> <td>-0.160</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.32</td> <td>0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.311</td> <td>3.22</td> <td>1.333</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.29</td> <td>0.323</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.46</td> <td>-0.133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.68</td> <td>0.071</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.191</td> <td>5.23</td> <td>1.105</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.02</td> <td>-0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.314	3.18	1.378	地盤連成	2	0.158	6.33	0.335		3	0.084	11.86	-0.160		4	0.065	15.32	0.136		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.311	3.22	1.333	地盤連成	2	0.159	6.29	0.323		3	0.080	12.46	-0.133		4	0.060	16.68	0.071		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.191	5.23	1.105	地盤連成	2	0.045	22.02	-0.136		<p>第4.1.1-4表 固有値解析結果(S_s-B3)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.312</td> <td>3.20</td> <td>1.380</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.157</td> <td>6.36</td> <td>0.337</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.87</td> <td>-0.162</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.33</td> <td>0.139</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.309</td> <td>3.24</td> <td>1.335</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.325</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.47</td> <td>-0.135</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.70</td> <td>0.072</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.190</td> <td>5.25</td> <td>1.106</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.03</td> <td>-0.137</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.312	3.20	1.380	地盤連成	2	0.157	6.36	0.337		3	0.084	11.87	-0.162		4	0.065	15.33	0.139		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.309	3.24	1.335	地盤連成	2	0.158	6.32	0.325		3	0.080	12.47	-0.135		4	0.060	16.70	0.072		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.190	5.25	1.106	地盤連成	2	0.045	22.03	-0.137		<p>前頁に同じ</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.314	3.18	1.378	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.33	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.86	-0.160																																																																																																																																	
4	0.065	15.32	0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.311	3.22	1.333	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.29	0.323																																																																																																																																	
3	0.080	12.46	-0.133																																																																																																																																	
4	0.060	16.68	0.071																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.191	5.23	1.105	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.02	-0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.312	3.20	1.380	地盤連成																																																																																																																																
2	0.157	6.36	0.337																																																																																																																																	
3	0.084	11.87	-0.162																																																																																																																																	
4	0.065	15.33	0.139																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.309	3.24	1.335	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.325																																																																																																																																	
3	0.080	12.47	-0.135																																																																																																																																	
4	0.060	16.70	0.072																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.190	5.25	1.106	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.03	-0.137																																																																																																																																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-5表 固有値解析結果(1.2×S_s-B4)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.317</td> <td>3.16</td> <td>1.375</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.27</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.84</td> <td>-0.157</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.31</td> <td>0.133</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.313</td> <td>3.19</td> <td>1.331</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.160</td> <td>6.24</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.44</td> <td>-0.131</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.65</td> <td>0.069</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.193</td> <td>5.18</td> <td>1.103</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.01</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.317	3.16	1.375	地盤連成	2	0.159	6.27	0.335		3	0.084	11.84	-0.157		4	0.065	15.31	0.133		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.313	3.19	1.331	地盤連成	2	0.160	6.24	0.324		3	0.080	12.44	-0.131		4	0.060	16.65	0.069		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.193	5.18	1.103	地盤連成	2	0.045	22.01	-0.134		<p>第4.1.1-5表 固有値解析結果(S_s-B4)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.314</td> <td>3.18</td> <td>1.378</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.86</td> <td>-0.160</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.32</td> <td>0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.311</td> <td>3.22</td> <td>1.333</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.28</td> <td>0.325</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.46</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.68</td> <td>0.071</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.192</td> <td>5.21</td> <td>1.104</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.02</td> <td>-0.135</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.314	3.18	1.378	地盤連成	2	0.158	6.32	0.336		3	0.084	11.86	-0.160		4	0.065	15.32	0.136		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.311	3.22	1.333	地盤連成	2	0.159	6.28	0.325		3	0.080	12.46	-0.134		4	0.060	16.68	0.071		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.192	5.21	1.104	地盤連成	2	0.045	22.02	-0.135		<p>前頁に同じ</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.317	3.16	1.375	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.27	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.84	-0.157																																																																																																																																	
4	0.065	15.31	0.133																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.313	3.19	1.331	地盤連成																																																																																																																																
2	0.160	6.24	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.44	-0.131																																																																																																																																	
4	0.060	16.65	0.069																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.193	5.18	1.103	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.01	-0.134																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.314	3.18	1.378	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.336																																																																																																																																	
3	0.084	11.86	-0.160																																																																																																																																	
4	0.065	15.32	0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.311	3.22	1.333	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.28	0.325																																																																																																																																	
3	0.080	12.46	-0.134																																																																																																																																	
4	0.060	16.68	0.071																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.192	5.21	1.104	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.02	-0.135																																																																																																																																	

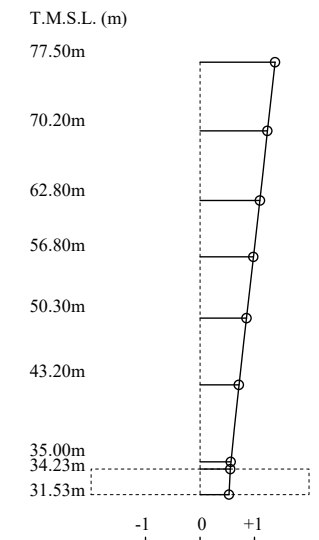
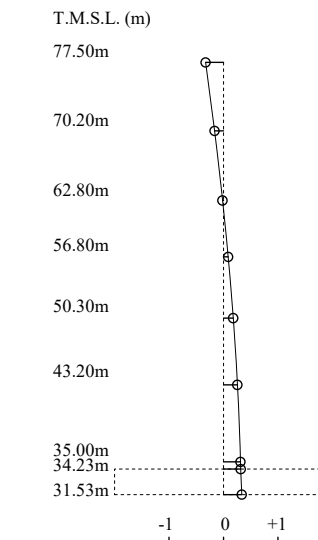
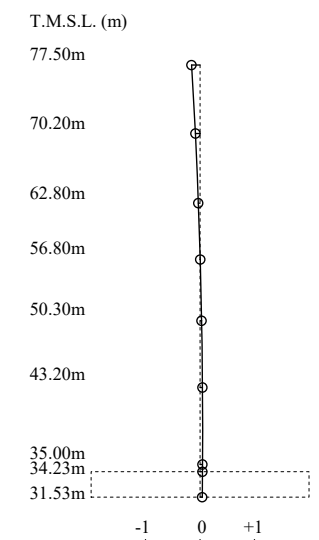
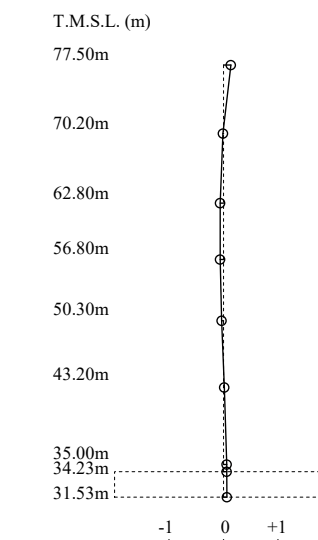
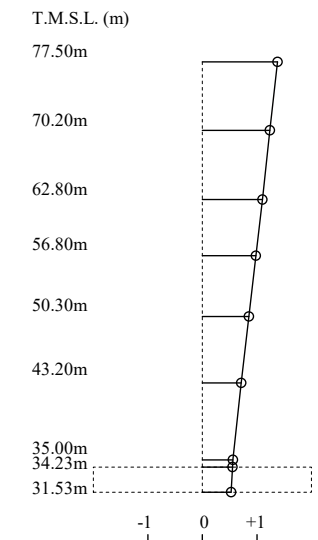
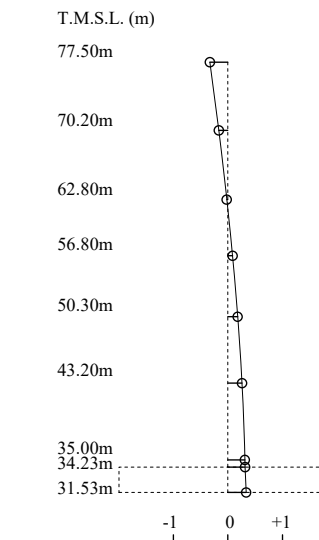
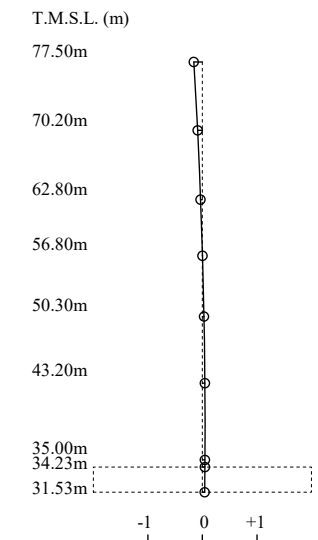
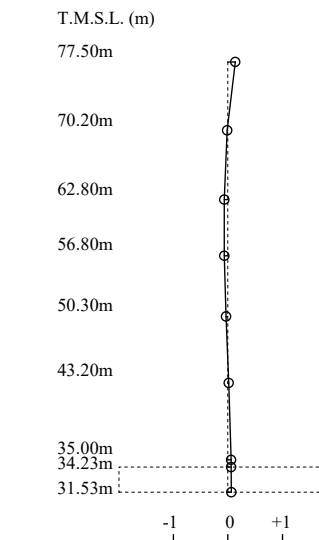
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-6表 固有値解析結果(1.2×S_s-B5)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.317</td> <td>3.16</td> <td>1.375</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.27</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.84</td> <td>-0.157</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.31</td> <td>0.133</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.313</td> <td>3.19</td> <td>1.331</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.160</td> <td>6.24</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.44</td> <td>-0.131</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.65</td> <td>0.069</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.193</td> <td>5.18</td> <td>1.103</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.01</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.317	3.16	1.375	地盤連成	2	0.159	6.27	0.335		3	0.084	11.84	-0.157		4	0.065	15.31	0.133		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.313	3.19	1.331	地盤連成	2	0.160	6.24	0.324		3	0.080	12.44	-0.131		4	0.060	16.65	0.069		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.193	5.18	1.103	地盤連成	2	0.045	22.01	-0.134		<p>第4.1.1-6表 固有値解析結果(S_s-B5)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.314</td> <td>3.18</td> <td>1.378</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.86</td> <td>-0.159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.32</td> <td>0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.311</td> <td>3.22</td> <td>1.333</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.28</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.46</td> <td>-0.133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.68</td> <td>0.071</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.192</td> <td>5.22</td> <td>1.104</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.02</td> <td>-0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.314	3.18	1.378	地盤連成	2	0.158	6.32	0.335		3	0.084	11.86	-0.159		4	0.065	15.32	0.136		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.311	3.22	1.333	地盤連成	2	0.159	6.28	0.324		3	0.080	12.46	-0.133		4	0.060	16.68	0.071		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.192	5.22	1.104	地盤連成	2	0.045	22.02	-0.136		<p>前頁に同じ</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.317	3.16	1.375	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.27	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.84	-0.157																																																																																																																																	
4	0.065	15.31	0.133																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.313	3.19	1.331	地盤連成																																																																																																																																
2	0.160	6.24	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.44	-0.131																																																																																																																																	
4	0.060	16.65	0.069																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.193	5.18	1.103	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.01	-0.134																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.314	3.18	1.378	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.86	-0.159																																																																																																																																	
4	0.065	15.32	0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.311	3.22	1.333	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.28	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.46	-0.133																																																																																																																																	
4	0.060	16.68	0.071																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.192	5.22	1.104	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.02	-0.136																																																																																																																																	

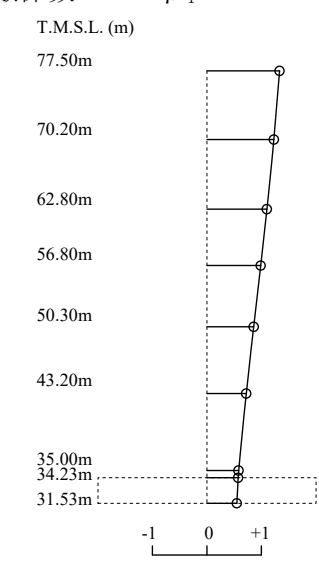
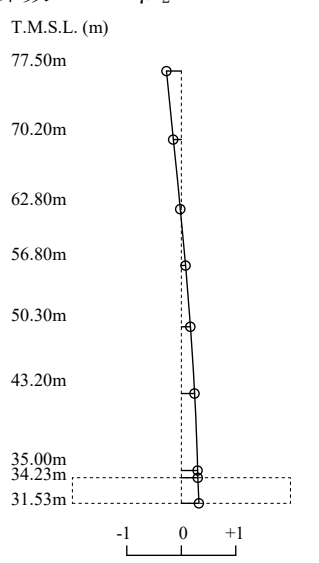
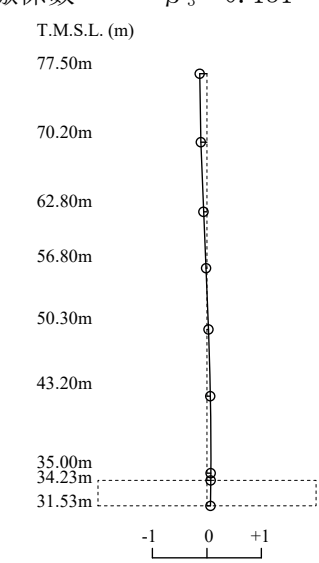
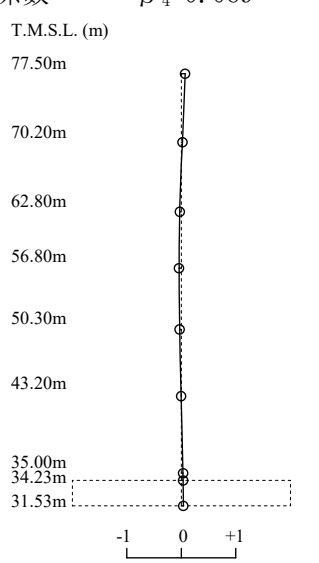
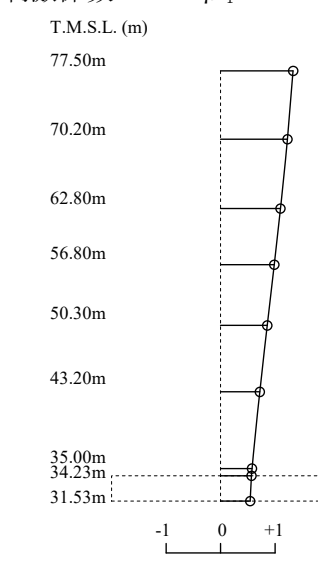
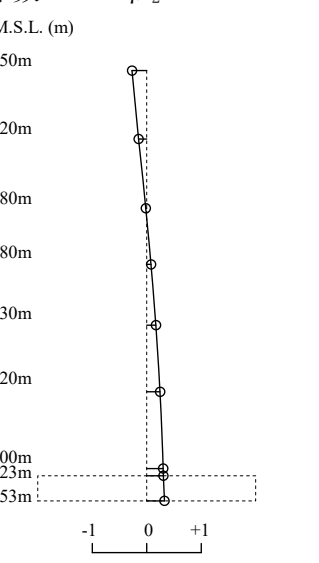
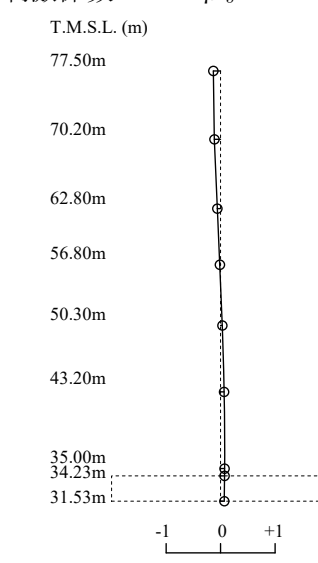
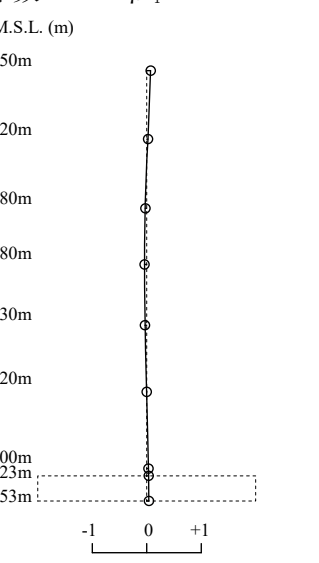
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-7表 固有値解析結果(1.2×S_s-C1)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.321</td> <td>3.12</td> <td>1.371</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.161</td> <td>6.20</td> <td>0.333</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.085</td> <td>11.81</td> <td>-0.153</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.28</td> <td>0.128</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.317</td> <td>3.15</td> <td>1.328</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.162</td> <td>6.16</td> <td>0.322</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.081</td> <td>12.41</td> <td>-0.128</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.61</td> <td>0.067</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1071"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.195</td> <td>5.13</td> <td>1.100</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>21.99</td> <td>-0.131</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.321	3.12	1.371	地盤連成	2	0.161	6.20	0.333		3	0.085	11.81	-0.153		4	0.065	15.28	0.128		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.317	3.15	1.328	地盤連成	2	0.162	6.16	0.322		3	0.081	12.41	-0.128		4	0.060	16.61	0.067		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.195	5.13	1.100	地盤連成	2	0.045	21.99	-0.131		<p>第4.1.1-7表 固有値解析結果(S_s-C1)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.318</td> <td>3.14</td> <td>1.373</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.160</td> <td>6.24</td> <td>0.334</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.085</td> <td>11.83</td> <td>-0.156</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.29</td> <td>0.131</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.315</td> <td>3.18</td> <td>1.330</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.161</td> <td>6.21</td> <td>0.323</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.43</td> <td>-0.130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.64</td> <td>0.068</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1071"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.194</td> <td>5.16</td> <td>1.102</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.00</td> <td>-0.132</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.318	3.14	1.373	地盤連成	2	0.160	6.24	0.334		3	0.085	11.83	-0.156		4	0.065	15.29	0.131		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.315	3.18	1.330	地盤連成	2	0.161	6.21	0.323		3	0.080	12.43	-0.130		4	0.060	16.64	0.068		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.194	5.16	1.102	地盤連成	2	0.045	22.00	-0.132		<p>前頁に同じ</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.321	3.12	1.371	地盤連成																																																																																																																																
2	0.161	6.20	0.333																																																																																																																																	
3	0.085	11.81	-0.153																																																																																																																																	
4	0.065	15.28	0.128																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.317	3.15	1.328	地盤連成																																																																																																																																
2	0.162	6.16	0.322																																																																																																																																	
3	0.081	12.41	-0.128																																																																																																																																	
4	0.060	16.61	0.067																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.195	5.13	1.100	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	21.99	-0.131																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.318	3.14	1.373	地盤連成																																																																																																																																
2	0.160	6.24	0.334																																																																																																																																	
3	0.085	11.83	-0.156																																																																																																																																	
4	0.065	15.29	0.131																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.315	3.18	1.330	地盤連成																																																																																																																																
2	0.161	6.21	0.323																																																																																																																																	
3	0.080	12.43	-0.130																																																																																																																																	
4	0.060	16.64	0.068																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.194	5.16	1.102	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.00	-0.132																																																																																																																																	

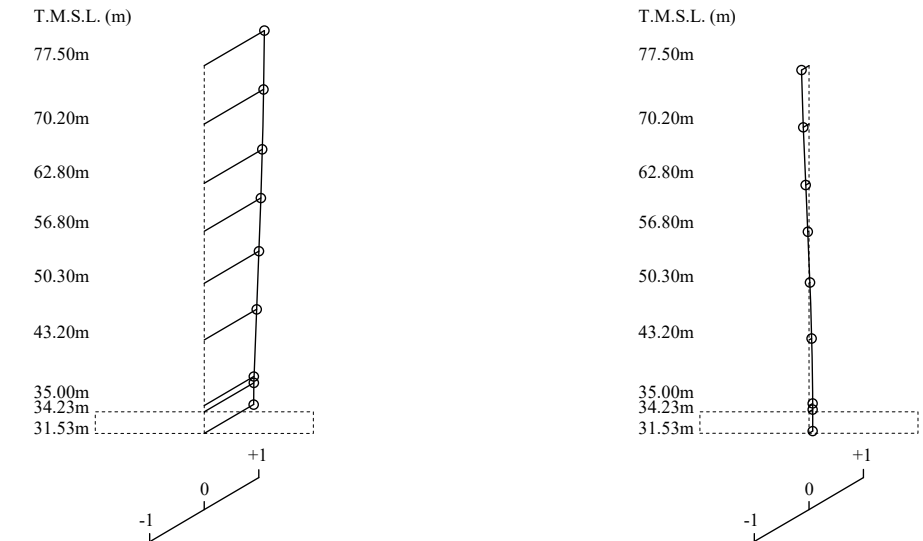
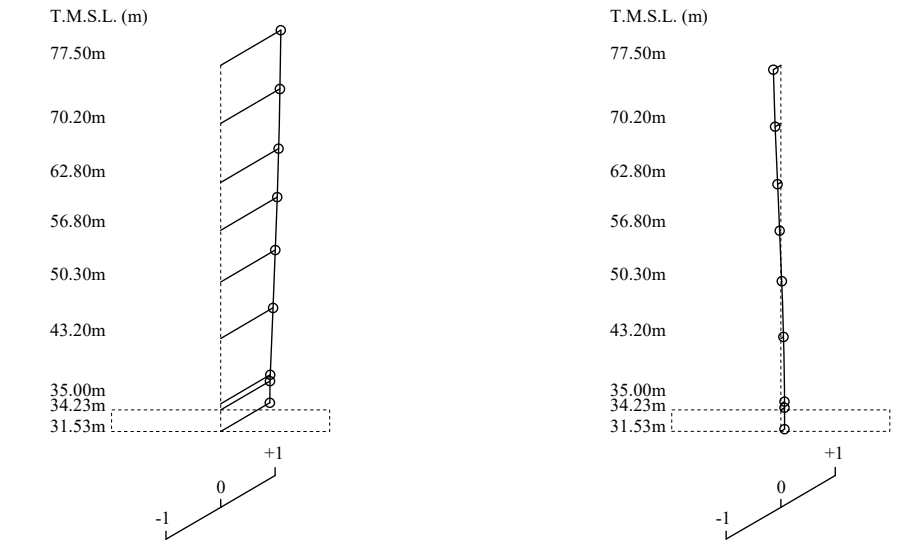
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-8表 固有値解析結果(1.2×S_s-C2)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.314</td> <td>3.19</td> <td>1.378</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.33</td> <td>0.335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.86</td> <td>-0.160</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.33</td> <td>0.137</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.310</td> <td>3.22</td> <td>1.334</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.30</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.46</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.69</td> <td>0.071</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.191</td> <td>5.23</td> <td>1.105</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.02</td> <td>-0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.314	3.19	1.378	地盤連成	2	0.158	6.33	0.335		3	0.084	11.86	-0.160		4	0.065	15.33	0.137		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.310	3.22	1.334	地盤連成	2	0.159	6.30	0.324		3	0.080	12.46	-0.134		4	0.060	16.69	0.071		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.191	5.23	1.105	地盤連成	2	0.045	22.02	-0.136		<p>第4.1.1-8表 固有値解析結果(S_s-C2)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.312</td> <td>3.20</td> <td>1.380</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.157</td> <td>6.36</td> <td>0.336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.87</td> <td>-0.161</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.33</td> <td>0.138</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.309</td> <td>3.23</td> <td>1.335</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.323</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.47</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.70</td> <td>0.072</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.190</td> <td>5.25</td> <td>1.106</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.03</td> <td>-0.137</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.312	3.20	1.380	地盤連成	2	0.157	6.36	0.336		3	0.084	11.87	-0.161		4	0.065	15.33	0.138		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.309	3.23	1.335	地盤連成	2	0.158	6.32	0.323		3	0.080	12.47	-0.134		4	0.060	16.70	0.072		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.190	5.25	1.106	地盤連成	2	0.045	22.03	-0.137		<p>前頁に同じ</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.314	3.19	1.378	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.33	0.335																																																																																																																																	
3	0.084	11.86	-0.160																																																																																																																																	
4	0.065	15.33	0.137																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.310	3.22	1.334	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.30	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.46	-0.134																																																																																																																																	
4	0.060	16.69	0.071																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.191	5.23	1.105	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.02	-0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.312	3.20	1.380	地盤連成																																																																																																																																
2	0.157	6.36	0.336																																																																																																																																	
3	0.084	11.87	-0.161																																																																																																																																	
4	0.065	15.33	0.138																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.309	3.23	1.335	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.323																																																																																																																																	
3	0.080	12.47	-0.134																																																																																																																																	
4	0.060	16.70	0.072																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.190	5.25	1.106	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.03	-0.137																																																																																																																																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																		
<p>第4.1-9表 固有値解析結果 (1.2×S_s-C3)</p> <p>(a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 357 1240 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.314</td> <td>3.18</td> <td>1.378</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.86</td> <td>-0.160</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.32</td> <td>0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.311</td> <td>3.22</td> <td>1.333</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.29</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.46</td> <td>-0.134</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.68</td> <td>0.071</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="281 936 1240 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.191</td> <td>5.22</td> <td>1.104</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.02</td> <td>-0.136</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.314	3.18	1.378	地盤連成	2	0.158	6.32	0.336		3	0.084	11.86	-0.160		4	0.065	15.32	0.136		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.311	3.22	1.333	地盤連成	2	0.159	6.29	0.324		3	0.080	12.46	-0.134		4	0.060	16.68	0.071		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.191	5.22	1.104	地盤連成	2	0.045	22.02	-0.136		<p>第4.1.1-9表 固有値解析結果 (S_s-C3)</p> <p>(a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 357 2415 577"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.312</td> <td>3.20</td> <td>1.380</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.157</td> <td>6.36</td> <td>0.337</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.87</td> <td>-0.162</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.33</td> <td>0.139</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.309</td> <td>3.23</td> <td>1.335</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.32</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.47</td> <td>-0.135</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.70</td> <td>0.072</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)鉛直方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 936 2415 1066"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.191</td> <td>5.24</td> <td>1.105</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.03</td> <td>-0.137</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.312	3.20	1.380	地盤連成	2	0.157	6.36	0.337		3	0.084	11.87	-0.162		4	0.065	15.33	0.139		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.309	3.23	1.335	地盤連成	2	0.158	6.32	0.324		3	0.080	12.47	-0.135		4	0.060	16.70	0.072		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.191	5.24	1.105	地盤連成	2	0.045	22.03	-0.137		<p>前頁に同じ</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.314	3.18	1.378	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.336																																																																																																																																	
3	0.084	11.86	-0.160																																																																																																																																	
4	0.065	15.32	0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.311	3.22	1.333	地盤連成																																																																																																																																
2	0.159	6.29	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.46	-0.134																																																																																																																																	
4	0.060	16.68	0.071																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.191	5.22	1.104	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.02	-0.136																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.312	3.20	1.380	地盤連成																																																																																																																																
2	0.157	6.36	0.337																																																																																																																																	
3	0.084	11.87	-0.162																																																																																																																																	
4	0.065	15.33	0.139																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.309	3.23	1.335	地盤連成																																																																																																																																
2	0.158	6.32	0.324																																																																																																																																	
3	0.080	12.47	-0.135																																																																																																																																	
4	0.060	16.70	0.072																																																																																																																																	
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																																																
1	0.191	5.24	1.105	地盤連成																																																																																																																																
2	0.045	22.03	-0.137																																																																																																																																	

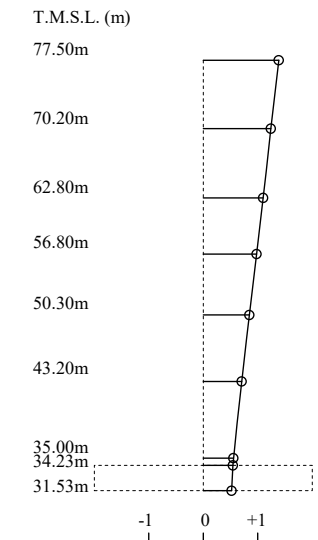
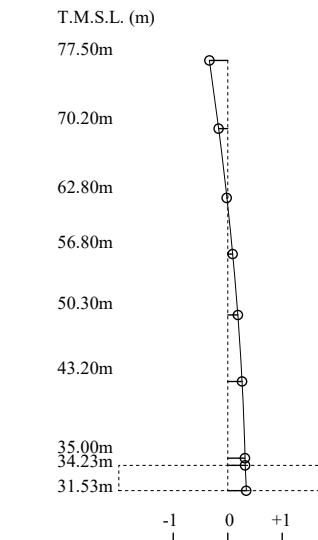
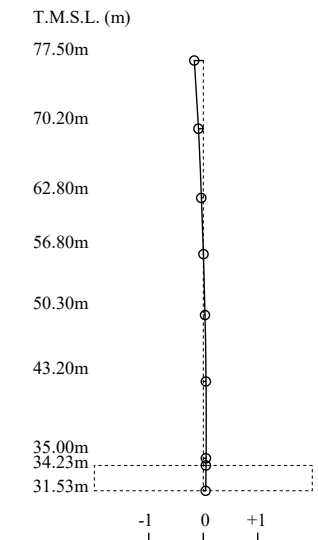
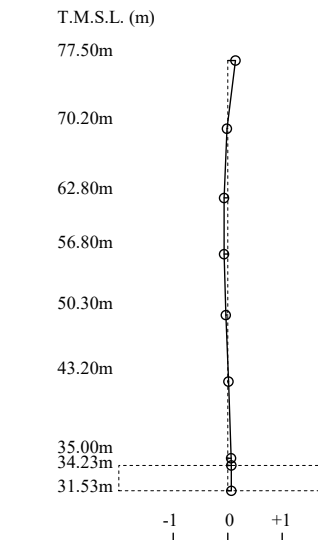
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																				
<p>第4.1-10表 固有値解析結果(1.2×S_s-C4) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="281 359 1240 579"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.315</td> <td>3.18</td> <td>1.377</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.31</td> <td>0.336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.85</td> <td>-0.159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.32</td> <td>0.135</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="281 646 1240 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.311</td> <td>3.21</td> <td>1.333</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.27</td> <td>0.324</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.45</td> <td>-0.133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.67</td> <td>0.070</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.315	3.18	1.377	地盤連成	2	0.159	6.31	0.336		3	0.084	11.85	-0.159		4	0.065	15.32	0.135		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.311	3.21	1.333	地盤連成	2	0.159	6.27	0.324		3	0.080	12.45	-0.133		4	0.060	16.67	0.070		<p>第4.1.1-10表 固有値解析結果(S_s-C4) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 359 2415 579"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.313</td> <td>3.19</td> <td>1.379</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.158</td> <td>6.34</td> <td>0.337</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.87</td> <td>-0.161</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.33</td> <td>0.138</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1457 646 2415 867"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.309</td> <td>3.23</td> <td>1.334</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.159</td> <td>6.31</td> <td>0.325</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.47</td> <td>-0.135</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.69</td> <td>0.072</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.313	3.19	1.379	地盤連成	2	0.158	6.34	0.337		3	0.084	11.87	-0.161		4	0.065	15.33	0.138		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.309	3.23	1.334	地盤連成	2	0.159	6.31	0.325		3	0.080	12.47	-0.135		4	0.060	16.69	0.072		<p>前頁に同じ</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																		
1	0.315	3.18	1.377	地盤連成																																																																																																		
2	0.159	6.31	0.336																																																																																																			
3	0.084	11.85	-0.159																																																																																																			
4	0.065	15.32	0.135																																																																																																			
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																		
1	0.311	3.21	1.333	地盤連成																																																																																																		
2	0.159	6.27	0.324																																																																																																			
3	0.080	12.45	-0.133																																																																																																			
4	0.060	16.67	0.070																																																																																																			
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																		
1	0.313	3.19	1.379	地盤連成																																																																																																		
2	0.158	6.34	0.337																																																																																																			
3	0.084	11.87	-0.161																																																																																																			
4	0.065	15.33	0.138																																																																																																			
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																																																																		
1	0.309	3.23	1.334	地盤連成																																																																																																		
2	0.159	6.31	0.325																																																																																																			
3	0.080	12.47	-0.135																																																																																																			
4	0.060	16.69	0.072																																																																																																			

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>1次モード 固有周期 $T_1=0.316$ (s) 固有振動数 $f_1=3.16$ (Hz) 刺激係数 $\beta_1=1.376$</p>  <p>2次モード 固有周期 $T_2=0.159$ (s) 固有振動数 $f_2=6.28$ (Hz) 刺激係数 $\beta_2=0.335$</p>  <p>3次モード 固有周期 $T_3=0.084$ (s) 固有振動数 $f_3=11.85$ (Hz) 刺激係数 $\beta_3=-0.158$</p>  <p>4次モード 固有周期 $T_4=0.065$ (s) 固有振動数 $f_4=15.31$ (Hz) 刺激係数 $\beta_4=0.134$</p>  <p>第4.1-1図 刺激関数図 (1.2×S s-A, NS方向)</p>	<p>1次モード 固有周期 $T_1=0.314$ (s) 固有振動数 $f_1=3.18$ (Hz) 刺激係数 $\beta_1=1.378$</p>  <p>2次モード 固有周期 $T_2=0.158$ (s) 固有振動数 $f_2=6.32$ (Hz) 刺激係数 $\beta_2=0.335$</p>  <p>3次モード 固有周期 $T_3=0.084$ (s) 固有振動数 $f_3=11.86$ (Hz) 刺激係数 $\beta_3=-0.159$</p>  <p>4次モード 固有周期 $T_4=0.065$ (s) 固有振動数 $f_4=15.32$ (Hz) 刺激係数 $\beta_4=0.136$</p>  <p>第4.1.1-1図 刺激関数図 (S s-A, NS方向)</p>	<p>前頁に同じ</p>

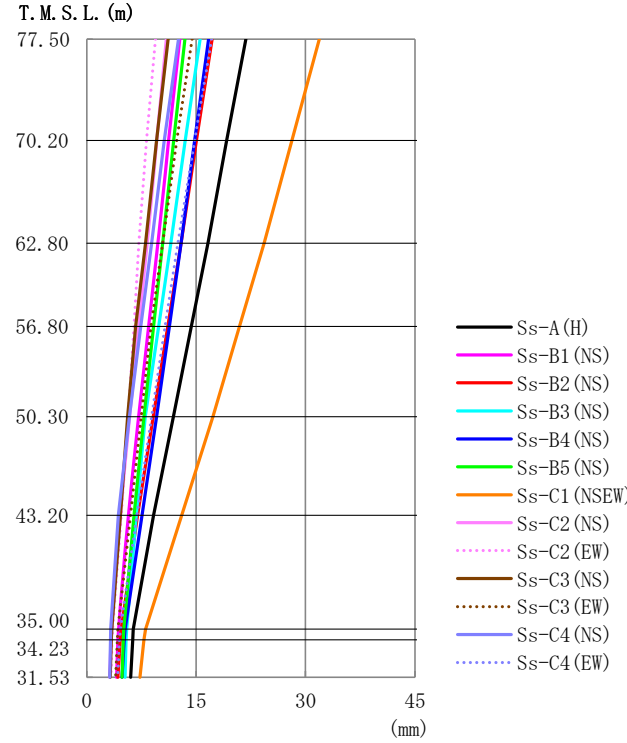
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>1次モード 固有周期 $T_1=0.313$ (s) 固有振動数 $f_1=3.19$ (Hz) 刺激係数 $\beta_1=1.331$</p>  <p>2次モード 固有周期 $T_2=0.160$ (s) 固有振動数 $f_2=6.25$ (Hz) 刺激係数 $\beta_2=0.322$</p>  <p>3次モード 固有周期 $T_3=0.080$ (s) 固有振動数 $f_3=12.44$ (Hz) 刺激係数 $\beta_3=-0.131$</p>  <p>4次モード 固有周期 $T_4=0.060$ (s) 固有振動数 $f_4=16.66$ (Hz) 刺激係数 $\beta_4=0.069$</p>  <p>第4.1-2図 刺激関数図 (1.2×S_s-A, EW方向)</p>	<p>1次モード 固有周期 $T_1=0.311$ (s) 固有振動数 $f_1=3.22$ (Hz) 刺激係数 $\beta_1=1.333$</p>  <p>2次モード 固有周期 $T_2=0.159$ (s) 固有振動数 $f_2=6.29$ (Hz) 刺激係数 $\beta_2=0.324$</p>  <p>3次モード 固有周期 $T_3=0.080$ (s) 固有振動数 $f_3=12.46$ (Hz) 刺激係数 $\beta_3=-0.133$</p>  <p>4次モード 固有周期 $T_4=0.060$ (s) 固有振動数 $f_4=16.68$ (Hz) 刺激係数 $\beta_4=0.071$</p>  <p>第4.1.1-2図 刺激関数図 (S_s-A, EW方向)</p>	<p>前頁に同じ</p>

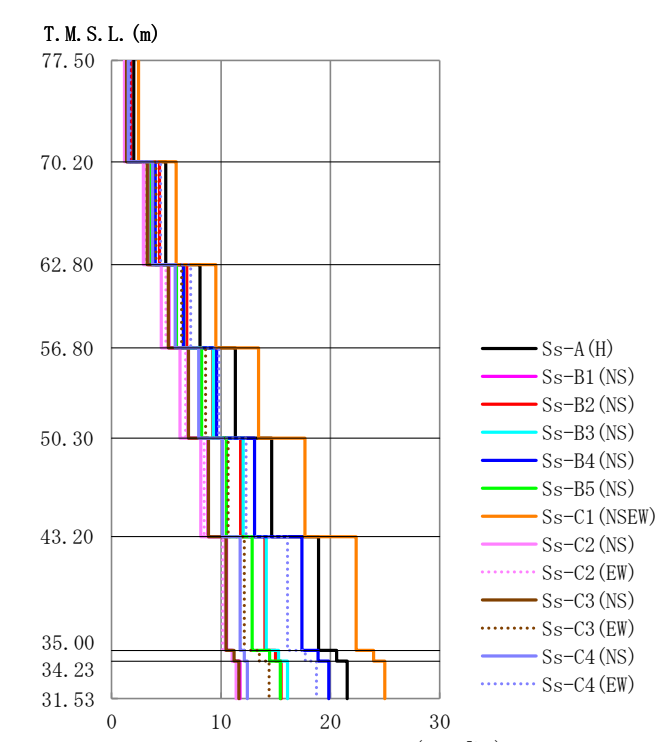
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
<p>1次モード 固有周期 $T_1=0.193$ (s) 固有振動数 $f_1=5.19$ (Hz) 刺激係数 $\beta_1=1.103$</p> <p>2次モード 固有周期 $T_2=0.045$ (s) 固有振動数 $f_2=22.01$ (Hz) 刺激係数 $\beta_2=-0.134$</p>  <p>第4.1-3図 刺激関数図 ($1.2 \times S_s - A$, 鉛直方向)</p>	<p>1次モード 固有周期 $T_1=0.191$ (s) 固有振動数 $f_1=5.22$ (Hz) 刺激係数 $\beta_1=1.104$</p> <p>2次モード 固有周期 $T_2=0.045$ (s) 固有振動数 $f_2=22.02$ (Hz) 刺激係数 $\beta_2=-0.136$</p>  <p>第4.1.1-3図 刺激関数図 ($S_s - A$, 鉛直方向)</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																	
	<p style="text-align: center;">第4.1.1-11表 固有値解析結果 (Sd-A) (a)NS方向</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.309</td> <td>3.24</td> <td>1.384</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.156</td> <td>6.43</td> <td>0.338</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.084</td> <td>11.90</td> <td>-0.166</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.065</td> <td>15.36</td> <td>0.143</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(b)EW方向</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.305</td> <td>3.28</td> <td>1.338</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.156</td> <td>6.39</td> <td>0.326</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.080</td> <td>12.50</td> <td>-0.139</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.060</td> <td>16.74</td> <td>0.075</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(c)鉛直方向</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>次数</th> <th>固有周期(s)</th> <th>固有振動数(Hz)</th> <th>刺激係数</th> <th>卓越モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.188</td> <td>5.31</td> <td>1.108</td> <td>地盤連成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.045</td> <td>22.05</td> <td>-0.140</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第4.1.1-12表 固有値解析結果 (Sd-B1) 第4.1.1-13表 固有値解析結果 (Sd-B2) 第4.1.1-14表 固有値解析結果 (Sd-B3) 第4.1.1-15表 固有値解析結果 (Sd-B4) 第4.1.1-16表 固有値解析結果 (Sd-B5) 第4.1.1-17表 固有値解析結果 (Sd-C1) 第4.1.1-18表 固有値解析結果 (Sd-C2) 第4.1.1-19表 固有値解析結果 (Sd-C3) 第4.1.1-20表 固有値解析結果 (Sd-C4)</p>	次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.309	3.24	1.384	地盤連成	2	0.156	6.43	0.338		3	0.084	11.90	-0.166		4	0.065	15.36	0.143		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.305	3.28	1.338	地盤連成	2	0.156	6.39	0.326		3	0.080	12.50	-0.139		4	0.060	16.74	0.075		次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード	1	0.188	5.31	1.108	地盤連成	2	0.045	22.05	-0.140		<p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であるこ とから 1.2×Ss 計算 書に記載無し</p> <p>1.0×Ss 計算書にお いて、第4.1.1-11表 と同様に他地震ベー スの固有値解析結果 が記載されるもので あるため、本比較表 上は省略</p>
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																															
1	0.309	3.24	1.384	地盤連成																																																															
2	0.156	6.43	0.338																																																																
3	0.084	11.90	-0.166																																																																
4	0.065	15.36	0.143																																																																
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																															
1	0.305	3.28	1.338	地盤連成																																																															
2	0.156	6.39	0.326																																																																
3	0.080	12.50	-0.139																																																																
4	0.060	16.74	0.075																																																																
次数	固有周期(s)	固有振動数(Hz)	刺激係数	卓越モード																																																															
1	0.188	5.31	1.108	地盤連成																																																															
2	0.045	22.05	-0.140																																																																

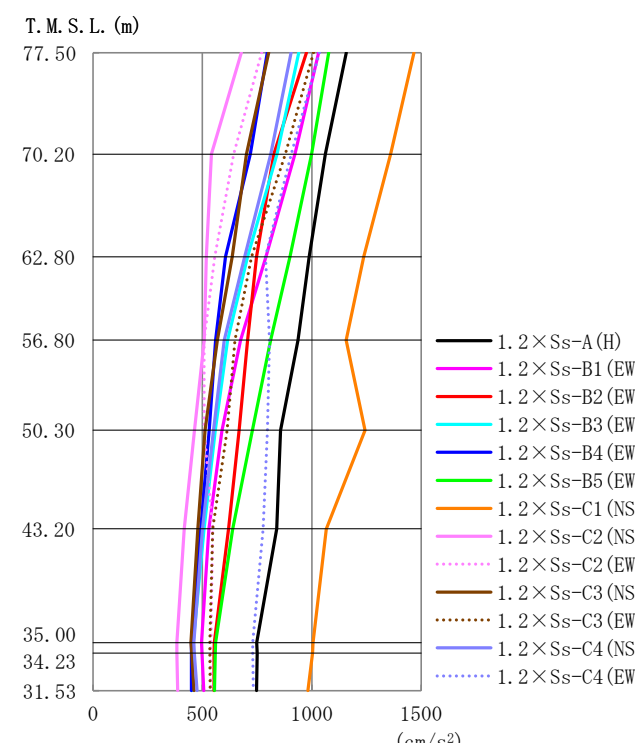
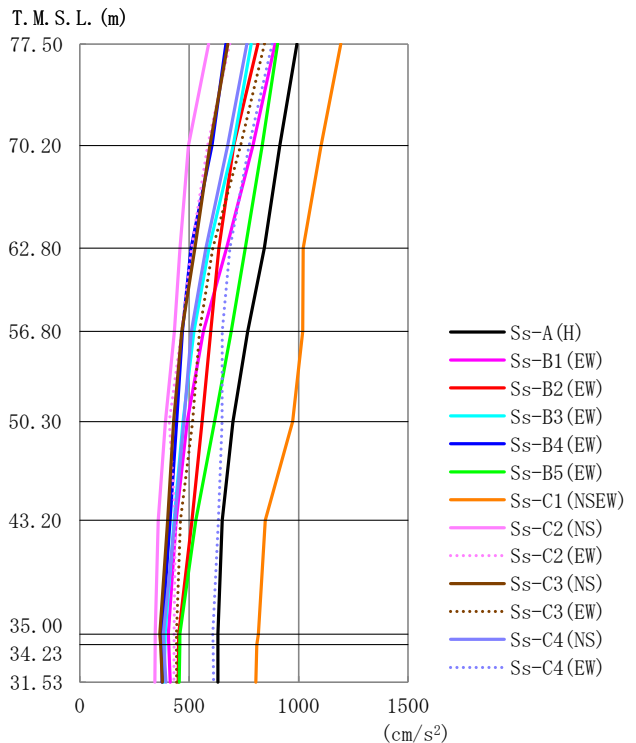
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>1次モード 固有周期 $T_1 = 0.309$ (s) 固有振動数 $f_1 = 3.24$ (Hz) 刺激係数 $\beta_1 = 1.384$</p>  <p>2次モード 固有周期 $T_2 = 0.156$ (s) 固有振動数 $f_2 = 6.43$ (Hz) 刺激係数 $\beta_2 = 0.338$</p>  <p>3次モード 固有周期 $T_3 = 0.084$ (s) 固有振動数 $f_3 = 11.90$ (Hz) 刺激係数 $\beta_3 = -0.166$</p>  <p>4次モード 固有周期 $T_4 = 0.065$ (s) 固有振動数 $f_4 = 15.36$ (Hz) 刺激係数 $\beta_4 = 0.143$</p>  <p>第4.1.1-4図 刺激関数図 (Sd-A, NS方向) 第4.1.1-5図 刺激関数図 (Sd-A, EW方向) 第4.1.1-6図 刺激関数図 (Sd-A, 鉛直方向)</p>	<p>弾性設計用地震動 Sd に係る記載であるこ とから 1.2×Ss 計算 書に記載無し</p> <p>1.0×Ss 計算書にお いて、第4.1.1-4図 と同様に NS 方向以 外の固有値解析結果が 記載されるものであ るため、本比較表上 は省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p style="text-align: center;">第4.2-1図 最大応答加速度 (1.2×S_s, NS方向)</p> <p style="text-align: center;">第4.2-1表 最大応答加速度一覧表 (1.2×S_s, NS方向)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T. M. S. L. (m)</th> <th rowspan="2">観測番号</th> <th colspan="12">最大応答加速度 (cm/s²)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>1.2×Ss-A (H)</th> <th>1.2×Ss-B1 (NS)</th> <th>1.2×Ss-B2 (NS)</th> <th>1.2×Ss-B3 (NS)</th> <th>1.2×Ss-B4 (NS)</th> <th>1.2×Ss-B5 (NS)</th> <th>1.2×Ss-C1 (NSEW)</th> <th>1.2×Ss-C2 (NS)</th> <th>1.2×Ss-C2 (EW)</th> <th>1.2×Ss-C3 (NS)</th> <th>1.2×Ss-C3 (EW)</th> <th>1.2×Ss-C4 (NS)</th> <th>1.2×Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50</td><td>1</td><td>1328</td><td>924</td><td>1158</td><td>1024</td><td>1052</td><td>968</td><td>1496</td><td>706</td><td>855</td><td>913</td><td>1106</td><td>1009</td><td>1117</td><td>1496</td></tr> <tr><td>70.20</td><td>2</td><td>1099</td><td>731</td><td>917</td><td>908</td><td>875</td><td>794</td><td>1389</td><td>590</td><td>656</td><td>739</td><td>872</td><td>798</td><td>978</td><td>1389</td></tr> <tr><td>62.80</td><td>3</td><td>1014</td><td>635</td><td>824</td><td>809</td><td>893</td><td>685</td><td>1230</td><td>533</td><td>563</td><td>641</td><td>724</td><td>690</td><td>837</td><td>1230</td></tr> <tr><td>56.80</td><td>4</td><td>954</td><td>553</td><td>751</td><td>731</td><td>874</td><td>624</td><td>1273</td><td>487</td><td>522</td><td>555</td><td>640</td><td>605</td><td>820</td><td>1273</td></tr> <tr><td>50.30</td><td>5</td><td>901</td><td>484</td><td>656</td><td>658</td><td>792</td><td>622</td><td>1301</td><td>442</td><td>558</td><td>521</td><td>606</td><td>585</td><td>804</td><td>1301</td></tr> <tr><td>43.20</td><td>6</td><td>878</td><td>480</td><td>566</td><td>570</td><td>762</td><td>601</td><td>1083</td><td>427</td><td>566</td><td>485</td><td>576</td><td>533</td><td>784</td><td>1083</td></tr> <tr><td>35.00</td><td>7</td><td>756</td><td>488</td><td>501</td><td>492</td><td>647</td><td>581</td><td>969</td><td>387</td><td>524</td><td>454</td><td>527</td><td>480</td><td>717</td><td>969</td></tr> <tr><td>34.23</td><td>8</td><td>757</td><td>491</td><td>499</td><td>493</td><td>635</td><td>579</td><td>971</td><td>388</td><td>522</td><td>457</td><td>525</td><td>483</td><td>715</td><td>971</td></tr> <tr><td>31.53</td><td>9</td><td>753</td><td>500</td><td>494</td><td>497</td><td>628</td><td>576</td><td>960</td><td>393</td><td>519</td><td>468</td><td>524</td><td>495</td><td>718</td><td>960</td></tr> </tbody> </table>	T. M. S. L. (m)	観測番号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値	1.2×Ss-A (H)	1.2×Ss-B1 (NS)	1.2×Ss-B2 (NS)	1.2×Ss-B3 (NS)	1.2×Ss-B4 (NS)	1.2×Ss-B5 (NS)	1.2×Ss-C1 (NSEW)	1.2×Ss-C2 (NS)	1.2×Ss-C2 (EW)	1.2×Ss-C3 (NS)	1.2×Ss-C3 (EW)	1.2×Ss-C4 (NS)	1.2×Ss-C4 (EW)	77.50	1	1328	924	1158	1024	1052	968	1496	706	855	913	1106	1009	1117	1496	70.20	2	1099	731	917	908	875	794	1389	590	656	739	872	798	978	1389	62.80	3	1014	635	824	809	893	685	1230	533	563	641	724	690	837	1230	56.80	4	954	553	751	731	874	624	1273	487	522	555	640	605	820	1273	50.30	5	901	484	656	658	792	622	1301	442	558	521	606	585	804	1301	43.20	6	878	480	566	570	762	601	1083	427	566	485	576	533	784	1083	35.00	7	756	488	501	492	647	581	969	387	524	454	527	480	717	969	34.23	8	757	491	499	493	635	579	971	388	522	457	525	483	715	971	31.53	9	753	500	494	497	628	576	960	393	519	468	524	495	718	960	<p style="text-align: center;">第4.1.2-1図 最大応答加速度 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <p style="text-align: center;">第4.1.2-1表 最大応答加速度一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T. M. S. L. (m)</th> <th rowspan="2">観測番号</th> <th colspan="12">最大応答加速度 (cm/s²)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (H)</th> <th>Ss-B1 (NS)</th> <th>Ss-B2 (NS)</th> <th>Ss-B3 (NS)</th> <th>Ss-B4 (NS)</th> <th>Ss-B5 (NS)</th> <th>Ss-C1 (NSEW)</th> <th>Ss-C2 (NS)</th> <th>Ss-C2 (EW)</th> <th>Ss-C3 (NS)</th> <th>Ss-C3 (EW)</th> <th>Ss-C4 (NS)</th> <th>Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50</td><td>1</td><td>1140</td><td>775</td><td>981</td><td>830</td><td>893</td><td>780</td><td>1385</td><td>661</td><td>751</td><td>774</td><td>927</td><td>856</td><td>949</td><td>1385</td></tr> <tr><td>70.20</td><td>2</td><td>904</td><td>606</td><td>784</td><td>744</td><td>737</td><td>668</td><td>1117</td><td>521</td><td>597</td><td>607</td><td>729</td><td>662</td><td>835</td><td>1117</td></tr> <tr><td>62.80</td><td>3</td><td>822</td><td>530</td><td>677</td><td>673</td><td>751</td><td>589</td><td>1020</td><td>456</td><td>515</td><td>533</td><td>609</td><td>575</td><td>709</td><td>1020</td></tr> <tr><td>56.80</td><td>4</td><td>766</td><td>463</td><td>587</td><td>614</td><td>738</td><td>523</td><td>982</td><td>422</td><td>463</td><td>476</td><td>538</td><td>519</td><td>660</td><td>982</td></tr> <tr><td>50.30</td><td>5</td><td>726</td><td>405</td><td>507</td><td>551</td><td>690</td><td>516</td><td>973</td><td>408</td><td>449</td><td>436</td><td>509</td><td>502</td><td>655</td><td>973</td></tr> <tr><td>43.20</td><td>6</td><td>664</td><td>398</td><td>435</td><td>477</td><td>611</td><td>513</td><td>866</td><td>389</td><td>454</td><td>406</td><td>477</td><td>462</td><td>641</td><td>866</td></tr> <tr><td>35.00</td><td>7</td><td>633</td><td>409</td><td>408</td><td>409</td><td>564</td><td>495</td><td>841</td><td>344</td><td>408</td><td>370</td><td>431</td><td>394</td><td>598</td><td>841</td></tr> <tr><td>34.23</td><td>8</td><td>632</td><td>411</td><td>407</td><td>410</td><td>563</td><td>494</td><td>830</td><td>343</td><td>407</td><td>372</td><td>431</td><td>396</td><td>599</td><td>830</td></tr> <tr><td>31.53</td><td>9</td><td>631</td><td>419</td><td>405</td><td>414</td><td>561</td><td>492</td><td>822</td><td>339</td><td>406</td><td>381</td><td>432</td><td>406</td><td>602</td><td>822</td></tr> </tbody> </table>	T. M. S. L. (m)	観測番号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値	Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)	77.50	1	1140	775	981	830	893	780	1385	661	751	774	927	856	949	1385	70.20	2	904	606	784	744	737	668	1117	521	597	607	729	662	835	1117	62.80	3	822	530	677	673	751	589	1020	456	515	533	609	575	709	1020	56.80	4	766	463	587	614	738	523	982	422	463	476	538	519	660	982	50.30	5	726	405	507	551	690	516	973	408	449	436	509	502	655	973	43.20	6	664	398	435	477	611	513	866	389	454	406	477	462	641	866	35.00	7	633	409	408	409	564	495	841	344	408	370	431	394	598	841	34.23	8	632	411	407	410	563	494	830	343	407	372	431	396	599	830	31.53	9	631	419	405	414	561	492	822	339	406	381	432	406	602	822	<p>1.2×S_s 計算書においては、第2.2-1図の評価フローに示した通り、1.2×S_sに対する応答加速度、せん断ひずみ度及び接地圧について地震応答解析結果を示し、応答変位、せん断力、曲げモーメント、軸力については記載しない。</p>
T. M. S. L. (m)			観測番号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	1.2×Ss-A (H)	1.2×Ss-B1 (NS)		1.2×Ss-B2 (NS)	1.2×Ss-B3 (NS)	1.2×Ss-B4 (NS)	1.2×Ss-B5 (NS)	1.2×Ss-C1 (NSEW)	1.2×Ss-C2 (NS)	1.2×Ss-C2 (EW)	1.2×Ss-C3 (NS)	1.2×Ss-C3 (EW)	1.2×Ss-C4 (NS)	1.2×Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
77.50	1	1328	924	1158	1024	1052	968	1496	706	855	913	1106	1009	1117	1496																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
70.20	2	1099	731	917	908	875	794	1389	590	656	739	872	798	978	1389																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
62.80	3	1014	635	824	809	893	685	1230	533	563	641	724	690	837	1230																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
56.80	4	954	553	751	731	874	624	1273	487	522	555	640	605	820	1273																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
50.30	5	901	484	656	658	792	622	1301	442	558	521	606	585	804	1301																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
43.20	6	878	480	566	570	762	601	1083	427	566	485	576	533	784	1083																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
35.00	7	756	488	501	492	647	581	969	387	524	454	527	480	717	969																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
34.23	8	757	491	499	493	635	579	971	388	522	457	525	483	715	971																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
31.53	9	753	500	494	497	628	576	960	393	519	468	524	495	718	960																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
T. M. S. L. (m)	観測番号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)		Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
77.50	1	1140	775	981	830	893	780	1385	661	751	774	927	856	949	1385																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
70.20	2	904	606	784	744	737	668	1117	521	597	607	729	662	835	1117																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
62.80	3	822	530	677	673	751	589	1020	456	515	533	609	575	709	1020																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
56.80	4	766	463	587	614	738	523	982	422	463	476	538	519	660	982																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
50.30	5	726	405	507	551	690	516	973	408	449	436	509	502	655	973																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
43.20	6	664	398	435	477	611	513	866	389	454	406	477	462	641	866																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
35.00	7	633	409	408	409	564	495	841	344	408	370	431	394	598	841																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
34.23	8	632	411	407	410	563	494	830	343	407	372	431	396	599	830																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
31.53	9	631	419	405	414	561	492	822	339	406	381	432	406	602	822																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

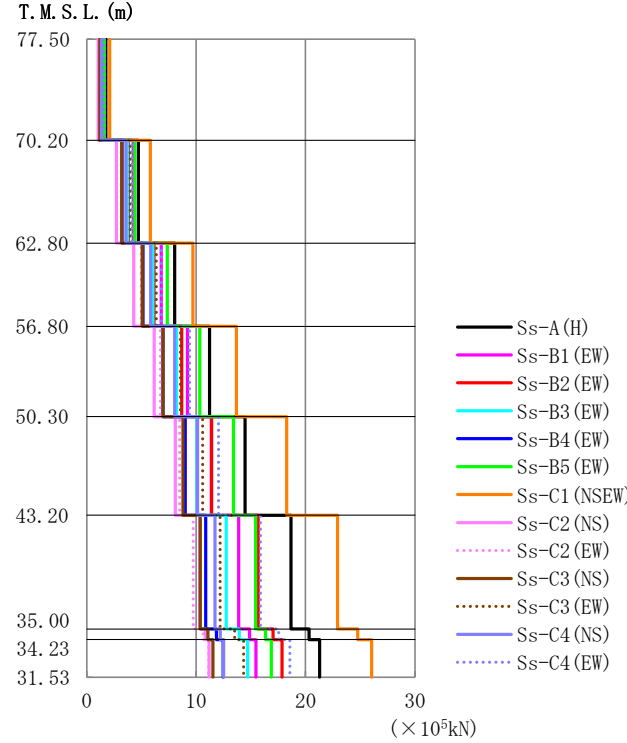
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																													
	 <p data-bbox="1558 1066 2300 1102">第4.1.2-2図 最大応答変位 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <p data-bbox="1528 1165 2329 1201">第4.1.2-2表 最大応答変位一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <table border="1" data-bbox="1409 1201 2457 1501"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">観測番号</th> <th colspan="13">最大応答変位(mm)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (H)</th> <th>Ss-B1 (NS)</th> <th>Ss-B2 (NS)</th> <th>Ss-B3 (NS)</th> <th>Ss-B4 (NS)</th> <th>Ss-B5 (NS)</th> <th>Ss-C1 (NSEW)</th> <th>Ss-C2 (NS)</th> <th>Ss-C2 (EW)</th> <th>Ss-C3 (NS)</th> <th>Ss-C3 (EW)</th> <th>Ss-C4 (NS)</th> <th>Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1</td> <td>21.8</td> <td>12.8</td> <td>17.2</td> <td>15.5</td> <td>16.7</td> <td>13.5</td> <td>31.9</td> <td>10.9</td> <td>9.44</td> <td>11.2</td> <td>14.4</td> <td>12.6</td> <td>17.1</td> <td>31.9</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>2</td> <td>19.2</td> <td>11.2</td> <td>15.1</td> <td>13.5</td> <td>14.8</td> <td>11.9</td> <td>28.1</td> <td>9.60</td> <td>8.21</td> <td>9.60</td> <td>12.3</td> <td>10.6</td> <td>14.8</td> <td>28.1</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>3</td> <td>16.6</td> <td>9.77</td> <td>13.0</td> <td>11.5</td> <td>13.0</td> <td>10.4</td> <td>24.3</td> <td>8.27</td> <td>7.15</td> <td>8.05</td> <td>10.4</td> <td>8.90</td> <td>12.5</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>4</td> <td>14.3</td> <td>8.49</td> <td>11.1</td> <td>9.85</td> <td>11.3</td> <td>9.16</td> <td>20.9</td> <td>7.11</td> <td>6.47</td> <td>6.69</td> <td>8.82</td> <td>7.41</td> <td>10.7</td> <td>20.9</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>5</td> <td>11.9</td> <td>7.14</td> <td>9.13</td> <td>8.02</td> <td>9.57</td> <td>7.86</td> <td>17.3</td> <td>5.88</td> <td>5.68</td> <td>5.61</td> <td>7.49</td> <td>5.85</td> <td>8.92</td> <td>17.3</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>6</td> <td>9.16</td> <td>5.71</td> <td>6.98</td> <td>6.80</td> <td>7.59</td> <td>6.50</td> <td>13.0</td> <td>4.60</td> <td>4.73</td> <td>4.63</td> <td>6.02</td> <td>4.35</td> <td>6.88</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>7</td> <td>6.40</td> <td>4.35</td> <td>4.72</td> <td>5.47</td> <td>5.26</td> <td>5.10</td> <td>8.08</td> <td>3.40</td> <td>3.53</td> <td>3.43</td> <td>4.28</td> <td>3.31</td> <td>4.62</td> <td>8.08</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td>8</td> <td>6.30</td> <td>4.29</td> <td>4.61</td> <td>5.41</td> <td>5.15</td> <td>5.03</td> <td>7.87</td> <td>3.34</td> <td>3.47</td> <td>3.37</td> <td>4.19</td> <td>3.26</td> <td>4.51</td> <td>7.87</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td>9</td> <td>6.04</td> <td>4.11</td> <td>4.28</td> <td>5.25</td> <td>4.83</td> <td>4.84</td> <td>7.29</td> <td>3.15</td> <td>3.33</td> <td>3.22</td> <td>3.96</td> <td>3.14</td> <td>4.24</td> <td>7.29</td> </tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	観測番号	最大応答変位(mm)													最大値	Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)	77.50	1	21.8	12.8	17.2	15.5	16.7	13.5	31.9	10.9	9.44	11.2	14.4	12.6	17.1	31.9	70.20	2	19.2	11.2	15.1	13.5	14.8	11.9	28.1	9.60	8.21	9.60	12.3	10.6	14.8	28.1	62.80	3	16.6	9.77	13.0	11.5	13.0	10.4	24.3	8.27	7.15	8.05	10.4	8.90	12.5	24.3	56.80	4	14.3	8.49	11.1	9.85	11.3	9.16	20.9	7.11	6.47	6.69	8.82	7.41	10.7	20.9	50.30	5	11.9	7.14	9.13	8.02	9.57	7.86	17.3	5.88	5.68	5.61	7.49	5.85	8.92	17.3	43.20	6	9.16	5.71	6.98	6.80	7.59	6.50	13.0	4.60	4.73	4.63	6.02	4.35	6.88	13.0	35.00	7	6.40	4.35	4.72	5.47	5.26	5.10	8.08	3.40	3.53	3.43	4.28	3.31	4.62	8.08	34.23	8	6.30	4.29	4.61	5.41	5.15	5.03	7.87	3.34	3.47	3.37	4.19	3.26	4.51	7.87	31.53	9	6.04	4.11	4.28	5.25	4.83	4.84	7.29	3.15	3.33	3.22	3.96	3.14	4.24	7.29	前頁に同じ
T.M.S.L. (m)	観測番号			最大応答変位(mm)														最大値																																																																																																																																																													
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																																	
77.50	1	21.8	12.8	17.2	15.5	16.7	13.5	31.9	10.9	9.44	11.2	14.4	12.6	17.1	31.9																																																																																																																																																																
70.20	2	19.2	11.2	15.1	13.5	14.8	11.9	28.1	9.60	8.21	9.60	12.3	10.6	14.8	28.1																																																																																																																																																																
62.80	3	16.6	9.77	13.0	11.5	13.0	10.4	24.3	8.27	7.15	8.05	10.4	8.90	12.5	24.3																																																																																																																																																																
56.80	4	14.3	8.49	11.1	9.85	11.3	9.16	20.9	7.11	6.47	6.69	8.82	7.41	10.7	20.9																																																																																																																																																																
50.30	5	11.9	7.14	9.13	8.02	9.57	7.86	17.3	5.88	5.68	5.61	7.49	5.85	8.92	17.3																																																																																																																																																																
43.20	6	9.16	5.71	6.98	6.80	7.59	6.50	13.0	4.60	4.73	4.63	6.02	4.35	6.88	13.0																																																																																																																																																																
35.00	7	6.40	4.35	4.72	5.47	5.26	5.10	8.08	3.40	3.53	3.43	4.28	3.31	4.62	8.08																																																																																																																																																																
34.23	8	6.30	4.29	4.61	5.41	5.15	5.03	7.87	3.34	3.47	3.37	4.19	3.26	4.51	7.87																																																																																																																																																																
31.53	9	6.04	4.11	4.28	5.25	4.83	4.84	7.29	3.15	3.33	3.22	3.96	3.14	4.24	7.29																																																																																																																																																																

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																												
	 <p>第4.1.2-3図 最大応答せん断力 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <p>第4.1.2-3表 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <table border="1" data-bbox="1394 1155 2463 1638"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">要素番号</th> <th colspan="12">最大応答せん断力 (x10⁵kN)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (H)</th> <th>Ss-B1 (NS)</th> <th>Ss-B2 (NS)</th> <th>Ss-B3 (NS)</th> <th>Ss-B4 (NS)</th> <th>Ss-B5 (NS)</th> <th>Ss-C1 (NSEW)</th> <th>Ss-C2 (NS)</th> <th>Ss-C2 (EW)</th> <th>Ss-C3 (NS)</th> <th>Ss-C3 (EW)</th> <th>Ss-C4 (NS)</th> <th>Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1</td> <td>2.02</td> <td>1.37</td> <td>1.75</td> <td>1.47</td> <td>1.57</td> <td>1.38</td> <td>2.45</td> <td>1.18</td> <td>1.34</td> <td>1.37</td> <td>1.65</td> <td>1.52</td> <td>1.68</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>2</td> <td>4.95</td> <td>3.38</td> <td>4.39</td> <td>3.96</td> <td>3.98</td> <td>3.61</td> <td>5.89</td> <td>2.91</td> <td>3.07</td> <td>3.25</td> <td>4.06</td> <td>3.74</td> <td>4.47</td> <td>5.89</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>3</td> <td>8.08</td> <td>5.25</td> <td>6.86</td> <td>6.60</td> <td>6.57</td> <td>5.92</td> <td>9.54</td> <td>4.56</td> <td>4.97</td> <td>5.18</td> <td>6.40</td> <td>5.82</td> <td>7.24</td> <td>9.54</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>4</td> <td>11.31</td> <td>7.00</td> <td>9.25</td> <td>9.29</td> <td>9.60</td> <td>8.21</td> <td>13.44</td> <td>6.25</td> <td>6.77</td> <td>7.03</td> <td>8.59</td> <td>7.97</td> <td>9.81</td> <td>13.44</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>5</td> <td>14.62</td> <td>8.81</td> <td>11.79</td> <td>12.04</td> <td>13.05</td> <td>10.48</td> <td>17.67</td> <td>8.14</td> <td>8.46</td> <td>8.84</td> <td>10.66</td> <td>10.14</td> <td>12.30</td> <td>17.67</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>6</td> <td>18.91</td> <td>10.50</td> <td>14.01</td> <td>14.13</td> <td>17.39</td> <td>12.85</td> <td>22.36</td> <td>10.40</td> <td>10.15</td> <td>10.46</td> <td>12.13</td> <td>11.75</td> <td>16.08</td> <td>22.36</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>7</td> <td>20.57</td> <td>11.05</td> <td>14.97</td> <td>15.27</td> <td>18.86</td> <td>14.43</td> <td>23.93</td> <td>11.04</td> <td>11.03</td> <td>11.19</td> <td>13.52</td> <td>12.13</td> <td>17.70</td> <td>23.93</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td>8</td> <td>21.52</td> <td>11.74</td> <td>15.49</td> <td>16.07</td> <td>19.85</td> <td>15.43</td> <td>24.98</td> <td>11.37</td> <td>11.53</td> <td>11.62</td> <td>14.39</td> <td>12.40</td> <td>18.72</td> <td>24.98</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 (x10 ⁵ kN)												最大値	Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)	77.50	1	2.02	1.37	1.75	1.47	1.57	1.38	2.45	1.18	1.34	1.37	1.65	1.52	1.68	2.45	70.20	2	4.95	3.38	4.39	3.96	3.98	3.61	5.89	2.91	3.07	3.25	4.06	3.74	4.47	5.89	62.80	3	8.08	5.25	6.86	6.60	6.57	5.92	9.54	4.56	4.97	5.18	6.40	5.82	7.24	9.54	56.80	4	11.31	7.00	9.25	9.29	9.60	8.21	13.44	6.25	6.77	7.03	8.59	7.97	9.81	13.44	50.30	5	14.62	8.81	11.79	12.04	13.05	10.48	17.67	8.14	8.46	8.84	10.66	10.14	12.30	17.67	43.20	6	18.91	10.50	14.01	14.13	17.39	12.85	22.36	10.40	10.15	10.46	12.13	11.75	16.08	22.36	35.00	7	20.57	11.05	14.97	15.27	18.86	14.43	23.93	11.04	11.03	11.19	13.52	12.13	17.70	23.93	34.23	8	21.52	11.74	15.49	16.07	19.85	15.43	24.98	11.37	11.53	11.62	14.39	12.40	18.72	24.98	31.53																前頁に同じ
T.M.S.L. (m)	要素番号			最大応答せん断力 (x10 ⁵ kN)													最大値																																																																																																																																																													
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																																
77.50	1	2.02	1.37	1.75	1.47	1.57	1.38	2.45	1.18	1.34	1.37	1.65	1.52	1.68	2.45																																																																																																																																																															
70.20	2	4.95	3.38	4.39	3.96	3.98	3.61	5.89	2.91	3.07	3.25	4.06	3.74	4.47	5.89																																																																																																																																																															
62.80	3	8.08	5.25	6.86	6.60	6.57	5.92	9.54	4.56	4.97	5.18	6.40	5.82	7.24	9.54																																																																																																																																																															
56.80	4	11.31	7.00	9.25	9.29	9.60	8.21	13.44	6.25	6.77	7.03	8.59	7.97	9.81	13.44																																																																																																																																																															
50.30	5	14.62	8.81	11.79	12.04	13.05	10.48	17.67	8.14	8.46	8.84	10.66	10.14	12.30	17.67																																																																																																																																																															
43.20	6	18.91	10.50	14.01	14.13	17.39	12.85	22.36	10.40	10.15	10.46	12.13	11.75	16.08	22.36																																																																																																																																																															
35.00	7	20.57	11.05	14.97	15.27	18.86	14.43	23.93	11.04	11.03	11.19	13.52	12.13	17.70	23.93																																																																																																																																																															
34.23	8	21.52	11.74	15.49	16.07	19.85	15.43	24.98	11.37	11.53	11.62	14.39	12.40	18.72	24.98																																																																																																																																																															
31.53																																																																																																																																																																														

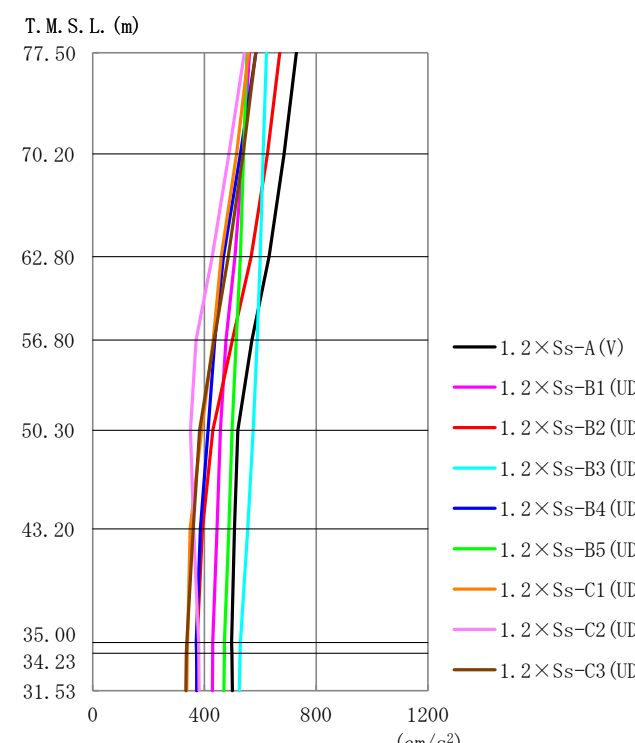
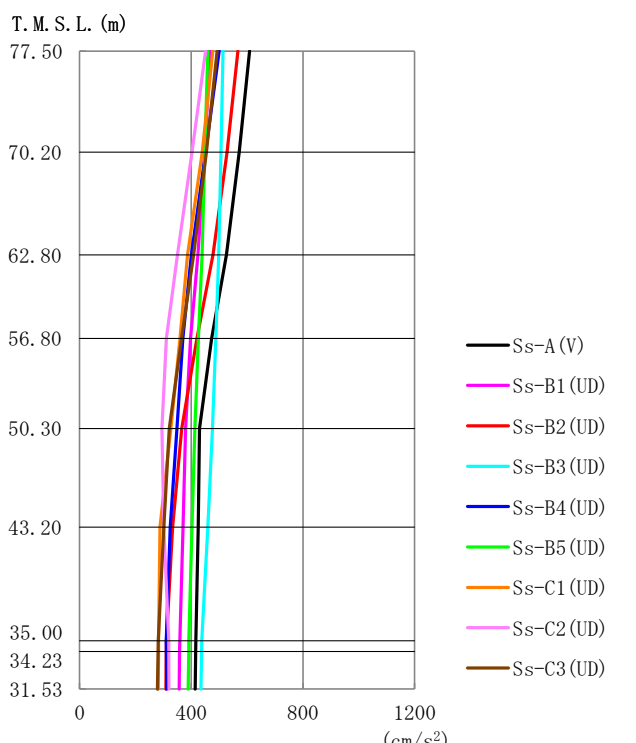
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																												
	<p>第4.1.2-4図 最大応答曲げモーメント (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <p>第4.1.2-4表 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">要素 番号</th> <th colspan="12">最大応答曲げモーメント(×10⁵kNm)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (H)</th> <th>Ss-B1 (NS)</th> <th>Ss-B2 (NS)</th> <th>Ss-B3 (NS)</th> <th>Ss-B4 (NS)</th> <th>Ss-B5 (NS)</th> <th>Ss-C1 (NSEW)</th> <th>Ss-C2 (NS)</th> <th>Ss-C2 (EW)</th> <th>Ss-C3 (NS)</th> <th>Ss-C3 (EW)</th> <th>Ss-C4 (NS)</th> <th>Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1</td> <td>17.79</td> <td>12.34</td> <td>15.61</td> <td>12.61</td> <td>12.71</td> <td>12.17</td> <td>21.34</td> <td>10.71</td> <td>12.18</td> <td>13.30</td> <td>14.29</td> <td>13.94</td> <td>14.40</td> <td>21.34</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>2</td> <td>84.78</td> <td>61.00</td> <td>74.91</td> <td>64.35</td> <td>63.80</td> <td>60.68</td> <td>90.68</td> <td>55.44</td> <td>53.41</td> <td>71.34</td> <td>65.72</td> <td>69.93</td> <td>75.61</td> <td>90.68</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>3</td> <td>163.56</td> <td>117.79</td> <td>147.05</td> <td>125.78</td> <td>119.08</td> <td>119.99</td> <td>170.17</td> <td>107.94</td> <td>98.98</td> <td>138.13</td> <td>126.80</td> <td>134.63</td> <td>146.84</td> <td>170.17</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>4</td> <td>260.03</td> <td>186.95</td> <td>235.83</td> <td>200.52</td> <td>180.38</td> <td>196.21</td> <td>275.68</td> <td>171.26</td> <td>151.61</td> <td>215.30</td> <td>204.11</td> <td>212.40</td> <td>230.57</td> <td>275.68</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>5</td> <td>370.83</td> <td>268.53</td> <td>339.82</td> <td>296.62</td> <td>262.96</td> <td>291.07</td> <td>414.19</td> <td>245.21</td> <td>213.39</td> <td>300.89</td> <td>299.49</td> <td>303.77</td> <td>325.10</td> <td>414.19</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>6</td> <td>507.79</td> <td>356.50</td> <td>461.83</td> <td>411.26</td> <td>385.47</td> <td>391.25</td> <td>607.35</td> <td>313.97</td> <td>270.26</td> <td>373.19</td> <td>401.02</td> <td>395.64</td> <td>470.30</td> <td>607.35</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>7</td> <td>528.71</td> <td>375.67</td> <td>483.45</td> <td>433.38</td> <td>406.94</td> <td>413.12</td> <td>637.64</td> <td>331.38</td> <td>286.48</td> <td>396.86</td> <td>419.53</td> <td>416.69</td> <td>489.49</td> <td>637.64</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td>8</td> <td>579.12</td> <td>405.55</td> <td>525.15</td> <td>481.65</td> <td>454.92</td> <td>453.78</td> <td>711.01</td> <td>355.50</td> <td>310.61</td> <td>420.84</td> <td>454.77</td> <td>449.51</td> <td>532.67</td> <td>711.01</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 ⁵ kNm)												最大値	Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)	77.50	1	17.79	12.34	15.61	12.61	12.71	12.17	21.34	10.71	12.18	13.30	14.29	13.94	14.40	21.34	70.20	2	84.78	61.00	74.91	64.35	63.80	60.68	90.68	55.44	53.41	71.34	65.72	69.93	75.61	90.68	62.80	3	163.56	117.79	147.05	125.78	119.08	119.99	170.17	107.94	98.98	138.13	126.80	134.63	146.84	170.17	56.80	4	260.03	186.95	235.83	200.52	180.38	196.21	275.68	171.26	151.61	215.30	204.11	212.40	230.57	275.68	50.30	5	370.83	268.53	339.82	296.62	262.96	291.07	414.19	245.21	213.39	300.89	299.49	303.77	325.10	414.19	43.20	6	507.79	356.50	461.83	411.26	385.47	391.25	607.35	313.97	270.26	373.19	401.02	395.64	470.30	607.35	35.00	7	528.71	375.67	483.45	433.38	406.94	413.12	637.64	331.38	286.48	396.86	419.53	416.69	489.49	637.64	34.23	8	579.12	405.55	525.15	481.65	454.92	453.78	711.01	355.50	310.61	420.84	454.77	449.51	532.67	711.01	31.53																<p>前頁と同じ</p>
T.M.S.L. (m)	要素 番号			最大応答曲げモーメント(×10 ⁵ kNm)													最大値																																																																																																																																																													
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																																
77.50	1	17.79	12.34	15.61	12.61	12.71	12.17	21.34	10.71	12.18	13.30	14.29	13.94	14.40	21.34																																																																																																																																																															
70.20	2	84.78	61.00	74.91	64.35	63.80	60.68	90.68	55.44	53.41	71.34	65.72	69.93	75.61	90.68																																																																																																																																																															
62.80	3	163.56	117.79	147.05	125.78	119.08	119.99	170.17	107.94	98.98	138.13	126.80	134.63	146.84	170.17																																																																																																																																																															
56.80	4	260.03	186.95	235.83	200.52	180.38	196.21	275.68	171.26	151.61	215.30	204.11	212.40	230.57	275.68																																																																																																																																																															
50.30	5	370.83	268.53	339.82	296.62	262.96	291.07	414.19	245.21	213.39	300.89	299.49	303.77	325.10	414.19																																																																																																																																																															
43.20	6	507.79	356.50	461.83	411.26	385.47	391.25	607.35	313.97	270.26	373.19	401.02	395.64	470.30	607.35																																																																																																																																																															
35.00	7	528.71	375.67	483.45	433.38	406.94	413.12	637.64	331.38	286.48	396.86	419.53	416.69	489.49	637.64																																																																																																																																																															
34.23	8	579.12	405.55	525.15	481.65	454.92	453.78	711.01	355.50	310.61	420.84	454.77	449.51	532.67	711.01																																																																																																																																																															
31.53																																																																																																																																																																														

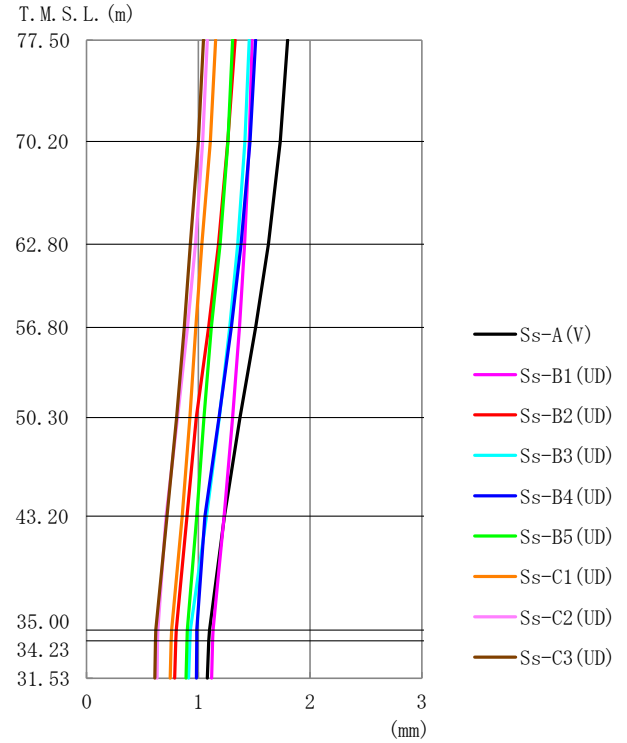
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
 <p style="text-align: center;">第4.2-2図 最大応答加速度 (1.2×S_s, EW方向)</p> <p style="text-align: center;">第4.2-2表 最大応答加速度一覧表 (1.2×S_s, EW方向)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">観 点 番 号</th> <th colspan="12">最大応答加速度 (cm/s²)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>1.2×S_s-A (H)</th> <th>1.2×S_s-B1 (EW)</th> <th>1.2×S_s-B2 (EW)</th> <th>1.2×S_s-B3 (EW)</th> <th>1.2×S_s-B4 (EW)</th> <th>1.2×S_s-B5 (EW)</th> <th>1.2×S_s-C1 (NSEW)</th> <th>1.2×S_s-C2 (NS)</th> <th>1.2×S_s-C2 (EW)</th> <th>1.2×S_s-C3 (NS)</th> <th>1.2×S_s-C3 (EW)</th> <th>1.2×S_s-C4 (NS)</th> <th>1.2×S_s-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50</td><td>1</td><td>1157</td><td>1032</td><td>976</td><td>940</td><td>796</td><td>1077</td><td>1466</td><td>678</td><td>771</td><td>804</td><td>1008</td><td>905</td><td>1035</td><td>1466</td></tr> <tr><td>70.20</td><td>2</td><td>1061</td><td>923</td><td>827</td><td>841</td><td>719</td><td>998</td><td>1360</td><td>541</td><td>643</td><td>702</td><td>879</td><td>813</td><td>906</td><td>1360</td></tr> <tr><td>62.80</td><td>3</td><td>988</td><td>791</td><td>747</td><td>707</td><td>605</td><td>901</td><td>1237</td><td>517</td><td>557</td><td>636</td><td>725</td><td>694</td><td>788</td><td>1237</td></tr> <tr><td>56.80</td><td>4</td><td>936</td><td>675</td><td>707</td><td>615</td><td>560</td><td>811</td><td>1157</td><td>509</td><td>508</td><td>569</td><td>649</td><td>600</td><td>807</td><td>1157</td></tr> <tr><td>50.30</td><td>5</td><td>857</td><td>589</td><td>667</td><td>558</td><td>531</td><td>729</td><td>1243</td><td>464</td><td>509</td><td>513</td><td>612</td><td>550</td><td>798</td><td>1243</td></tr> <tr><td>43.20</td><td>6</td><td>839</td><td>530</td><td>620</td><td>508</td><td>492</td><td>639</td><td>1066</td><td>418</td><td>547</td><td>479</td><td>548</td><td>500</td><td>777</td><td>1066</td></tr> <tr><td>35.00</td><td>7</td><td>749</td><td>496</td><td>554</td><td>458</td><td>450</td><td>560</td><td>1006</td><td>383</td><td>539</td><td>447</td><td>534</td><td>460</td><td>730</td><td>1006</td></tr> <tr><td>34.23</td><td>8</td><td>751</td><td>498</td><td>553</td><td>456</td><td>450</td><td>558</td><td>1004</td><td>384</td><td>538</td><td>451</td><td>534</td><td>463</td><td>730</td><td>1004</td></tr> <tr><td>31.53</td><td>9</td><td>747</td><td>506</td><td>553</td><td>451</td><td>450</td><td>555</td><td>982</td><td>387</td><td>538</td><td>461</td><td>535</td><td>476</td><td>733</td><td>982</td></tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	観 点 番 号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値	1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (EW)	1.2×S _s -B2 (EW)	1.2×S _s -B3 (EW)	1.2×S _s -B4 (EW)	1.2×S _s -B5 (EW)	1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C2 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)	1.2×S _s -C4 (EW)	77.50	1	1157	1032	976	940	796	1077	1466	678	771	804	1008	905	1035	1466	70.20	2	1061	923	827	841	719	998	1360	541	643	702	879	813	906	1360	62.80	3	988	791	747	707	605	901	1237	517	557	636	725	694	788	1237	56.80	4	936	675	707	615	560	811	1157	509	508	569	649	600	807	1157	50.30	5	857	589	667	558	531	729	1243	464	509	513	612	550	798	1243	43.20	6	839	530	620	508	492	639	1066	418	547	479	548	500	777	1066	35.00	7	749	496	554	458	450	560	1006	383	539	447	534	460	730	1006	34.23	8	751	498	553	456	450	558	1004	384	538	451	534	463	730	1004	31.53	9	747	506	553	451	450	555	982	387	538	461	535	476	733	982	 <p style="text-align: center;">第4.1.2-5図 最大応答加速度 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <p style="text-align: center;">第4.1.2-5表 最大応答加速度一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">観 点 番 号</th> <th colspan="12">最大応答加速度 (cm/s²)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>S_s-A (H)</th> <th>S_s-B1 (EW)</th> <th>S_s-B2 (EW)</th> <th>S_s-B3 (EW)</th> <th>S_s-B4 (EW)</th> <th>S_s-B5 (EW)</th> <th>S_s-C1 (NSEW)</th> <th>S_s-C2 (NS)</th> <th>S_s-C2 (EW)</th> <th>S_s-C3 (NS)</th> <th>S_s-C3 (EW)</th> <th>S_s-C4 (NS)</th> <th>S_s-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50</td><td>1</td><td>993</td><td>893</td><td>814</td><td>783</td><td>667</td><td>904</td><td>1193</td><td>590</td><td>685</td><td>677</td><td>844</td><td>763</td><td>879</td><td>1193</td></tr> <tr><td>70.20</td><td>2</td><td>915</td><td>792</td><td>704</td><td>702</td><td>604</td><td>834</td><td>1103</td><td>497</td><td>584</td><td>595</td><td>735</td><td>676</td><td>775</td><td>1103</td></tr> <tr><td>62.80</td><td>3</td><td>843</td><td>671</td><td>636</td><td>591</td><td>509</td><td>757</td><td>1021</td><td>459</td><td>511</td><td>526</td><td>607</td><td>577</td><td>686</td><td>1021</td></tr> <tr><td>56.80</td><td>4</td><td>767</td><td>565</td><td>599</td><td>521</td><td>469</td><td>692</td><td>1019</td><td>432</td><td>466</td><td>467</td><td>547</td><td>510</td><td>651</td><td>1019</td></tr> <tr><td>50.30</td><td>5</td><td>700</td><td>491</td><td>559</td><td>473</td><td>444</td><td>616</td><td>974</td><td>392</td><td>409</td><td>430</td><td>516</td><td>476</td><td>650</td><td>974</td></tr> <tr><td>43.20</td><td>6</td><td>651</td><td>440</td><td>513</td><td>431</td><td>413</td><td>530</td><td>848</td><td>359</td><td>437</td><td>402</td><td>461</td><td>435</td><td>634</td><td>848</td></tr> <tr><td>35.00</td><td>7</td><td>632</td><td>405</td><td>452</td><td>391</td><td>376</td><td>458</td><td>816</td><td>345</td><td>432</td><td>366</td><td>442</td><td>382</td><td>608</td><td>816</td></tr> <tr><td>34.23</td><td>8</td><td>632</td><td>407</td><td>451</td><td>389</td><td>376</td><td>457</td><td>809</td><td>344</td><td>432</td><td>369</td><td>442</td><td>384</td><td>609</td><td>809</td></tr> <tr><td>31.53</td><td>9</td><td>632</td><td>414</td><td>450</td><td>384</td><td>376</td><td>454</td><td>805</td><td>344</td><td>430</td><td>377</td><td>444</td><td>394</td><td>612</td><td>805</td></tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	観 点 番 号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値	S _s -A (H)	S _s -B1 (EW)	S _s -B2 (EW)	S _s -B3 (EW)	S _s -B4 (EW)	S _s -B5 (EW)	S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)	S _s -C4 (EW)	77.50	1	993	893	814	783	667	904	1193	590	685	677	844	763	879	1193	70.20	2	915	792	704	702	604	834	1103	497	584	595	735	676	775	1103	62.80	3	843	671	636	591	509	757	1021	459	511	526	607	577	686	1021	56.80	4	767	565	599	521	469	692	1019	432	466	467	547	510	651	1019	50.30	5	700	491	559	473	444	616	974	392	409	430	516	476	650	974	43.20	6	651	440	513	431	413	530	848	359	437	402	461	435	634	848	35.00	7	632	405	452	391	376	458	816	345	432	366	442	382	608	816	34.23	8	632	407	451	389	376	457	809	344	432	369	442	384	609	809	31.53	9	632	414	450	384	376	454	805	344	430	377	444	394	612	805	<p>前頁と同じ</p>
T.M.S.L. (m)			観 点 番 号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (EW)		1.2×S _s -B2 (EW)	1.2×S _s -B3 (EW)	1.2×S _s -B4 (EW)	1.2×S _s -B5 (EW)	1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C2 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)	1.2×S _s -C4 (EW)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
77.50	1	1157	1032	976	940	796	1077	1466	678	771	804	1008	905	1035	1466																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
70.20	2	1061	923	827	841	719	998	1360	541	643	702	879	813	906	1360																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
62.80	3	988	791	747	707	605	901	1237	517	557	636	725	694	788	1237																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
56.80	4	936	675	707	615	560	811	1157	509	508	569	649	600	807	1157																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
50.30	5	857	589	667	558	531	729	1243	464	509	513	612	550	798	1243																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
43.20	6	839	530	620	508	492	639	1066	418	547	479	548	500	777	1066																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
35.00	7	749	496	554	458	450	560	1006	383	539	447	534	460	730	1006																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
34.23	8	751	498	553	456	450	558	1004	384	538	451	534	463	730	1004																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
31.53	9	747	506	553	451	450	555	982	387	538	461	535	476	733	982																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
T.M.S.L. (m)	観 点 番 号	最大応答加速度 (cm/s ²)												最大値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		S _s -A (H)	S _s -B1 (EW)	S _s -B2 (EW)	S _s -B3 (EW)	S _s -B4 (EW)	S _s -B5 (EW)	S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)		S _s -C4 (EW)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
77.50	1	993	893	814	783	667	904	1193	590	685	677	844	763	879	1193																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
70.20	2	915	792	704	702	604	834	1103	497	584	595	735	676	775	1103																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
62.80	3	843	671	636	591	509	757	1021	459	511	526	607	577	686	1021																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
56.80	4	767	565	599	521	469	692	1019	432	466	467	547	510	651	1019																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
50.30	5	700	491	559	473	444	616	974	392	409	430	516	476	650	974																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
43.20	6	651	440	513	431	413	530	848	359	437	402	461	435	634	848																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
35.00	7	632	405	452	391	376	458	816	345	432	366	442	382	608	816																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
34.23	8	632	407	451	389	376	457	809	344	432	369	442	384	609	809																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
31.53	9	632	414	450	384	376	454	805	344	430	377	444	394	612	805																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

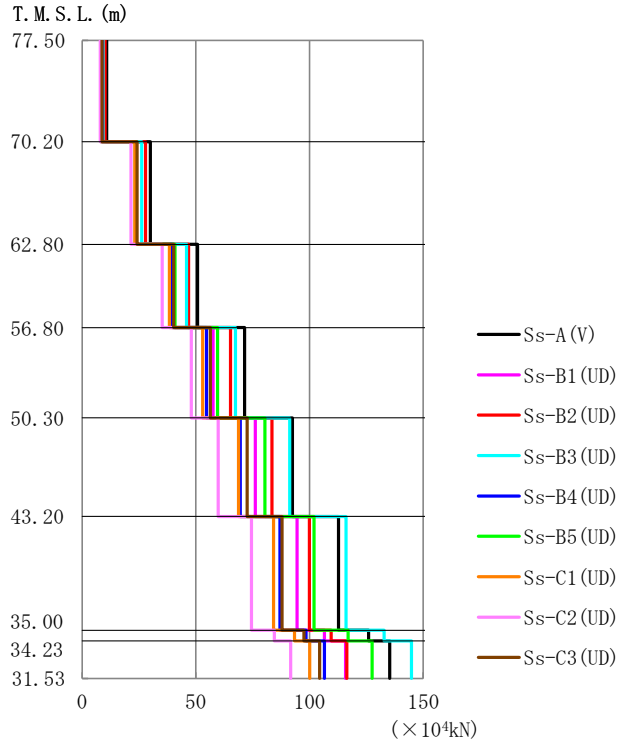
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																													
	<div data-bbox="1617 394 2211 1087" data-label="Figure"> </div> <p data-bbox="1543 1092 2300 1129">第4.1.2-6図 最大応答変位 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <p data-bbox="1513 1197 2329 1234">第4.1.2-6表 最大応答変位一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <table border="1" data-bbox="1409 1228 2463 1533"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">観 点 番 号</th> <th colspan="13">最大応答変位(mm)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (H)</th> <th>Ss-B1 (EW)</th> <th>Ss-B2 (EW)</th> <th>Ss-B3 (EW)</th> <th>Ss-B4 (EW)</th> <th>Ss-B5 (EW)</th> <th>Ss-C1 (NSEW)</th> <th>Ss-C2 (NS)</th> <th>Ss-C2 (EW)</th> <th>Ss-C3 (NS)</th> <th>Ss-C3 (EW)</th> <th>Ss-C4 (NS)</th> <th>Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1</td> <td>19.2</td> <td>15.0</td> <td>14.5</td> <td>14.1</td> <td>10.5</td> <td>16.1</td> <td>28.6</td> <td>9.80</td> <td>8.59</td> <td>10.4</td> <td>13.1</td> <td>11.4</td> <td>15.6</td> <td>28.6</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>2</td> <td>17.4</td> <td>13.3</td> <td>13.0</td> <td>12.7</td> <td>9.59</td> <td>14.4</td> <td>25.7</td> <td>8.87</td> <td>7.75</td> <td>9.28</td> <td>11.7</td> <td>10.2</td> <td>13.9</td> <td>25.7</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>3</td> <td>15.2</td> <td>11.2</td> <td>11.3</td> <td>11.0</td> <td>8.49</td> <td>12.4</td> <td>22.4</td> <td>7.74</td> <td>6.76</td> <td>7.87</td> <td>9.91</td> <td>8.62</td> <td>11.8</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>4</td> <td>13.3</td> <td>9.36</td> <td>9.75</td> <td>9.47</td> <td>7.49</td> <td>10.6</td> <td>19.5</td> <td>6.72</td> <td>6.15</td> <td>6.62</td> <td>8.63</td> <td>7.24</td> <td>9.97</td> <td>19.5</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>5</td> <td>11.1</td> <td>7.48</td> <td>8.01</td> <td>7.80</td> <td>6.37</td> <td>8.58</td> <td>16.2</td> <td>5.59</td> <td>5.39</td> <td>5.43</td> <td>7.34</td> <td>5.71</td> <td>8.33</td> <td>16.2</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>6</td> <td>8.73</td> <td>6.08</td> <td>6.33</td> <td>6.07</td> <td>5.17</td> <td>6.51</td> <td>12.3</td> <td>4.45</td> <td>4.52</td> <td>4.52</td> <td>5.92</td> <td>4.20</td> <td>6.56</td> <td>12.3</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>7</td> <td>6.26</td> <td>4.58</td> <td>4.53</td> <td>4.29</td> <td>4.08</td> <td>5.23</td> <td>8.41</td> <td>3.38</td> <td>3.46</td> <td>3.44</td> <td>4.29</td> <td>3.27</td> <td>4.58</td> <td>8.41</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td>8</td> <td>6.18</td> <td>4.50</td> <td>4.44</td> <td>4.29</td> <td>4.03</td> <td>5.18</td> <td>8.22</td> <td>3.32</td> <td>3.41</td> <td>3.39</td> <td>4.20</td> <td>3.23</td> <td>4.48</td> <td>8.22</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td>9</td> <td>5.92</td> <td>4.27</td> <td>4.17</td> <td>4.32</td> <td>3.89</td> <td>5.01</td> <td>7.63</td> <td>3.15</td> <td>3.29</td> <td>3.24</td> <td>3.97</td> <td>3.11</td> <td>4.19</td> <td>7.63</td> </tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	観 点 番 号	最大応答変位(mm)													最大値	Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)	77.50	1	19.2	15.0	14.5	14.1	10.5	16.1	28.6	9.80	8.59	10.4	13.1	11.4	15.6	28.6	70.20	2	17.4	13.3	13.0	12.7	9.59	14.4	25.7	8.87	7.75	9.28	11.7	10.2	13.9	25.7	62.80	3	15.2	11.2	11.3	11.0	8.49	12.4	22.4	7.74	6.76	7.87	9.91	8.62	11.8	22.4	56.80	4	13.3	9.36	9.75	9.47	7.49	10.6	19.5	6.72	6.15	6.62	8.63	7.24	9.97	19.5	50.30	5	11.1	7.48	8.01	7.80	6.37	8.58	16.2	5.59	5.39	5.43	7.34	5.71	8.33	16.2	43.20	6	8.73	6.08	6.33	6.07	5.17	6.51	12.3	4.45	4.52	4.52	5.92	4.20	6.56	12.3	35.00	7	6.26	4.58	4.53	4.29	4.08	5.23	8.41	3.38	3.46	3.44	4.29	3.27	4.58	8.41	34.23	8	6.18	4.50	4.44	4.29	4.03	5.18	8.22	3.32	3.41	3.39	4.20	3.23	4.48	8.22	31.53	9	5.92	4.27	4.17	4.32	3.89	5.01	7.63	3.15	3.29	3.24	3.97	3.11	4.19	7.63	前頁に同じ
T.M.S.L. (m)	観 点 番 号			最大応答変位(mm)														最大値																																																																																																																																																													
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																																	
77.50	1	19.2	15.0	14.5	14.1	10.5	16.1	28.6	9.80	8.59	10.4	13.1	11.4	15.6	28.6																																																																																																																																																																
70.20	2	17.4	13.3	13.0	12.7	9.59	14.4	25.7	8.87	7.75	9.28	11.7	10.2	13.9	25.7																																																																																																																																																																
62.80	3	15.2	11.2	11.3	11.0	8.49	12.4	22.4	7.74	6.76	7.87	9.91	8.62	11.8	22.4																																																																																																																																																																
56.80	4	13.3	9.36	9.75	9.47	7.49	10.6	19.5	6.72	6.15	6.62	8.63	7.24	9.97	19.5																																																																																																																																																																
50.30	5	11.1	7.48	8.01	7.80	6.37	8.58	16.2	5.59	5.39	5.43	7.34	5.71	8.33	16.2																																																																																																																																																																
43.20	6	8.73	6.08	6.33	6.07	5.17	6.51	12.3	4.45	4.52	4.52	5.92	4.20	6.56	12.3																																																																																																																																																																
35.00	7	6.26	4.58	4.53	4.29	4.08	5.23	8.41	3.38	3.46	3.44	4.29	3.27	4.58	8.41																																																																																																																																																																
34.23	8	6.18	4.50	4.44	4.29	4.03	5.18	8.22	3.32	3.41	3.39	4.20	3.23	4.48	8.22																																																																																																																																																																
31.53	9	5.92	4.27	4.17	4.32	3.89	5.01	7.63	3.15	3.29	3.24	3.97	3.11	4.19	7.63																																																																																																																																																																

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																			
	 <p>第4.1.2-7図 最大応答せん断力 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <p>第4.1.2-7表 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <table border="1" data-bbox="1409 1197 2463 1680"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th colspan="13">最大応答せん断力 (×10⁵kN)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (H)</th> <th>Ss-B1 (EW)</th> <th>Ss-B2 (EW)</th> <th>Ss-B3 (EW)</th> <th>Ss-B4 (EW)</th> <th>Ss-B5 (EW)</th> <th>Ss-C1 (NSEW)</th> <th>Ss-C2 (NS)</th> <th>Ss-C2 (EW)</th> <th>Ss-C3 (NS)</th> <th>Ss-C3 (EW)</th> <th>Ss-C4 (NS)</th> <th>Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1.76</td> <td>1.59</td> <td>1.44</td> <td>1.39</td> <td>1.19</td> <td>1.61</td> <td>2.11</td> <td>1.05</td> <td>1.22</td> <td>1.20</td> <td>1.50</td> <td>1.36</td> <td>1.56</td> <td>2.11</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>4.73</td> <td>4.25</td> <td>3.80</td> <td>3.75</td> <td>3.22</td> <td>4.40</td> <td>5.82</td> <td>2.72</td> <td>3.16</td> <td>3.21</td> <td>3.97</td> <td>3.59</td> <td>4.15</td> <td>5.82</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>8.05</td> <td>6.80</td> <td>6.16</td> <td>6.07</td> <td>5.15</td> <td>7.36</td> <td>9.70</td> <td>4.30</td> <td>4.99</td> <td>5.08</td> <td>6.35</td> <td>5.85</td> <td>6.81</td> <td>9.70</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>11.23</td> <td>9.21</td> <td>8.67</td> <td>8.21</td> <td>6.97</td> <td>10.34</td> <td>13.68</td> <td>6.18</td> <td>6.73</td> <td>6.98</td> <td>8.56</td> <td>8.04</td> <td>9.41</td> <td>13.68</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>14.49</td> <td>11.40</td> <td>11.41</td> <td>10.07</td> <td>9.01</td> <td>13.42</td> <td>18.26</td> <td>8.11</td> <td>8.50</td> <td>8.79</td> <td>10.59</td> <td>10.14</td> <td>12.05</td> <td>18.26</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>18.68</td> <td>13.89</td> <td>15.66</td> <td>12.76</td> <td>10.88</td> <td>15.43</td> <td>22.93</td> <td>10.32</td> <td>9.73</td> <td>10.38</td> <td>12.20</td> <td>11.72</td> <td>15.89</td> <td>22.93</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>20.34</td> <td>14.87</td> <td>17.02</td> <td>13.95</td> <td>11.87</td> <td>16.35</td> <td>24.79</td> <td>10.86</td> <td>10.64</td> <td>11.08</td> <td>13.51</td> <td>12.21</td> <td>17.54</td> <td>24.79</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td>21.30</td> <td>15.46</td> <td>17.86</td> <td>14.72</td> <td>12.47</td> <td>16.87</td> <td>26.04</td> <td>11.17</td> <td>11.17</td> <td>11.54</td> <td>14.34</td> <td>12.52</td> <td>18.58</td> <td>26.04</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	最大応答せん断力 (×10 ⁵ kN)													最大値	Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)	77.50	1.76	1.59	1.44	1.39	1.19	1.61	2.11	1.05	1.22	1.20	1.50	1.36	1.56	2.11	70.20	4.73	4.25	3.80	3.75	3.22	4.40	5.82	2.72	3.16	3.21	3.97	3.59	4.15	5.82	62.80	8.05	6.80	6.16	6.07	5.15	7.36	9.70	4.30	4.99	5.08	6.35	5.85	6.81	9.70	56.80	11.23	9.21	8.67	8.21	6.97	10.34	13.68	6.18	6.73	6.98	8.56	8.04	9.41	13.68	50.30	14.49	11.40	11.41	10.07	9.01	13.42	18.26	8.11	8.50	8.79	10.59	10.14	12.05	18.26	43.20	18.68	13.89	15.66	12.76	10.88	15.43	22.93	10.32	9.73	10.38	12.20	11.72	15.89	22.93	35.00	20.34	14.87	17.02	13.95	11.87	16.35	24.79	10.86	10.64	11.08	13.51	12.21	17.54	24.79	34.23	21.30	15.46	17.86	14.72	12.47	16.87	26.04	11.17	11.17	11.54	14.34	12.52	18.58	26.04	31.53															前頁に同じ
T.M.S.L. (m)	最大応答せん断力 (×10 ⁵ kN)													最大値																																																																																																																																																							
	Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																								
77.50	1.76	1.59	1.44	1.39	1.19	1.61	2.11	1.05	1.22	1.20	1.50	1.36	1.56	2.11																																																																																																																																																							
70.20	4.73	4.25	3.80	3.75	3.22	4.40	5.82	2.72	3.16	3.21	3.97	3.59	4.15	5.82																																																																																																																																																							
62.80	8.05	6.80	6.16	6.07	5.15	7.36	9.70	4.30	4.99	5.08	6.35	5.85	6.81	9.70																																																																																																																																																							
56.80	11.23	9.21	8.67	8.21	6.97	10.34	13.68	6.18	6.73	6.98	8.56	8.04	9.41	13.68																																																																																																																																																							
50.30	14.49	11.40	11.41	10.07	9.01	13.42	18.26	8.11	8.50	8.79	10.59	10.14	12.05	18.26																																																																																																																																																							
43.20	18.68	13.89	15.66	12.76	10.88	15.43	22.93	10.32	9.73	10.38	12.20	11.72	15.89	22.93																																																																																																																																																							
35.00	20.34	14.87	17.02	13.95	11.87	16.35	24.79	10.86	10.64	11.08	13.51	12.21	17.54	24.79																																																																																																																																																							
34.23	21.30	15.46	17.86	14.72	12.47	16.87	26.04	11.17	11.17	11.54	14.34	12.52	18.58	26.04																																																																																																																																																							
31.53																																																																																																																																																																					

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																														
	<p>第4.1.2-8図 最大応答曲げモーメント (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <p>第4.1.2-8表 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">要素 番号</th> <th colspan="13">最大応答曲げモーメント(×10⁵kNm)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (H)</th> <th>Ss-B1 (EW)</th> <th>Ss-B2 (EW)</th> <th>Ss-B3 (EW)</th> <th>Ss-B4 (EW)</th> <th>Ss-B5 (EW)</th> <th>Ss-C1 (NSEW)</th> <th>Ss-C2 (NS)</th> <th>Ss-C2 (EW)</th> <th>Ss-C3 (NS)</th> <th>Ss-C3 (EW)</th> <th>Ss-C4 (NS)</th> <th>Ss-C4 (EW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1</td> <td>32.82</td> <td>31.63</td> <td>24.66</td> <td>23.56</td> <td>24.36</td> <td>25.65</td> <td>35.16</td> <td>20.71</td> <td>21.12</td> <td>26.61</td> <td>21.36</td> <td>24.90</td> <td>27.36</td> <td>35.16</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>2</td> <td>96.95</td> <td>97.84</td> <td>79.14</td> <td>73.77</td> <td>73.96</td> <td>81.87</td> <td>101.82</td> <td>63.19</td> <td>61.28</td> <td>81.34</td> <td>69.26</td> <td>77.51</td> <td>85.19</td> <td>101.82</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>3</td> <td>169.02</td> <td>175.52</td> <td>145.54</td> <td>133.11</td> <td>131.97</td> <td>149.89</td> <td>174.31</td> <td>113.24</td> <td>103.66</td> <td>145.21</td> <td>127.77</td> <td>139.34</td> <td>152.89</td> <td>175.52</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>4</td> <td>254.17</td> <td>268.47</td> <td>230.03</td> <td>205.46</td> <td>201.41</td> <td>236.54</td> <td>278.03</td> <td>174.33</td> <td>156.27</td> <td>220.98</td> <td>203.60</td> <td>214.72</td> <td>233.59</td> <td>278.03</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>5</td> <td>361.47</td> <td>373.74</td> <td>333.42</td> <td>293.38</td> <td>281.92</td> <td>342.92</td> <td>418.26</td> <td>245.70</td> <td>215.12</td> <td>306.31</td> <td>298.74</td> <td>304.28</td> <td>344.67</td> <td>418.26</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>6</td> <td>512.56</td> <td>475.67</td> <td>443.16</td> <td>400.04</td> <td>356.19</td> <td>470.79</td> <td>622.37</td> <td>311.97</td> <td>268.64</td> <td>378.76</td> <td>400.59</td> <td>395.08</td> <td>480.50</td> <td>622.37</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>7</td> <td>538.63</td> <td>506.07</td> <td>469.26</td> <td>421.39</td> <td>377.75</td> <td>495.17</td> <td>652.12</td> <td>329.05</td> <td>285.69</td> <td>402.70</td> <td>419.73</td> <td>416.61</td> <td>509.30</td> <td>652.12</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2">592.99</td> <td rowspan="2">548.52</td> <td rowspan="2">507.61</td> <td rowspan="2">463.35</td> <td rowspan="2">408.41</td> <td rowspan="2">543.52</td> <td rowspan="2">727.62</td> <td rowspan="2">352.85</td> <td rowspan="2">310.97</td> <td rowspan="2">426.99</td> <td rowspan="2">455.32</td> <td rowspan="2">449.78</td> <td rowspan="2">560.90</td> <td rowspan="2">727.62</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> </tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 ⁵ kNm)													最大値	Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)	77.50	1	32.82	31.63	24.66	23.56	24.36	25.65	35.16	20.71	21.12	26.61	21.36	24.90	27.36	35.16	70.20	2	96.95	97.84	79.14	73.77	73.96	81.87	101.82	63.19	61.28	81.34	69.26	77.51	85.19	101.82	62.80	3	169.02	175.52	145.54	133.11	131.97	149.89	174.31	113.24	103.66	145.21	127.77	139.34	152.89	175.52	56.80	4	254.17	268.47	230.03	205.46	201.41	236.54	278.03	174.33	156.27	220.98	203.60	214.72	233.59	278.03	50.30	5	361.47	373.74	333.42	293.38	281.92	342.92	418.26	245.70	215.12	306.31	298.74	304.28	344.67	418.26	43.20	6	512.56	475.67	443.16	400.04	356.19	470.79	622.37	311.97	268.64	378.76	400.59	395.08	480.50	622.37	35.00	7	538.63	506.07	469.26	421.39	377.75	495.17	652.12	329.05	285.69	402.70	419.73	416.61	509.30	652.12	34.23	8	592.99	548.52	507.61	463.35	408.41	543.52	727.62	352.85	310.97	426.99	455.32	449.78	560.90	727.62	31.53	前頁に同じ
T.M.S.L. (m)	要素 番号			最大応答曲げモーメント(×10 ⁵ kNm)														最大値																																																																																																																																														
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)																																																																																																																																																		
77.50	1	32.82	31.63	24.66	23.56	24.36	25.65	35.16	20.71	21.12	26.61	21.36	24.90	27.36	35.16																																																																																																																																																	
70.20	2	96.95	97.84	79.14	73.77	73.96	81.87	101.82	63.19	61.28	81.34	69.26	77.51	85.19	101.82																																																																																																																																																	
62.80	3	169.02	175.52	145.54	133.11	131.97	149.89	174.31	113.24	103.66	145.21	127.77	139.34	152.89	175.52																																																																																																																																																	
56.80	4	254.17	268.47	230.03	205.46	201.41	236.54	278.03	174.33	156.27	220.98	203.60	214.72	233.59	278.03																																																																																																																																																	
50.30	5	361.47	373.74	333.42	293.38	281.92	342.92	418.26	245.70	215.12	306.31	298.74	304.28	344.67	418.26																																																																																																																																																	
43.20	6	512.56	475.67	443.16	400.04	356.19	470.79	622.37	311.97	268.64	378.76	400.59	395.08	480.50	622.37																																																																																																																																																	
35.00	7	538.63	506.07	469.26	421.39	377.75	495.17	652.12	329.05	285.69	402.70	419.73	416.61	509.30	652.12																																																																																																																																																	
34.23	8	592.99	548.52	507.61	463.35	408.41	543.52	727.62	352.85	310.97	426.99	455.32	449.78	560.90	727.62																																																																																																																																																	
31.53																																																																																																																																																																

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																																																																																																																		
 <p>第4.2-3図 最大応答加速度 (1.2×S_s, 鉛直方向)</p> <p>第4.2-3表 最大応答加速度一覧表 (1.2×S_s, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="341 1218 1172 1554"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T. M. S. L. (m)</th> <th rowspan="2">質点番号</th> <th colspan="9">最大応答加速度 (cm/s²)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>1.2×S_s-A (V)</th> <th>1.2×S_s-B1 (UD)</th> <th>1.2×S_s-B2 (UD)</th> <th>1.2×S_s-B3 (UD)</th> <th>1.2×S_s-B4 (UD)</th> <th>1.2×S_s-B5 (UD)</th> <th>1.2×S_s-C1 (UD)</th> <th>1.2×S_s-C2 (UD)</th> <th>1.2×S_s-C3 (UD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50</td><td>1</td><td>729</td><td>561</td><td>670</td><td>622</td><td>584</td><td>552</td><td>557</td><td>543</td><td>583</td><td>729</td></tr> <tr><td>70.20</td><td>2</td><td>685</td><td>538</td><td>626</td><td>610</td><td>528</td><td>540</td><td>514</td><td>487</td><td>538</td><td>685</td></tr> <tr><td>62.80</td><td>3</td><td>632</td><td>509</td><td>567</td><td>600</td><td>468</td><td>529</td><td>459</td><td>427</td><td>485</td><td>632</td></tr> <tr><td>56.80</td><td>4</td><td>569</td><td>477</td><td>500</td><td>588</td><td>437</td><td>514</td><td>431</td><td>370</td><td>435</td><td>588</td></tr> <tr><td>50.30</td><td>5</td><td>519</td><td>457</td><td>430</td><td>574</td><td>413</td><td>499</td><td>390</td><td>350</td><td>383</td><td>574</td></tr> <tr><td>43.20</td><td>6</td><td>507</td><td>445</td><td>393</td><td>555</td><td>385</td><td>487</td><td>348</td><td>362</td><td>360</td><td>555</td></tr> <tr><td>35.00</td><td>7</td><td>497</td><td>430</td><td>374</td><td>528</td><td>371</td><td>472</td><td>339</td><td>379</td><td>336</td><td>528</td></tr> <tr><td>34.23</td><td>8</td><td>498</td><td>429</td><td>373</td><td>527</td><td>371</td><td>471</td><td>339</td><td>380</td><td>335</td><td>527</td></tr> <tr><td>31.53</td><td>9</td><td>500</td><td>428</td><td>372</td><td>525</td><td>373</td><td>470</td><td>337</td><td>381</td><td>333</td><td>525</td></tr> </tbody> </table>	T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)									最大値	1.2×S _s -A (V)	1.2×S _s -B1 (UD)	1.2×S _s -B2 (UD)	1.2×S _s -B3 (UD)	1.2×S _s -B4 (UD)	1.2×S _s -B5 (UD)	1.2×S _s -C1 (UD)	1.2×S _s -C2 (UD)	1.2×S _s -C3 (UD)	77.50	1	729	561	670	622	584	552	557	543	583	729	70.20	2	685	538	626	610	528	540	514	487	538	685	62.80	3	632	509	567	600	468	529	459	427	485	632	56.80	4	569	477	500	588	437	514	431	370	435	588	50.30	5	519	457	430	574	413	499	390	350	383	574	43.20	6	507	445	393	555	385	487	348	362	360	555	35.00	7	497	430	374	528	371	472	339	379	336	528	34.23	8	498	429	373	527	371	471	339	380	335	527	31.53	9	500	428	372	525	373	470	337	381	333	525	 <p>第4.1.2-9図 最大応答加速度 (基準地震動S_s, ケースNo.0, 鉛直方向)</p> <p>第4.1.2-9表 最大応答加速度一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1528 1218 2359 1554"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T. M. S. L. (m)</th> <th rowspan="2">質点番号</th> <th colspan="9">最大応答加速度 (cm/s²)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>S_s-A (V)</th> <th>S_s-B1 (UD)</th> <th>S_s-B2 (UD)</th> <th>S_s-B3 (UD)</th> <th>S_s-B4 (UD)</th> <th>S_s-B5 (UD)</th> <th>S_s-C1 (UD)</th> <th>S_s-C2 (UD)</th> <th>S_s-C3 (UD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50</td><td>1</td><td>609</td><td>468</td><td>567</td><td>513</td><td>500</td><td>459</td><td>477</td><td>451</td><td>492</td><td>609</td></tr> <tr><td>70.20</td><td>2</td><td>571</td><td>448</td><td>528</td><td>507</td><td>451</td><td>449</td><td>440</td><td>403</td><td>454</td><td>571</td></tr> <tr><td>62.80</td><td>3</td><td>526</td><td>424</td><td>478</td><td>498</td><td>400</td><td>439</td><td>386</td><td>350</td><td>409</td><td>526</td></tr> <tr><td>56.80</td><td>4</td><td>473</td><td>397</td><td>420</td><td>488</td><td>369</td><td>426</td><td>360</td><td>311</td><td>365</td><td>488</td></tr> <tr><td>50.30</td><td>5</td><td>430</td><td>380</td><td>367</td><td>476</td><td>349</td><td>413</td><td>327</td><td>295</td><td>322</td><td>476</td></tr> <tr><td>43.20</td><td>6</td><td>425</td><td>370</td><td>333</td><td>460</td><td>325</td><td>403</td><td>289</td><td>302</td><td>302</td><td>460</td></tr> <tr><td>35.00</td><td>7</td><td>417</td><td>359</td><td>311</td><td>438</td><td>310</td><td>391</td><td>283</td><td>319</td><td>282</td><td>438</td></tr> <tr><td>34.23</td><td>8</td><td>416</td><td>358</td><td>311</td><td>437</td><td>311</td><td>390</td><td>283</td><td>320</td><td>281</td><td>437</td></tr> <tr><td>31.53</td><td>9</td><td>414</td><td>357</td><td>310</td><td>435</td><td>312</td><td>389</td><td>282</td><td>320</td><td>279</td><td>435</td></tr> </tbody> </table>	T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)									最大値	S _s -A (V)	S _s -B1 (UD)	S _s -B2 (UD)	S _s -B3 (UD)	S _s -B4 (UD)	S _s -B5 (UD)	S _s -C1 (UD)	S _s -C2 (UD)	S _s -C3 (UD)	77.50	1	609	468	567	513	500	459	477	451	492	609	70.20	2	571	448	528	507	451	449	440	403	454	571	62.80	3	526	424	478	498	400	439	386	350	409	526	56.80	4	473	397	420	488	369	426	360	311	365	488	50.30	5	430	380	367	476	349	413	327	295	322	476	43.20	6	425	370	333	460	325	403	289	302	302	460	35.00	7	417	359	311	438	310	391	283	319	282	438	34.23	8	416	358	311	437	311	390	283	320	281	437	31.53	9	414	357	310	435	312	389	282	320	279	435	<p>前頁と同じ</p>
T. M. S. L. (m)			質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)									最大値																																																																																																																																																																																																																																																							
	1.2×S _s -A (V)	1.2×S _s -B1 (UD)		1.2×S _s -B2 (UD)	1.2×S _s -B3 (UD)	1.2×S _s -B4 (UD)	1.2×S _s -B5 (UD)	1.2×S _s -C1 (UD)	1.2×S _s -C2 (UD)	1.2×S _s -C3 (UD)																																																																																																																																																																																																																																																										
77.50	1	729	561	670	622	584	552	557	543	583	729																																																																																																																																																																																																																																																									
70.20	2	685	538	626	610	528	540	514	487	538	685																																																																																																																																																																																																																																																									
62.80	3	632	509	567	600	468	529	459	427	485	632																																																																																																																																																																																																																																																									
56.80	4	569	477	500	588	437	514	431	370	435	588																																																																																																																																																																																																																																																									
50.30	5	519	457	430	574	413	499	390	350	383	574																																																																																																																																																																																																																																																									
43.20	6	507	445	393	555	385	487	348	362	360	555																																																																																																																																																																																																																																																									
35.00	7	497	430	374	528	371	472	339	379	336	528																																																																																																																																																																																																																																																									
34.23	8	498	429	373	527	371	471	339	380	335	527																																																																																																																																																																																																																																																									
31.53	9	500	428	372	525	373	470	337	381	333	525																																																																																																																																																																																																																																																									
T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)									最大値																																																																																																																																																																																																																																																									
		S _s -A (V)	S _s -B1 (UD)	S _s -B2 (UD)	S _s -B3 (UD)	S _s -B4 (UD)	S _s -B5 (UD)	S _s -C1 (UD)	S _s -C2 (UD)	S _s -C3 (UD)																																																																																																																																																																																																																																																										
77.50	1	609	468	567	513	500	459	477	451	492	609																																																																																																																																																																																																																																																									
70.20	2	571	448	528	507	451	449	440	403	454	571																																																																																																																																																																																																																																																									
62.80	3	526	424	478	498	400	439	386	350	409	526																																																																																																																																																																																																																																																									
56.80	4	473	397	420	488	369	426	360	311	365	488																																																																																																																																																																																																																																																									
50.30	5	430	380	367	476	349	413	327	295	322	476																																																																																																																																																																																																																																																									
43.20	6	425	370	333	460	325	403	289	302	302	460																																																																																																																																																																																																																																																									
35.00	7	417	359	311	438	310	391	283	319	282	438																																																																																																																																																																																																																																																									
34.23	8	416	358	311	437	311	390	283	320	281	437																																																																																																																																																																																																																																																									
31.53	9	414	357	310	435	312	389	282	320	279	435																																																																																																																																																																																																																																																									

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																	
	 <p>第4.1.2-10図 最大応答変位(基準地震動S_s, ケースNo.0, 鉛直方向)</p> <p>第4.1.2-10表 最大応答変位一覧表(基準地震動S_s, ケースNo.0, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1543 1197 2329 1501"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T.M.S.L. (m)</th> <th rowspan="2">観点 番号</th> <th colspan="9">最大応答変位(mm)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (V)</th> <th>Ss-B1 (UD)</th> <th>Ss-B2 (UD)</th> <th>Ss-B3 (UD)</th> <th>Ss-B4 (UD)</th> <th>Ss-B5 (UD)</th> <th>Ss-C1 (UD)</th> <th>Ss-C2 (UD)</th> <th>Ss-C3 (UD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1</td> <td>1.80</td> <td>1.48</td> <td>1.33</td> <td>1.46</td> <td>1.51</td> <td>1.31</td> <td>1.16</td> <td>1.08</td> <td>1.04</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>2</td> <td>1.73</td> <td>1.46</td> <td>1.26</td> <td>1.42</td> <td>1.46</td> <td>1.26</td> <td>1.11</td> <td>1.04</td> <td>1.00</td> <td>1.73</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>3</td> <td>1.63</td> <td>1.42</td> <td>1.18</td> <td>1.35</td> <td>1.38</td> <td>1.19</td> <td>1.03</td> <td>0.974</td> <td>0.929</td> <td>1.63</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>4</td> <td>1.51</td> <td>1.37</td> <td>1.09</td> <td>1.28</td> <td>1.29</td> <td>1.12</td> <td>0.977</td> <td>0.902</td> <td>0.872</td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>5</td> <td>1.37</td> <td>1.31</td> <td>0.980</td> <td>1.19</td> <td>1.19</td> <td>1.05</td> <td>0.923</td> <td>0.815</td> <td>0.804</td> <td>1.37</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>6</td> <td>1.23</td> <td>1.23</td> <td>0.899</td> <td>1.07</td> <td>1.06</td> <td>0.985</td> <td>0.854</td> <td>0.711</td> <td>0.719</td> <td>1.23</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>7</td> <td>1.10</td> <td>1.13</td> <td>0.802</td> <td>0.928</td> <td>0.986</td> <td>0.902</td> <td>0.760</td> <td>0.638</td> <td>0.620</td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td>8</td> <td>1.09</td> <td>1.13</td> <td>0.797</td> <td>0.923</td> <td>0.985</td> <td>0.898</td> <td>0.756</td> <td>0.636</td> <td>0.617</td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td>9</td> <td>1.08</td> <td>1.12</td> <td>0.789</td> <td>0.911</td> <td>0.983</td> <td>0.890</td> <td>0.747</td> <td>0.631</td> <td>0.610</td> <td>1.12</td> </tr> </tbody> </table>	T.M.S.L. (m)	観点 番号	最大応答変位(mm)									最大値	Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B2 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-B5 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C2 (UD)	Ss-C3 (UD)	77.50	1	1.80	1.48	1.33	1.46	1.51	1.31	1.16	1.08	1.04	1.80	70.20	2	1.73	1.46	1.26	1.42	1.46	1.26	1.11	1.04	1.00	1.73	62.80	3	1.63	1.42	1.18	1.35	1.38	1.19	1.03	0.974	0.929	1.63	56.80	4	1.51	1.37	1.09	1.28	1.29	1.12	0.977	0.902	0.872	1.51	50.30	5	1.37	1.31	0.980	1.19	1.19	1.05	0.923	0.815	0.804	1.37	43.20	6	1.23	1.23	0.899	1.07	1.06	0.985	0.854	0.711	0.719	1.23	35.00	7	1.10	1.13	0.802	0.928	0.986	0.902	0.760	0.638	0.620	1.13	34.23	8	1.09	1.13	0.797	0.923	0.985	0.898	0.756	0.636	0.617	1.13	31.53	9	1.08	1.12	0.789	0.911	0.983	0.890	0.747	0.631	0.610	1.12	<p>前頁に同じ</p>
T.M.S.L. (m)	観点 番号			最大応答変位(mm)										最大値																																																																																																																					
		Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B2 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-B5 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C2 (UD)	Ss-C3 (UD)																																																																																																																									
77.50	1	1.80	1.48	1.33	1.46	1.51	1.31	1.16	1.08	1.04	1.80																																																																																																																								
70.20	2	1.73	1.46	1.26	1.42	1.46	1.26	1.11	1.04	1.00	1.73																																																																																																																								
62.80	3	1.63	1.42	1.18	1.35	1.38	1.19	1.03	0.974	0.929	1.63																																																																																																																								
56.80	4	1.51	1.37	1.09	1.28	1.29	1.12	0.977	0.902	0.872	1.51																																																																																																																								
50.30	5	1.37	1.31	0.980	1.19	1.19	1.05	0.923	0.815	0.804	1.37																																																																																																																								
43.20	6	1.23	1.23	0.899	1.07	1.06	0.985	0.854	0.711	0.719	1.23																																																																																																																								
35.00	7	1.10	1.13	0.802	0.928	0.986	0.902	0.760	0.638	0.620	1.13																																																																																																																								
34.23	8	1.09	1.13	0.797	0.923	0.985	0.898	0.756	0.636	0.617	1.13																																																																																																																								
31.53	9	1.08	1.12	0.789	0.911	0.983	0.890	0.747	0.631	0.610	1.12																																																																																																																								

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																	
	 <p data-bbox="1537 1062 2318 1094">第4.1.2-11 図 最大応答軸力 (基準地震動S_s, ケースNo.0, 鉛直方向)</p> <p data-bbox="1507 1163 2347 1194">第4.1.2-11 表 最大応答軸力一覧表 (基準地震動S_s, ケースNo.0, 鉛直方向)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1199 2326 1682"> <thead> <tr> <th rowspan="2">T. M. S. L. (m)</th> <th rowspan="2">要素番号</th> <th colspan="9">最大応答軸力(×10⁴kN)</th> <th rowspan="2">最大値</th> </tr> <tr> <th>Ss-A (V)</th> <th>Ss-B1 (UD)</th> <th>Ss-B2 (UD)</th> <th>Ss-B3 (UD)</th> <th>Ss-B4 (UD)</th> <th>Ss-B5 (UD)</th> <th>Ss-C1 (UD)</th> <th>Ss-C2 (UD)</th> <th>Ss-C3 (UD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.50</td> <td>1</td> <td>10.82</td> <td>8.35</td> <td>10.12</td> <td>9.21</td> <td>8.82</td> <td>8.23</td> <td>8.46</td> <td>7.97</td> <td>8.81</td> <td>10.82</td> </tr> <tr> <td>70.20</td> <td>2</td> <td>30.04</td> <td>23.48</td> <td>27.95</td> <td>26.27</td> <td>23.87</td> <td>23.43</td> <td>23.21</td> <td>21.46</td> <td>24.17</td> <td>30.04</td> </tr> <tr> <td>62.80</td> <td>3</td> <td>50.75</td> <td>40.21</td> <td>46.83</td> <td>45.96</td> <td>39.48</td> <td>40.80</td> <td>38.34</td> <td>35.23</td> <td>40.33</td> <td>50.75</td> </tr> <tr> <td>56.80</td> <td>4</td> <td>71.51</td> <td>57.66</td> <td>65.32</td> <td>67.42</td> <td>54.70</td> <td>59.55</td> <td>53.00</td> <td>48.09</td> <td>56.40</td> <td>71.51</td> </tr> <tr> <td>50.30</td> <td>5</td> <td>92.53</td> <td>76.19</td> <td>83.44</td> <td>91.32</td> <td>69.54</td> <td>80.30</td> <td>68.76</td> <td>59.89</td> <td>72.54</td> <td>92.53</td> </tr> <tr> <td>43.20</td> <td>6</td> <td>112.80</td> <td>94.57</td> <td>99.96</td> <td>116.00</td> <td>87.03</td> <td>101.92</td> <td>84.16</td> <td>74.53</td> <td>87.87</td> <td>116.00</td> </tr> <tr> <td>35.00</td> <td>7</td> <td>125.90</td> <td>106.58</td> <td>109.54</td> <td>132.81</td> <td>98.46</td> <td>116.86</td> <td>93.44</td> <td>84.53</td> <td>97.55</td> <td>132.81</td> </tr> <tr> <td>34.23</td> <td>8</td> <td>135.25</td> <td>115.79</td> <td>116.34</td> <td>144.80</td> <td>106.61</td> <td>127.54</td> <td>100.03</td> <td>91.66</td> <td>104.45</td> <td>144.80</td> </tr> <tr> <td>31.53</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力(×10 ⁴ kN)									最大値	Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B2 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-B5 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C2 (UD)	Ss-C3 (UD)	77.50	1	10.82	8.35	10.12	9.21	8.82	8.23	8.46	7.97	8.81	10.82	70.20	2	30.04	23.48	27.95	26.27	23.87	23.43	23.21	21.46	24.17	30.04	62.80	3	50.75	40.21	46.83	45.96	39.48	40.80	38.34	35.23	40.33	50.75	56.80	4	71.51	57.66	65.32	67.42	54.70	59.55	53.00	48.09	56.40	71.51	50.30	5	92.53	76.19	83.44	91.32	69.54	80.30	68.76	59.89	72.54	92.53	43.20	6	112.80	94.57	99.96	116.00	87.03	101.92	84.16	74.53	87.87	116.00	35.00	7	125.90	106.58	109.54	132.81	98.46	116.86	93.44	84.53	97.55	132.81	34.23	8	135.25	115.79	116.34	144.80	106.61	127.54	100.03	91.66	104.45	144.80	31.53												<p data-bbox="2534 394 2674 426">前頁に同じ</p>
T. M. S. L. (m)	要素番号			最大応答軸力(×10 ⁴ kN)										最大値																																																																																																																					
		Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B2 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-B5 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C2 (UD)	Ss-C3 (UD)																																																																																																																									
77.50	1	10.82	8.35	10.12	9.21	8.82	8.23	8.46	7.97	8.81	10.82																																																																																																																								
70.20	2	30.04	23.48	27.95	26.27	23.87	23.43	23.21	21.46	24.17	30.04																																																																																																																								
62.80	3	50.75	40.21	46.83	45.96	39.48	40.80	38.34	35.23	40.33	50.75																																																																																																																								
56.80	4	71.51	57.66	65.32	67.42	54.70	59.55	53.00	48.09	56.40	71.51																																																																																																																								
50.30	5	92.53	76.19	83.44	91.32	69.54	80.30	68.76	59.89	72.54	92.53																																																																																																																								
43.20	6	112.80	94.57	99.96	116.00	87.03	101.92	84.16	74.53	87.87	116.00																																																																																																																								
35.00	7	125.90	106.58	109.54	132.81	98.46	116.86	93.44	84.53	97.55	132.81																																																																																																																								
34.23	8	135.25	115.79	116.34	144.80	106.61	127.54	100.03	91.66	104.45	144.80																																																																																																																								
31.53																																																																																																																																			

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1
 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」

添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1
 「燃料加工建屋の地震応答計算書」

備考

第4.2-4表 最大応答せん断ひずみ度 (1.2×S_s, NS方向)

T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 ⁻³)												第1折点 γ ₁ (×10 ⁻³)	第2折点 γ ₂ (×10 ⁻³)	
		1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (NS)	1.2×S _s -B2 (NS)	1.2×S _s -B3 (NS)	1.2×S _s -B4 (NS)	1.2×S _s -B5 (NS)	1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C2 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)			1.2×S _s -C4 (EW)
77.50	1	0.174	0.121	0.152	0.134	0.137	0.126	0.240	0.0923	0.113	0.119	0.145	0.133	0.146	0.186	0.559
70.20	2	0.163	0.109	0.139	0.131	0.127	0.118	0.193	0.0847	0.0922	0.104	0.131	0.120	0.142	0.197	0.591
62.80	3	0.199	0.131	0.166	0.166	0.160	0.145	0.424	0.107	0.112	0.130	0.158	0.146	0.173	0.208	0.623
56.80	4	0.203	0.129	0.168	0.172	0.174	0.148	0.430	0.110	0.113	0.130	0.157	0.147	0.173	0.214	0.642
50.30	5	0.263	0.139	0.187	0.190	0.200	0.161	0.550	0.123	0.119	0.138	0.166	0.159	0.193	0.219	0.658
43.20	6	0.380	0.143	0.193	0.191	0.258	0.176	0.658	0.126	0.130	0.141	0.167	0.162	0.224	0.224	0.673

(単位：m)

T.M.S.L. 77.50

T.M.S.L. 70.20

T.M.S.L. 62.80

T.M.S.L. 56.80

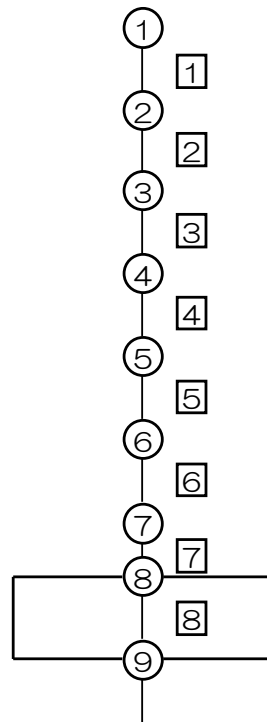
T.M.S.L. 50.30

T.M.S.L. 43.20

T.M.S.L. 35.00

T.M.S.L. 34.23

T.M.S.L. 31.53



注記 *1：○数字は質点番号を示す。
 *2：□数字は要素番号を示す。

第4.1.2-12表 最大応答せん断ひずみ度 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)

T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 ⁻³)												第1折点 γ ₁ (×10 ⁻³)	第2折点 γ ₂ (×10 ⁻³)	
		S _s -A (H)	S _s -B1 (NS)	S _s -B2 (NS)	S _s -B3 (NS)	S _s -B4 (NS)	S _s -B5 (NS)	S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)			S _s -C4 (EW)
77.50	1	0.149	0.101	0.129	0.108	0.116	0.102	0.181	0.0867	0.0989	0.101	0.122	0.112	0.124	0.186	0.559
70.20	2	0.134	0.0916	0.119	0.108	0.108	0.0980	0.160	0.0790	0.0834	0.0881	0.110	0.101	0.121	0.197	0.591
62.80	3	0.168	0.109	0.142	0.137	0.136	0.123	0.198	0.0944	0.103	0.107	0.133	0.121	0.150	0.208	0.623
56.80	4	0.174	0.107	0.142	0.143	0.147	0.126	0.206	0.0960	0.104	0.108	0.132	0.122	0.151	0.214	0.642
50.30	5	0.192	0.116	0.155	0.158	0.171	0.137	0.293	0.107	0.111	0.116	0.140	0.133	0.161	0.219	0.658
43.20	6	0.212	0.118	0.157	0.159	0.195	0.144	0.379	0.117	0.114	0.117	0.136	0.132	0.181	0.224	0.673
35.00	7	0.0684	0.0368	0.0498	0.0508	0.0628	0.0480	0.0796	0.0367	0.0367	0.0372	0.0450	0.0403	0.0589	-	-

(単位：m)

T.M.S.L. 77.50

T.M.S.L. 70.20

T.M.S.L. 62.80

T.M.S.L. 56.80

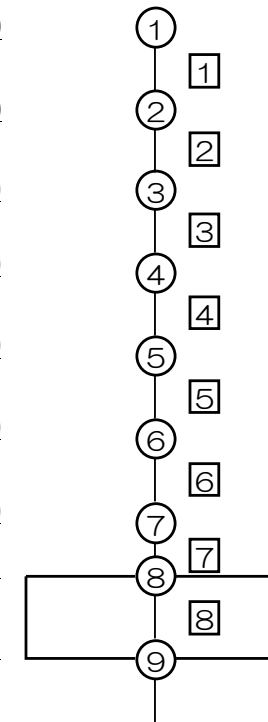
T.M.S.L. 50.30

T.M.S.L. 43.20

T.M.S.L. 35.00

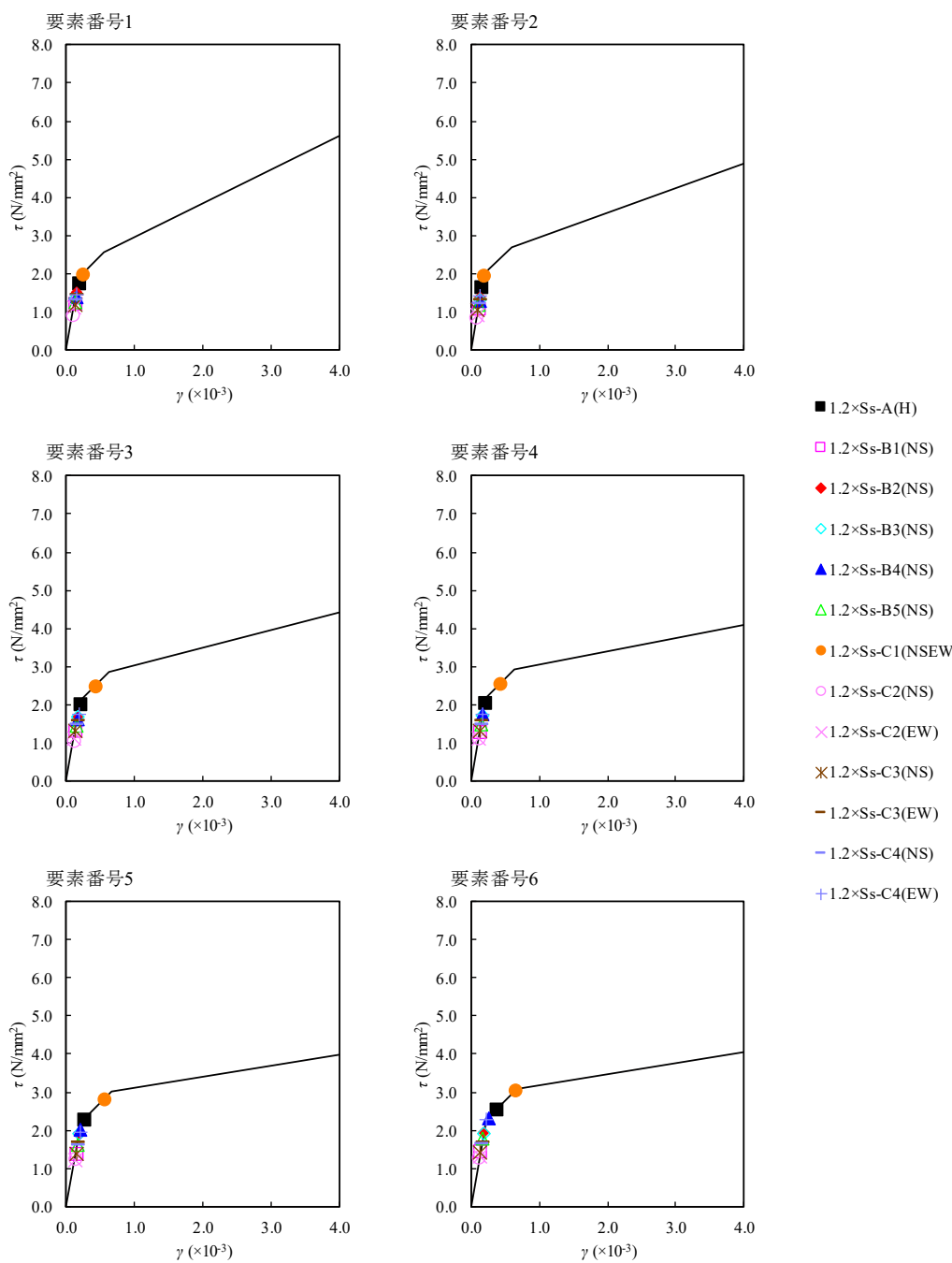
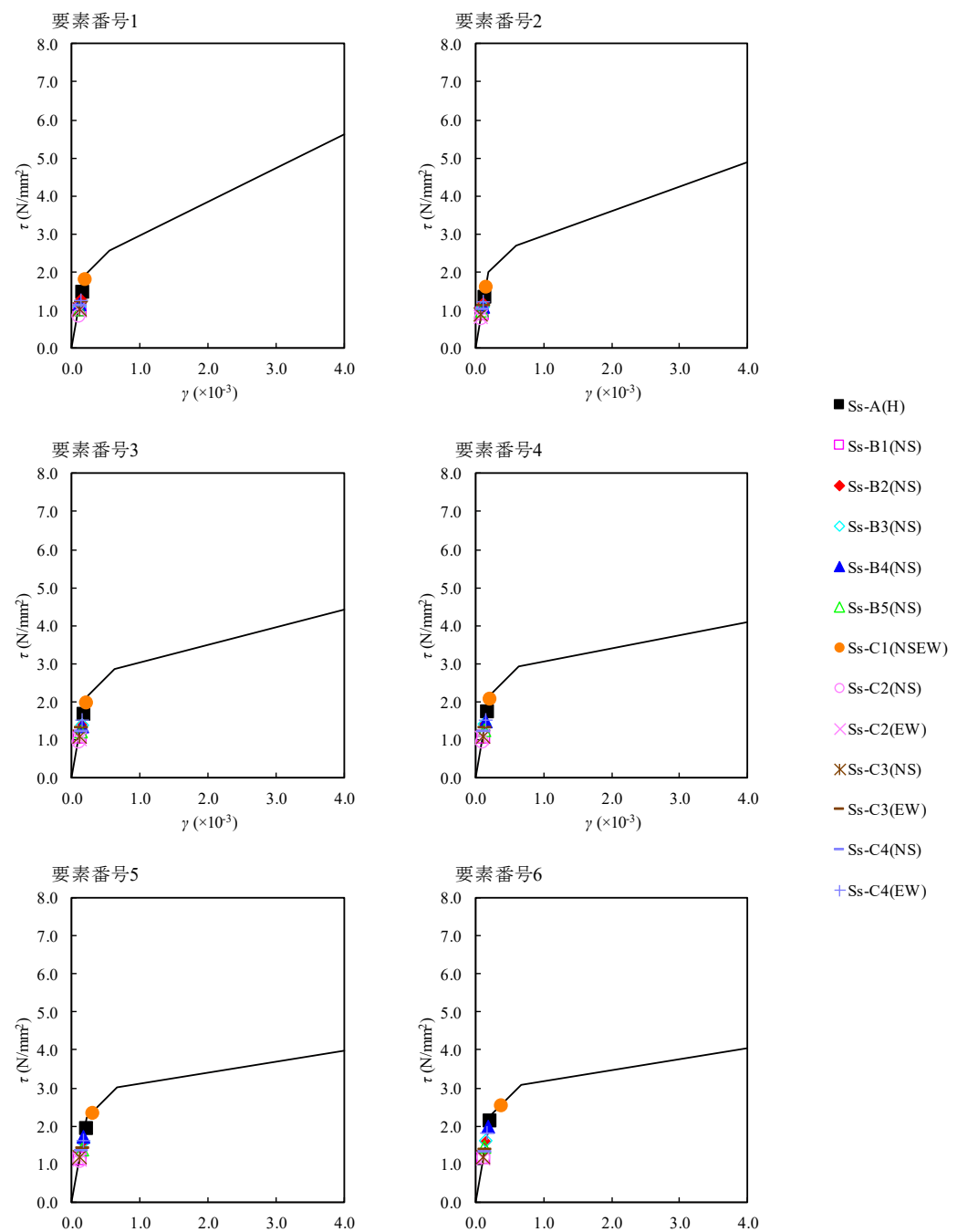
T.M.S.L. 34.23

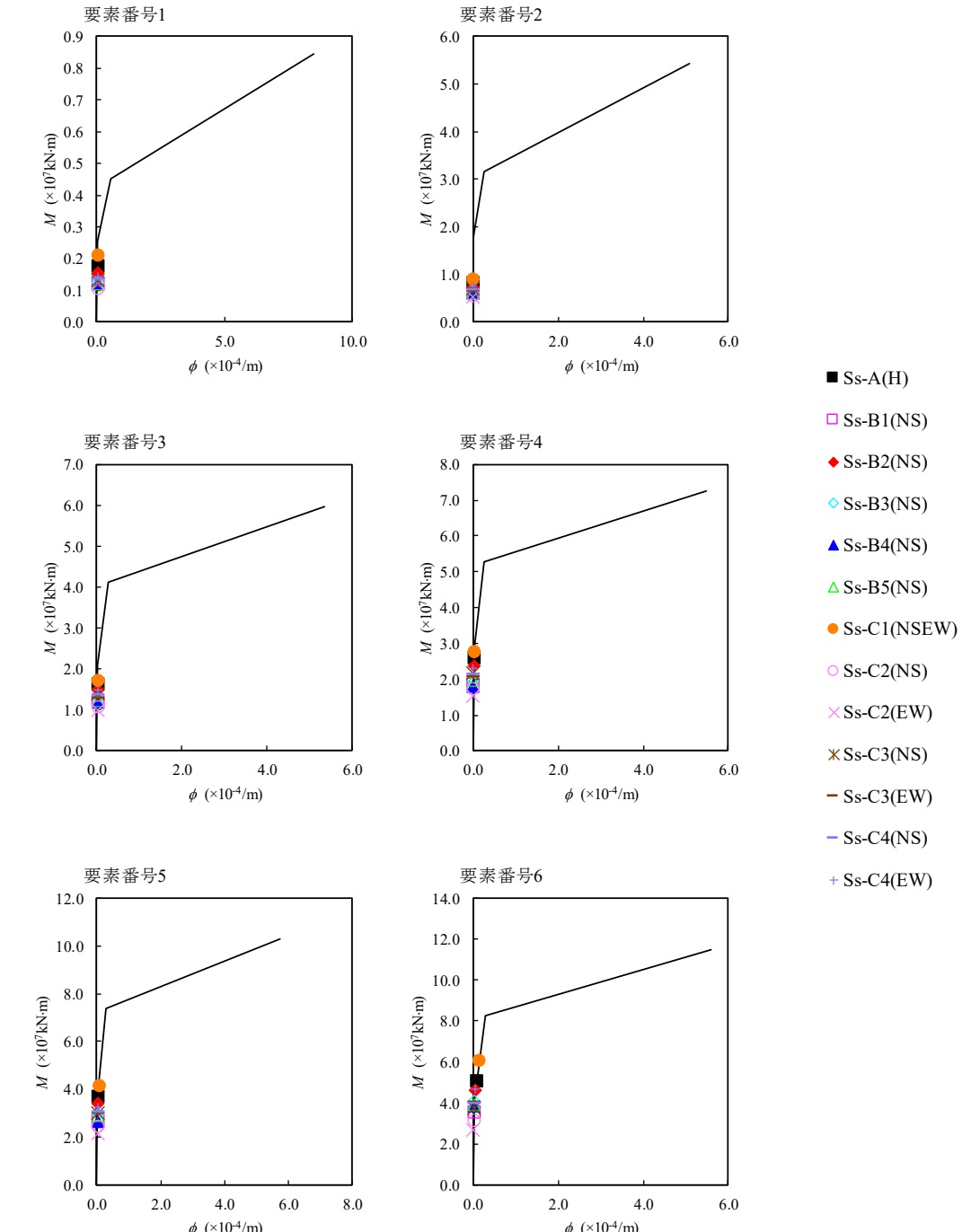
T.M.S.L. 31.53



注記 1：○数字は質点番号を示す。
 2：□数字は要素番号を示す。

前頁に同じ

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
 <p>第4.2-4図 τ-γ関係と最大応答値 (1.2×S_s, NS方向)</p>	 <p>第4.1.2-12図 τ-γ関係と最大応答値 (基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	 <p>要素番号1</p> <p>要素番号2</p> <p>要素番号3</p> <p>要素番号4</p> <p>要素番号5</p> <p>要素番号6</p> <p>第4.1.2-13図 M-φ関係と最大応答値(基準地震動S_s, ケースNo.0, NS方向)</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1
 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」

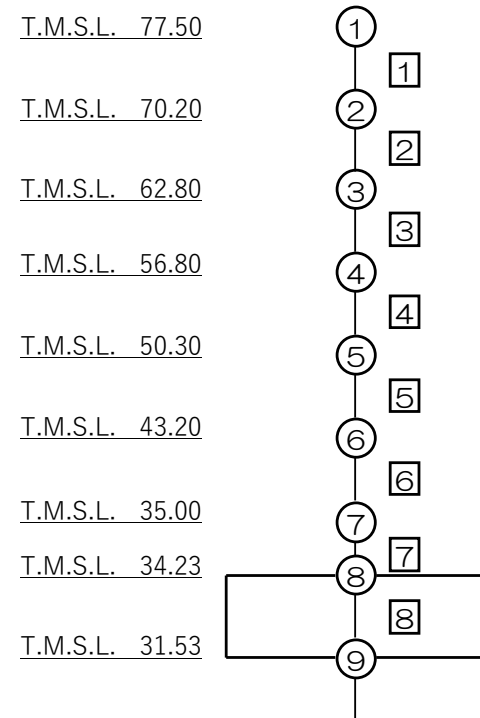
添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1
 「燃料加工建屋の地震応答計算書」

備考

第4.2-5表 最大応答せん断ひずみ度 (1.2×S_s, EW方向)

T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 ⁻³)												第1折点 γ ₁ (×10 ⁻³)	第2折点 γ ₂ (×10 ⁻³)	
		1.2×S _s -A (H)	1.2×S _s -B1 (EW)	1.2×S _s -B2 (EW)	1.2×S _s -B3 (EW)	1.2×S _s -B4 (EW)	1.2×S _s -B5 (EW)	1.2×S _s -C1 (NSEW)	1.2×S _s -C2 (NS)	1.2×S _s -C3 (EW)	1.2×S _s -C3 (NS)	1.2×S _s -C4 (EW)	1.2×S _s -C4 (NS)			
77.50	1	0.0672	0.0604	0.0570	0.0547	0.0464	0.0625	0.0855	0.0394	0.0451	0.0468	0.0587	0.0528	0.0603	0.186	0.559
70.20	2	0.133	0.116	0.106	0.106	0.0908	0.124	0.166	0.0699	0.0836	0.0892	0.112	0.102	0.116	0.197	0.591
62.80	3	0.173	0.151	0.136	0.137	0.116	0.165	0.259	0.0898	0.103	0.114	0.143	0.132	0.149	0.208	0.623
56.80	4	0.206	0.169	0.158	0.153	0.130	0.192	0.449	0.108	0.114	0.131	0.159	0.150	0.170	0.214	0.642
50.30	5	0.216	0.167	0.167	0.150	0.133	0.198	0.472	0.116	0.114	0.133	0.157	0.151	0.178	0.219	0.658
43.20	6	0.235	0.171	0.188	0.155	0.133	0.188	0.516	0.113	0.116	0.127	0.151	0.146	0.199	0.224	0.673
35.00																

(単位:m)

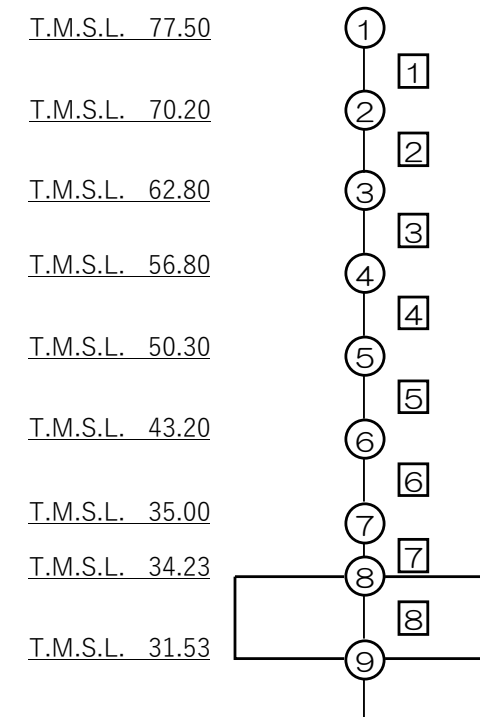


注記 *1:○数字は質点番号を示す。
 *2:□数字は要素番号を示す。

第4.1.2-13表 最大応答せん断ひずみ度 (基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)

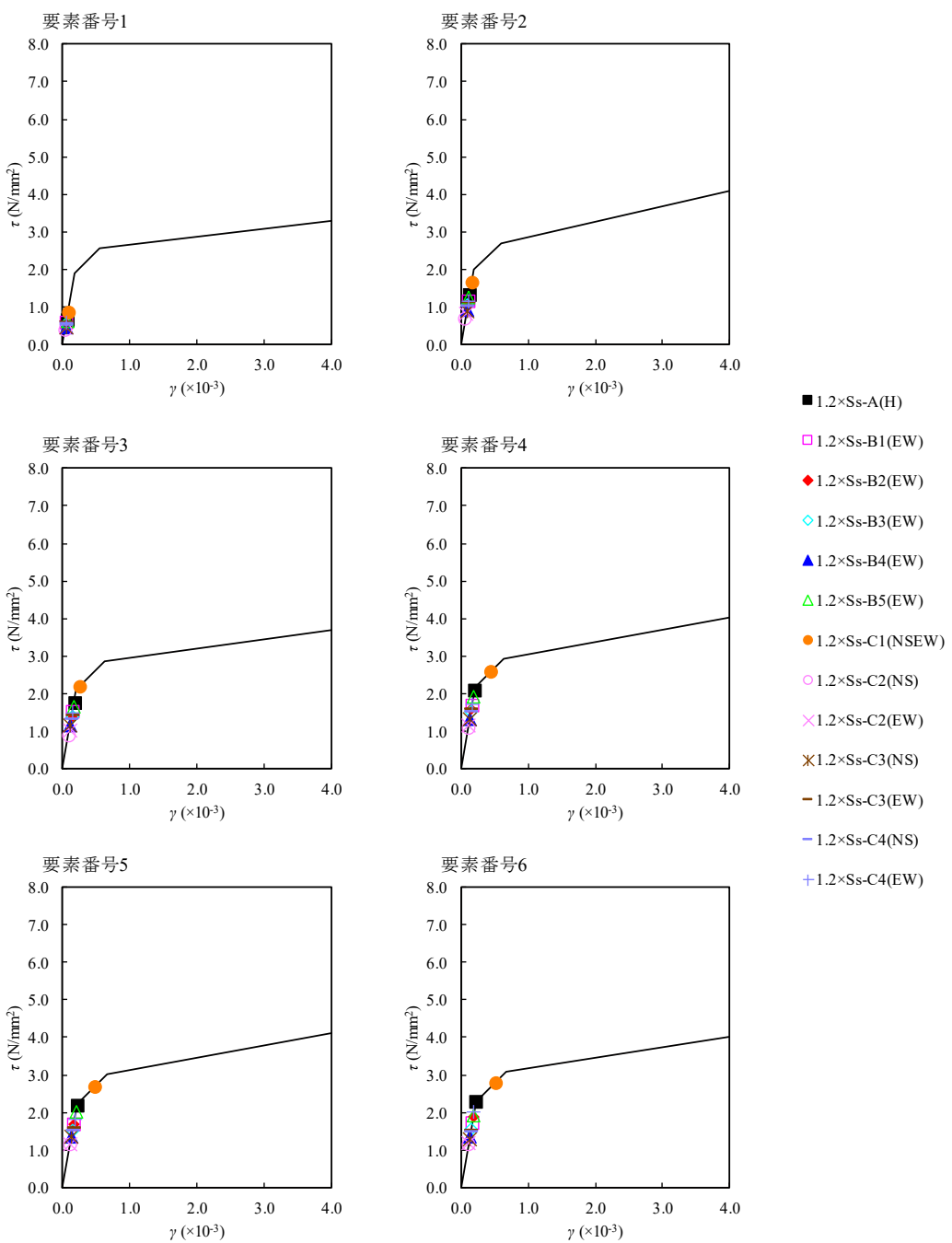
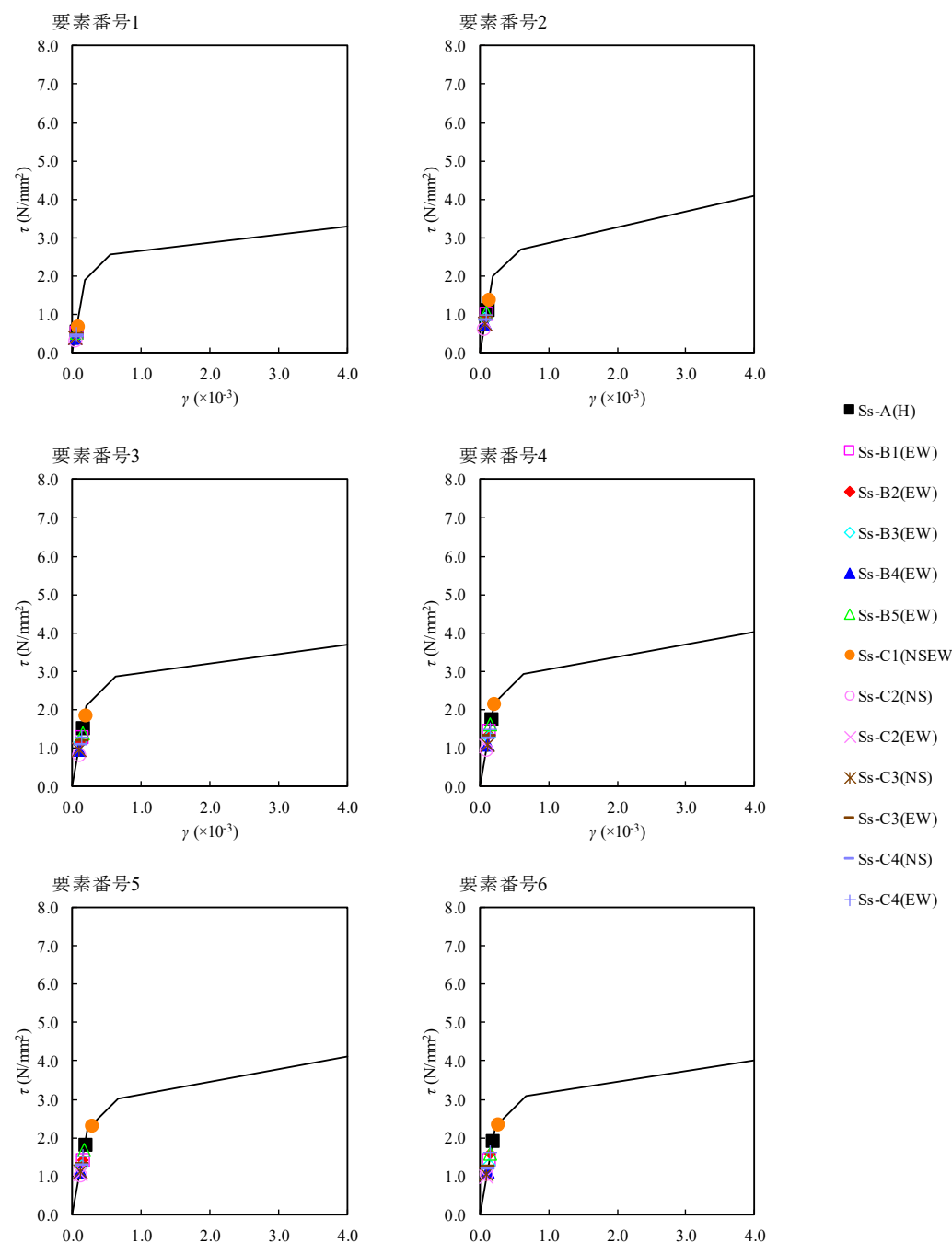
T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 ⁻³)												第1折点 γ ₁ (×10 ⁻³)	第2折点 γ ₂ (×10 ⁻³)	
		S _s -A (H)	S _s -B1 (EW)	S _s -B2 (EW)	S _s -B3 (EW)	S _s -B4 (EW)	S _s -B5 (EW)	S _s -C1 (NSEW)	S _s -C2 (NS)	S _s -C2 (EW)	S _s -C3 (NS)	S _s -C3 (EW)	S _s -C4 (NS)			S _s -C4 (EW)
77.50	1	0.0576	0.0520	0.0473	0.0456	0.0390	0.0526	0.0692	0.0343	0.0401	0.0394	0.0492	0.0445	0.0512	0.186	0.559
70.20	2	0.112	0.101	0.0901	0.0887	0.0763	0.104	0.138	0.0643	0.0747	0.0759	0.0940	0.0849	0.0983	0.197	0.591
62.80	3	0.151	0.128	0.116	0.114	0.0970	0.138	0.182	0.0809	0.0939	0.0956	0.119	0.110	0.128	0.208	0.623
56.80	4	0.174	0.143	0.135	0.128	0.108	0.161	0.212	0.0959	0.105	0.108	0.133	0.125	0.146	0.214	0.642
50.30	5	0.180	0.142	0.142	0.125	0.112	0.167	0.265	0.101	0.106	0.109	0.132	0.126	0.150	0.219	0.658
43.20	6	0.188	0.140	0.158	0.129	0.110	0.156	0.264	0.104	0.0981	0.105	0.123	0.118	0.160	0.224	0.673
35.00																
34.23	7	0.0519	0.0380	0.0435	0.0356	0.0303	0.0417	0.0633	0.0277	0.0272	0.0283	0.0345	0.0312	0.0448	-	-

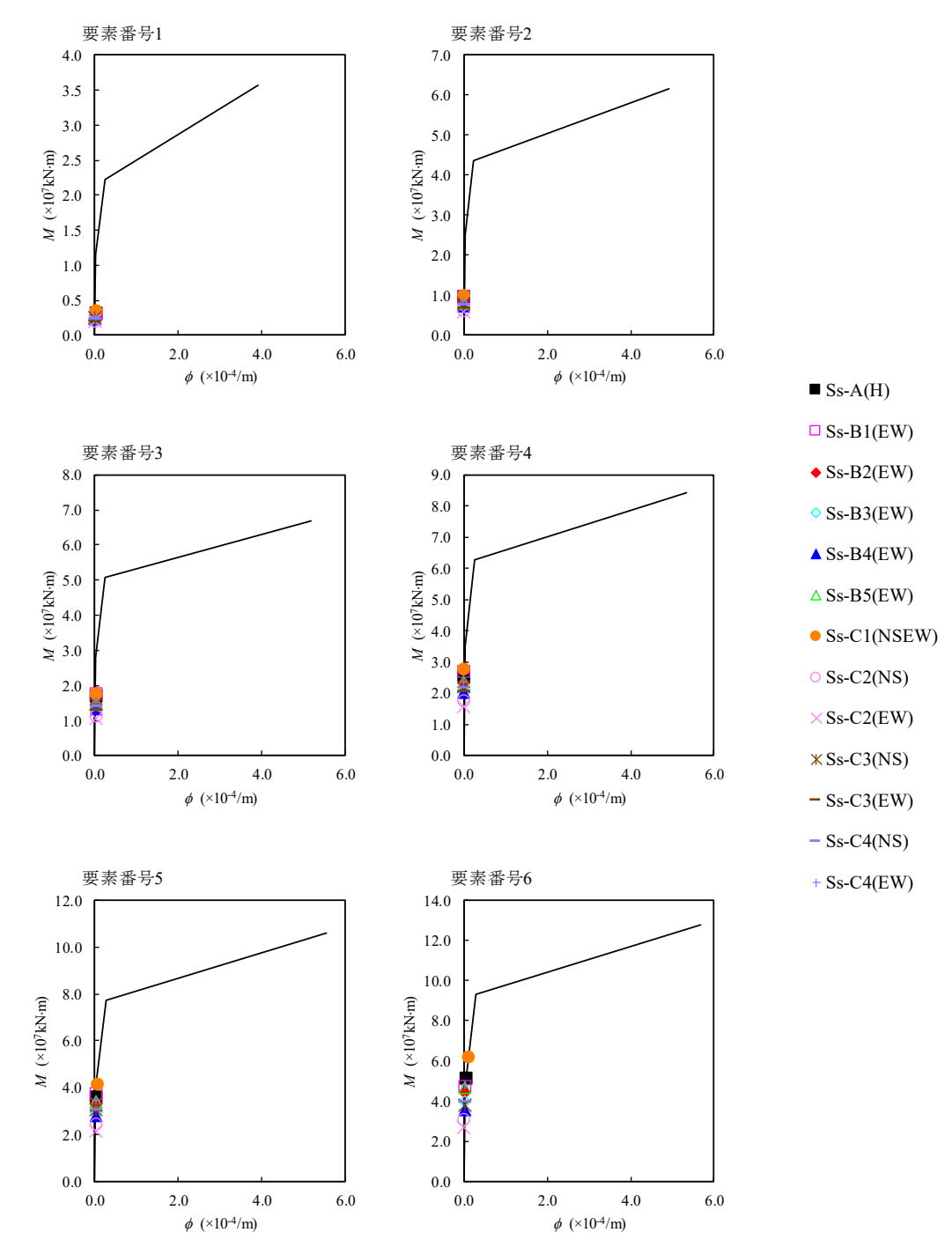
(単位:m)



注記 1:○数字は質点番号を示す。
 2:□数字は要素番号を示す。

前頁と同じ

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
 <p>要素番号1</p> <p>要素番号2</p> <p>要素番号3</p> <p>要素番号4</p> <p>要素番号5</p> <p>要素番号6</p> <p>■1.2×Ss-A(H) □1.2×Ss-B1(EW) ◆1.2×Ss-B2(EW) ◇1.2×Ss-B3(EW) ▲1.2×Ss-B4(EW) △1.2×Ss-B5(EW) ●1.2×Ss-C1(NSEW) ○1.2×Ss-C2(NS) ×1.2×Ss-C2(EW) ✕1.2×Ss-C3(NS) ▬1.2×Ss-C3(EW) -1.2×Ss-C4(NS) +1.2×Ss-C4(EW)</p> <p>第4.2-5図 τ-γ関係と最大応答値 (1.2×Ss, EW方向)</p>	 <p>要素番号1</p> <p>要素番号2</p> <p>要素番号3</p> <p>要素番号4</p> <p>要素番号5</p> <p>要素番号6</p> <p>■Ss-A(H) □Ss-B1(EW) ◆Ss-B2(EW) ◇Ss-B3(EW) ▲Ss-B4(EW) △Ss-B5(EW) ●Ss-C1(NSEW) ○Ss-C2(NS) ×Ss-C2(EW) ✕Ss-C3(NS) ▬Ss-C3(EW) -Ss-C4(NS) +Ss-C4(EW)</p> <p>第4.1.2-14図 τ-γ関係と最大応答値 (基準地震動Ss, ケースNo.0, EW方向)</p>	<p>備考</p> <p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	 <p>要素番号1</p> <p>要素番号2</p> <p>要素番号3</p> <p>要素番号4</p> <p>要素番号5</p> <p>要素番号6</p> <p>第4.1.2-15図 M-φ関係と最大応答値(基準地震動S_s, ケースNo.0, EW方向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Ss-A(H) □ Ss-B1(EW) ◆ Ss-B2(EW) ◇ Ss-B3(EW) ▲ Ss-B4(EW) △ Ss-B5(EW) ● Ss-C1(NSEW) ○ Ss-C2(NS) × Ss-C2(EW) ✕ Ss-C3(NS) - Ss-C3(EW) - Ss-C4(NS) + Ss-C4(EW) 	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																																																																
<p style="text-align: center;">第4.2-6表 浮上り検討 (1.2×S_s) (a) NS方向</p> <table border="1" data-bbox="243 394 1282 991"> <thead> <tr> <th>地震動</th> <th>浮上り限界転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>接地率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.2×S_s-A(H)</td><td rowspan="14">4.55</td><td>6.88</td><td>78.1</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B1(NS)</td><td>4.73</td><td>100</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B2(NS)</td><td>6.19</td><td>85.2</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B3(NS)</td><td>5.75</td><td>89.8</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B4(NS)</td><td>5.27</td><td>94.8</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B5(NS)</td><td>5.20</td><td>95.6</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C1(NSEW)</td><td>7.67</td><td>65.7</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C2(NS)</td><td>3.82</td><td>100</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C2(EW)</td><td>3.57</td><td>100</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C3(NS)</td><td>4.78</td><td>100</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C3(EW)</td><td>5.07</td><td>97.0</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C4(NS)</td><td>4.96</td><td>98.1</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C4(EW)</td><td>5.97</td><td>87.6</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 : 上表のうち、1.2×S_s-C1については、誘発上下動を考慮するモデルによる接地率の値を示している。</p> <p style="text-align: center;">(b) EW方向</p> <table border="1" data-bbox="243 1129 1282 1726"> <thead> <tr> <th>地震動</th> <th>浮上り限界転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>接地率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.2×S_s-A(H)</td><td rowspan="14">4.68</td><td>6.69</td><td>80.8</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B1(EW)</td><td>6.12</td><td>86.7</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B2(EW)</td><td>5.71</td><td>90.9</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B3(EW)</td><td>5.49</td><td>93.2</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B4(EW)</td><td>4.84</td><td>100</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-B5(EW)</td><td>6.30</td><td>84.8</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C1(NSEW)</td><td>7.85</td><td>66.1</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C2(NS)</td><td>3.77</td><td>100</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C2(EW)</td><td>3.58</td><td>100</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C3(NS)</td><td>5.02</td><td>98.1</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C3(EW)</td><td>5.39</td><td>94.3</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C4(NS)</td><td>5.28</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>1.2×S_s-C4(EW)</td><td>6.12</td><td>86.7</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 : 上表のうち、1.2×S_s-C1については、誘発上下動を考慮するモデルによる接地率の値を示している。</p>	地震動	浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)	1.2×S _s -A(H)	4.55	6.88	78.1	1.2×S _s -B1(NS)	4.73	100	1.2×S _s -B2(NS)	6.19	85.2	1.2×S _s -B3(NS)	5.75	89.8	1.2×S _s -B4(NS)	5.27	94.8	1.2×S _s -B5(NS)	5.20	95.6	1.2×S _s -C1(NSEW)	7.67	65.7	1.2×S _s -C2(NS)	3.82	100	1.2×S _s -C2(EW)	3.57	100	1.2×S _s -C3(NS)	4.78	100	1.2×S _s -C3(EW)	5.07	97.0	1.2×S _s -C4(NS)	4.96	98.1	1.2×S _s -C4(EW)	5.97	87.6	地震動	浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)	1.2×S _s -A(H)	4.68	6.69	80.8	1.2×S _s -B1(EW)	6.12	86.7	1.2×S _s -B2(EW)	5.71	90.9	1.2×S _s -B3(EW)	5.49	93.2	1.2×S _s -B4(EW)	4.84	100	1.2×S _s -B5(EW)	6.30	84.8	1.2×S _s -C1(NSEW)	7.85	66.1	1.2×S _s -C2(NS)	3.77	100	1.2×S _s -C2(EW)	3.58	100	1.2×S _s -C3(NS)	5.02	98.1	1.2×S _s -C3(EW)	5.39	94.3	1.2×S _s -C4(NS)	5.28	95.4	1.2×S _s -C4(EW)	6.12	86.7	<p style="text-align: center;">第4.1.2-14表 浮上り検討 (基準地震動S_s, ケースNo.0) (a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1430 394 2457 991"> <thead> <tr> <th>地震動</th> <th>浮上り限界転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>接地率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S_s-A(H)</td><td rowspan="16">4.78</td><td>5.78</td><td>89.5</td></tr> <tr><td>S_s-B1(NS)</td><td>4.01</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-B2(NS)</td><td>5.24</td><td>95.2</td></tr> <tr><td>S_s-B3(NS)</td><td>4.78</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-B4(NS)</td><td>4.51</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-B5(NS)</td><td>4.49</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C1(NSEW)</td><td>7.15</td><td>75.2</td></tr> <tr><td>S_s-C2(NS)</td><td>3.51</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C2(EW)</td><td>3.06</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C3(NS)</td><td>4.14</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C3(EW)</td><td>4.51</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C4(NS)</td><td>4.44</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C4(EW)</td><td>5.32</td><td>94.4</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1430 1129 2457 1726"> <thead> <tr> <th>地震動</th> <th>浮上り限界転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10⁷kN・m)</th> <th>接地率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S_s-A(H)</td><td rowspan="16">4.83</td><td>5.94</td><td>88.6</td></tr> <tr><td>S_s-B1(EW)</td><td>5.46</td><td>93.6</td></tr> <tr><td>S_s-B2(EW)</td><td>5.00</td><td>98.3</td></tr> <tr><td>S_s-B3(EW)</td><td>4.58</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-B4(EW)</td><td>4.03</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-B5(EW)</td><td>5.40</td><td>94.1</td></tr> <tr><td>S_s-C1(NSEW)</td><td>7.29</td><td>74.5</td></tr> <tr><td>S_s-C2(NS)</td><td>3.48</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C2(EW)</td><td>3.06</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C3(NS)</td><td>4.19</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C3(EW)</td><td>4.51</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C4(NS)</td><td>4.44</td><td>100</td></tr> <tr><td>S_s-C4(EW)</td><td>5.59</td><td>92.2</td></tr> </tbody> </table> <p>1.2×S_s 計算書においては誘発上下動を考慮するモデルを用いていることから注記を記載</p> <p>同上</p>	地震動	浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)	S _s -A(H)	4.78	5.78	89.5	S _s -B1(NS)	4.01	100	S _s -B2(NS)	5.24	95.2	S _s -B3(NS)	4.78	100	S _s -B4(NS)	4.51	100	S _s -B5(NS)	4.49	100	S _s -C1(NSEW)	7.15	75.2	S _s -C2(NS)	3.51	100	S _s -C2(EW)	3.06	100	S _s -C3(NS)	4.14	100	S _s -C3(EW)	4.51	100	S _s -C4(NS)	4.44	100	S _s -C4(EW)	5.32	94.4	地震動	浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)	S _s -A(H)	4.83	5.94	88.6	S _s -B1(EW)	5.46	93.6	S _s -B2(EW)	5.00	98.3	S _s -B3(EW)	4.58	100	S _s -B4(EW)	4.03	100	S _s -B5(EW)	5.40	94.1	S _s -C1(NSEW)	7.29	74.5	S _s -C2(NS)	3.48	100	S _s -C2(EW)	3.06	100	S _s -C3(NS)	4.19	100	S _s -C3(EW)	4.51	100	S _s -C4(NS)	4.44	100	S _s -C4(EW)	5.59	92.2	<p>両計算書共通に基礎浮上り非線形を考慮していることから、地震応答解析結果における浮上り検討結果を示す。</p>
地震動	浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -A(H)	4.55	6.88	78.1																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B1(NS)		4.73	100																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B2(NS)		6.19	85.2																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B3(NS)		5.75	89.8																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B4(NS)		5.27	94.8																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B5(NS)		5.20	95.6																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C1(NSEW)		7.67	65.7																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C2(NS)		3.82	100																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C2(EW)		3.57	100																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C3(NS)		4.78	100																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C3(EW)		5.07	97.0																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C4(NS)		4.96	98.1																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C4(EW)		5.97	87.6																																																																																																																																																																															
地震動		浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)																																																																																																																																																																														
1.2×S _s -A(H)	4.68	6.69	80.8																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B1(EW)		6.12	86.7																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B2(EW)		5.71	90.9																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B3(EW)		5.49	93.2																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B4(EW)		4.84	100																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -B5(EW)		6.30	84.8																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C1(NSEW)		7.85	66.1																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C2(NS)		3.77	100																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C2(EW)		3.58	100																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C3(NS)		5.02	98.1																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C3(EW)		5.39	94.3																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C4(NS)		5.28	95.4																																																																																																																																																																															
1.2×S _s -C4(EW)		6.12	86.7																																																																																																																																																																															
地震動		浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)																																																																																																																																																																														
S _s -A(H)	4.78	5.78	89.5																																																																																																																																																																															
S _s -B1(NS)		4.01	100																																																																																																																																																																															
S _s -B2(NS)		5.24	95.2																																																																																																																																																																															
S _s -B3(NS)		4.78	100																																																																																																																																																																															
S _s -B4(NS)		4.51	100																																																																																																																																																																															
S _s -B5(NS)		4.49	100																																																																																																																																																																															
S _s -C1(NSEW)		7.15	75.2																																																																																																																																																																															
S _s -C2(NS)		3.51	100																																																																																																																																																																															
S _s -C2(EW)		3.06	100																																																																																																																																																																															
S _s -C3(NS)		4.14	100																																																																																																																																																																															
S _s -C3(EW)		4.51	100																																																																																																																																																																															
S _s -C4(NS)		4.44	100																																																																																																																																																																															
S _s -C4(EW)		5.32	94.4																																																																																																																																																																															
地震動		浮上り限界転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	最小接地率算出時の 転倒モーメント (×10 ⁷ kN・m)	接地率 (%)																																																																																																																																																																														
S _s -A(H)		4.83	5.94	88.6																																																																																																																																																																														
S _s -B1(EW)			5.46	93.6																																																																																																																																																																														
S _s -B2(EW)	5.00		98.3																																																																																																																																																																															
S _s -B3(EW)	4.58		100																																																																																																																																																																															
S _s -B4(EW)	4.03		100																																																																																																																																																																															
S _s -B5(EW)	5.40		94.1																																																																																																																																																																															
S _s -C1(NSEW)	7.29		74.5																																																																																																																																																																															
S _s -C2(NS)	3.48		100																																																																																																																																																																															
S _s -C2(EW)	3.06		100																																																																																																																																																																															
S _s -C3(NS)	4.19		100																																																																																																																																																																															
S _s -C3(EW)	4.51		100																																																																																																																																																																															
S _s -C4(NS)	4.44		100																																																																																																																																																																															
S _s -C4(EW)	5.59		92.2																																																																																																																																																																															

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																																																																																												
<p style="text-align: center;">第4.2-7表 最大接地圧 (1.2×S_s) (1/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地震動</th> <th colspan="2">方向</th> <th>最大接地圧(kN/m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1.2×S_s-A</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>1174</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1151</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>1101</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1120</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.2×S_s-B1</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>801</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>943</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>1002</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1068</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.2×S_s-B2</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>1011</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1071</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>928</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1024</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.2×S_s-B3</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>925</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1043</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>884</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1021</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.2×S_s-B4</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>865</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>979</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>813</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.2×S_s-B5</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>988</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>1009</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1076</td> </tr> </tbody> </table>	地震動	方向		最大接地圧(kN/m ²)	1.2×S _s -A	NS	鉛直上向き	1174	鉛直下向き	1151	EW	鉛直上向き	1101	鉛直下向き	1120	1.2×S _s -B1	NS	鉛直上向き	801	鉛直下向き	943	EW	鉛直上向き	1002	鉛直下向き	1068	1.2×S _s -B2	NS	鉛直上向き	1011	鉛直下向き	1071	EW	鉛直上向き	928	鉛直下向き	1024	1.2×S _s -B3	NS	鉛直上向き	925	鉛直下向き	1043	EW	鉛直上向き	884	鉛直下向き	1021	1.2×S _s -B4	NS	鉛直上向き	865	鉛直下向き	979	EW	鉛直上向き	813	鉛直下向き	941	1.2×S _s -B5	NS	鉛直上向き	850	鉛直下向き	988	EW	鉛直上向き	1009	鉛直下向き	1076	<p style="text-align: center;">第4.1.2-15表 最大接地圧 (基準地震動S_s, ケースNo.0) (1/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地震動</th> <th colspan="2">方向</th> <th>最大接地圧(kN/m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">S_s-A</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>927</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1023</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>947</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>1034</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">S_s-B1</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>731</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>887</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>986</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">S_s-B2</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>973</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>836</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>949</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">S_s-B3</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>797</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>945</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>769</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>923</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">S_s-B4</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>782</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>898</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>735</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>854</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">S_s-B5</td> <td rowspan="2">NS</td> <td>鉛直上向き</td> <td>771</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>909</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EW</td> <td>鉛直上向き</td> <td>874</td> </tr> <tr> <td>鉛直下向き</td> <td>986</td> </tr> </tbody> </table>	地震動	方向		最大接地圧(kN/m ²)	S _s -A	NS	鉛直上向き	927	鉛直下向き	1023	EW	鉛直上向き	947	鉛直下向き	1034	S _s -B1	NS	鉛直上向き	731	鉛直下向き	861	EW	鉛直上向き	887	鉛直下向き	986	S _s -B2	NS	鉛直上向き	870	鉛直下向き	973	EW	鉛直上向き	836	鉛直下向き	949	S _s -B3	NS	鉛直上向き	797	鉛直下向き	945	EW	鉛直上向き	769	鉛直下向き	923	S _s -B4	NS	鉛直上向き	782	鉛直下向き	898	EW	鉛直上向き	735	鉛直下向き	854	S _s -B5	NS	鉛直上向き	771	鉛直下向き	909	EW	鉛直上向き	874	鉛直下向き	986	<p>1.2×S_s 計算書においては、第2.2-1図の評価フローに示した通り、1.2×S_sに対する応答加速度、せん断ひずみ度及び接地圧について地震応答解析結果を示す。</p>
地震動	方向		最大接地圧(kN/m ²)																																																																																																																																											
1.2×S _s -A	NS	鉛直上向き	1174																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1151																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	1101																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1120																																																																																																																																											
1.2×S _s -B1	NS	鉛直上向き	801																																																																																																																																											
		鉛直下向き	943																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	1002																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1068																																																																																																																																											
1.2×S _s -B2	NS	鉛直上向き	1011																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1071																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	928																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1024																																																																																																																																											
1.2×S _s -B3	NS	鉛直上向き	925																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1043																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	884																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1021																																																																																																																																											
1.2×S _s -B4	NS	鉛直上向き	865																																																																																																																																											
		鉛直下向き	979																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	813																																																																																																																																											
		鉛直下向き	941																																																																																																																																											
1.2×S _s -B5	NS	鉛直上向き	850																																																																																																																																											
		鉛直下向き	988																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	1009																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1076																																																																																																																																											
地震動	方向		最大接地圧(kN/m ²)																																																																																																																																											
S _s -A	NS	鉛直上向き	927																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1023																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	947																																																																																																																																											
		鉛直下向き	1034																																																																																																																																											
S _s -B1	NS	鉛直上向き	731																																																																																																																																											
		鉛直下向き	861																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	887																																																																																																																																											
		鉛直下向き	986																																																																																																																																											
S _s -B2	NS	鉛直上向き	870																																																																																																																																											
		鉛直下向き	973																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	836																																																																																																																																											
		鉛直下向き	949																																																																																																																																											
S _s -B3	NS	鉛直上向き	797																																																																																																																																											
		鉛直下向き	945																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	769																																																																																																																																											
		鉛直下向き	923																																																																																																																																											
S _s -B4	NS	鉛直上向き	782																																																																																																																																											
		鉛直下向き	898																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	735																																																																																																																																											
		鉛直下向き	854																																																																																																																																											
S _s -B5	NS	鉛直上向き	771																																																																																																																																											
		鉛直下向き	909																																																																																																																																											
	EW	鉛直上向き	874																																																																																																																																											
		鉛直下向き	986																																																																																																																																											

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」			添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」			備考		
第4.2-7表 最大接地圧 (1.2×S _s) (2/2)			第4.1.2-15表 最大接地圧 (基準地震動S _s , ケースNo.0) (2/2)			前頁に同じ		
地震動	方向		最大接地圧 (kN/m ²)	地震動	方向		最大接地圧 (kN/m ²)	
1.2×S _s -C1	NS	鉛直上向き	1445	S _s -C1	NS		鉛直上向き	1172
		鉛直下向き	1320				鉛直下向き	1157
	EW	鉛直上向き	1431		EW		鉛直上向き	1189
		鉛直下向き	1316				鉛直下向き	1167
1.2×S _s -C2 (NS)	NS	鉛直上向き	719	S _s -C2 (NS)	NS		鉛直上向き	700
		鉛直下向き	841				鉛直下向き	802
	EW	鉛直上向き	710		EW		鉛直上向き	694
		鉛直下向き	832				鉛直下向き	797
1.2×S _s -C2 (EW)	NS	鉛直上向き	693	S _s -C2 (EW)	NS		鉛直上向き	659
		鉛直下向き	815				鉛直下向き	761
	EW	鉛直上向き	692		EW		鉛直上向き	657
		鉛直下向き	814				鉛直下向き	759
1.2×S _s -C3 (NS)	NS	鉛直上向き	817	S _s -C3 (NS)	NS		鉛直上向き	757
		鉛直下向き	941				鉛直下向き	872
	EW	鉛直上向き	844		EW		鉛直上向き	758
		鉛直下向き	962				鉛直下向き	873
1.2×S _s -C3 (EW)	NS	鉛直上向き	837	S _s -C3 (EW)	NS		鉛直上向き	784
		鉛直下向き	956				鉛直下向き	896
	EW	鉛直上向き	874		EW	鉛直上向き	779	
		鉛直下向き	982			鉛直下向き	893	
1.2×S _s -C4 (NS)	NS	—	882	S _s -C4 (NS)	NS	—	836	
	EW	—	912		EW	—	832	
1.2×S _s -C4 (EW)	NS	—	983	S _s -C4 (EW)	NS	—	913	
	EW	—	996		EW	—	940	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考
	<p>4.1.3 材料物性のばらつきを考慮したケースの地震応答解析結果</p> <p>(1) 基準地震動 S_s 基準地震動 S_s による最大応答値を第4.1.3-1図～第4.1.3-27図及び第4.1.3-1表～第4.1.3-19表に示す。 浮上り検討を第4.1.3-20表及び第4.1.3-21表、最大接地圧を第4.1.3-22表及び第4.1.3-23表に示す。</p> <p>(2) 弾性設計用地震動 S_d 弾性設計用地震動 S_d による最大応答値を第4.1.3-28図～第4.1.3-54図及び第4.1.3-24表～第4.1.3-42表に示す。 浮上り検討を第4.1.3-43表及び第4.1.3-44表、最大接地圧を第4.1.3-45表及び第4.1.3-46表に示す。</p>	<p>地盤物性のばらつき ケース及び弾性設計 用地震動 S_d に係る記 載であることから 1.2×S_s 計算書に記 載無し</p> <p>1.0×S_s 計算書にお ける本頁以降の地震 応答解析結果につい ては、本比較表上は 省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																
	<p>4.2 静的解析 「3.4 解析方法」による解析方法で算出した地震層せん断力係数 $3.0C_i$ 及び静的地震力（水平地震力）を第4.2-1表に示す。</p> <p>第4.2-1表 地震層せん断力係数（$3.0C_i$）及び水平地震力 (a)NS 方向</p> <table border="1" data-bbox="1469 491 2407 911"> <thead> <tr> <th>T. M. S. L. (m)</th> <th>第 i 層が支える重量 W (kN)</th> <th>地震層せん断力係数 $3.0C_i$</th> <th>水平地震力 Q ($\times 10^5$kN)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50~70.20</td><td>174000</td><td>0.625</td><td>1.09</td></tr> <tr><td>70.20~62.80</td><td>503000</td><td>0.570</td><td>2.87</td></tr> <tr><td>62.80~56.80</td><td>888000</td><td>0.528</td><td>4.69</td></tr> <tr><td>56.80~50.30</td><td>1317000</td><td>0.479</td><td>6.31</td></tr> <tr><td>50.30~43.20</td><td>1809000</td><td>0.438</td><td>7.92</td></tr> <tr><td>43.20~35.00</td><td>2339000</td><td>0.397</td><td>9.28</td></tr> <tr><td>35.00~34.23</td><td>2725000</td><td>0.368</td><td>10.03</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 : T. M. S. L. 56.80m 以深の地震層せん断力係数 $3.0C_i$ に関しては水平地下震度を示す。</p> <p>(b)EW 方向</p> <table border="1" data-bbox="1469 1045 2407 1457"> <thead> <tr> <th>T. M. S. L. (m)</th> <th>第 i 層が支える重量 W (kN)</th> <th>地震層せん断力係数 $3.0C_i$</th> <th>水平地震力 Q ($\times 10^5$kN)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50~70.20</td><td>174000</td><td>0.603</td><td>1.05</td></tr> <tr><td>70.20~62.80</td><td>503000</td><td>0.565</td><td>2.84</td></tr> <tr><td>62.80~56.80</td><td>888000</td><td>0.528</td><td>4.69</td></tr> <tr><td>56.80~50.30</td><td>1317000</td><td>0.479</td><td>6.31</td></tr> <tr><td>50.30~43.20</td><td>1809000</td><td>0.438</td><td>7.92</td></tr> <tr><td>43.20~35.00</td><td>2339000</td><td>0.397</td><td>9.28</td></tr> <tr><td>35.00~34.23</td><td>2725000</td><td>0.368</td><td>10.03</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 : T. M. S. L. 56.80m 以深の地震層せん断力係数 $3.0C_i$ に関しては水平地下震度を示す。</p>	T. M. S. L. (m)	第 i 層が支える重量 W (kN)	地震層せん断力係数 $3.0C_i$	水平地震力 Q ($\times 10^5$ kN)	77.50~70.20	174000	0.625	1.09	70.20~62.80	503000	0.570	2.87	62.80~56.80	888000	0.528	4.69	56.80~50.30	1317000	0.479	6.31	50.30~43.20	1809000	0.438	7.92	43.20~35.00	2339000	0.397	9.28	35.00~34.23	2725000	0.368	10.03	T. M. S. L. (m)	第 i 層が支える重量 W (kN)	地震層せん断力係数 $3.0C_i$	水平地震力 Q ($\times 10^5$ kN)	77.50~70.20	174000	0.603	1.05	70.20~62.80	503000	0.565	2.84	62.80~56.80	888000	0.528	4.69	56.80~50.30	1317000	0.479	6.31	50.30~43.20	1809000	0.438	7.92	43.20~35.00	2339000	0.397	9.28	35.00~34.23	2725000	0.368	10.03	<p>1.2×Ss 計算書では静的地震力に係る評価はない</p>
T. M. S. L. (m)	第 i 層が支える重量 W (kN)	地震層せん断力係数 $3.0C_i$	水平地震力 Q ($\times 10^5$ kN)																																																															
77.50~70.20	174000	0.625	1.09																																																															
70.20~62.80	503000	0.570	2.87																																																															
62.80~56.80	888000	0.528	4.69																																																															
56.80~50.30	1317000	0.479	6.31																																																															
50.30~43.20	1809000	0.438	7.92																																																															
43.20~35.00	2339000	0.397	9.28																																																															
35.00~34.23	2725000	0.368	10.03																																																															
T. M. S. L. (m)	第 i 層が支える重量 W (kN)	地震層せん断力係数 $3.0C_i$	水平地震力 Q ($\times 10^5$ kN)																																																															
77.50~70.20	174000	0.603	1.05																																																															
70.20~62.80	503000	0.565	2.84																																																															
62.80~56.80	888000	0.528	4.69																																																															
56.80~50.30	1317000	0.479	6.31																																																															
50.30~43.20	1809000	0.438	7.92																																																															
43.20~35.00	2339000	0.397	9.28																																																															
35.00~34.23	2725000	0.368	10.03																																																															

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」	備考																																																																
	<p>4.3 必要保有水平耐力 「3.4 解析方法」による解析方法で算出した必要保有水平耐力 Q_{um} を第4.3-1表に示す。</p> <p>第4.3-1表 必要保有水平耐力 (a)NS方向</p> <table border="1" data-bbox="1469 457 2407 877"> <thead> <tr> <th>T. M. S. L. (m)</th> <th>構造特性係数 D_s</th> <th>形状特性係数 F_{es}</th> <th>必要保有水平耐力 $Q_{um} (\times 10^5 \text{kN})$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50~70.20</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>70.20~62.80</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>2.63</td></tr> <tr><td>62.80~56.80</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>4.30</td></tr> <tr><td>56.80~50.30</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>5.78</td></tr> <tr><td>50.30~43.20</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>7.26</td></tr> <tr><td>43.20~35.00</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>8.51</td></tr> <tr><td>35.00~34.23</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>9.19</td></tr> </tbody> </table> <p>(b)EW方向</p> <table border="1" data-bbox="1469 947 2407 1367"> <thead> <tr> <th>T. M. S. L. (m)</th> <th>構造特性係数 D_s</th> <th>形状特性係数 F_{es}</th> <th>必要保有水平耐力 $Q_{um} (\times 10^5 \text{kN})$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>77.50~70.20</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>0.96</td></tr> <tr><td>70.20~62.80</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>2.60</td></tr> <tr><td>62.80~56.80</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>4.30</td></tr> <tr><td>56.80~50.30</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>5.78</td></tr> <tr><td>50.30~43.20</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>7.26</td></tr> <tr><td>43.20~35.00</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>8.51</td></tr> <tr><td>35.00~34.23</td><td>0.55</td><td>1.00</td><td>9.19</td></tr> </tbody> </table>	T. M. S. L. (m)	構造特性係数 D_s	形状特性係数 F_{es}	必要保有水平耐力 $Q_{um} (\times 10^5 \text{kN})$	77.50~70.20	0.55	1.00	1.00	70.20~62.80	0.55	1.00	2.63	62.80~56.80	0.55	1.00	4.30	56.80~50.30	0.55	1.00	5.78	50.30~43.20	0.55	1.00	7.26	43.20~35.00	0.55	1.00	8.51	35.00~34.23	0.55	1.00	9.19	T. M. S. L. (m)	構造特性係数 D_s	形状特性係数 F_{es}	必要保有水平耐力 $Q_{um} (\times 10^5 \text{kN})$	77.50~70.20	0.55	1.00	0.96	70.20~62.80	0.55	1.00	2.60	62.80~56.80	0.55	1.00	4.30	56.80~50.30	0.55	1.00	5.78	50.30~43.20	0.55	1.00	7.26	43.20~35.00	0.55	1.00	8.51	35.00~34.23	0.55	1.00	9.19	<p>1.2×Ss に対しては保有水平耐力に対する評価はない</p>
T. M. S. L. (m)	構造特性係数 D_s	形状特性係数 F_{es}	必要保有水平耐力 $Q_{um} (\times 10^5 \text{kN})$																																																															
77.50~70.20	0.55	1.00	1.00																																																															
70.20~62.80	0.55	1.00	2.63																																																															
62.80~56.80	0.55	1.00	4.30																																																															
56.80~50.30	0.55	1.00	5.78																																																															
50.30~43.20	0.55	1.00	7.26																																																															
43.20~35.00	0.55	1.00	8.51																																																															
35.00~34.23	0.55	1.00	9.19																																																															
T. M. S. L. (m)	構造特性係数 D_s	形状特性係数 F_{es}	必要保有水平耐力 $Q_{um} (\times 10^5 \text{kN})$																																																															
77.50~70.20	0.55	1.00	0.96																																																															
70.20~62.80	0.55	1.00	2.60																																																															
62.80~56.80	0.55	1.00	4.30																																																															
56.80~50.30	0.55	1.00	5.78																																																															
50.30~43.20	0.55	1.00	7.26																																																															
43.20~35.00	0.55	1.00	8.51																																																															
35.00~34.23	0.55	1.00	9.19																																																															

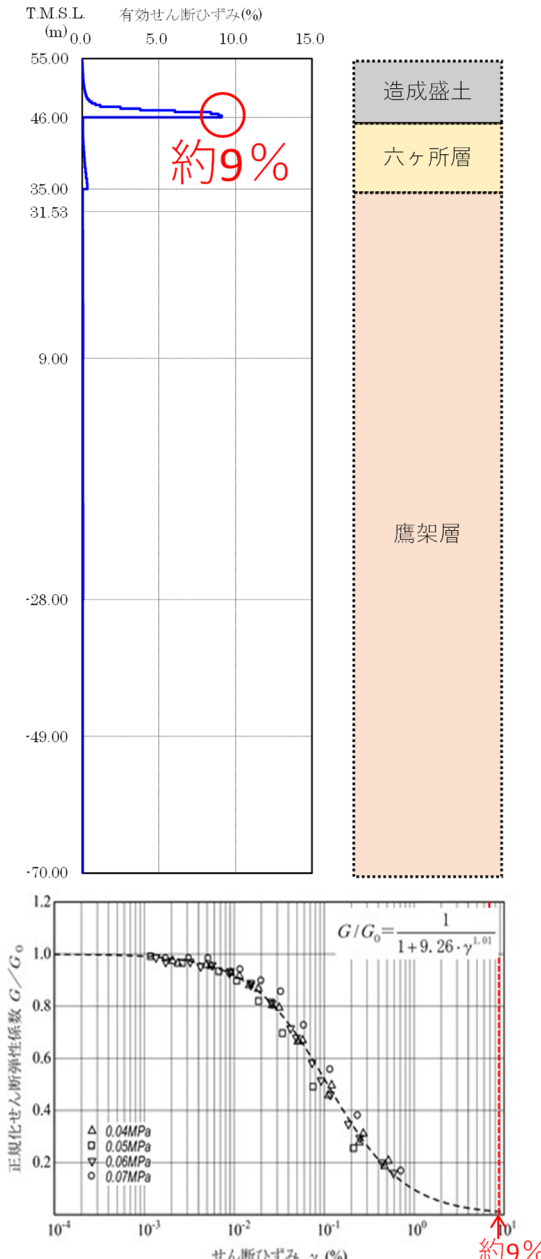
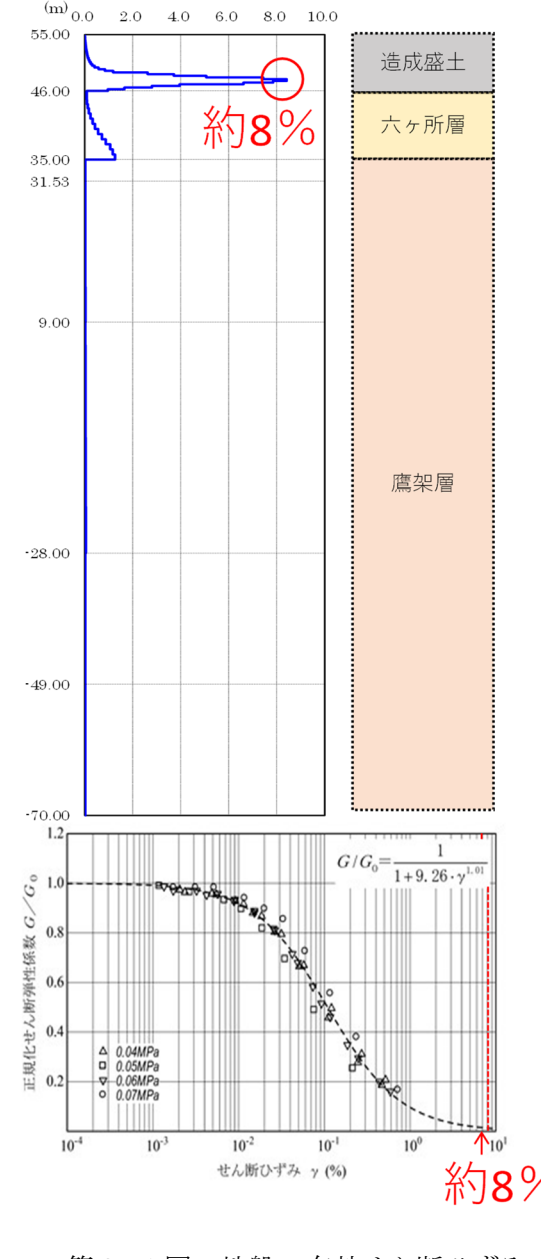
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>Ⅲ-6-2-1-1-1-1 別紙1 燃料加工建屋の地盤の非線形性に関する確認</p>	<p>Ⅲ-2-1-1-1-1-1 別紙1 燃料加工建屋の地盤の非線形性に関する確認</p>	<p>【備考における計算書呼び名の定義】 ・Ⅲ-6-2-1-1-1-1 別紙1 : 1.2×Ss 計算書 ・Ⅲ-2-1-1-1-1-1 別紙1 : 1.0×Ss 計算書</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p style="text-align: center;">目 次</p> <p style="text-align: right;">ページ</p> <p>1. 概要 3</p> <p>2. 入力地震動の算定方法に係る確認 4</p> <p>3. 逐次非線形解析の手法 8</p> <p>4. 確認結果 10</p> <p>5. まとめ 17</p>	<p style="text-align: center;">目 次</p> <p style="text-align: right;">ページ</p> <p>1. 概要 3</p> <p>2. 入力地震動の算定方法に係る確認 4</p> <p>3. 逐次非線形解析の手法 8</p> <p>4. 確認結果 10</p> <p>5. まとめ 17</p>	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>1. 概要</p> <p>本資料は、燃料加工建屋の地盤の等価線形解析にあたり、表層地盤の一部の層において、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ1%を大きく上回る場合があること、地盤の有効せん断ひずみが1%を大きく上回り、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果の外挿範囲となっていることを踏まえ、これらが入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認した結果を示すものである。</p>	<p>1. 概要</p> <p>本資料は、燃料加工建屋の地盤の等価線形解析にあたり、表層地盤の一部の層において、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ1%を大きく上回る場合があること、地盤の有効せん断ひずみが1%を大きく上回り、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果の外挿範囲となっていることを踏まえ、これらが入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認した結果を示すものである。</p>	<p>差異なし</p>

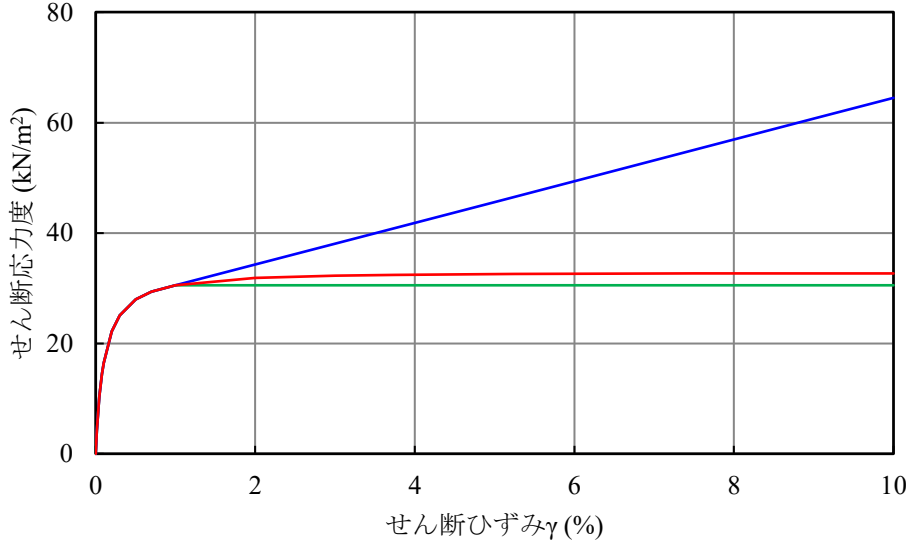
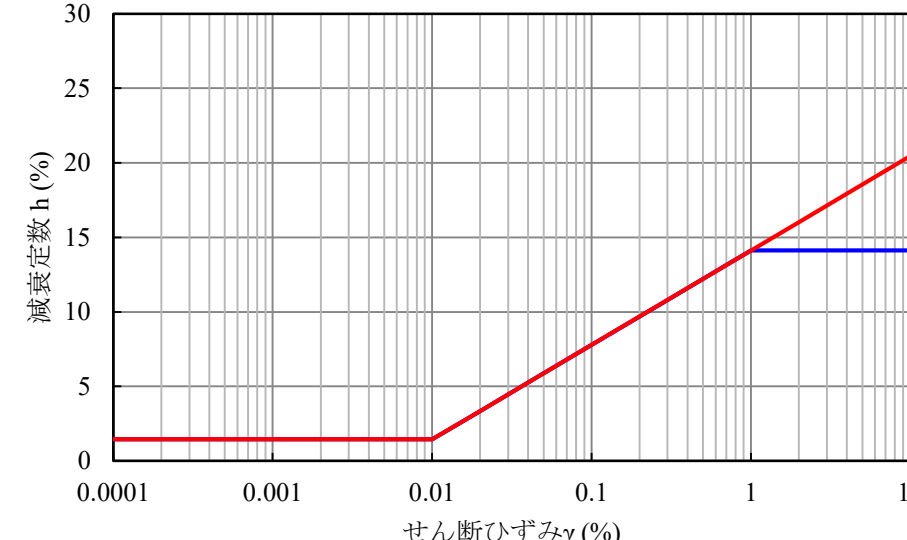
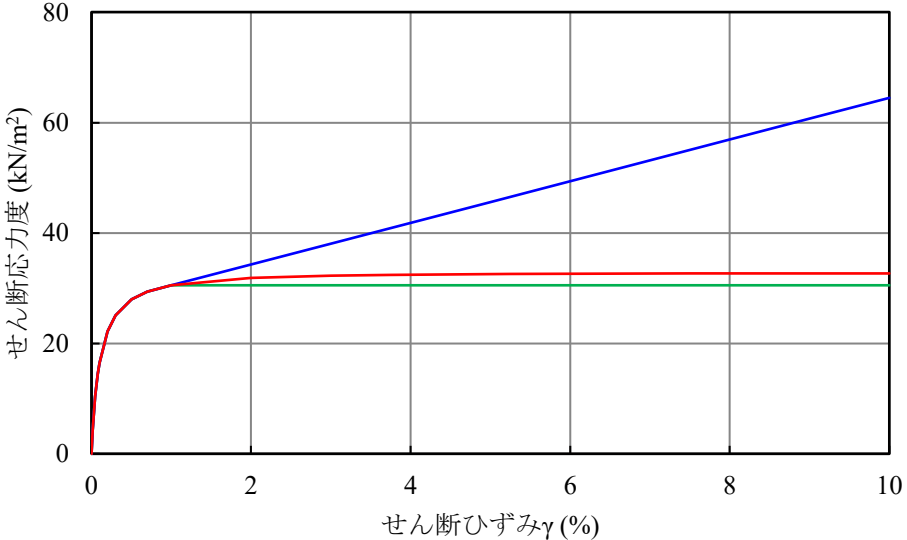
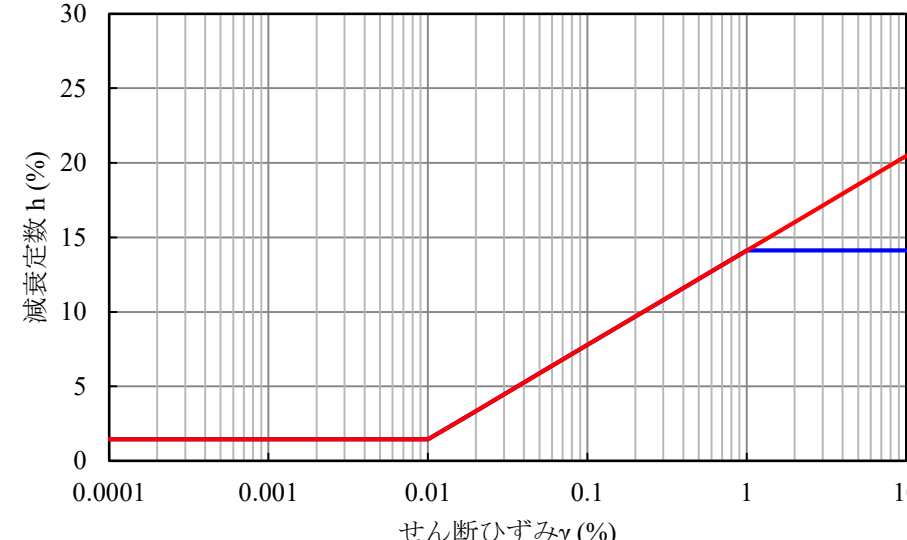
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>2. 入力地震動の算定方法に係る確認 (1) 概要 1.2×S_sによる評価のうち、地盤の有効せん断ひずみが最大となる、1.2×S_s-C1に対する等価線形解析結果を第2.-1図に示す。</p> <p>この解析結果において、地盤の等価線形解析の適用範囲について、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ1%を大きく上回ることが確認できる。また、表層地盤の造成盛土の一部層の地盤の有効せん断ひずみが、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果(約1%まで結果を有している)の範囲を大きく上回り、外挿範囲となっていることを踏まえ、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1別紙1 燃料加工建屋の地盤の非線形性に関する確認」と同様に、「(2)確認方法」に示すとおり、定量的な確認を行うこととする。</p>	<p>2. 入力地震動の算定方法に係る確認 (1) 概要 基準地震動S_sによる評価のうち、地盤の有効せん断ひずみが最大となる、地盤物性のばらつきを考慮したケース(-σ)の基準地震動S_s-C1に対する等価線形解析結果を第2.-1図に示す。</p> <p>この解析結果において、地盤の等価線形解析の適用範囲について、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ1%を大きく上回ることが確認できる。また、表層地盤の造成盛土の一部層の地盤の有効せん断ひずみが、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果(約1%まで結果を有している)の範囲を大きく上回り、外挿範囲となっていることが確認できる。</p> <p>地盤の等価線形解析の適用範囲については、「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC 4601-2008 ((社)日本電気協会)」によれば、支持岩盤の剛性低下率の平均値が0.7を下回らない範囲とされているが、再処理事業所の建物・構築物の基礎底面以深の地盤は、せん断ひずみが卓越しにくい硬質な岩盤であることから、上記の適用範囲外となることはないと考えられる。</p> <p>また、燃料加工建屋の地盤モデルは、建屋基礎底面以浅において、鷹架層及び六ヶ所層が分布しており、その上部に、軟質な造成盛土が分布している。第2.-1図に示すとおり、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ1%を大きく上回るのは、建屋基礎底面以浅の地盤のうち、造成盛土の一部の層である。</p> <p>建屋基礎底面以浅の地盤のうち、鷹架層及び六ヶ所層については、有効せん断ひずみは1%を大きく上回らない結果となっていることから、建屋応答への寄与の大きい基礎底面レベルにおける入力地震動のうち、上昇波については地盤のせん断ひずみが大きくなっていることによる影響はないと考えられる。</p> <p>地盤のせん断ひずみが大きくなる造成盛土からの反射波についても、造成盛土のひずみ依存特性において、有効せん断ひずみ1%の段階で、既に剛性としては概ね最低値付近まで低下しており、それ以上のひずみレベルにおける剛性低下を考慮したとしても、得られる等価物性値としては大きく変化しないことから、等価線形解析を用いたとしても、燃料加工建屋の入力地震動の算定結果に大きな影響を与えることはないと考えられる。</p> <p>以上の考え方に対して、「(2)確認方法」に示すとおり、定量的な確認を行うこととする。</p>	<p>考慮する地震動の違い 両計算書で同様であるため1.2×S_s計算書では省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>(2) 確認方法</p> <p>課題1：等価線形解析の適用について 等価線形解析の適用に対する定量的な確認として、等価線形解析に基づく地盤応答と、地盤の非線形特性を時々刻々と評価可能な逐次非線形解析に基づく地盤応答の比較を行うことにより、解析手法の相違が入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。 比較対象とする逐次非線形解析結果は、「3. 逐次非線形解析の手法」にて示すケースのうち、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果と一致するケース(基本ケース)によるものとする。</p> <p>課題2：ひずみ依存特性の外挿範囲について ひずみ依存特性の外挿部分に対する定量的な確認として、非線形特性のパラメータスタディを行い、外挿範囲のひずみ依存特性を変動させたとしても、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。 解析手法は、逐次非線形解析及び等価線形解析の両方に対してパラメータスタディを行い、外挿範囲のひずみ依存特性を変動させたとしても、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。 確認にあたっては、地盤のせん断ひずみの外挿範囲におけるひずみ依存特性について、非線形性が進む場合と進まない場合の両方を仮定条件としたケース(「3. 逐次非線形解析の手法」にて示すケースのうち、ケース①及びケース②)を設定したパラメータスタディを行い、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果と一致する基本ケースによる地盤応答との比較を行うことにより、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。</p>	<p>(2) 確認方法</p> <p>課題1：等価線形解析の適用について 等価線形解析の適用に対する定量的な確認として、等価線形解析に基づく地盤応答と、地盤の非線形特性を時々刻々と評価可能な逐次非線形解析に基づく地盤応答の比較を行うことにより、解析手法の相違が入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。 比較対象とする逐次非線形解析結果は、「3. 逐次非線形解析の手法」にて示すケースのうち、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果と一致するケース(基本ケース)によるものとする。</p> <p>課題2：ひずみ依存特性の外挿範囲について ひずみ依存特性の外挿部分に対する定量的な確認として、非線形特性のパラメータスタディを行い、外挿範囲のひずみ依存特性を変動させたとしても、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。 解析手法は、逐次非線形解析及び等価線形解析の両方に対してパラメータスタディを行い、外挿範囲のひずみ依存特性を変動させたとしても、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。 確認にあたっては、地盤のせん断ひずみの外挿範囲におけるひずみ依存特性について、非線形性が進む場合と進まない場合の両方を仮定条件としたケース(「3. 逐次非線形解析の手法」にて示すケースのうち、ケース①及びケース②)を設定したパラメータスタディを行い、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果と一致する基本ケースによる地盤応答との比較を行うことにより、入力地震動の算定結果に影響を与えないことを確認する。</p>	<p>差異なし</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
 <p>第2.-1図 地盤の有効せん断ひずみ (燃料加工建屋 1.2×Ss-C1の例)</p>	 <p>第2.-1図 地盤の有効せん断ひずみ (燃料加工建屋 Ss-C1-σケースの例)</p>	<p>考慮する地震動の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考																
<p>(3) 確認対象地震動 造成盛土の有効せん断ひずみが、一般的な適用の目安である1%を超過する地震動を第2.-1表に示す。本資料における入力地震動の算定方法に係る確認は、造成盛土における有効せん断ひずみが最も大きい、重大事故対処施設の評価に係る$1.2 \times S_s - C1$に対して行う。 入力地震動の算定方法に係る確認にあたっては、地盤のひずみレベルが大きいほど解析手法及び非線形特性の設定に起因する差が大きくなると考えられるため、地盤のせん断ひずみの小さいその他の地震波についても同様の傾向が示されると考えられる。</p> <p style="text-align: center;">第2.-1表 対象地震動</p> <table border="1" data-bbox="231 636 1294 840"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>地震動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">対象地震動(重大事故等対処施設)</td> <td>$1.2 \times S_s - A$, $1.2 \times S_s - B1$, $1.2 \times S_s - B2$,</td> </tr> <tr> <td>$1.2 \times S_s - B3$, $1.2 \times S_s - B4$, $1.2 \times S_s - B5$,</td> </tr> <tr> <td>$1.2 \times S_s - C1$, $1.2 \times S_s - C2$, $1.2 \times S_s - C3$,</td> </tr> <tr> <td>$1.2 \times S_s - C4$</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">□: 確認対象地震動</p>	評価	地震動	対象地震動(重大事故等対処施設)	$1.2 \times S_s - A$, $1.2 \times S_s - B1$, $1.2 \times S_s - B2$,	$1.2 \times S_s - B3$, $1.2 \times S_s - B4$, $1.2 \times S_s - B5$,	$1.2 \times S_s - C1$, $1.2 \times S_s - C2$, $1.2 \times S_s - C3$,	$1.2 \times S_s - C4$	<p>(3) 確認対象地震動 造成盛土の有効せん断ひずみが、一般的な適用の目安である1%を超過する地震動を第2.-1表に示す。本資料における入力地震動の算定方法に係る確認は、造成盛土における有効せん断ひずみが最も大きい、設計基準対象施設の評価に係る地盤物性のばらつきを考慮したケース($-\sigma$)の基準地震動$S_s - C1$に対して行う。 入力地震動の算定方法に係る確認にあたっては、地盤のひずみレベルが大きいほど解析手法及び非線形特性の設定に起因する差が大きくなると考えられるため、地盤のせん断ひずみの小さいその他の地震波についても同様の傾向が示されると考えられる。</p> <p style="text-align: center;">第2.-1表 対象地震動</p> <table border="1" data-bbox="1406 636 2469 999"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>地震動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">対象地震動(設計基準)</td> <td>$S_s - A$, $S_s - B1$, $S_s - B2$, $S_s - B3$, $S_s - B4$, $S_s - B5$, $S_s - C1$, $S_s - C3$, $S_s - C4$</td> </tr> <tr> <td>$S_d - C1$</td> </tr> <tr> <td>$S_s - A(+\sigma)$, $S_s - B3(+\sigma)$, $S_s - C1(+\sigma)$, $S_d - C1(+\sigma)$</td> </tr> <tr> <td>$S_s - A(-\sigma)$, $S_s - B1(-\sigma)$, $S_s - B3(-\sigma)$, $S_s - C1(-\sigma)$</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$S_d - A(-\sigma)$, $S_d - C1(-\sigma)$</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">□: 確認対象地震動</p>	評価	地震動	対象地震動(設計基準)	$S_s - A$, $S_s - B1$, $S_s - B2$, $S_s - B3$, $S_s - B4$, $S_s - B5$, $S_s - C1$, $S_s - C3$, $S_s - C4$	$S_d - C1$	$S_s - A(+\sigma)$, $S_s - B3(+\sigma)$, $S_s - C1(+\sigma)$, $S_d - C1(+\sigma)$	$S_s - A(-\sigma)$, $S_s - B1(-\sigma)$, $S_s - B3(-\sigma)$, $S_s - C1(-\sigma)$		$S_d - A(-\sigma)$, $S_d - C1(-\sigma)$	<p>考慮する地震動の違い</p>
評価	地震動																	
対象地震動(重大事故等対処施設)	$1.2 \times S_s - A$, $1.2 \times S_s - B1$, $1.2 \times S_s - B2$,																	
	$1.2 \times S_s - B3$, $1.2 \times S_s - B4$, $1.2 \times S_s - B5$,																	
	$1.2 \times S_s - C1$, $1.2 \times S_s - C2$, $1.2 \times S_s - C3$,																	
	$1.2 \times S_s - C4$																	
評価	地震動																	
対象地震動(設計基準)	$S_s - A$, $S_s - B1$, $S_s - B2$, $S_s - B3$, $S_s - B4$, $S_s - B5$, $S_s - C1$, $S_s - C3$, $S_s - C4$																	
	$S_d - C1$																	
	$S_s - A(+\sigma)$, $S_s - B3(+\sigma)$, $S_s - C1(+\sigma)$, $S_d - C1(+\sigma)$																	
	$S_s - A(-\sigma)$, $S_s - B1(-\sigma)$, $S_s - B3(-\sigma)$, $S_s - C1(-\sigma)$																	
	$S_d - A(-\sigma)$, $S_d - C1(-\sigma)$																	

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>3. 逐次非線形解析の手法</p> <p>入力地震動の算定手法に係る確認を行うために実施する解析は逐次非線形解析とする。逐次非線形解析は、時間領域において非線形性を逐次考慮しながら地盤応答を計算する方法であり、地盤の非線形性を考慮するために応力～ひずみ関係の骨格曲線を用いて評価する。</p> <p>本検討における逐次非線形解析に用いる土の非線形モデル、履歴曲線及び材料減衰の設定については、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1別紙1 燃料加工建屋の地盤の非線形性に関する確認」と同じものを用いる。</p> <p>非線形特性のパラメータスタディとしては、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1別紙1 燃料加工建屋の地盤の非線形性に関する確認」と同様に、第3.-1図及び第3.-2図に示すとおり、地盤の繰返し三軸圧縮試験結果に基づく$G/G_0-\gamma$曲線に対応する骨格曲線($\tau-\gamma$)について、地盤のせん断ひずみ1%以上の領域におけるせん断応力τ及び減衰定数hを変動させたケース①及びケース②を考慮する。</p> <p>逐次非線形解析については、解析コードは「MuDIAN Ver. 8.0」を用いる。 なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、「Ⅲ-3 計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。</p>	<p>3. 逐次非線形解析の手法</p> <p>入力地震動の算定手法に係る確認を行うために実施する解析は逐次非線形解析とする。逐次非線形解析は、時間領域において非線形性を逐次考慮しながら地盤応答を計算する方法であり、地盤の非線形性を考慮するために応力～ひずみ関係の骨格曲線を用いて評価する。</p> <p>本検討における土の非線形モデルについては、吉田ら^{*1*2}にて提案されている、調査結果から得られたひずみ依存特性と整合する動的特性を考慮することが可能な方法を用い、地盤の繰返し三軸圧縮試験結果に基づく$G/G_0-\gamma$曲線と一致する骨格曲線($\tau-\gamma$)を、第3.-1図の基本ケースに示すとおり設定する。履歴曲線は、地盤の逐次非線形解析を取り扱う文献^{*2*3}において広く用いられている Masing 則を適用する。本確認は、大ひずみ領域における大変形時の地盤の挙動に着目した検討であることから、本確認にて実施する逐次非線形解析に考慮する地盤の材料減衰は、変形量の大きい低周波領域で過大な減衰を与えない設定として、剛性比例減衰を定義する。</p> <p>逐次非線形解析は、荷重の載荷と除荷による時々刻々の影響を考慮し、力の釣り合いを時間領域で解析する手法であり、等価線形解析よりも大きなせん断ひずみに対して適用可能な手法である。</p> <p>なお、逐次非線形解析の大ひずみ領域における適用範囲について明確に示した知見はないものの、既往文献^{*3}において、逐次非線形解析を大ひずみ領域に適用する場合の留意事項として、骨格曲線の設定にあたり、地盤のせん断ひずみの増大に伴い応力が上昇する場合には、大きなひずみ領域における対応について確認する必要性が示されている。</p> <p>燃料加工建屋の造成盛土については、上記のとおり、地盤の繰返し三軸圧縮試験結果に基づく$G/G_0-\gamma$曲線と一致する骨格曲線($\tau-\gamma$)を設定しており、さらに、第3.-1図に示したとおり、試験結果が存在するせん断ひずみ1%までの領域でほぼ降伏していることから、試験結果が存在しない1%よりも大きいひずみ領域では、さらに大きな応力を負担するような設定にはなっていない。このことから、上記文献にて確認の必要性が示されているような、せん断ひずみの増大に伴い、実際の地盤では負担できない応力を考慮するような設定とはしていない。</p> <p>以上のことから、燃料加工建屋における確認にあたり、1%を超えるせん断ひずみに対して、逐次非線形解析を用いることに問題はないと考える。</p> <p>非線形特性のパラメータスタディとしては、第3.-1図に示すとおり、地盤の繰返し三軸圧縮試験結果に基づく$G/G_0-\gamma$曲線に対応する骨格曲線($\tau-\gamma$)について、地盤のせん断ひずみ1%以上の領域におけるせん断応力τを変動させることとする。</p> <p>具体的には、$G/G_0-\gamma$曲線に対応する骨格曲線をそのまま考慮したケース(基本ケース)に加え、極端な仮定条件として、地盤のせん断ひずみ1%以上において非線形化が進まず、せん断応力τの傾きが一定となるケース(ケース①)及び地盤のせん断ひずみ1%以上において地盤が降伏し、せん断応力τの傾きが0となるケース(ケース②)を考慮する。</p> <p>なお、上記ケース①及びケース②の条件では、地盤の繰返し三軸圧縮試験結果では、せん断ひずみ1%以降はデータが得られていないことを踏まえ、減衰が大きくなるような極端な設定として、第3.-2図に示すとおり、地盤の繰返し三軸圧縮試験結果に基づく$h-\gamma$曲線に対して、ひずみ1%以上の領域について一定の値を与えることとする。</p> <p>逐次非線形解析については、解析コードは「MuDIAN Ver. 8.0」を用いる。 なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、「Ⅲ-3 計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。</p> <p>注記 *1: 吉田望他: 地盤の1次元非線形解析に用いる土のせん断応力-せん断ひずみ関係のモデル化(日本建築学会大会学術講演梗概集, 1990年10月) *2: K. Ishihara et al.: Modelling of stress-strain relations of soils in cyclic loading (Fifth International Conference on Numerical Methods in Geomechanics / Nagoya / 1-5 April 1985) *3: 建物と地盤の動的相互作用を考慮した応答解析と耐震設計(日本建築学会, 2006年)</p>	<p>両計算書で同様であるため1.2×Ss 計算書では省略</p>

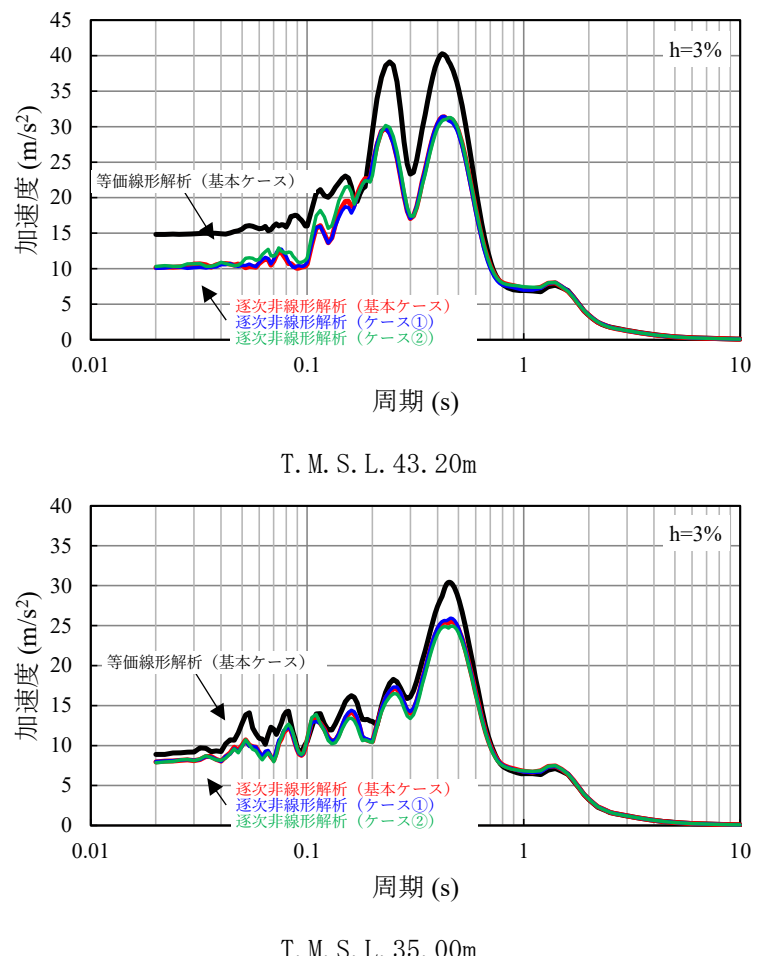
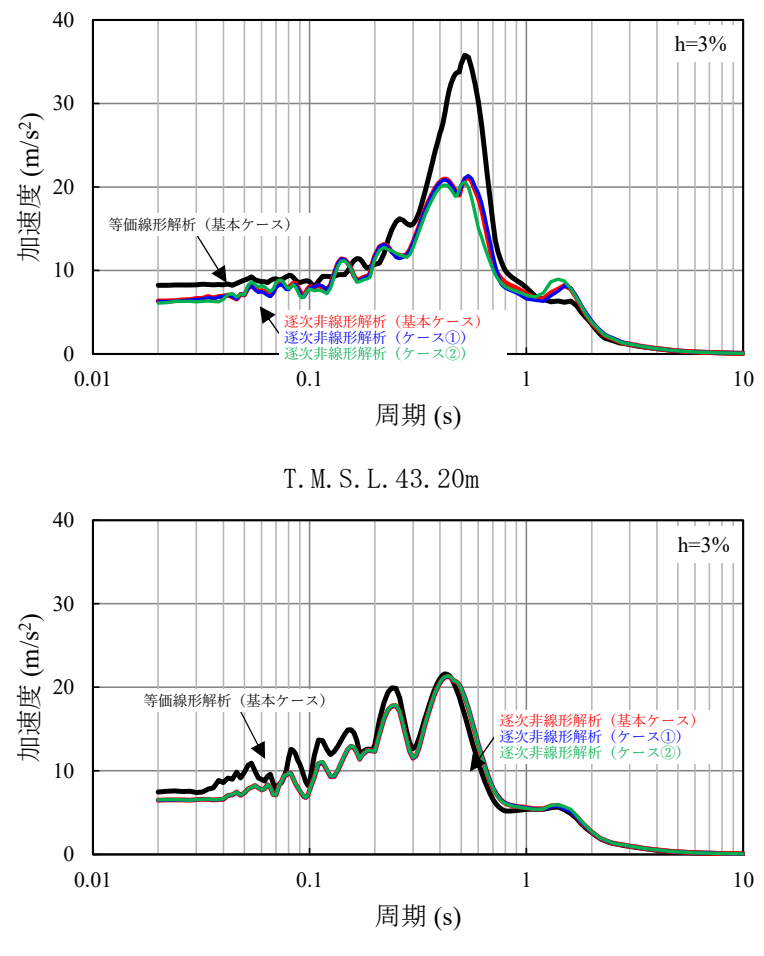
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p> — 基本ケース (繰返し三軸圧縮試験に基づく$G/G_0-\gamma$) — ケース① (1%以上で非線形化が進まないことを仮定) — ケース② (1%以上で地盤が降伏することを仮定) </p>  <p>せん断応力度 (kN/m²)</p> <p>せん断ひずみγ (%)</p> <p>第3.-1図 パラメータスタディにおいて考慮する地盤の骨格曲線</p> <p> — 基本ケース — ケース①及びケース② </p>  <p>減衰定数h (%)</p> <p>せん断ひずみγ (%)</p> <p>第3.-2図 パラメータスタディにおいて考慮する地盤の減衰定数</p>	<p> — 基本ケース (繰返し三軸圧縮試験に基づく$G/G_0-\gamma$) — ケース① (1%以上で非線形化が進まないことを仮定) — ケース② (1%以上で地盤が降伏することを仮定) </p>  <p>せん断応力度 (kN/m²)</p> <p>せん断ひずみγ (%)</p> <p>第3.-1図 パラメータスタディにおいて考慮する地盤の骨格曲線</p> <p> — 基本ケース — ケース①及びケース② </p>  <p>減衰定数h (%)</p> <p>せん断ひずみγ (%)</p> <p>第3.-2図 パラメータスタディにおいて考慮する地盤の減衰定数</p>	<p>差異なし</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>4. 確認結果</p> <p>(1) 概要 最も造成盛土における有効せん断ひずみ大きい、重大事故対処施設の評価に係る1.2×S_{s-C1}に対し、「3. 逐次非線形解析の手法」に示した基本ケースの逐次非線形解析、並びにケース①、ケース②の逐次非線形解析及び等価線形解析を実施し、入力地震動の比較を行った。 各ケースの地盤応答を第4.-1図及び4.-2図に示す。</p> <p>(2) 課題1：等価線形解析の適用について 等価線形解析（基本ケース）に基づく入力地震動と逐次非線形解析（基本ケース）に基づく入力地震動の比較として、燃料加工建屋基礎底面レベル（T.M.S.L. 31.53m）及び燃料加工建屋の側面入力地震動算定レベル（T.M.S.L. 34.23m, T.M.S.L. 35.00m, T.M.S.L. 43.20m）における地盤応答を比較した結果、第4.-2図に示すとおり、入力地震動の応答スペクトルは、逐次非線形解析に対して等価線形解析による算定結果が同等または保守的な結果となった。</p> <p>(3) 課題2：ひずみ依存特性の外挿範囲について 逐次非線形解析に考慮する非線形特性のパラメータスタディとして、ケース①及び②に基づく入力地震動と基本ケースに基づく入力地震動の比較として、燃料加工建屋基礎底面レベル（T.M.S.L. 31.53m）及び燃料加工建屋の側面入力地震動算定レベル（T.M.S.L. 34.23m, T.M.S.L. 35.00m, T.M.S.L. 43.20m）における地盤応答を比較した結果、第4.-2図に示すとおり、いずれの深さにおいても応答スペクトルの全周期帯において、有意な差はない結果となった。 また、等価線形解析に対して上記と同様のパラメータスタディを行った結果についても、第4.-3図及び第4.-4図に示すとおり、上記と同様の結果が得られた。</p>	<p>4. 確認結果</p> <p>(1) 概要 最も造成盛土における有効せん断ひずみ大きい、設計基準対象施設の評価に係る地盤物性のばらつきを考慮したケース(-σ)の基準地震動S_{s-C1}に対し、「3. 逐次非線形解析の手法」に示した基本ケースの逐次非線形解析、並びにケース①、ケース②の逐次非線形解析及び等価線形解析を実施し、入力地震動の比較を行った。 各ケースの地盤応答を第4.-1図及び4.-2図に示す。</p> <p>(2) 課題1：等価線形解析の適用について 等価線形解析（基本ケース）に基づく入力地震動と逐次非線形解析（基本ケース）に基づく入力地震動の比較として、燃料加工建屋基礎底面レベル（T.M.S.L. 31.53m）及び燃料加工建屋の側面入力地震動算定レベル（T.M.S.L. 34.23m, T.M.S.L. 35.00m, T.M.S.L. 43.20m）における地盤応答を比較した結果、第4.-2図に示すとおり、入力地震動の応答スペクトルは、逐次非線形解析に対して等価線形解析による算定結果が同等または保守的な結果となった。</p> <p>(3) 課題2：ひずみ依存特性の外挿範囲について 逐次非線形解析に考慮する非線形特性のパラメータスタディとして、ケース①及び②に基づく入力地震動と基本ケースに基づく入力地震動の比較として、燃料加工建屋基礎底面レベル（T.M.S.L. 31.53m）及び燃料加工建屋の側面入力地震動算定レベル（T.M.S.L. 34.23m, T.M.S.L. 35.00m, T.M.S.L. 43.20m）における地盤応答を比較した結果、第4.-2図に示すとおり、いずれの深さにおいても応答スペクトルの全周期帯において、有意な差はない結果となった。 また、等価線形解析に対して上記と同様のパラメータスタディを行った結果についても、第4.-4図に示すとおり、上記と同様の結果が得られた。</p>	<p>考慮する地震動の違い</p> <p>差異なし</p> <p>差異なし</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>有効せん断ひずみ(%)</p> <p>加速度 (cm/s²)</p> <p>標高 T.M.S.L. (m)</p> <p>— 等価線形解析 (基本ケース) — 逐次非線形解析 (基本ケース) — 逐次非線形解析 (ケース①) — 逐次非線形解析 (ケース②)</p>	<p>有効せん断ひずみ(%)</p> <p>加速度 (cm/s²)</p> <p>標高 T.M.S.L. (m)</p> <p>— 等価線形解析 (基本ケース) — 逐次非線形解析 (基本ケース) — 逐次非線形解析 (ケース①) — 逐次非線形解析 (ケース②)</p>	<p>備考</p> <p>考慮する地震動の違い</p>

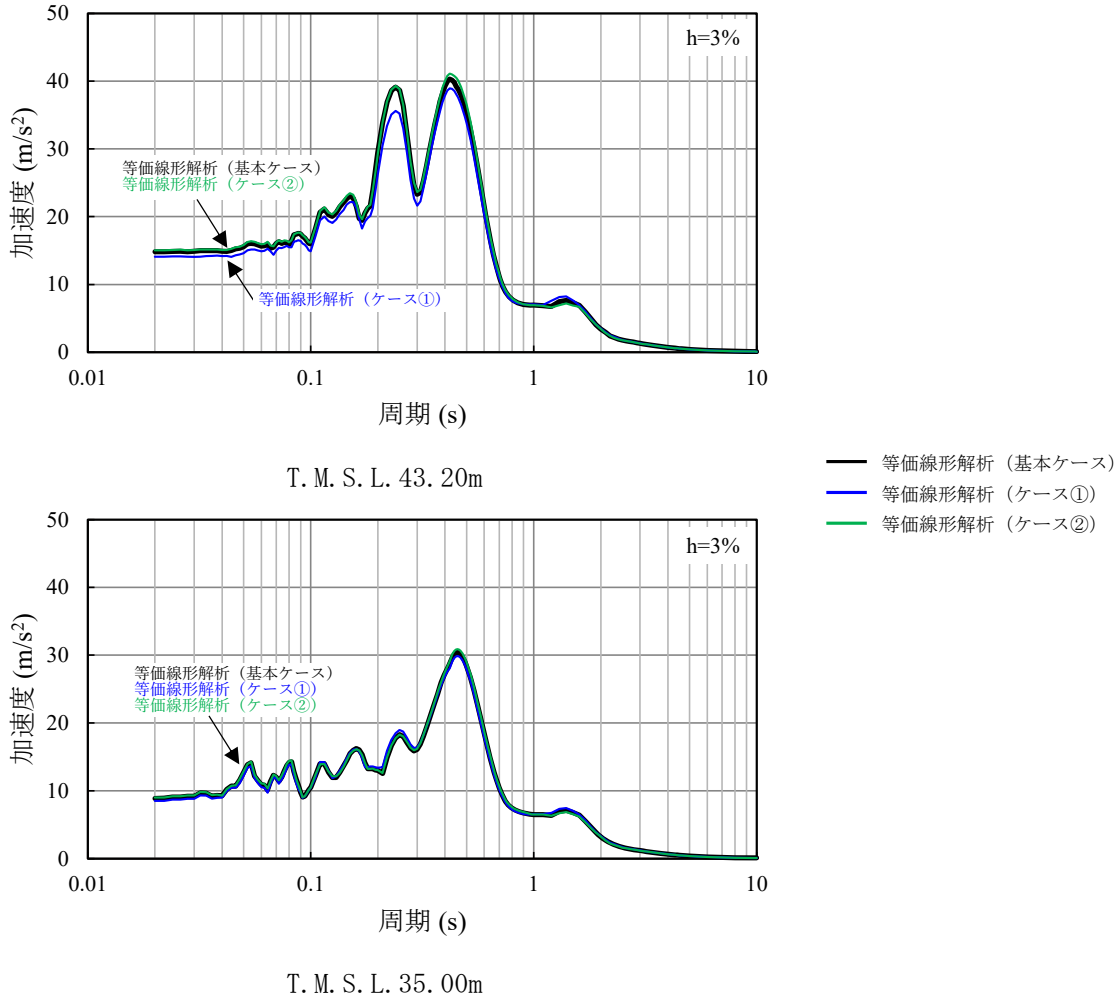
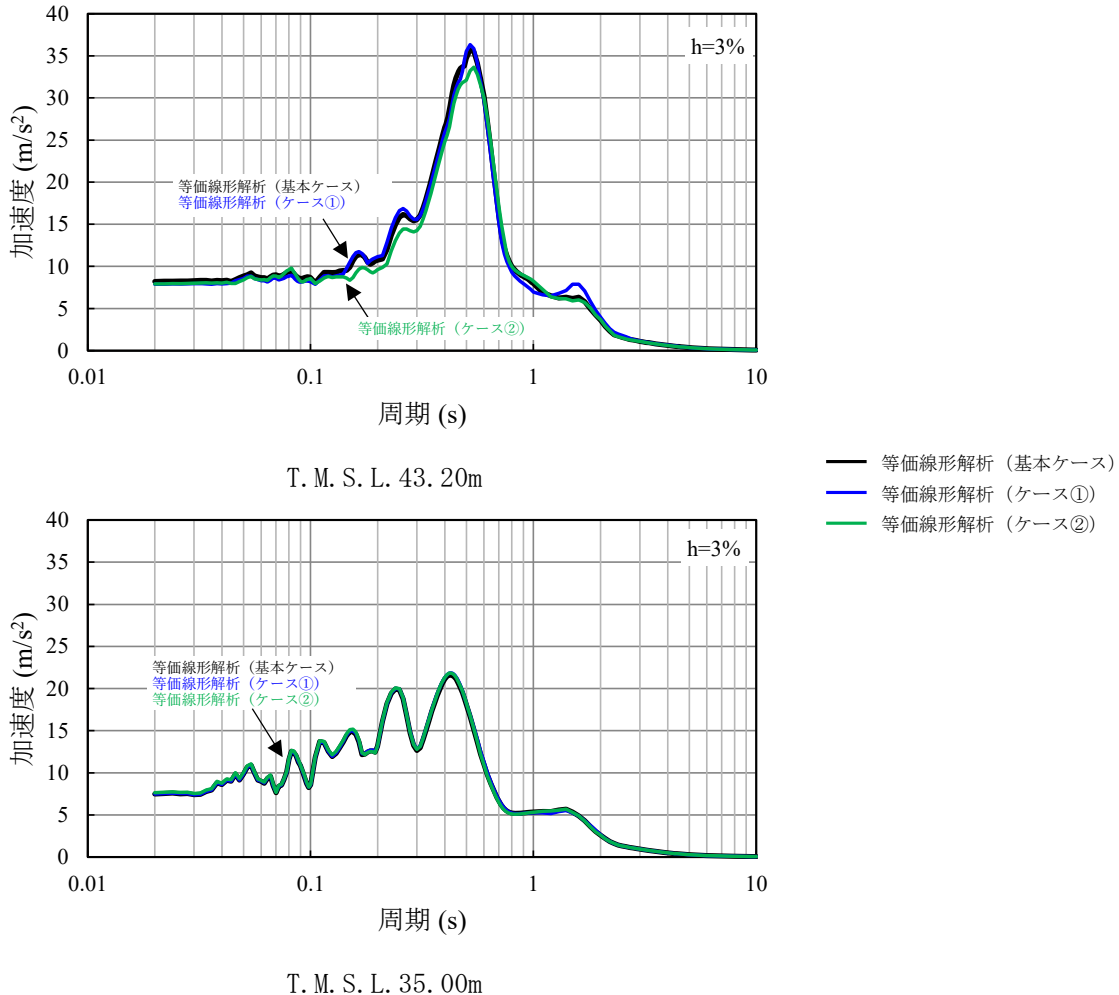
第4.-1図 地盤応答分布図 1.2×S_s-C1
 (逐次非線形解析)

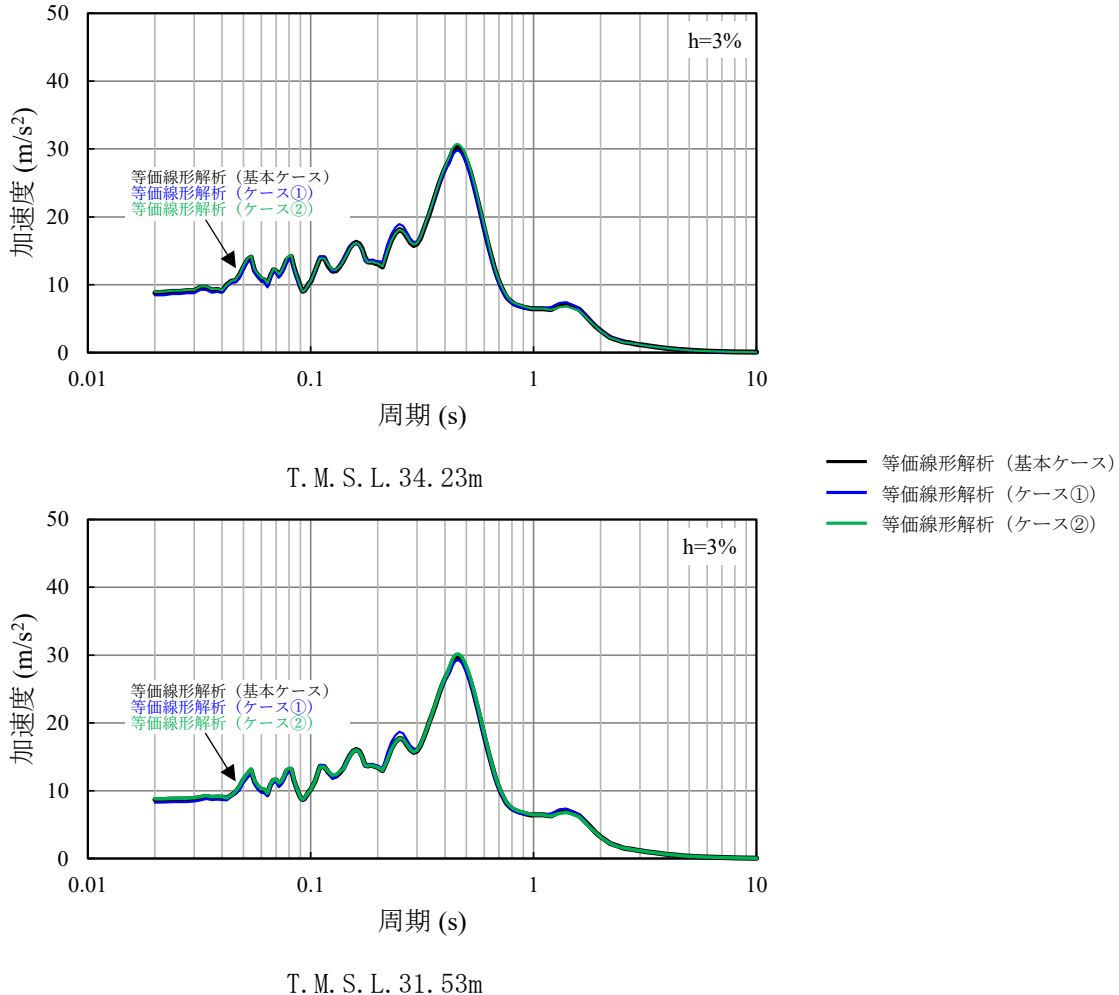
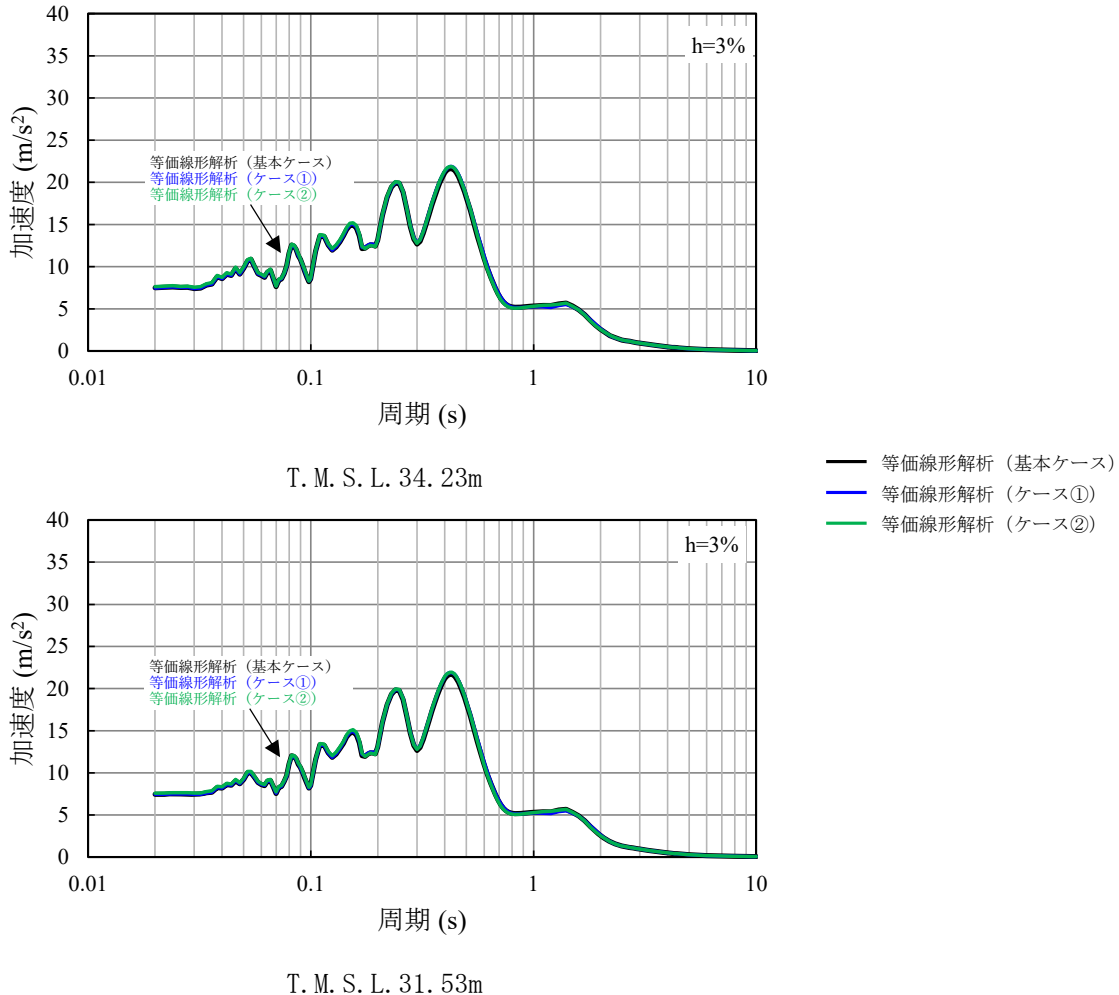
第4.-1図 地盤応答分布図 S_s-C1 (-σ)
 (逐次非線形解析)

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
 <p>第4.-2図 入力地震動の加速度応答スペクトル $1.2 \times S_s - C1$ (逐次非線形解析) (1/2)</p>	 <p>第4.-2図 入力地震動の加速度応答スペクトル $S_s - C1 (-\sigma)$ (逐次非線形解析) (1/2)</p>	<p>備考</p> <p>考慮する地震動の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>第4.-2図 入力地震動の加速度応答スペクトル $1.2 \times S_s - C1$ (逐次非線形解析) (2/2)</p>	<p>第4.-2図 入力地震動の加速度応答スペクトル $S_s - C1 (-\sigma)$ (逐次非線形解析) (2/2)</p>	<p>備考</p> <p>考慮する地震動の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>第4.-3図 地盤応答分布図 1.2×S_s-C1 (等価線形解析)</p>	<p>第4.-3図 地盤応答分布図 S_s-C1 (-σ) (等価線形解析)</p>	<p>考慮する地震動の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
 <p>第4.-4図 入力地震動の加速度応答スペクトル $1.2 \times S_s - C1$ (等価線形解析) (1/2)</p>	 <p>第4.-4図 入力地震動の加速度応答スペクトル $S_s - C1 (-\sigma)$ (等価線形解析) (1/2)</p>	<p>考慮する地震動の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
 <p>第4.-4図 入力地震動の加速度応答スペクトル $1.2 \times S_s - C1$ (等価線形解析) (2/2)</p>	 <p>第4.-4図 入力地震動の加速度応答スペクトル $S_s - C1 (-\sigma)$ (等価線形解析) (2/2)</p>	<p>考慮する地震動の違い</p>

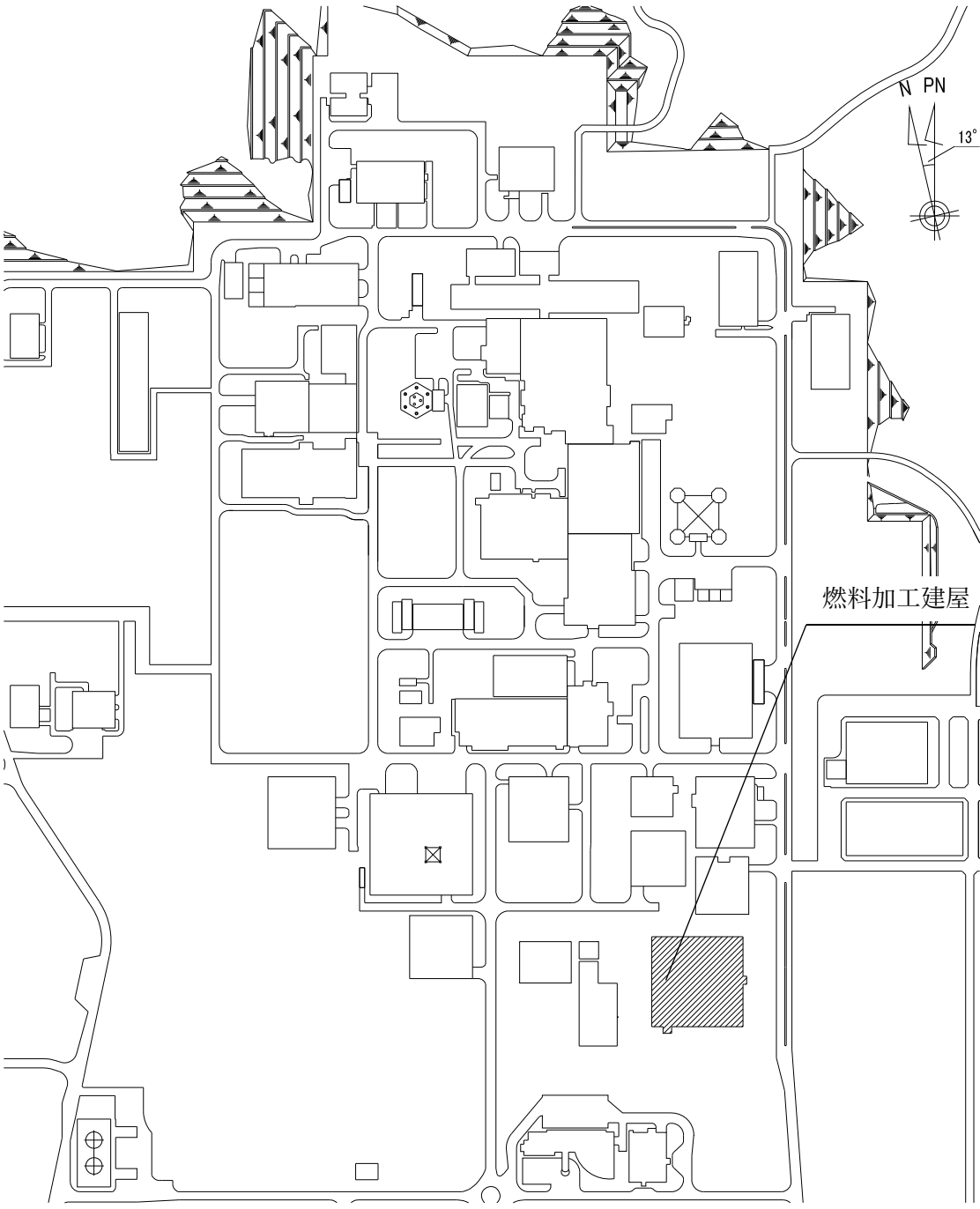
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-1 「燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」別紙1	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-1 「燃料加工建屋の地震応答計算書」別紙1	備考
<p>5. まとめ 以上の確認結果に基づくまとめを以下に示す。</p> <p>(1) 課題1：等価線形解析の適用について 「4. 確認結果」に示したとおり、地盤の有効せん断ひずみが1%を大きく超える範囲については、等価線形解析の一般的な適用の目安を上回るが、燃料加工建屋においては、逐次非線形解析と比較して等価線形解析による算定結果が同等または保守的な結果となったことから、燃料加工建屋の地震応答解析において表層地盤の一部の層の有効せん断ひずみが大きくなっていることに対して、等価線形解析を用いて入力地震動を算定することに問題はない。</p> <p>(2) 課題2：ひずみ依存特性の外挿範囲について 「4. 確認結果」に示したとおり、燃料加工建屋の造成盛土の一部の層において、地盤の有効せん断ひずみ度が、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果の外挿範囲となっていることについて、極端なパラメータスタディを行ったとしても、外挿範囲の設定が入力地震動の算定結果に有意な影響を与えない結果となったことから、燃料加工建屋の地震応答解析においては、繰返し三軸圧縮試験結果に基づき設定したひずみ依存特性を用いることに問題はない。</p>	<p>5. まとめ 以上の確認結果に基づくまとめを以下に示す。</p> <p>(1) 課題1：等価線形解析の適用について 「4. 確認結果」に示したとおり、地盤の有効せん断ひずみが1%を大きく超える範囲については、等価線形解析の一般的な適用の目安を上回るが、燃料加工建屋においては、逐次非線形解析と比較して等価線形解析による算定結果が同等または保守的な結果となったことから、燃料加工建屋の地震応答解析において表層地盤の一部の層の有効せん断ひずみが大きくなっていることに対して、等価線形解析を用いて入力地震動を算定することに問題はない。</p> <p>(2) 課題2：ひずみ依存特性の外挿範囲について 「4. 確認結果」に示したとおり、燃料加工建屋の造成盛土の一部の層において、地盤の有効せん断ひずみ度が、ひずみ依存特性における繰返し三軸圧縮試験結果の外挿範囲となっていることについて、極端なパラメータスタディを行ったとしても、外挿範囲の設定が入力地震動の算定結果に有意な影響を与えない結果となったことから、燃料加工建屋の地震応答解析においては、繰返し三軸圧縮試験結果に基づき設定したひずみ依存特性を用いることに問題はない。</p>	<p>差異なし</p>

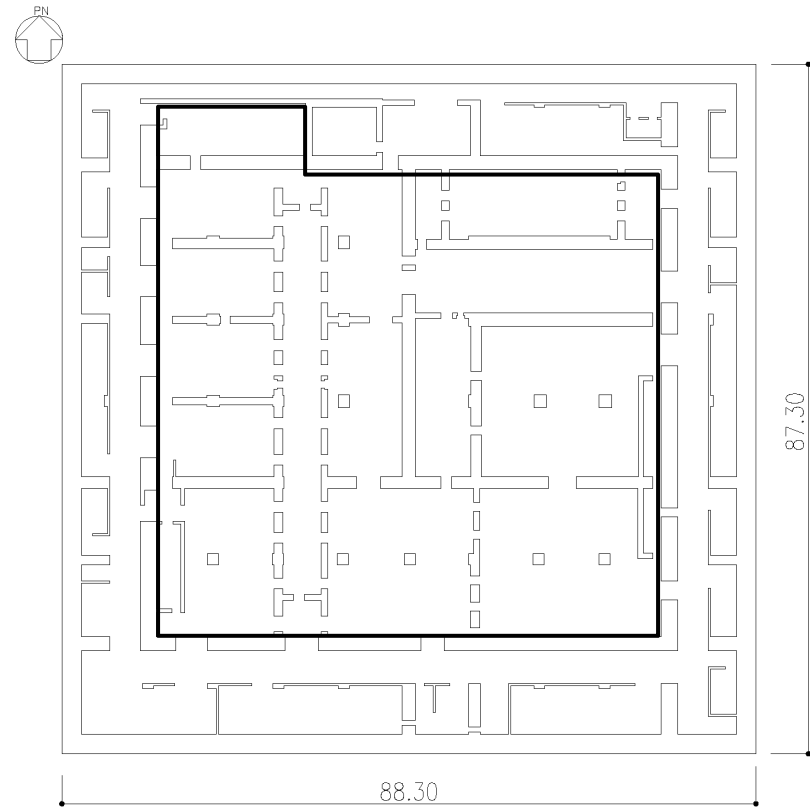
別紙4-17

燃料加工建屋の基準地震動を1.2倍 した地震力に対する耐震計算書

本添付書類は、別で定める方針に沿った評価・計算を示す書類であり、結果を示すものであることから、発電炉との比較は行わない。

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
<p>1. 概要</p> <p>本資料は、「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」に基づく燃料加工建屋の重大事故等対処の成立性確認における各部位の耐震評価結果について説明するものである。</p> <p>燃料加工建屋の重大事故等対処の成立性確認にあたっては、基準地震動S_sを1.2倍した地震力（以下、「1.2×S_s」という。）に対し、「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」に示す建屋に求められる要件が成立することを確認する。</p>	<p>1. 概要</p> <p>本資料は、「Ⅲ-1-1 耐震設計の基本方針」に基づき、燃料加工建屋の地震時の構造強度及び機能維持の確認について説明するものである。その評価は地震応答解析及び応力解析に基づいて行う。</p> <p>燃料加工建屋のうち、安全機能を有する施設においては、閉じ込め機能を確保する範囲である重要区域を構成する壁及び床は「Sクラスの施設」に分類され、建屋全体は「Sクラス施設の間接支持構造物」に分類される。また、重大事故等対処施設において、建屋全体は「常設耐震重要重大事故等対処設備の間接支持構造物」に分類され、それぞれの分類に応じた耐震評価を示す。</p>	<p>【備考における計算書呼び名の定義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ-6-2-1-1-1-2 : 「1.2×S_s 計算書」 ・Ⅲ-2-1-1-1-1-2 : 「1.0×S_s 計算書」 <p>計算書内容に則した概要の記載の違い</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<p>2. 基本方針 2.1 位置 燃料加工建屋の設置位置を第2.1-1図に示す。</p>  <p style="text-align: center;">第2.1-1図 燃料加工建屋の設置位置</p>	<p>燃料加工建屋の設置位置及び構造概要については評価内容によらず不変であるため、1.2×S_s計算書には記載しない。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<p>2.2 構造概要</p> <p>本建屋は、地下3階、地上2階建て、主体構造は鉄筋コンクリート造である。平面規模は主要部分で87.30m(NS)×88.30m(EW)であり、建屋の高さは基礎スラブ下端から45.97mである。</p> <p>本建屋の主要耐震要素は、鉄筋コンクリート造の外壁及び一部の内壁である。また、基礎スラブはマンメイドロックを介して岩盤に設置されている。</p> <p>燃料加工建屋の概略平面図を第2.2-1図～第2.2-7図に、概略断面図を第2.2-8図に示す。</p>  <p>閉じ込め機能を確保する範囲（重要区域）を示す。（単位：m）</p> <p>注記：建屋寸法は、壁外面押えとする。</p> <p>第2.2-1図 概略平面図 (T. M. S. L. 35.00m) 第2.2-2図 概略平面図 (T. M. S. L. 43.20m) 第2.2-3図 概略平面図 (T. M. S. L. 50.30m) 第2.2-4図 概略平面図 (T. M. S. L. 56.80m) 第2.2-5図 概略平面図 (T. M. S. L. 62.80m) 第2.2-6図 概略平面図 (T. M. S. L. 70.20m) 第2.2-7図 概略平面図 (T. M. S. L. 77.50m)</p> <p>第2.2-8図 概略断面図</p>	<p>前頁に同じ</p> <p>1.0S_s計算書において、第2.2-1図と同様に他フロアの平面図及び断面図が添付されるものであるため、本比較表上は省略</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
<p>2. 評価方針</p> <p>燃料加工建屋の重大事故等対処の成立性確認としての地震時の評価においては、$1.2 \times S_s$に対する評価を行うこととし、「Ⅲ-6-2-1-1-1-1 燃料加工建屋の基準地震動S_sを1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」の結果を踏まえたものとする。</p> <p>燃料加工建屋の評価は、「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」に基づき、建屋全体のせん断ひずみ度に対する評価、支持地盤が建物を十分に支持できることの評価及び重大事故等対処に係る設備を支持するまたはアクセスルート及び操作場所を構成する部位に対する評価を行う。ここで、燃料加工建屋では、運転時、設計基準事故時及び重大事故等時の状態において、圧力、温度等の条件について有意な差異がないことから、重大事故等対処施設としての評価は、安全機能を有する施設と同一となる。</p>	<p>2.3 評価方針</p> <p>燃料加工建屋の安全機能を有する施設としての地震時の評価においては、基準地震動S_sによる地震力に対する評価（以下、「S_s地震時に対する評価」という。）、弾性設計用地震動S_dによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対する評価（以下、「S_d地震時に対する評価」という。）及び保有水平耐力の評価を行うこととし、それぞれの評価は「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」の結果を踏まえたものとする。</p> <p>燃料加工建屋の評価は、「Ⅲ-1-1 耐震設計の基本方針」に基づき、地震応答解析によりせん断ひずみ度、接地圧及び保有水平耐力の評価を、応力解析により断面の評価を行うことで、燃料加工建屋の構造強度、機能維持の確認を行う。評価にあたっては地盤物性のばらつきを考慮する。</p> <p>また、重大事故等対処施設としての評価においては、S_s地震時に対する評価及び保有水平耐力に対する評価を行う。ここで、燃料加工建屋では、運転時、設計基準事故時及び重大事故等時の状態において、圧力、温度等の条件について有意な差異がないことから、重大事故等対処施設としての評価は、安全機能を有する施設と同一となる。</p> <p>燃料加工建屋の評価フローを第2.3-1図に示す。</p>	<p>考慮する地震動、引用する添付書類、評価項目の違い</p> <p>1.2×S_sに対しては保有水平耐力に対する評価は無い</p> <p>1.2×S_sに対する評価は、前頁のとおり「添付書類Ⅲ-6-1」に基づき実施しており、当該添付書類にフロー図を添付していることから、本資料にフロー図は添付しない。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<p>注記 * : 「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」の結果を踏まえて評価を行う。</p> <pre> graph TD Start[評価開始] --> Policy[基本方針] Policy --> Earthquake[Evaluation by Earthquake Response Analysis] Policy --> Response[Evaluation by Response Analysis] Earthquake --> Drift[せん断ひずみ度の評価] Earthquake --> Pressure[接地圧の評価] Earthquake --> Resistance[保有水平耐力の評価] Response --> Section[断面の評価] Drift --> Conf1[■構造強度の確認 ■機能維持の確認 [支持機能の維持] [閉じ込め機能の維持]] Pressure --> Conf2[■構造強度の確認] Resistance --> Conf3[■構造強度の確認] Section --> Conf4[■構造強度の確認 ■機能維持の確認 [支持機能の維持] [閉じ込め機能の維持]] Conf1 --> End[評価終了] Conf2 --> End Conf3 --> End Conf4 --> End </pre> <p>第2.3-1図 燃料加工建屋の評価フロー</p>	<p>1.2×S_sに対する評価は、前頁のとおり「添付書類Ⅲ-6-1」に基づき実施しており、当該添付書類にフロー図を添付していることから、本資料にフロー図は添付しない。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
<p>3. 準拠規格・基準等 燃料加工建屋の評価において準拠する規格・基準等を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法・同施行令 ・鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説-許容応力度設計法- ((社)日本建築学会, 1999) (以下, 「RC規準」という。) ・原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 ((社)日本建築学会, 2005) (以下, 「RC-N規準」という。) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1987 ((社)日本電気協会) <ul style="list-style-type: none"> ・原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG 4601・補-1984 ((社)日本電気協会) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1991 追補版 ((社)日本電気協会) (以下, 「JEAG4601」と記載しているものは上記3指針を指す。) 	<p>2.4 準拠規格・基準等 燃料加工建屋の評価において, 準拠する規格・基準等を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法・同施行令・同告示 ・鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説-許容応力度設計法- ((社)日本建築学会, 1999) (以下, 「RC規準」という。) ・原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 ((社)日本建築学会, 2005) (以下, 「RC-N規準」という。) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987 ((社)日本電気協会) ・原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984 ((社)日本電気協会) ・原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991 追補版 ((社)日本電気協会) (以下, 「JEAG4601」と記載しているものは上記3指針を指す。) 	<p>相違点無し</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<p>3. 地震応答解析による評価方法</p> <p>地震応答解析による評価において、燃料加工建屋の構造強度については、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」に基づき、地盤物性のばらつきを考慮した最大せん断ひずみ度が許容限界を超えないこと、最大接地圧が地盤の支持力を十分下回ること、及び保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認する。</p> <p>また、支持機能及び閉じ込め機能の維持については、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」に基づき、地盤物性のばらつきを考慮した耐震壁の最大せん断ひずみ度が許容限界を超えないことを確認する。</p> <p>地震応答解析による評価における燃料加工建屋の許容限界は、「Ⅲ-1-1-8 機能維持の基本方針」に記載の構造強度上の制限及び機能維持の方針に基づき、第3.-1表のとおり設定する。</p>	<p>「1.2×S_s 計算書」における耐震壁のせん断ひずみに対する評価方法については、「4. 評価方法及び結果」において合わせて示す。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																																
	<p style="text-align: center;">第3.-1表 地震応答解析による評価における許容限界(1/2) (a) 安全機能を有する施設としての評価</p> <table border="1" data-bbox="1412 390 2457 1213"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>機能維持のための考え方</th> <th>許容限界(評価基準値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">構造強度を有すること</td> <td style="text-align: center;">基準地震動 S_s</td> <td style="text-align: center;">重要区域の壁</td> <td>耐震壁の最大せん断ひずみ度が構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認</td> <td style="text-align: center;">最大せん断ひずみ度 2.0×10⁻³</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基準地震動 S_s</td> <td style="text-align: center;">基礎地盤</td> <td>最大接地圧が地盤の支持力を十分下回ることを確認</td> <td style="text-align: center;">極限支持力度 8500kN/m²</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">保有水平耐力</td> <td style="text-align: center;">構造物全体</td> <td>保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認</td> <td style="text-align: center;">必要保有水平耐力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の過度の放出を防止する機能を損なわないこと</td> <td style="text-align: center;">基準地震動 S_s</td> <td style="text-align: center;">重要区域の壁</td> <td>耐震壁の最大せん断ひずみ度が放射性物質の過度の放出を防止する機能を維持するための許容限界を超えないことを確認*1</td> <td style="text-align: center;">最大せん断ひずみ度 2.0×10⁻³</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支持機能*2</td> <td>機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td style="text-align: center;">基準地震動 S_s</td> <td style="text-align: center;">耐震壁*3</td> <td>最大せん断ひずみ度が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td style="text-align: center;">最大せん断ひずみ度 2.0×10⁻³</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 機能維持のための考え方は「重要区域の壁及び床が諸室としての構成を喪失しないこと」であるが、さらなる安全余裕を考慮して、評価基準値としては、耐震壁の構造強度の確認に用いる許容限界を採用する。 *2: 「支持機能」の確認には、「内包する設備に対する波及的影響」の確認が含まれる。 *3: 建屋全体としては、地震力は主に耐震壁で負担する構造となっており、柱、梁、間仕切壁等が耐震壁の変形に追従することと、全体に剛性の高い構造となっており複数の耐震壁間の相対変位が小さく床スラブの変位が抑えられるため、各層の耐震壁が最大せん断ひずみ度の許容限界を満足していれば、建物・構築物に要求される機能は維持される。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)	-	構造強度を有すること	基準地震動 S _s	重要区域の壁	耐震壁の最大せん断ひずみ度が構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³	基準地震動 S _s	基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力を十分下回ることを確認	極限支持力度 8500kN/m ²	保有水平耐力	構造物全体	保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認	必要保有水平耐力	閉じ込め機能	放射性物質の過度の放出を防止する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	重要区域の壁	耐震壁の最大せん断ひずみ度が放射性物質の過度の放出を防止する機能を維持するための許容限界を超えないことを確認*1	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³	支持機能*2	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	耐震壁*3	最大せん断ひずみ度が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³	<p>1.2×S_s 計算書における評価部位及び許容限界については、その考え方を「添付書類Ⅲ-6-1」に示し、具体的な設定を「4. 評価方法及び結果」において示す。</p>
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)																													
-	構造強度を有すること	基準地震動 S _s	重要区域の壁	耐震壁の最大せん断ひずみ度が構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³																													
		基準地震動 S _s	基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力を十分下回ることを確認	極限支持力度 8500kN/m ²																													
		保有水平耐力	構造物全体	保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認	必要保有水平耐力																													
閉じ込め機能	放射性物質の過度の放出を防止する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	重要区域の壁	耐震壁の最大せん断ひずみ度が放射性物質の過度の放出を防止する機能を維持するための許容限界を超えないことを確認*1	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³																													
支持機能*2	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	耐震壁*3	最大せん断ひずみ度が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³																													

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																						
	<p style="text-align: center;">第3.-1表 地震応答解析による評価における許容限界 (2/2) (b) 重大事故等対処施設としての評価</p> <table border="1" data-bbox="1412 394 2457 873"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>機能維持のための考え方</th> <th>許容限界(評価基準値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">構造強度を有すること</td> <td style="text-align: center;">基準地震動 S_s</td> <td style="text-align: center;">基礎地盤</td> <td>最大接地圧が地盤の支持力を十分下回ることを確認</td> <td style="text-align: center;">極限支持力度 8500kN/m²</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">保有水平耐力</td> <td style="text-align: center;">構造物全体</td> <td>保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認</td> <td style="text-align: center;">必要保有水平耐力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支持機能*1</td> <td style="text-align: center;">機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td style="text-align: center;">基準地震動 S_s</td> <td style="text-align: center;">耐震壁*2</td> <td>最大せん断ひずみ度が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td style="text-align: center;">最大せん断ひずみ度 2.0×10⁻³</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 「支持機能」の確認には、「内包する設備に対する波及的影響」の確認が含まれる。 *2: 建屋全体としては、地震力は主に耐震壁で負担する構造となっており、柱、梁、間仕切壁等が耐震壁の変形に追従することと、全体に剛性の高い構造となっており複数の耐震壁間の相対変位が小さく床スラブの変位が抑えられるため、各層の耐震壁が最大せん断ひずみ度の許容限界を満足していれば、建物・構築物に要求される機能は維持される。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)	-	構造強度を有すること	基準地震動 S _s	基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力を十分下回ることを確認	極限支持力度 8500kN/m ²	保有水平耐力	構造物全体	保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認	必要保有水平耐力	支持機能*1	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	耐震壁*2	最大せん断ひずみ度が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³	<p style="text-align: center;">前頁に同じ</p>
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)																			
-	構造強度を有すること	基準地震動 S _s	基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力を十分下回ることを確認	極限支持力度 8500kN/m ²																			
		保有水平耐力	構造物全体	保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認	必要保有水平耐力																			
支持機能*1	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	耐震壁*2	最大せん断ひずみ度が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ度 2.0×10 ⁻³																			

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<p>4. 応力解析による評価方法</p> <p>4.1 評価対象部位及び評価方針</p> <p>燃料加工建屋の応力解析による評価対象部位は、基礎スラブ、重要区域の壁及び床とし、S_d地震時及びS_s地震時に対して以下の方針に基づき評価を行う。</p> <p>応力解析による評価フローを第4.1-1表に示す。応力解析にあたっては、「Ⅲ-2-1-1-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」より得られた結果を用いて、荷重の組合せを行う。また、地震荷重の設定においては、地盤物性のばらつきを考慮する。</p> <p>基礎スラブのS_s地震時に対する評価は、FEMモデルを用いた弾性応力解析によることとし、地震力と地震力以外の荷重の組合せの結果、発生する応力が、「RC-N規準」に基づき設定した許容限界を超えないことを確認する。</p> <p>重要区域の壁のS_d地震時に対する評価は、せん断力分配解析を用いた弾性応力解析によることとし、地震力と地震力以外の荷重の組合せの結果、発生する応力が、「RC-N規準」に基づき設定した許容限界を超えないことを確認する。</p> <p>重要区域の床のS_d地震時及びS_s地震時に対する評価は、弾性応力解析により評価を行うこととし、その評価は、鉛直方向の地震力と地震力以外の荷重の組合せの結果、発生する応力が、「RC-N規準」に基づき設定した許容限界を超えないことを確認する。なお、水平方向の地震荷重に対する床スラブの評価は、建屋全体が剛性の高い構造となっており複数の耐震壁間の相対変形が小さく、床スラブの面内変形が抑えられることから、「3. 地震応答解析による評価方法」に含まれる。</p>	<p>1.2×S_s 計算書における各部位に発生する応力に対する評価方法については、「4. 評価方法及び結果」において合わせて示す。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<div data-bbox="1555 457 2318 1352" data-label="Diagram"> <pre> graph TD Start[評価開始] --> Earthquake[地震荷重*] Start --> NonEarthquake[地震力以外の荷重] Earthquake --> Combination[荷重の組合せ] NonEarthquake --> Combination Combination --> Limits[許容限界の設定 (「RC-N規準」に基づく)] Limits --> Model[解析モデル及び諸元の設定] Model --> Stress[Ss地震時の応力評価] Stress --> Section[断面の評価] Section --> End[評価終了] </pre> <p>注記 * : 地盤物性のばらつきを考慮する。</p> <p>(a) 基礎スラブ</p> </div>	<p>前頁に同じ</p>

第4.1-1図 応力解析の評価フロー (1/2)

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動 S_s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<pre> graph TD Start[評価開始] --> SD[地震荷重*1] Start --> NonSD[地震力以外の荷重] SD --> Comb[荷重の組合せ] NonSD --> Comb Comb --> SdEval[S d 地震時の評価] Comb --> SsEval[S s 地震時の評価*2] SdEval --> Limits[許容限界の設定 (「RC-N 規準」に基づく)] SsEval --> Limits Limits --> Model[解析モデル及び諸元の設定] Model --> SdResp[S d 地震時の応力評価] Model --> SsResp[S s 地震時の応力評価] SdResp --> Section[断面の評価] SsResp --> Section Section --> End[評価終了] </pre> <p>注記 *1：地盤物性のばらつきを考慮する。 *2：S_s 地震時の評価は重要区域の床のみ実施する。 (b) 重要区域の壁及び床 第4.1-1図 応力解析の評価フロー (2/2)</p>	<p>前頁に同じ</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																			
	<p>4.2 荷重及び荷重の組合せ 各部位の評価における荷重及び荷重の組合せは、「Ⅲ-1-1 耐震設計の基本方針」にて設定している荷重及び荷重の組合せを用いる。</p> <p>4.2.1 荷重 各部位の評価において考慮する荷重を第4.2.1-1表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第4.2.1-1 考慮する荷重</p> <table border="1" data-bbox="1359 562 2510 1100"> <thead> <tr> <th>荷重名称</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鉛直荷重(VL)</td> <td>固定荷重(DL)</td> <td>建造物の自重</td> </tr> <tr> <td>配管荷重(PL)</td> <td>配管による荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。</td> </tr> <tr> <td>機器荷重(EL)</td> <td>建屋内に格納される主要機器の荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。</td> </tr> <tr> <td>積載荷重(LL)</td> <td>家具, 什器, 人員荷重の他, 機器荷重に含まれない小さな機器類の荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。</td> </tr> <tr> <td>積雪荷重(SL)</td> <td>積雪量 190cm 地震荷重と組み合わせる場合は0.35の係数を乗じた値とする。</td> </tr> <tr> <td>地震荷重(S)</td> <td>地盤物性のばらつきを考慮した地震荷重</td> </tr> <tr> <td>土圧荷重(G)</td> <td>地下外壁に加わる土圧 土圧による荷重分布を第4.2.1-1図に示す。</td> </tr> <tr> <td>浮力(B)</td> <td>地下水位に応じた浮力による荷重</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第4.2.1-2表 PL, EL, LL 一覧 第4.2.1-1図 土圧による荷重分布</p>	荷重名称	内容	鉛直荷重(VL)	固定荷重(DL)	建造物の自重	配管荷重(PL)	配管による荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。	機器荷重(EL)	建屋内に格納される主要機器の荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。	積載荷重(LL)	家具, 什器, 人員荷重の他, 機器荷重に含まれない小さな機器類の荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。	積雪荷重(SL)	積雪量 190cm 地震荷重と組み合わせる場合は0.35の係数を乗じた値とする。	地震荷重(S)	地盤物性のばらつきを考慮した地震荷重	土圧荷重(G)	地下外壁に加わる土圧 土圧による荷重分布を第4.2.1-1図に示す。	浮力(B)	地下水位に応じた浮力による荷重	<p>1.2×S_s 計算書における荷重の考え方については、「4.評価方法及び結果」の中で示す。</p> <p>具体の数値に係る表については、本比較表上は省略</p>
荷重名称	内容																				
鉛直荷重(VL)	固定荷重(DL)	建造物の自重																			
	配管荷重(PL)	配管による荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。																			
	機器荷重(EL)	建屋内に格納される主要機器の荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。																			
	積載荷重(LL)	家具, 什器, 人員荷重の他, 機器荷重に含まれない小さな機器類の荷重 荷重一覧を第4.2.1-2表に示す。																			
積雪荷重(SL)	積雪量 190cm 地震荷重と組み合わせる場合は0.35の係数を乗じた値とする。																				
地震荷重(S)	地盤物性のばらつきを考慮した地震荷重																				
土圧荷重(G)	地下外壁に加わる土圧 土圧による荷重分布を第4.2.1-1図に示す。																				
浮力(B)	地下水位に応じた浮力による荷重																				

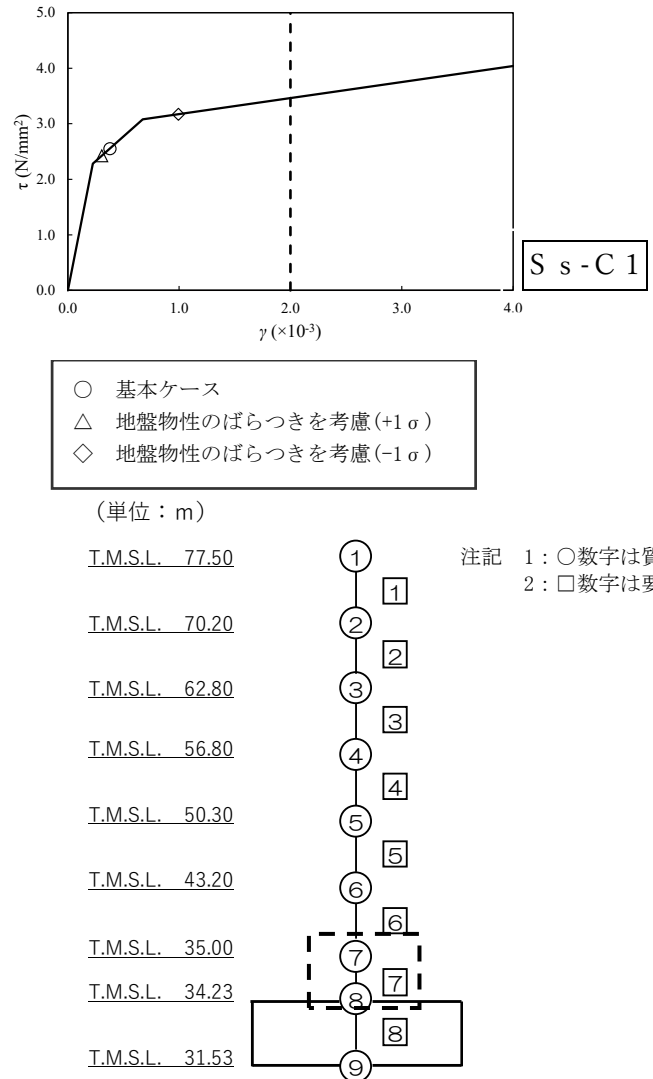
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考						
	<p>4.2.2 荷重の組合せ 各部位の評価において考慮する荷重の組合せを第4.2.2-1表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第4.2.2-1表 荷重の組合せ</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>荷重の組合せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎スラブ</td> <td>VL+SL+S+G+B</td> </tr> <tr> <td>重要区域の壁及び床</td> <td>VL+SL+S</td> </tr> </tbody> </table>	部位	荷重の組合せ	基礎スラブ	VL+SL+S+G+B	重要区域の壁及び床	VL+SL+S	<p>1.2×S_s 計算書における荷重の考え方については、「4. 評価方法及び結果」の中で示す。</p>
部位	荷重の組合せ							
基礎スラブ	VL+SL+S+G+B							
重要区域の壁及び床	VL+SL+S							

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																								
	<p>4.3 許容限界 応力解析による評価における燃料加工建屋の許容限界は、「Ⅲ-1-1-8 機能維持の基本方針」に記載の構造強度上の制限及び機能維持の方針に基づき、第4.3-1表及び第4.3-2表のとおり設定する。 また、基礎スラブに関するコンクリートの圧縮強度を第4.3-3表に、鉄筋（主筋）の降伏強度を第4.3-4表に、重要区域の壁及び床に関するコンクリートの短期許容応力度を第4.3-5表に、鉄筋（主筋）の短期許容応力度を第4.3-6表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第4.3-1表 応力解析による評価における基礎スラブの許容限界 (a) 安全機能を有する施設としての評価</p> <table border="1" data-bbox="1412 663 2460 905"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>機能維持のための考え方</th> <th>許容限界(評価基準値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支持機能*</td> <td>機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td>基準地震動 S_s</td> <td>基礎スラブ</td> <td>部材に生じる応力が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>「RC-N規準」に基づく終局耐力</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：「支持機能」の確認には、「内包する設備に対する波及的影響」の確認が含まれる。</p> <p style="text-align: center;">(b) 重大事故等対処施設としての評価</p> <table border="1" data-bbox="1412 1041 2460 1283"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>機能維持のための考え方</th> <th>許容限界(評価基準値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支持機能*</td> <td>機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td>基準地震動 S_s</td> <td>基礎スラブ</td> <td>部材に生じる応力が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>「RC-N規準」に基づく終局耐力</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：「支持機能」の確認には、「内包する設備に対する波及的影響」の確認が含まれる。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)	支持機能*	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	基礎スラブ	部材に生じる応力が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	「RC-N規準」に基づく終局耐力	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)	支持機能*	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	基礎スラブ	部材に生じる応力が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	「RC-N規準」に基づく終局耐力	<p>1.2×S_s 計算書における評価部位及び許容限界については、その考え方を添付書類Ⅲ-6-1に示し、具体的な設定を「4.評価方法及び結果」において示す。</p>
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)																					
支持機能*	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	基礎スラブ	部材に生じる応力が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	「RC-N規準」に基づく終局耐力																					
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)																					
支持機能*	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	基礎スラブ	部材に生じる応力が支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	「RC-N規準」に基づく終局耐力																					

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																						
	<p style="text-align: center;">第4.3-2表 応力解析による評価における重要区域の壁及び床の許容限界</p> <table border="1" data-bbox="1412 359 2457 1094"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>機能維持のための考え方</th> <th>許容限界(評価基準値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">構造強度を有すること</td> <td>弾性設計用地震動S_d及び静的地震力</td> <td>重要区域の壁 重要区域の床*1</td> <td>部材に生じる応力が構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>「RC-N規準」に基づく短期許容応力度</td> </tr> <tr> <td>基準地震動S_s</td> <td>重要区域の床</td> <td>部材に生じる応力が構造強度を確保するための許容限界に対して妥当な安全余裕を有することを確認</td> <td>「RC-N規準」に基づく短期許容応力度*2</td> </tr> <tr> <td>閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の過度の放出を防止する機能を損なわないこと</td> <td>基準地震動S_s</td> <td>重要区域の床</td> <td>部材に生じる応力が放射性物質の過度の放出を防止する機能を維持するための許容限界を超えないことを確認*3</td> <td>「RC-N規準」に基づく短期許容応力度*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: S_d地震時及びS_s地震時に対する評価の判定値は短期許容応力度であり、弾性設計用地震動S_d及び静的地震力による地震力よりも基準地震動S_sによる地震力の方が上回ることから、S_s地震時の評価に包含される。 *2: 許容限界は終局耐力であるが、評価基準値は安全余裕を有したのものとして短期許容応力度を採用する。 *3: 機能維持のための考え方は「重要区域の壁及び床が諸室としての構成を喪失しないこと」であるが、さらなる安全余裕を考慮して、評価基準値としては、重要区域の床の構造強度の確認に用いる許容限界を採用し、短期許容応力度とする。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)		構造強度を有すること	弾性設計用地震動S _d 及び静的地震力	重要区域の壁 重要区域の床*1	部材に生じる応力が構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	「RC-N規準」に基づく短期許容応力度	基準地震動S _s	重要区域の床	部材に生じる応力が構造強度を確保するための許容限界に対して妥当な安全余裕を有することを確認	「RC-N規準」に基づく短期許容応力度*2	閉じ込め機能	放射性物質の過度の放出を防止する機能を損なわないこと	基準地震動S _s	重要区域の床	部材に生じる応力が放射性物質の過度の放出を防止する機能を維持するための許容限界を超えないことを確認*3	「RC-N規準」に基づく短期許容応力度*2	<p>前頁に同じ</p>
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界(評価基準値)																			
	構造強度を有すること	弾性設計用地震動S _d 及び静的地震力	重要区域の壁 重要区域の床*1	部材に生じる応力が構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	「RC-N規準」に基づく短期許容応力度																			
		基準地震動S _s	重要区域の床	部材に生じる応力が構造強度を確保するための許容限界に対して妥当な安全余裕を有することを確認	「RC-N規準」に基づく短期許容応力度*2																			
閉じ込め機能	放射性物質の過度の放出を防止する機能を損なわないこと	基準地震動S _s	重要区域の床	部材に生じる応力が放射性物質の過度の放出を防止する機能を維持するための許容限界を超えないことを確認*3	「RC-N規準」に基づく短期許容応力度*2																			

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																				
	<p>第4.3-3表 基礎スラブに関するコンクリートの圧縮強度</p> <table border="1" data-bbox="1736 321 2139 430"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>圧縮強度 (N/mm²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>第4.3-4表 基礎スラブに関する鉄筋（主筋）の降伏強度</p> <table border="1" data-bbox="1748 531 2128 640"> <thead> <tr> <th>鉄筋種類</th> <th>引張及び圧縮 (N/mm²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD390</td> <td>390</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記：材料強度は降伏強度を1.1倍して算出する。</p> <p>第4.3-5表 重要区域の壁及び床に関するコンクリートの短期許容応力度</p> <table border="1" data-bbox="1673 772 2202 882"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>圧縮 (N/mm²)</th> <th>せん断 (N/mm²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>20.0</td> <td>1.18</td> </tr> </tbody> </table> <p>第4.3-6表 重要区域の壁及び床に関する鉄筋（主筋）の短期許容応力度</p> <table border="1" data-bbox="1656 982 2220 1092"> <thead> <tr> <th>鉄筋種類</th> <th>引張及び圧縮 (N/mm²)</th> <th>せん断補強 (N/mm²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD345</td> <td>345</td> <td>345</td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度F _c (N/mm ²)	圧縮強度 (N/mm ²)	30	30.0	鉄筋種類	引張及び圧縮 (N/mm ²)	SD390	390	設計基準強度F _c (N/mm ²)	圧縮 (N/mm ²)	せん断 (N/mm ²)	30	20.0	1.18	鉄筋種類	引張及び圧縮 (N/mm ²)	せん断補強 (N/mm ²)	SD345	345	345	<p>前頁に同じ</p>
設計基準強度F _c (N/mm ²)	圧縮強度 (N/mm ²)																					
30	30.0																					
鉄筋種類	引張及び圧縮 (N/mm ²)																					
SD390	390																					
設計基準強度F _c (N/mm ²)	圧縮 (N/mm ²)	せん断 (N/mm ²)																				
30	20.0	1.18																				
鉄筋種類	引張及び圧縮 (N/mm ²)	せん断補強 (N/mm ²)																				
SD345	345	345																				

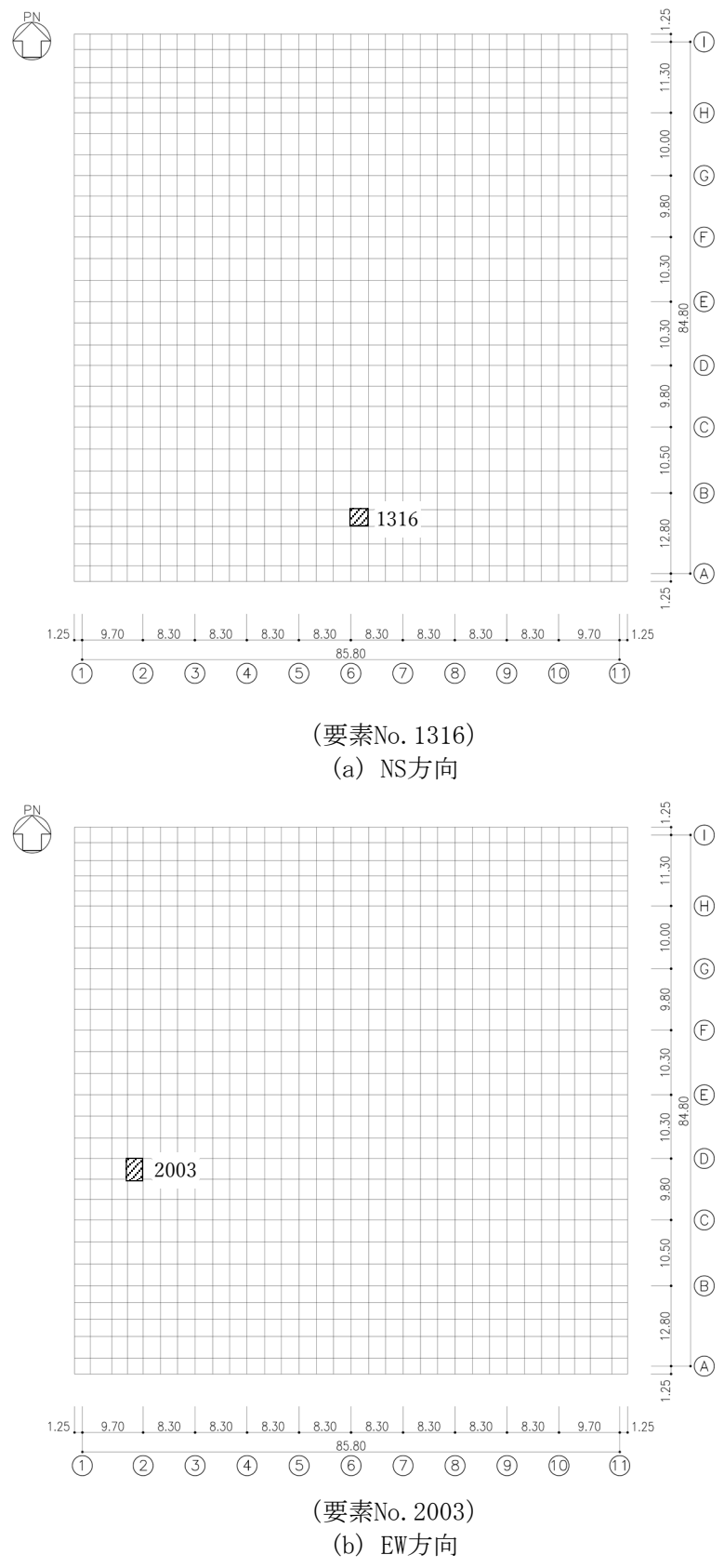
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<p>4.4 評価方法</p> <p>4.4.1 基礎スラブの評価方法 (1) 解析モデル</p> <p>FEMモデルによる評価方法に関する記載であるため省略する。</p> <p>4.4.2 重要区域の壁の評価方法</p> <p>1.2×S_sに対する評価対象ではないため内容については省略する。</p> <p>4.4.3 重要区域の床の評価方法</p> <p>1.2×S_sに対する評価対象ではないため内容については省略する。</p>	<p>「1.2×S_s計算書」 において応力解析に FEMモデルは用いて いない。</p> <p>「1.2×S_s計算書」 における評価対象部 位ではない。</p> <p>同上</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考										
<p>4. 評価方法及び結果</p> <p>4.1 耐震壁に対する評価</p> <p>4.1.1 評価方法及び許容限界</p> <p>「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」及び「2. 評価方針」に基づき、「Ⅲ-6-2-1-1-1-1 燃料加工建屋の基準地震動S_sを1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」に示した1.2×S_sによる燃料加工建屋の耐震壁の最大せん断ひずみ度が、終局耐力時に対応するせん断ひずみ度(4.0×10⁻³)を超えないことを確認する。</p> <p>4.1.2 評価結果</p> <p>第4.1.2-1表に1.2×S_sによる最大せん断ひずみ度と許容限界の比較結果を示す。最大せん断ひずみ度は、NS方向では1.2×S_s-C1において0.658×10⁻³(要素番号6)、EW方向では1.2×S_s-C1において0.516×10⁻³(要素番号6)であり、許容限界(4.0×10⁻³)を超えないことを確認した。さらに、建屋全体のせん断ひずみ度がJEAG4601に示される許容限界である2.0×10⁻³を超えていないことを確認した。</p> <p>以上のことから、重大事故等対処に係る設備を支持する耐震壁については、安全機能を有する施設の基準地震動S_sに対する評価における支持機能に係る許容限界を超えないことから、大規模なコンクリートの剥落や設備の脱落に至るような損傷とならず、重大事故等の対処に係る要件を満足することを確認した。</p> <p>第4.1.2-1表 1.2×S_sによる最大せん断ひずみ度と許容限界の比較結果</p> <table border="1" data-bbox="201 1039 1320 1180"> <thead> <tr> <th colspan="2">1.2×S_sによる最大せん断ひずみ度</th> <th rowspan="2">許容限界* (評価基準値)</th> <th rowspan="2">判定</th> </tr> <tr> <th>NS方向</th> <th>EW方向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.658×10⁻³ (1.2×S_s-C1)</td> <td>0.516×10⁻³ (1.2×S_s-C1)</td> <td>4.0×10⁻³</td> <td>OK</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：原則として、建屋全体の最大せん断ひずみ度が2.0×10⁻³を超えないことを確認する。</p>	1.2×S _s による最大せん断ひずみ度		許容限界* (評価基準値)	判定	NS方向	EW方向	0.658×10 ⁻³ (1.2×S _s -C1)	0.516×10 ⁻³ (1.2×S _s -C1)	4.0×10 ⁻³	OK	<p>5. 評価結果</p> <p>5.1 地震応答解析による評価結果</p> <p>5.1.1 耐震壁のせん断ひずみ度の評価結果</p> <p>耐震壁について、地盤物性のばらつきを考慮したS_s地震時の各層の最大せん断ひずみ度が、許容限界(2.0×10⁻³)を超えないことを確認する。せん断応力度(τ)-せん断ひずみ度(γ)関係と最大応答値を第5.1.1-1図に示す。</p> <p>最大応答せん断ひずみ度は、0.993×10⁻³(要素番号6, -1σ, NS方向, S_s-C1)であり、許容限界(2.0×10⁻³)を超えないことを確認した。</p>  <p>第5.1.1-1図 せん断応力度(τ)-せん断ひずみ度(γ)関係と最大応答値 (要素番号6, NS方向)</p>	<p>「1.2×S_s計算書」では、評価方法、許容限界の考え方及び評価結果について本章にまとめて記載している。</p> <p>「1.2×S_s計算書」では、評価結果について、建屋に求められる要件に対する見解をあわせて記載している。</p>
1.2×S _s による最大せん断ひずみ度		許容限界* (評価基準値)			判定							
NS方向	EW方向											
0.658×10 ⁻³ (1.2×S _s -C1)	0.516×10 ⁻³ (1.2×S _s -C1)	4.0×10 ⁻³	OK									

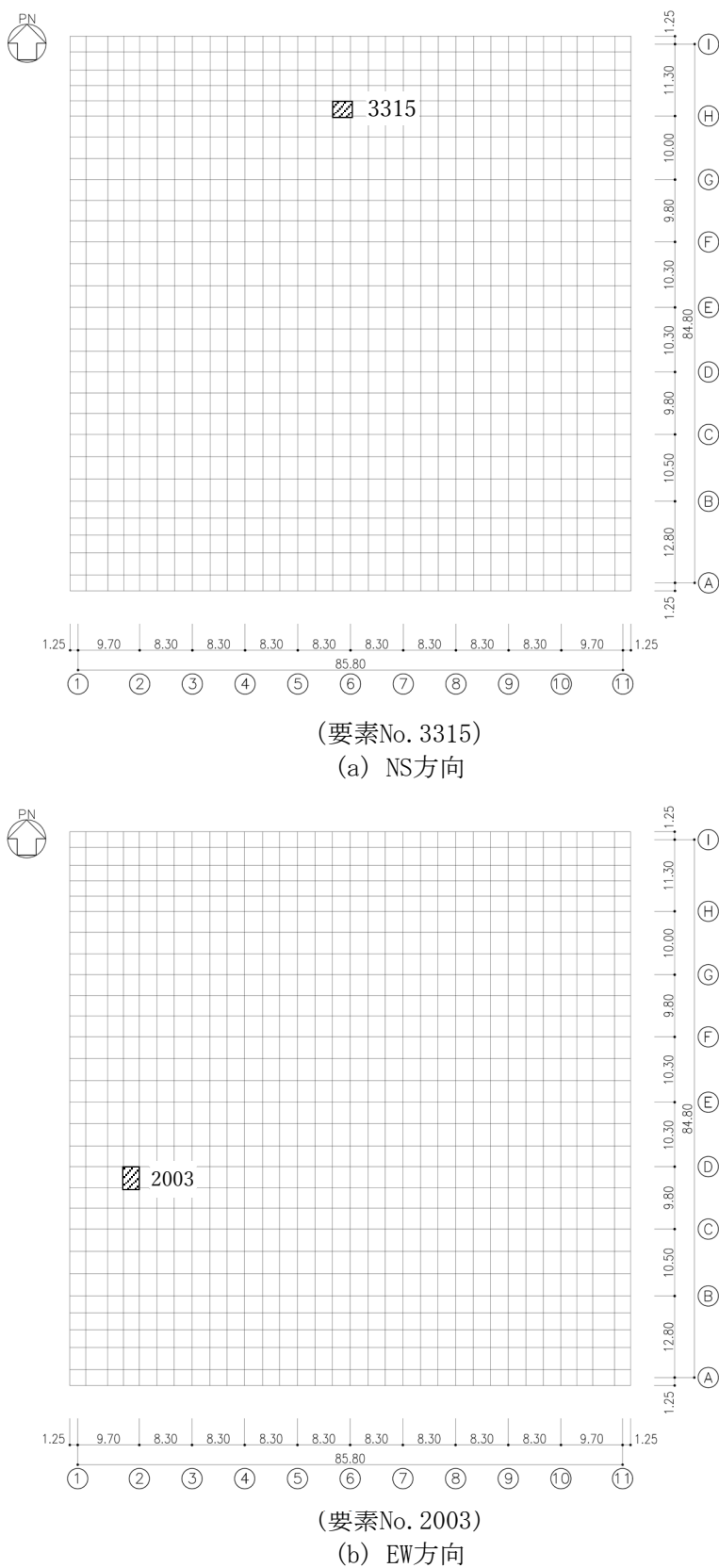
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																				
<p>4.2 支持地盤に対する評価結果 「2. 評価方針」に基づき、「Ⅲ-6-2-1-1-1-1 燃料加工建屋の基準地震動S_sを1.2倍した地震力に対する地震応答計算書」に示した1.2×S_s地震時の最大接地圧が、地盤の極限支持力度を十分下回ることを確認する。 1.2×S_s地震時の最大接地圧と地盤の極限支持力度の比較結果を第4.1-1表に示す。1.2×S_s地震時の最大接地圧は1445kN/m²であり、地盤の極限支持力度を十分下回ることから、支持地盤が建屋を十分に支持できることを確認した。</p> <p>第4.1-1表 1.2×S_s地震時の最大接地圧と地盤の極限支持力度の比較結果</p> <table border="1" data-bbox="189 596 1329 737"> <thead> <tr> <th colspan="2">最大接地圧(kN/m²)</th> <th rowspan="2">極限支持力度 (kN/m²)</th> <th rowspan="2">判定</th> </tr> <tr> <th>NS方向 (1.2×S_s-C1)</th> <th>EW方向 (1.2×S_s-C1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1445</td> <td>1431</td> <td>8800</td> <td>OK</td> </tr> </tbody> </table>	最大接地圧(kN/m ²)		極限支持力度 (kN/m ²)	判定	NS方向 (1.2×S _s -C1)	EW方向 (1.2×S _s -C1)	1445	1431	8800	OK	<p>5.1.2 接地圧の評価結果 S_s地震時の最大接地圧が、地盤の極限支持力度を十分下回ることを確認する。 S_s地震時の最大接地圧と地盤の極限支持力度の比較結果を第5.1.2-1表に示す。S_s地震時の最大接地圧は1399kN/m²であり、地盤の極限支持力度を十分下回ることを確認した。</p> <p>第5.1.2-1表 S_s地震時の最大接地圧と地盤の極限支持力度の比較結果</p> <table border="1" data-bbox="1365 596 2504 737"> <thead> <tr> <th colspan="2">最大接地圧(kN/m²)</th> <th rowspan="2">極限支持力度 (kN/m²)</th> <th rowspan="2">判定</th> </tr> <tr> <th>NS方向 (S_s-C1, -1σ)</th> <th>EW方向 (S_s-C1, -1σ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1349</td> <td>1399</td> <td>8500</td> <td>OK</td> </tr> </tbody> </table>	最大接地圧(kN/m ²)		極限支持力度 (kN/m ²)	判定	NS方向 (S _s -C1, -1σ)	EW方向 (S _s -C1, -1σ)	1349	1399	8500	OK	<p>構成に差分無し</p> <p>「1.2×S_s計算書」では、評価結果について、建屋に求められる要件に対する見解をあわせて記載している。</p>
最大接地圧(kN/m ²)		極限支持力度 (kN/m ²)			判定																	
NS方向 (1.2×S _s -C1)	EW方向 (1.2×S _s -C1)																					
1445	1431	8800	OK																			
最大接地圧(kN/m ²)		極限支持力度 (kN/m ²)	判定																			
NS方向 (S _s -C1, -1σ)	EW方向 (S _s -C1, -1σ)																					
1349	1399	8500	OK																			

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	5.1.3 保有水平耐力の評価結果 内容については省略する。	保有水平耐力の評価については「1.0×S _s 計算書」にて評価済みであり、地震力によって評価が変わるものではないことから、「1.2×S _s 計算書」には記載しない。

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
<p>4.3 基礎スラブに対する評価</p> <p>燃料加工建屋の基礎スラブは、厚さが2.7m(外周端部は3.47m)であり、ピット階・B3階耐震壁の厚さ0.6m~2.5mよりも厚く、十分大きな剛性を有している部材であることから、建屋全体の層の変形が、終局状態に対して安全余裕が考慮されたせん断ひずみ度2.0×10^{-3}以下に留まっていれば、版全体の崩壊系に至るような基礎スラブの損傷は発生しない。また、「4.2耐震壁に対する評価」に示したとおり、$1.2 \times S_s$に対し、建屋全体としてせん断ひずみ度は2.0×10^{-3}以下となっている。</p> <p>このことから、燃料加工建屋の基礎スラブについては、版全体の崩壊系に至るような損傷としないことを確認した。</p>	<p>5.2 応力解析による評価結果</p> <p>5.2.1 基礎スラブの評価結果</p> <p>基礎スラブの評価結果を、軸力及び曲げモーメントに対する評価については、許容限界に対する発生曲げモーメントの割合が最も大きい要素に対して、また、面外せん断力に対する評価については、許容限界に対する発生面外せん断力の割合が最も大きい要素に対して示す。当該要素の位置を第5.2.1-1図、第5.2.1-2図に、評価結果を第5.2.1-1表に示す。なお、基礎スラブ厚及び配筋は、平成25年2月28日付け原管研収第121116001号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-1-1-2 燃料加工建屋の耐震計算書」による。</p> <p>発生曲げモーメント及び発生面外せん断力が、それぞれの許容限界を超えないことを確認した。</p>	<p>基礎スラブに対する評価は、「添付書類Ⅲ-6-1」に示す方針に基づき、建物全体のせん断ひずみ度の大きさに応じた確認を行っており、燃料加工建屋における確認ではFEMモデル等を用いた応力解析による評価はない。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	 <p>(要素No. 1316) (a) NS方向</p> <p>(要素No. 2003) (b) EW方向</p>	<p>前頁に同じ</p>

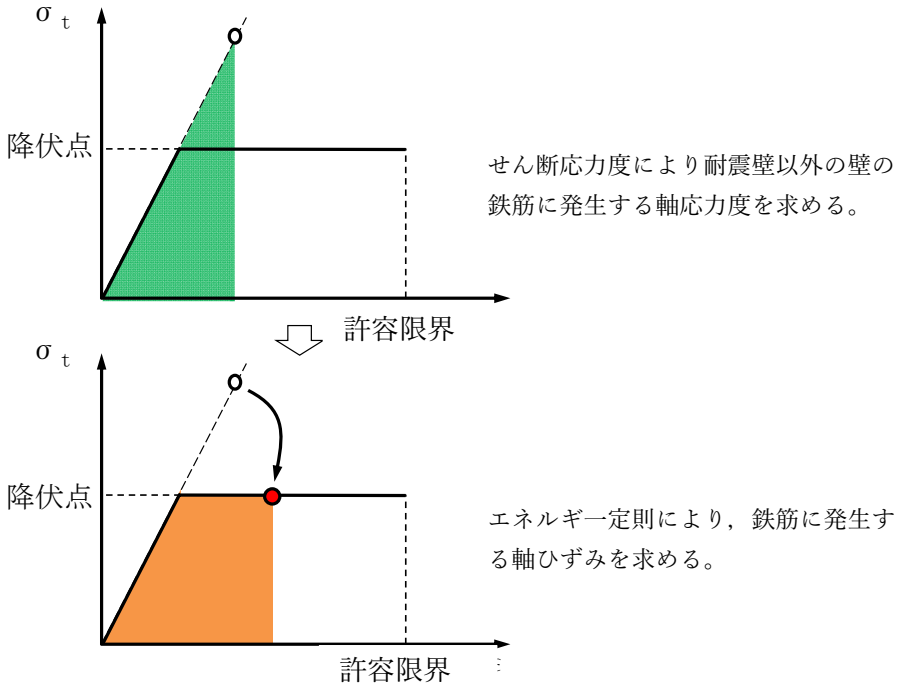
第5.2.1-1図 軸力及び曲げモーメントに対する評価結果を示す要素の位置図

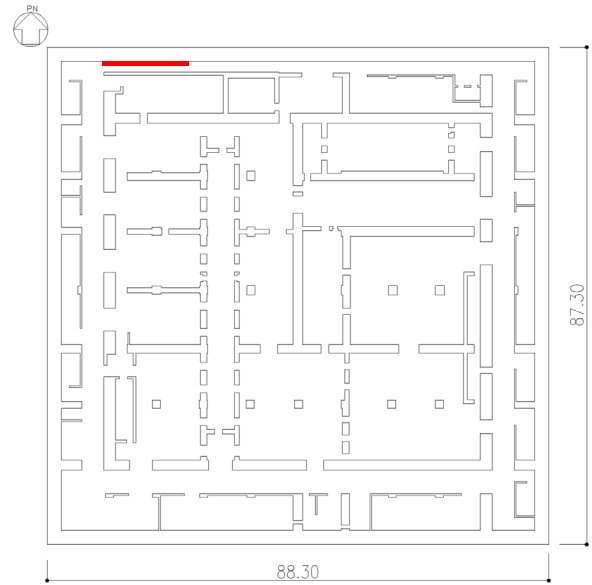
添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	 <p>(要素No. 3315) (a) NS方向</p> <p>(要素No. 2003) (b) EW方向</p> <p>第5.2.1-2図 面外せん断力に対する評価結果を示す要素の位置図</p>	前頁に同じ

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考																																																
	<p style="text-align: center;">第5.2.1-1表 基礎スラブの評価結果 (a) 軸力及び曲げモーメントに対する評価</p> <table border="1" data-bbox="1359 359 2510 533"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方向</th> <th colspan="3">解析結果</th> <th rowspan="2">許容値 (kN・m/m)</th> <th rowspan="2">検定比</th> <th rowspan="2">判定</th> </tr> <tr> <th>要素番号</th> <th>荷重組合せ ケース</th> <th>発生曲げモーメント (kN・m/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS</td> <td>1316</td> <td>4</td> <td>17002</td> <td>22615</td> <td>0.752</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>EW</td> <td>2003</td> <td>3</td> <td>17218</td> <td>28167</td> <td>0.612</td> <td>OK</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: 許容値は曲げ終局強度を示す。 2: 検定比 = (発生曲げモーメント) / (許容値) 3: 軸力は圧縮を正とする。</p> <p style="text-align: center;">(b) 面外せん断力に対する評価</p> <table border="1" data-bbox="1359 705 2510 879"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方向</th> <th colspan="3">解析結果</th> <th rowspan="2">許容値 (kN/m)</th> <th rowspan="2">検定比</th> <th rowspan="2">判定</th> </tr> <tr> <th>要素番号</th> <th>荷重組合せ ケース</th> <th>発生面外せん断力 (kN/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS</td> <td>3315</td> <td>7</td> <td>4101</td> <td>4764</td> <td>0.861</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>EW</td> <td>2003</td> <td>3</td> <td>6009</td> <td>7221</td> <td>0.833</td> <td>OK</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 1: 許容値は面外せん断終局強度を示す。 2: 検定比 = (発生面外せん断力) / (許容値)</p>	方向	解析結果			許容値 (kN・m/m)	検定比	判定	要素番号	荷重組合せ ケース	発生曲げモーメント (kN・m/m)	NS	1316	4	17002	22615	0.752	OK	EW	2003	3	17218	28167	0.612	OK	方向	解析結果			許容値 (kN/m)	検定比	判定	要素番号	荷重組合せ ケース	発生面外せん断力 (kN/m)	NS	3315	7	4101	4764	0.861	OK	EW	2003	3	6009	7221	0.833	OK	<p>前頁に同じ</p>
方向	解析結果			許容値 (kN・m/m)	検定比				判定																																									
	要素番号	荷重組合せ ケース	発生曲げモーメント (kN・m/m)																																															
NS	1316	4	17002	22615	0.752	OK																																												
EW	2003	3	17218	28167	0.612	OK																																												
方向	解析結果			許容値 (kN/m)	検定比	判定																																												
	要素番号	荷重組合せ ケース	発生面外せん断力 (kN/m)																																															
NS	3315	7	4101	4764	0.861	OK																																												
EW	2003	3	6009	7221	0.833	OK																																												

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
	<p>5.2.2 重要区域の壁の評価結果 内容については省略する。</p> <p>5.2.3 重要区域の床の評価結果 内容については省略する。</p> <p>6. その他の評価 内容については省略する。</p>	<p>「1.2×S_s 計算書」 における評価対象部 位ではない。</p> <p>「1.2×S_s 計算書」 における評価対象部 位ではない。</p> <p>「1.0×S_s 計算書」 における弾性設計用 地震動S_dに対する 建屋全体の耐震性に ついての章であるこ とから、「1.2×S_s 計算書」では記載な し。</p>


添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
<p>4.4 耐震壁以外の壁に対する評価結果</p> <p>4.4.1 評価方法及び許容限界</p> <p>燃料加工建屋の壁については、耐震壁、耐震壁以外の壁ともに、RC規準における耐震壁の基準を満たすように鉄筋量を確保しており、さらに、壁端部については、直交する壁や柱等に鉄筋を十分な余長をもって定着しているため、層の変形に対しては十分に追従可能な構造としている。</p> <p>また、コンクリートのひび割れに対しては、応力が集中し、ひび割れが集中して発生する可能性のある壁端部及び開口部周辺において、補強筋を配してひび割れを抑制しており、脆弱な部位とはならない。</p> <p>さらに、「4.2 耐震壁に対する評価」に示したとおり、1.2×S_sに対し、建屋全体としてせん断ひずみ度が2.0×10⁻³以下となっていることから、大規模なコンクリートの剥落や設備の脱落に至るような損傷とならず、重大事故等の対処に係る要件を満足する。</p> <p>以上の検討に加え、燃料加工建屋の重大事故等対処に係る階(地上1階、地下1～3階)の耐震壁以外の壁については、「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」及び「2. 評価方針」に基づき、1.2×S_s時に耐震壁以外の壁に生じる応力に対して損傷状態の確認を行う。</p> <p>評価にあたっては、1.2×S_sに対して耐震壁以外の壁に負担するせん断応力を算定し、鉄筋に対する評価を実施する。</p> <p>まず、耐震壁以外の壁に考慮するせん断応力は、1.2×S_sによる地震応答解析結果に基づき、各層の最大せん断ひずみ度から各壁に発生するせん断応力度τを算定する。せん断応力度τの算定にあたっては保守性を考慮し、地震応答解析において耐震壁の剛性のみを考慮しており、各層の変形量としては大きく算定されていることを踏まえ、耐震壁のみが地震力を負担する場合に耐震壁に作用するせん断応力度τと同じ応力度を耐震壁以外の壁についても考慮することとした。</p> <p>次に、耐震壁以外の壁に作用するせん断応力度τの全てを鉄筋のみで負担すると仮定し、下式により求まる鉄筋の軸応力度σ_tに変換した。</p> $\sigma_t = \tau / p_s$ <p>ここで、</p> <ul style="list-style-type: none"> σ_t：鉄筋の軸応力度 τ：耐震壁以外の壁に発生するせん断応力度 (耐震壁の剛性だけに期待したせん断応力度と同じ値を用いる) p_s：耐震壁以外の壁の鉄筋比(縦筋及び横筋のうち、小さい値) <p>さらに、鉄筋の軸応力度σ_tを軸ひずみに変換した。軸ひずみは、鉄筋の降伏点以下の場合には、ヤング係数で除すことにより算定し、降伏点を超過する場合には、第4.4.1-1図に示すとおりエネルギー一定則により降伏後の鉄筋に発生する軸ひずみを算定した。</p> <p>評価は、1.2×S_sに対する鉄筋の軸ひずみが許容限界を超えないことを確認する。</p> <p>許容限界としては、耐震壁以外の壁の鉄筋の軸ひずみがJIS規格等に基づく破断伸び以下に留まっていれば耐震壁以外の壁は層の変形に追従し、過大な変形・たわみは生じないと考えられる。ただし、重大事故等の対処に係る要件を満足することを確認する上で、大規模なコンクリートの剥落や設備の脱落に至るような損傷とならないことを確認するために、耐震壁と同じ許容限界であるせん断ひずみ度2.0×10⁻³時に相当する耐震壁以外の壁の鉄筋の軸ひずみを許容限界とする。</p>		<p>1.2×S_sに対する評価対象部位であり、「1.0×S_s計算書」では記載なし。</p> <p>「1.2×S_s計算書」においては、「添付書類Ⅲ-6-1」に基づく評価方法、許容限界の考え方に加え、評価結果及び建屋に求められる要件に対する見解について本章にまとめて記載している。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動 S_s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
 <p>せん断応力度により耐震壁以外の壁の鉄筋に発生する軸応力度を求める。</p> <p>許容限界</p> <p>降伏点</p> <p>σ_t</p> <p>せん断ひずみ</p> <p>エネルギー一定則により、鉄筋に発生する軸ひずみを求める。</p> <p>許容限界</p> <p>降伏点</p> <p>σ_t</p> <p>せん断ひずみ</p> <p>注記 : 許容限界とするせん断ひずみ度 2.0×10^{-3} 時の鉄筋の軸ひずみについても、上図と同様に、せん断ひずみ度 2.0×10^{-3} 時のせん断応力度に基づき、鉄筋に発生する軸ひずみをエネルギー一定則により算定する。なお、許容限界は、各階ごとに最も小さい値を代表として用いる。</p> <p>第4.4.1-1図 エネルギー一定則による鉄筋のひずみ算出</p>		同上

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考										
<p>4.4.2 評価結果</p> <p>耐震壁以外の壁における鉄筋の軸ひずみ評価について、許容限界に対する発生軸ひずみの割合が最も大きい要素に対して示す。評価結果を第4.4.2-1表に、当該要素の位置を第4.4.2-1図に示す。</p> <p>燃料加工建屋の重大事故等対処に係る階（地上1階、地下1～3階）の重大事故等対処に係る設備を支持するまたはアクセスルート及び操作場所を構成すると想定される壁については、鉄筋の軸ひずみが、せん断ひずみ度 2.0×10^{-3} 時に相当する軸ひずみに対して十分な余裕を有していることから、大規模なコンクリートの剥落や設備の脱落に至るような損傷とならず、重大事故等の対処に係る要件を満足することを確認した。</p> <p>第4.4.2-1表 耐震壁以外の壁の評価結果</p> <table border="1" data-bbox="261 695 1258 768"> <thead> <tr> <th>階</th> <th>方向</th> <th>発生軸ひずみ</th> <th>許容限界</th> <th>検定比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下3階</td> <td>E W</td> <td>2.422×10^{-3}</td> <td>2.741×10^{-3}</td> <td>0.884</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記：最も検定比が大きい階及び位置について記載している。</p>  <p>第4.4.2-1図 耐震壁以外の壁の最大値発生位置 (地下3階壁)</p>	階	方向	発生軸ひずみ	許容限界	検定比	地下3階	E W	2.422×10^{-3}	2.741×10^{-3}	0.884		同上
階	方向	発生軸ひずみ	許容限界	検定比								
地下3階	E W	2.422×10^{-3}	2.741×10^{-3}	0.884								

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
<p>4.5 床スラブ</p> <p>4.5.1 評価方法及び許容限界</p> <p>燃料加工建屋の床スラブについては、RC-N 基準に要求される耐震壁の基準よりも厚い600mm以上の厚さを有しており、剛性の高い設計としている。また、上下階の壁によって密に拘束されており、地震力に対して大変形が起きにくい構造となっていることから、耐震壁及び耐震壁以外の壁と比較して、部材全体としての面内変形は小さく抑えられる設計となっている。面外変形に対しては、床スラブは長期荷重の影響が支配的になること、またスラブ厚が600mm以上であることも踏まえると、地震時に降伏メカニズムを形成することはない。</p> <p>また、コンクリートのひび割れに対しては、応力が集中し、ひび割れが集中して発生する可能性のある開口部周辺において、補強筋を配してひび割れを抑制しており、脆弱な部位とはならない。</p> <p>さらに、「4.2 耐震壁に対する評価」に示したとおり、1.2×S_sに対し、建屋全体としてせん断ひずみ度が2.0×10^{-3}以下となっていることから、大規模なコンクリートの剥落や設備の脱落に至るような損傷とならず、重大事故等の対処に係る要件を満足する。</p> <p>以上の検討に加え、燃料加工建屋の重大事故等対処に係る階(地上1階、地下1～3階)の床スラブについて、「Ⅲ-6-1 基準地震動S_sを1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」及び「2. 評価方針」に基づき、概ね弾性範囲に留まることを確認する。</p> <p>評価にあたっては、床スラブは上述のとおり、開口補強筋を配置することにより局所的な破壊が生じない設計としていることから、1.2×S_sに対して床スラブの部材全体として生じる応力を算定し、これに対して概ね弾性範囲に留まることを確認する。</p> <p>床スラブの部材全体として生じる応力は、第4.5.1-1図に示すとおり、地震時には床スラブに生じる慣性力が面内せん断力を介して壁に伝達されることから、面内せん断力に対して評価を行うこととし、当該床スラブの鉛直荷重と1.2×S_sによる地震荷重に基づく慣性力から算定する。</p> <p>まず、1.2×S_sによる地震応答解析結果に基づき、各層の最大加速度から耐震壁及び耐震壁以外の壁で囲まれた各位置の床スラブに発生する慣性力を算定した。</p> <p>次に、各位置の床スラブに発生する慣性力を、保守的に地震方向の壁のみが負担することを仮定し、床スラブの発生面内せん断力度τを算定した。床に作用する面内せん断力度τは、第4.5.1-1図に示すとおり、床に取り付く壁の配置を加味して適切に面内せん断力を分配することとした。</p> <p>評価は、床に生じる面内せん断力度τが許容限界を超えないことを確認する。許容限界は、算定した床スラブの発生面内せん断力度τが、コンクリートのひび割れ強度以下であることとする。</p>		<p>1.2×S_sに対する評価対象部位であり、「1.0×S_s計算書」では記載なし。</p> <p>「1.2×S_s計算書」においては、「添付書類Ⅲ-6-1」に基づく評価方法、許容限界の考え方に加え、評価結果及び建屋に求められる要件に対する見解について本章にまとめて記載している。</p>

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動 S_s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考
<div data-bbox="507 527 1086 1031" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="270 1066 1228 1167">注記 : 床スラブの両側に壁を有している場合は、両側の壁に面内せん断力を分配し、床スラブの一方のみに壁を有している場合は面内せん断力を分配せず、床から壁に面内せん断力が伝達すると仮定した。</p> <p data-bbox="430 1203 1169 1234">第4.5.1-1図 床スラブに発生する面内せん断力算定の考え方</p>		同上

添付書類Ⅲ-6-2-1-1-1-2 「燃料加工建屋の基準地震動S _s を1.2倍した地震力に対する耐震計算書」	添付書類Ⅲ-2-1-1-1-1-2 「燃料加工建屋の耐震計算書」	備考										
<p>4.5.2 評価結果</p> <p>面内せん断応力度に対する評価について、許容限界に対する検定比が最も大きい要素に対して示す。評価結果を第4.5.2-1表に、当該要素の位置を第4.5.2-1図に示す。</p> <p>燃料加工建屋の重大事故等対処に係る階(地上1階、地下1~3階)の床スラブについては、発生面内せん断応力度が許容限界を超えず、概ね弾性状態に留まることから、大規模なコンクリートの剥落や設備の脱落に至るような損傷とならず、重大事故等の対処に係る要件を満足し、さらに十分に剛として扱うことが可能なことを確認した。</p> <p>第4.5.2-1表 床スラブの評価結果</p> <table border="1" data-bbox="240 596 1285 701"> <thead> <tr> <th>階</th> <th>方向</th> <th>発生せん断応力度 τ (N/mm²)</th> <th>許容限界 τ_1 (N/mm²)</th> <th>検定比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地上1階</td> <td>NS</td> <td>1.03</td> <td>1.71</td> <td>0.61</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 : 最も検定比が大きい階及び位置について記載している。</p>  <p>第4.5.2-1図 床スラブの最大値発生位置 (地上1階床)</p>	階	方向	発生せん断応力度 τ (N/mm ²)	許容限界 τ_1 (N/mm ²)	検定比	地上1階	NS	1.03	1.71	0.61		同上
階	方向	発生せん断応力度 τ (N/mm ²)	許容限界 τ_1 (N/mm ²)	検定比								
地上1階	NS	1.03	1.71	0.61								